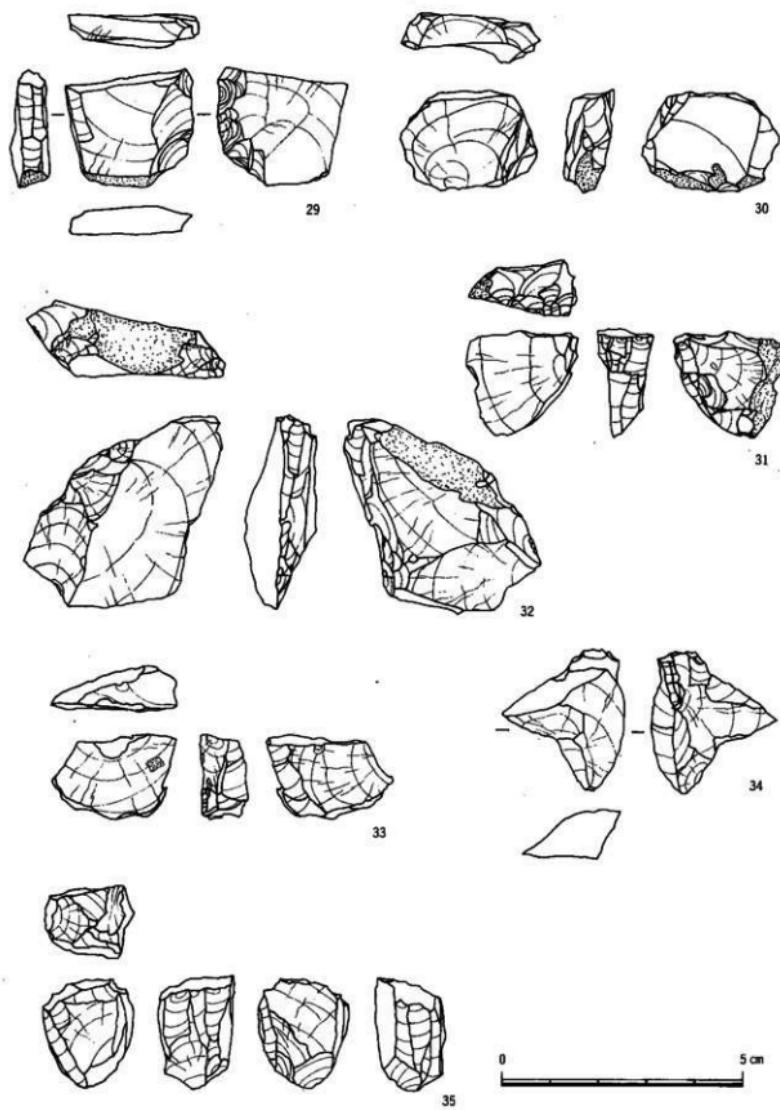
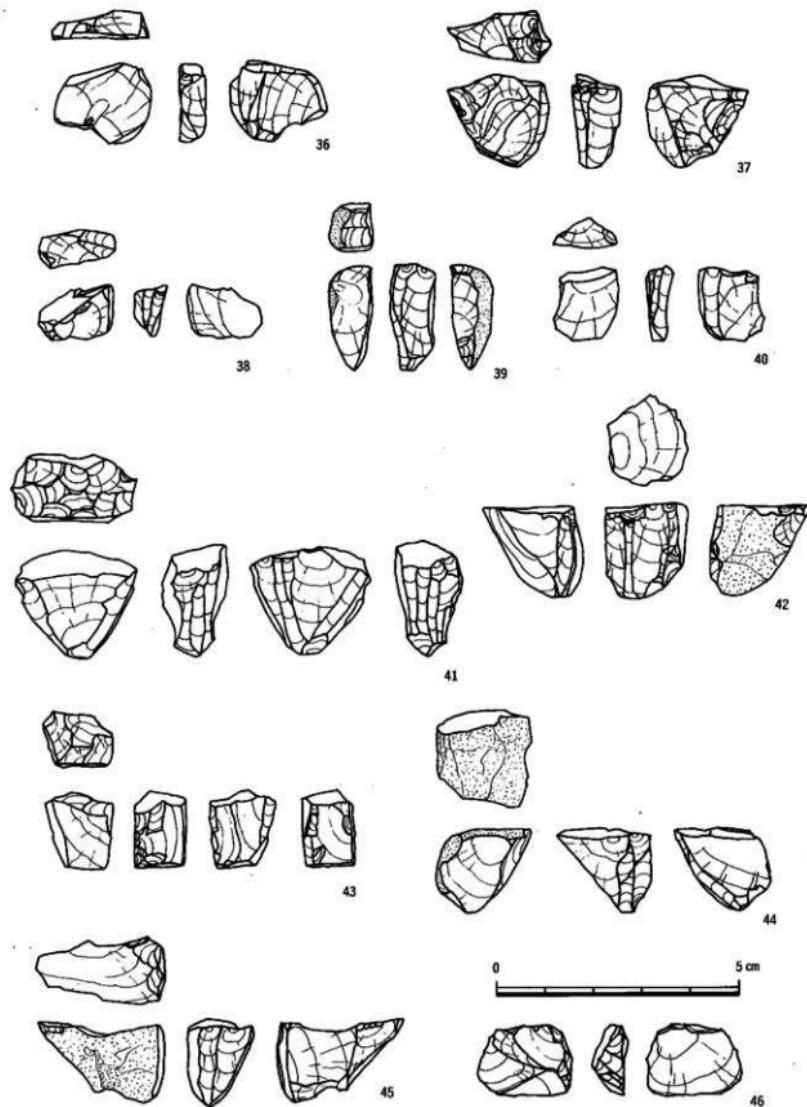


第 317 図 細石核実測図 (5)



第 318 図 細石核実測図 (6)



第 319 図 細石核実測図 (7)



47

48



49



50



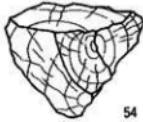
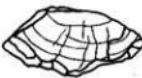
51



52



53



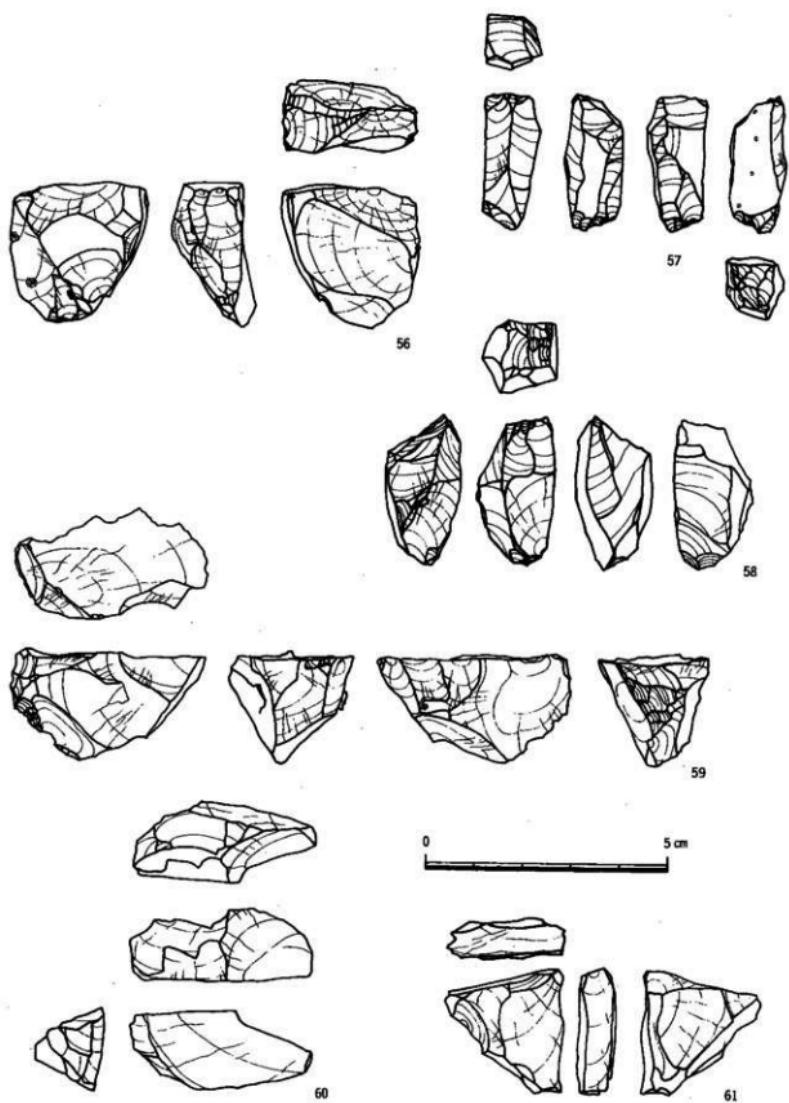
54



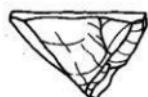
55



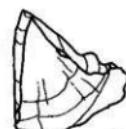
第 320 図 細石核実測図 (8)



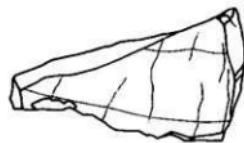
第 321 図 細石核実測図 (9)



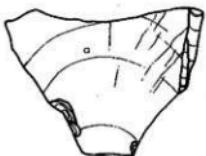
62



63



64

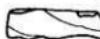


65

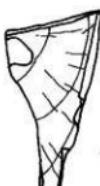
0



5 cm

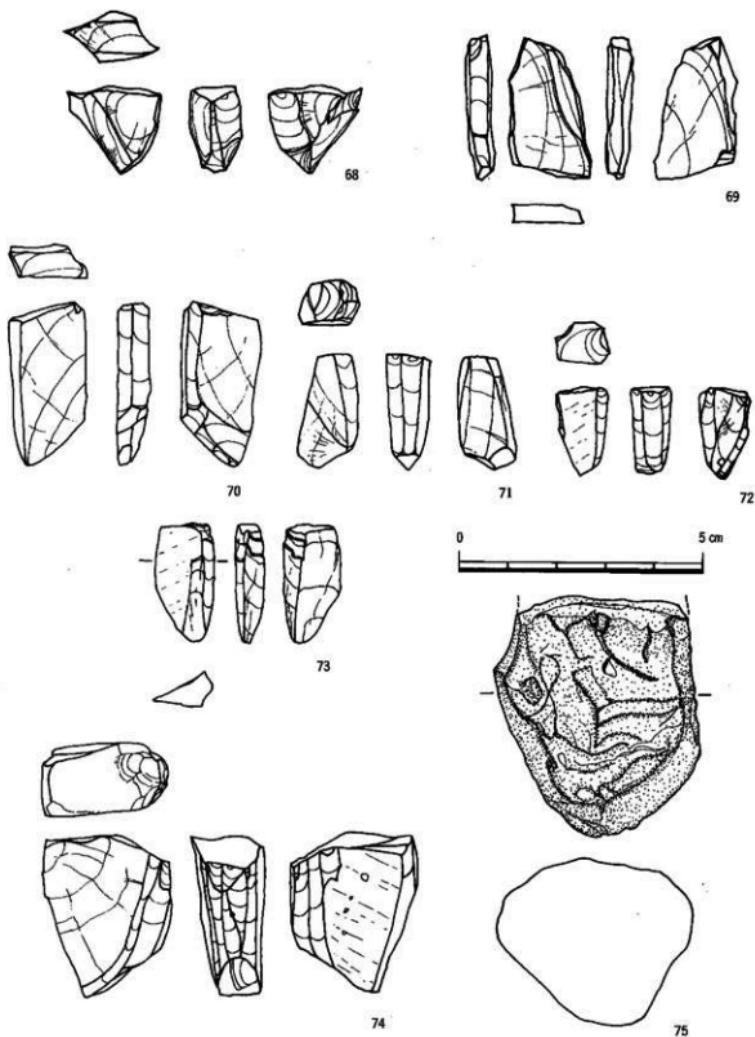


66

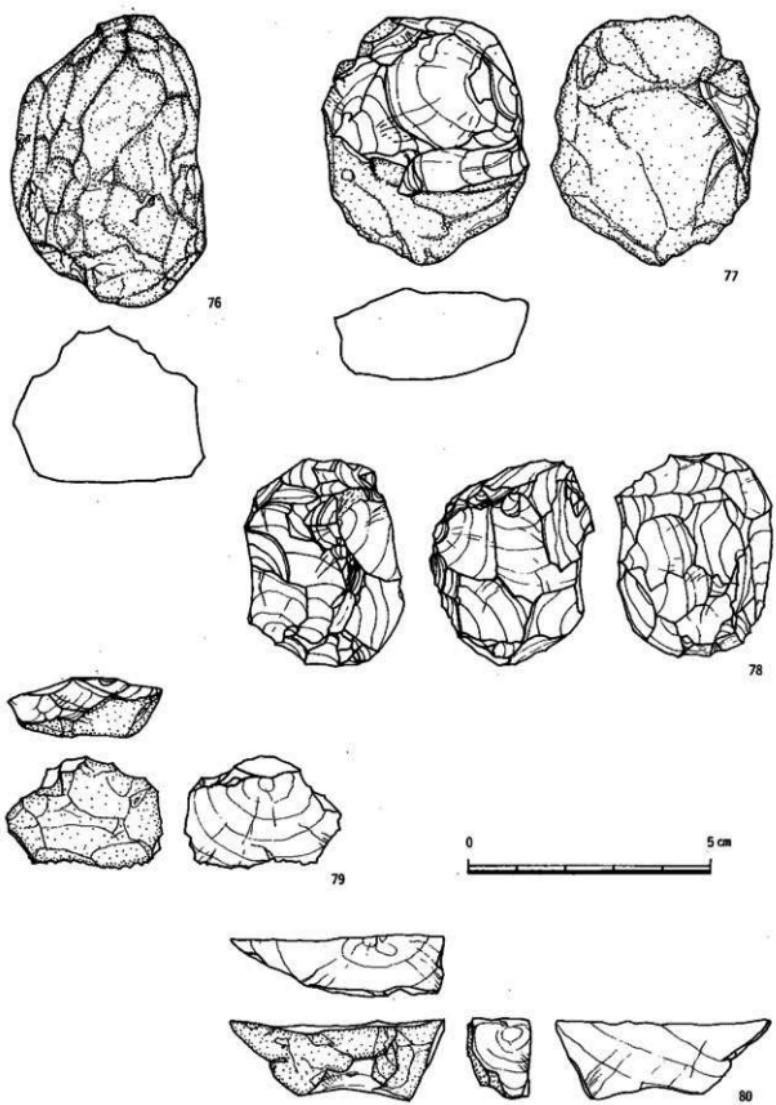


67

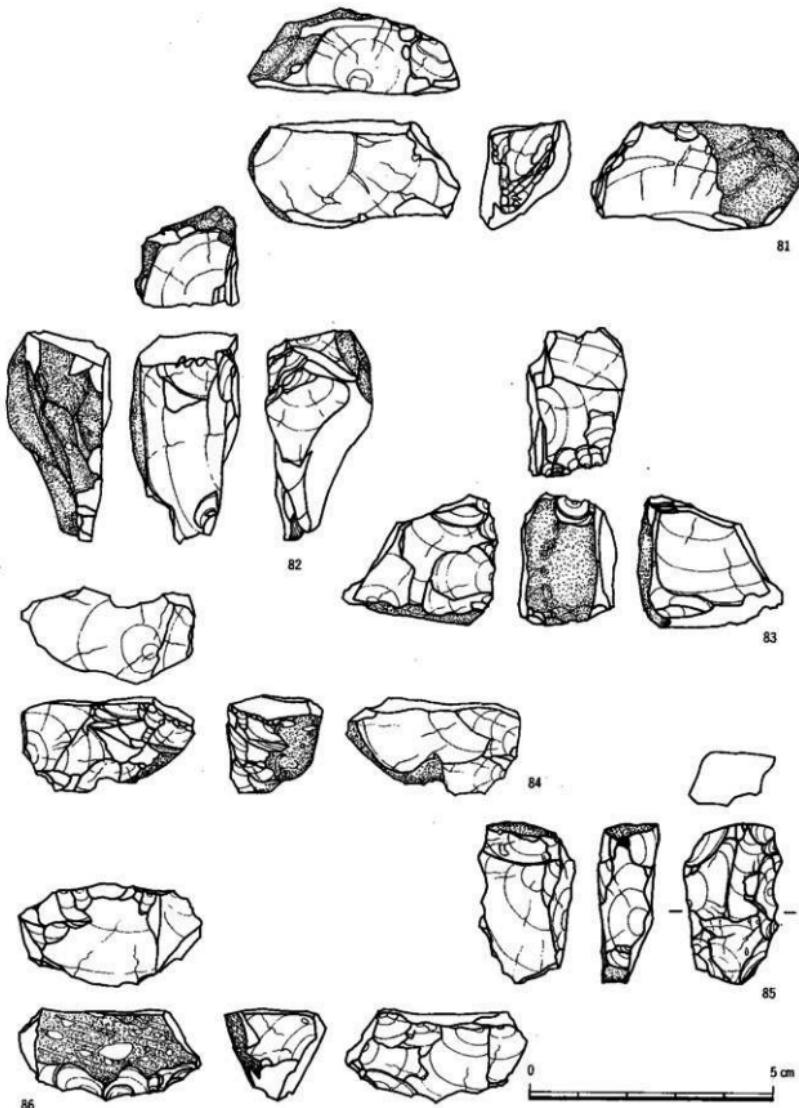
第 322 図 細石核実測図 (10)



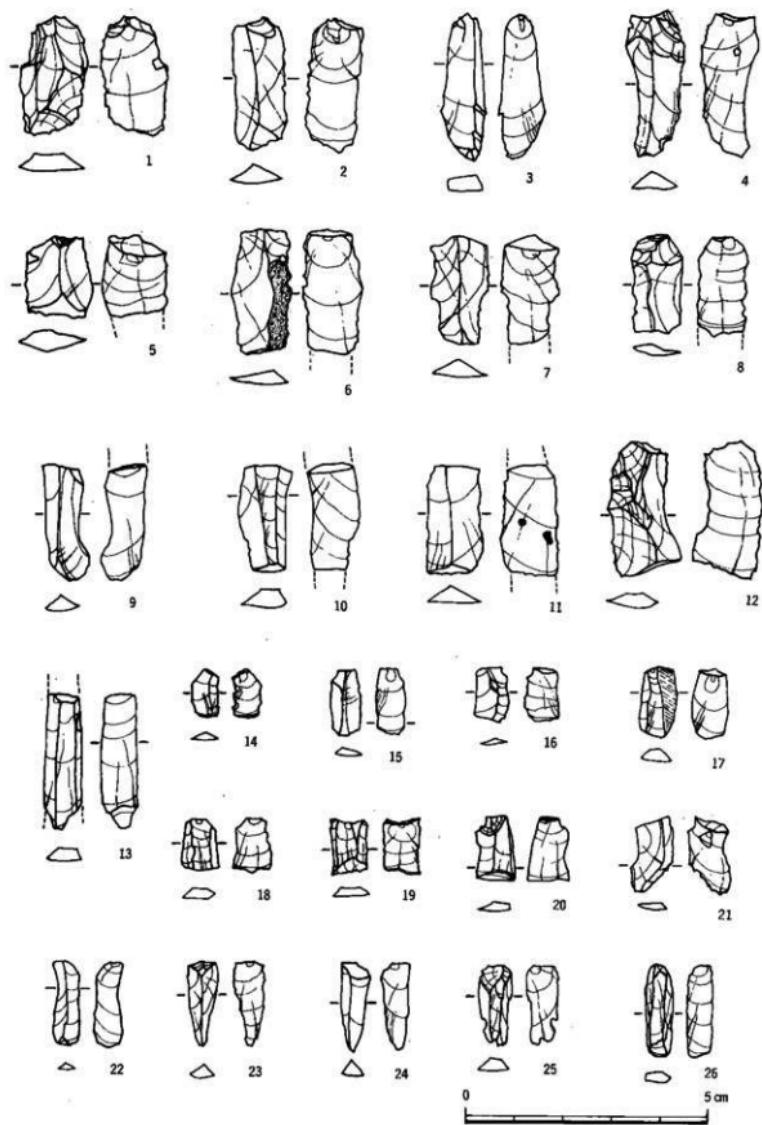
第 323 図 細石核実測図 (II)



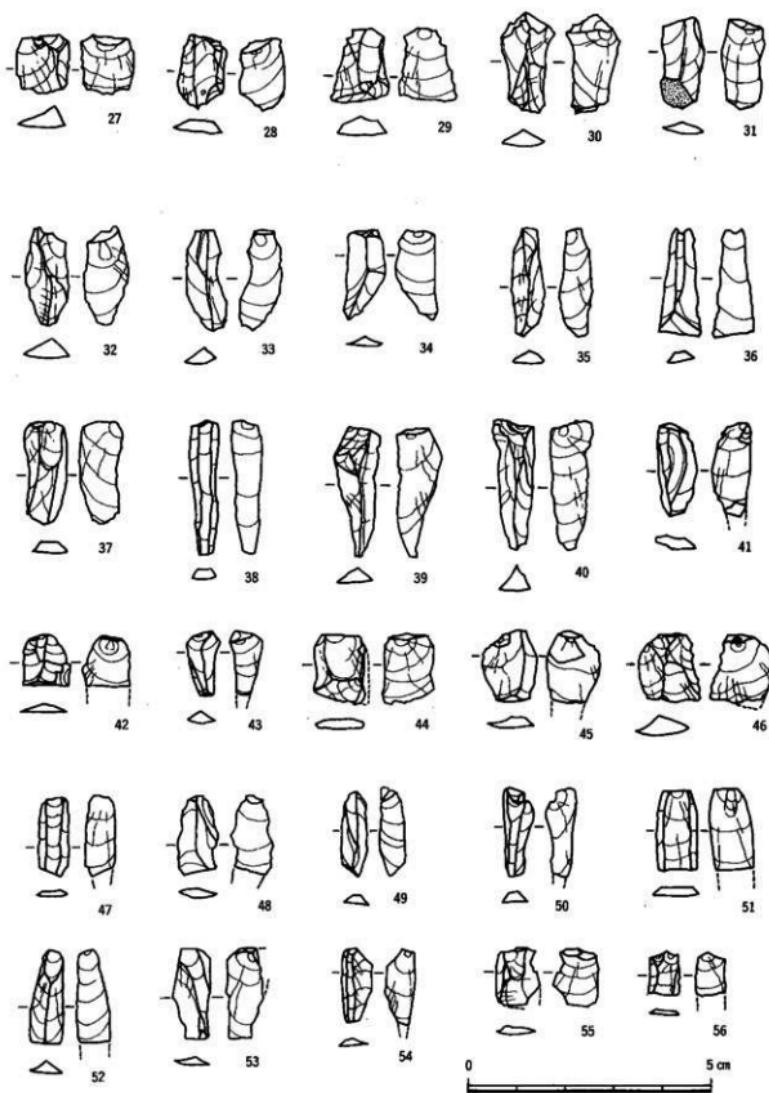
第 324 図 細石核実測図 (12)



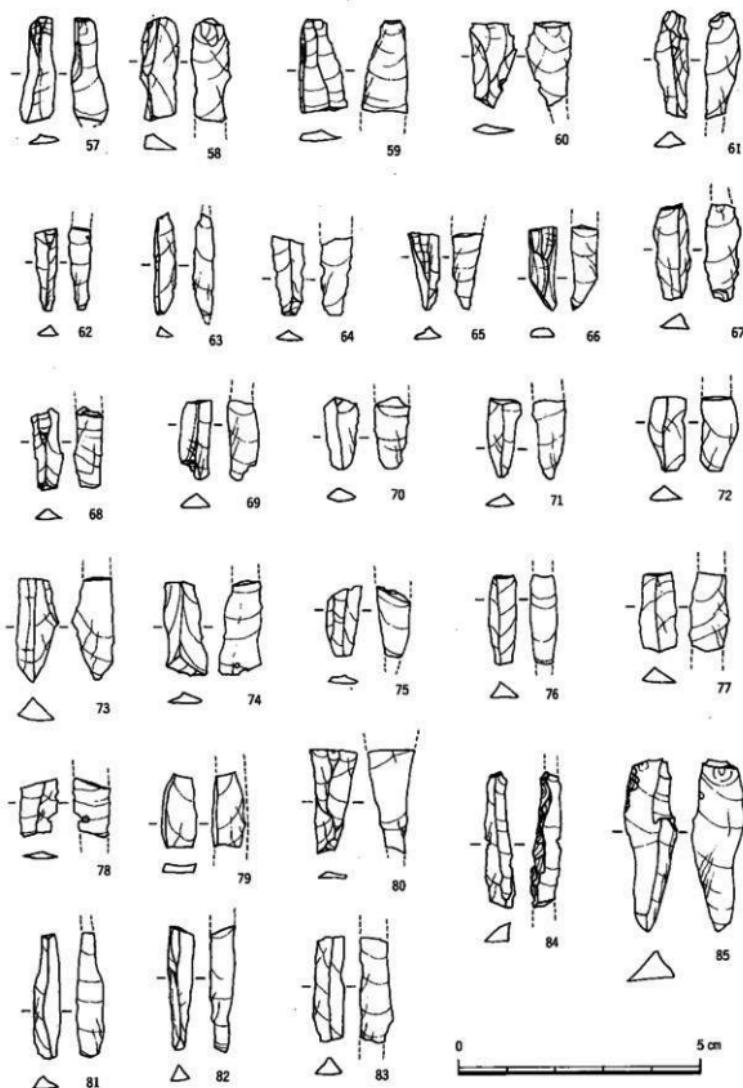
第 325 図 捕石核実測図 (13)



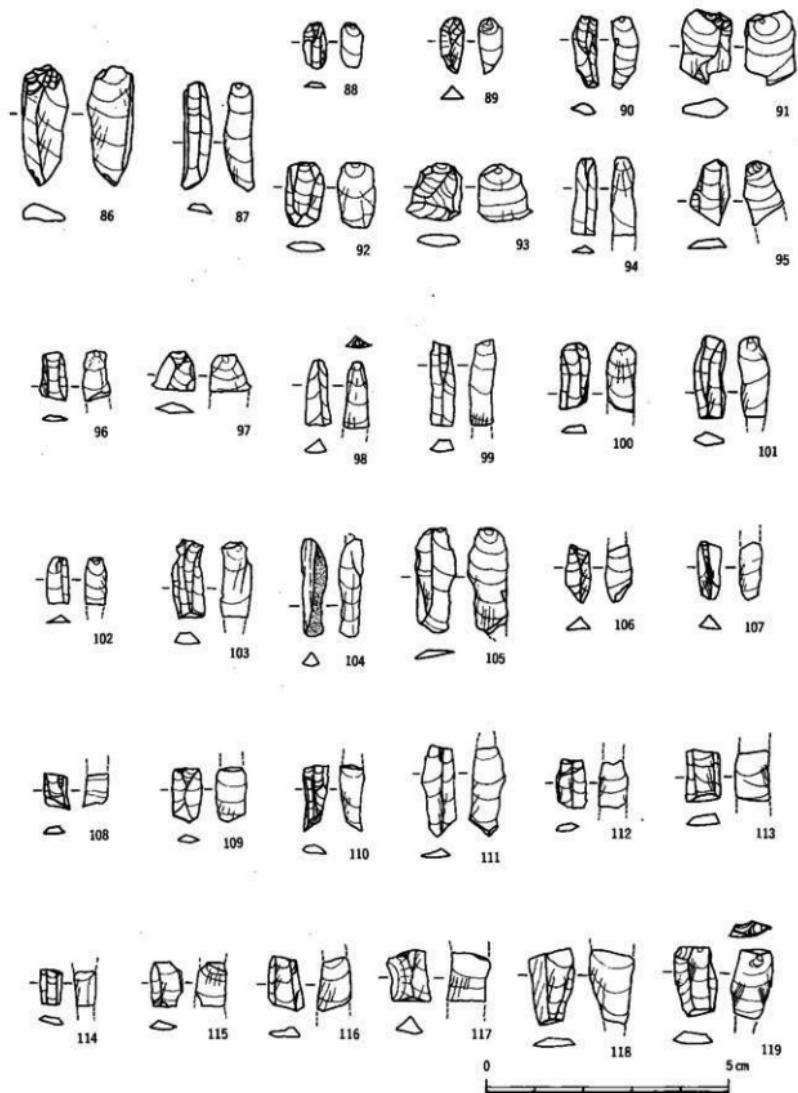
第 326 図 細石刃実測図 (1)



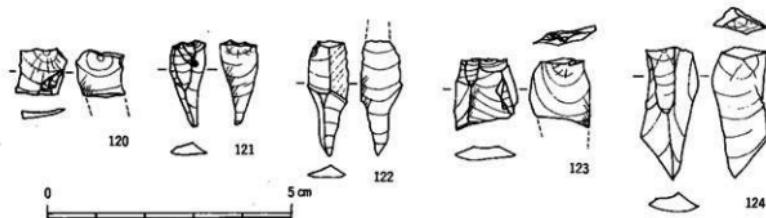
第 327 図 細石刃実測図 (2)



第 328 図 繪石刃実測図 (3)



第 329 図 細石刃実測図 (4)

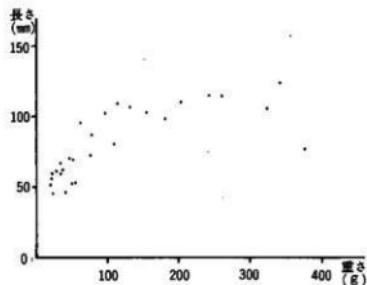


第330図 細石刃実測図(5)

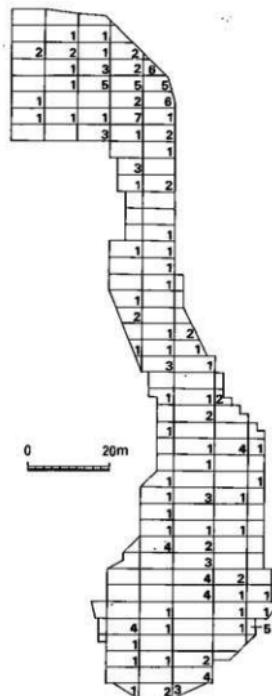
叩き石の大きさをみると、長さはほぼ5cmから13cmの間にあるものの、5cm～7cm程度のものがほぼ半数を占める。重さは約20gから約400gと幅が広いが、半数近くは60g以下の小形品である。

したがって叩き石は、長さ5～7cm、重さ20～60g程度のものが最も多くて半数近くを占め、長さ約11cm、重さ約120gまでは長さ重さとも順調に増加するが、それ以後は重さが増加しても長さはほとんど変わらないものとなる(第42表)。石材による叩き石の大きさについては、出土点数の約1/6を占める砂岩製叩き石が100g以上のものの約半数を占め、大形品の割合がやや高くなる以外は顕著な傾向は認められなかった。

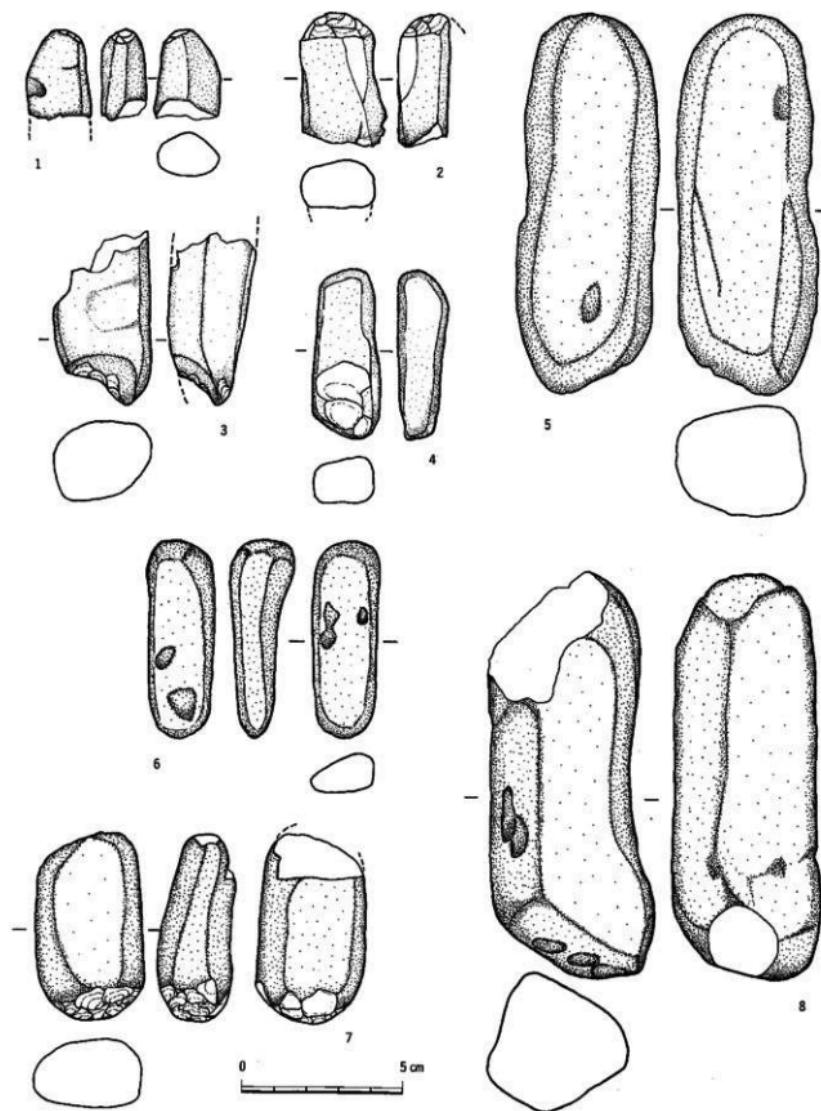
また、5・12・26・28・34・39・46・48・51などは赤変し、火を受けたことを示すのも注目される。



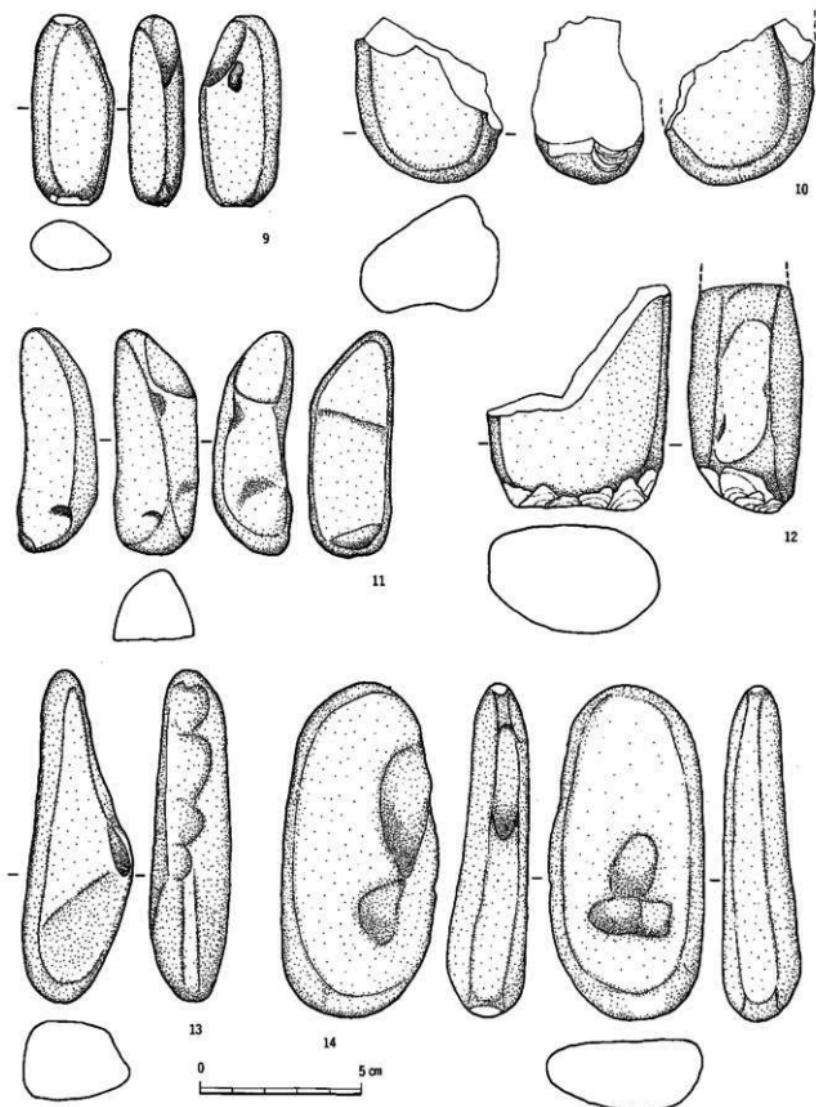
第42表 叩き石の長さと重さの分布表



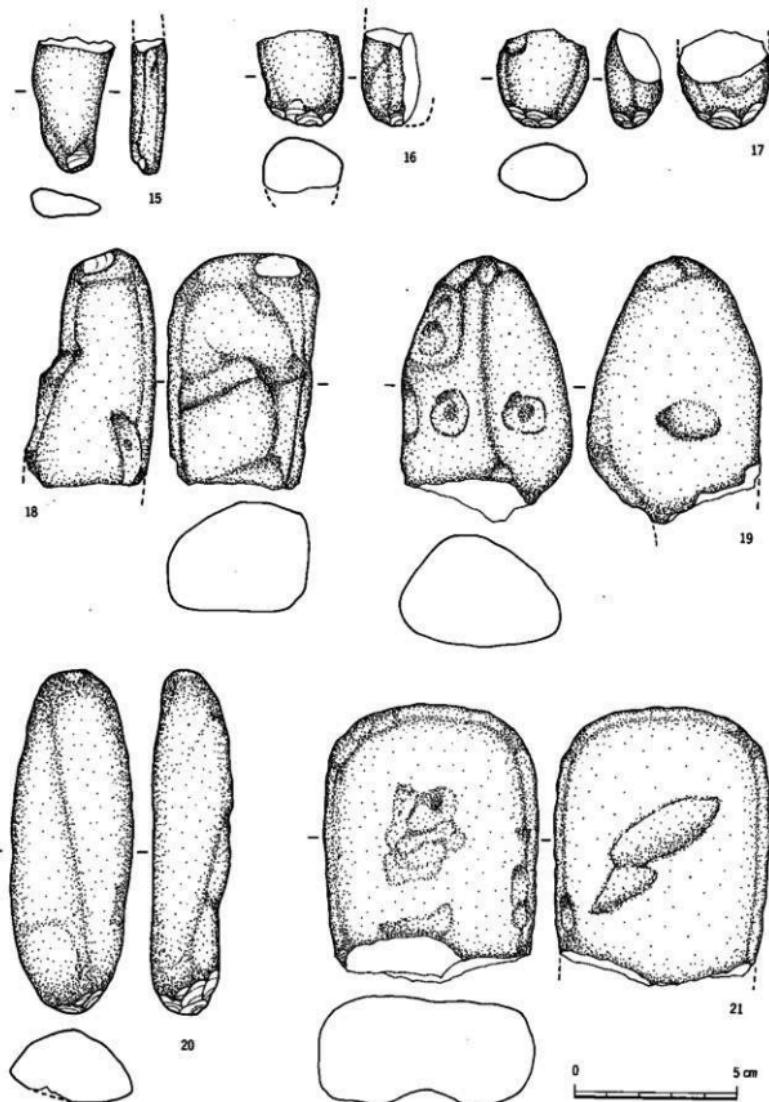
第41表 叩き石出土分布表



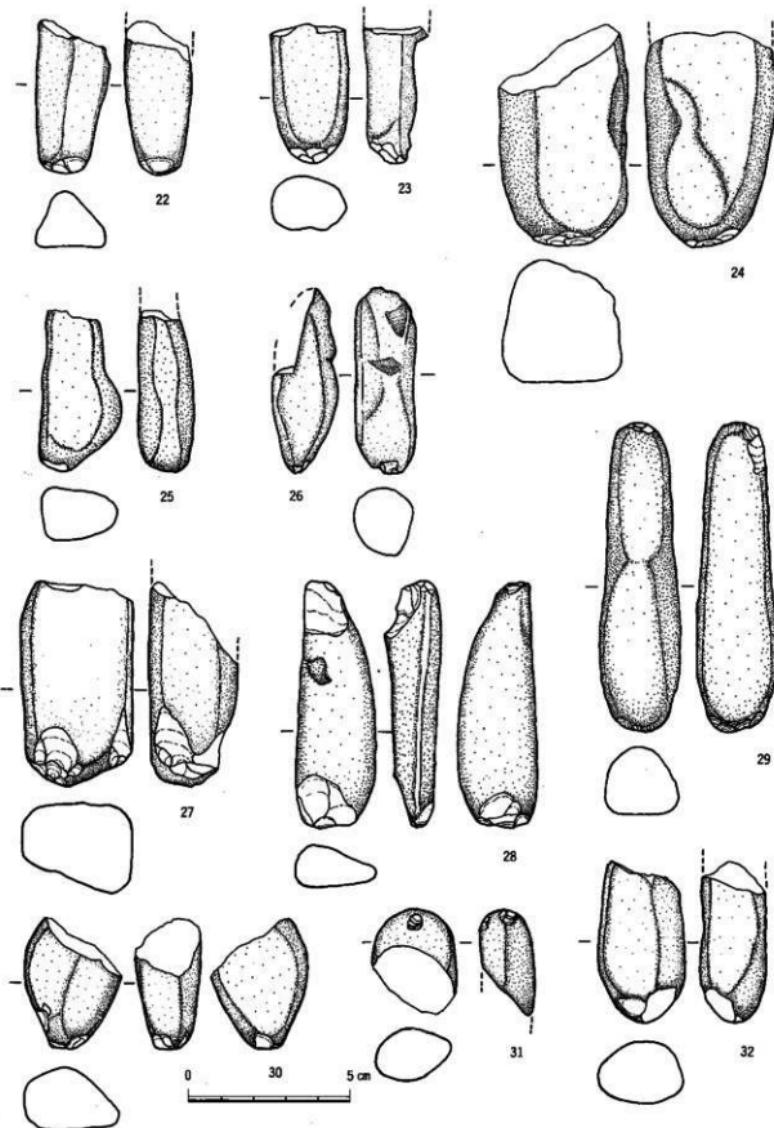
第 331 図 叩き石実測図 (1)



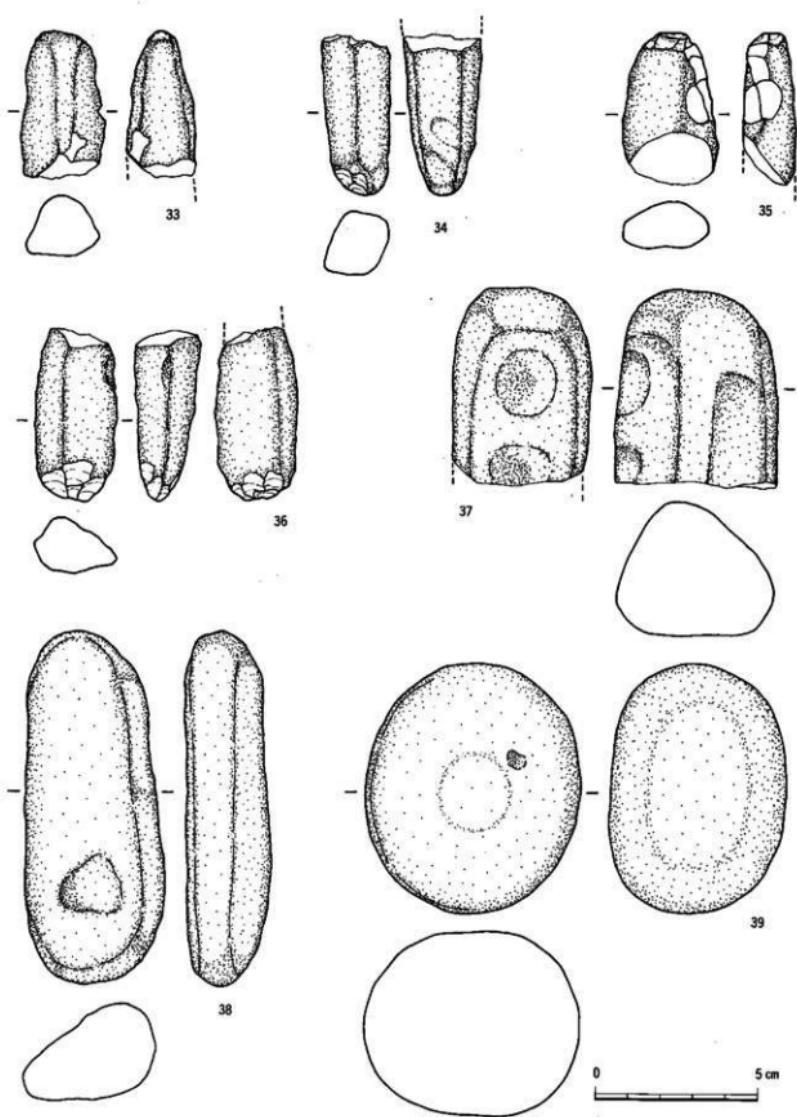
第 332 図 叩き石実測図 (2)



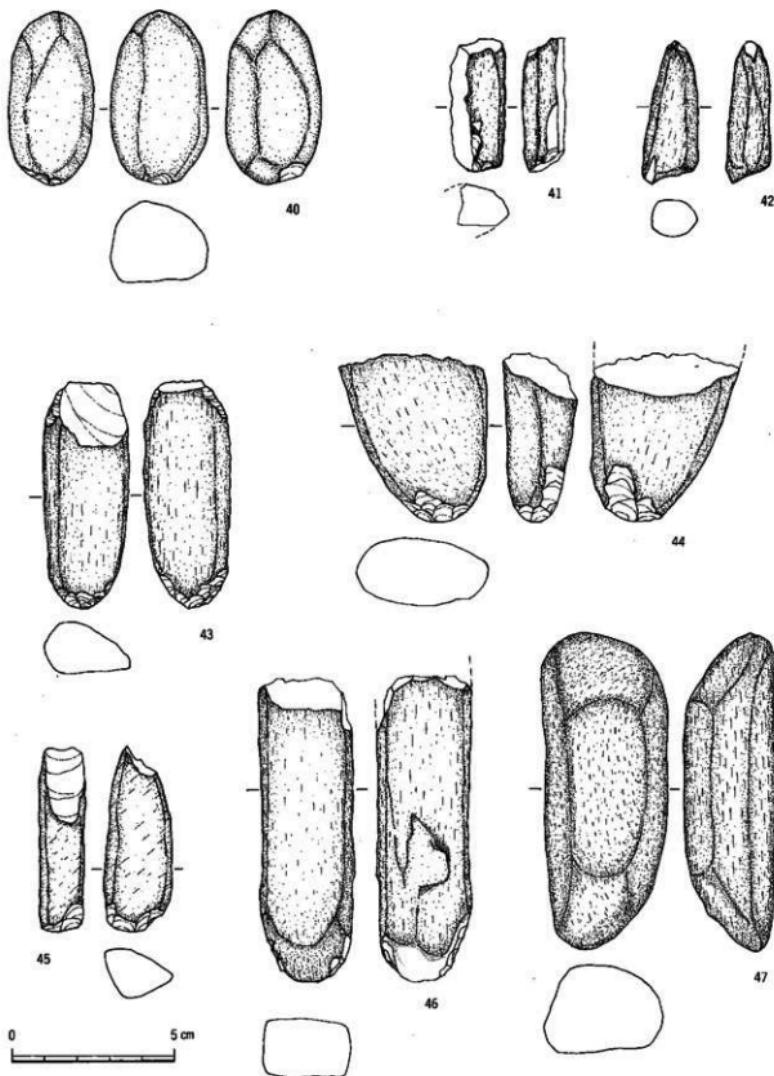
第 333 図 叩き石実測図 (3)



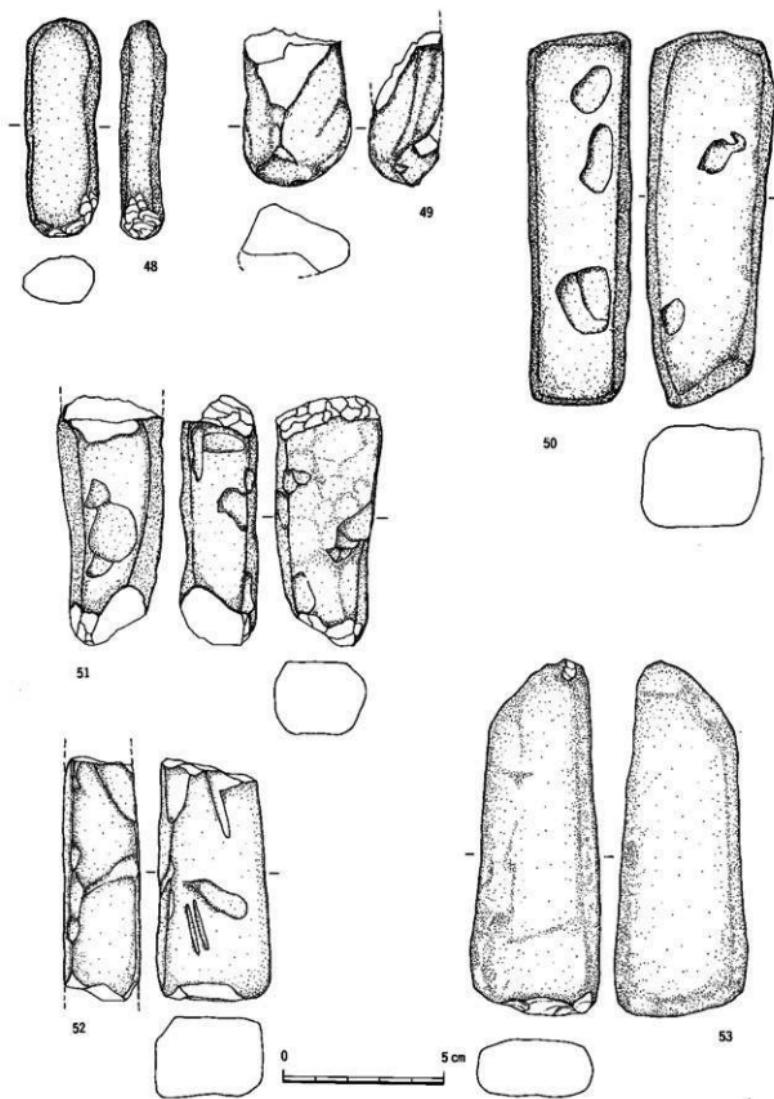
第 334 図 叩き石実測図 (4)



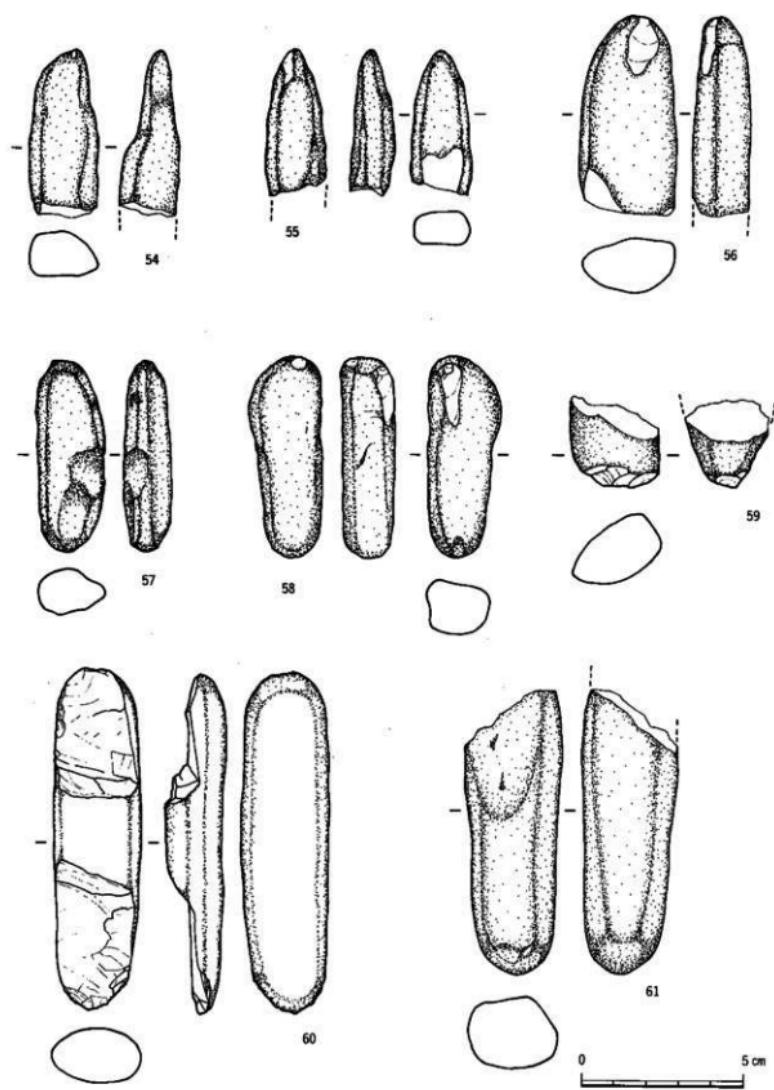
第 335 図 叩き石実測図 (5)



第 336 図 叩き石実測図 (6)



第 337 図 印き石実測図 (7)



第 338 図 叩き石実測図 (8)

## 第2節 繩文時代以降の出土遺物

旧石器時代の遺物に比べれば量は少ないものの、羽佐島遺跡からは縄文時代から近・現代に至る遺物も少なからず出土している。その中でも、ほとんどが縄文時代と思われる石鎌や古代・中世の土器は比較的多く出土した。これらの遺物は、縄文時代と考えられるC10-1南東部から出土した少数の土器・石器のほかは遺構に伴わず、旧石器時代の遺物と共に包含層から出土した。

### 1. 石鎌 (第340図～第347図)

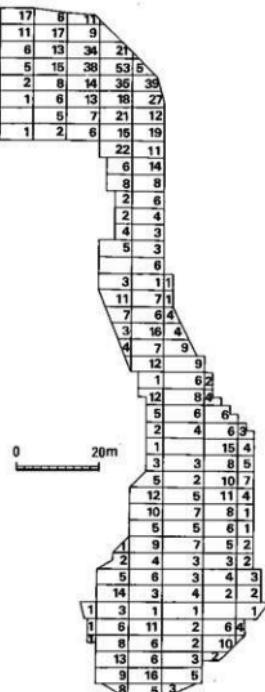
調査地区全域にわたって出土し、総数1,142点に達する。羽佐島遺跡では弥生時代の遺物がほとんど出土しないことから、多くは縄文時代のものと考えて良い。しかも、縄文時代前期以降の土器が見当らないことからすれば、これらの石鎌の大部分は縄文時代早期に伴う可能性が強い。黒曜石製1点(第341図89)・流紋岩製2点(第343図149・285)以外はすべてサヌカイト製である。

石鎌の出土が最も多かったのは調査地区北部にあるA37～A40-1～3で、この部分からは全体の26%にあたる294点が出土した。他にはこれほど集中する地点ではなく、グリッドによって増減はあるものの、全体をみればほぼ一様の密度で出土したといえる(第43表)。

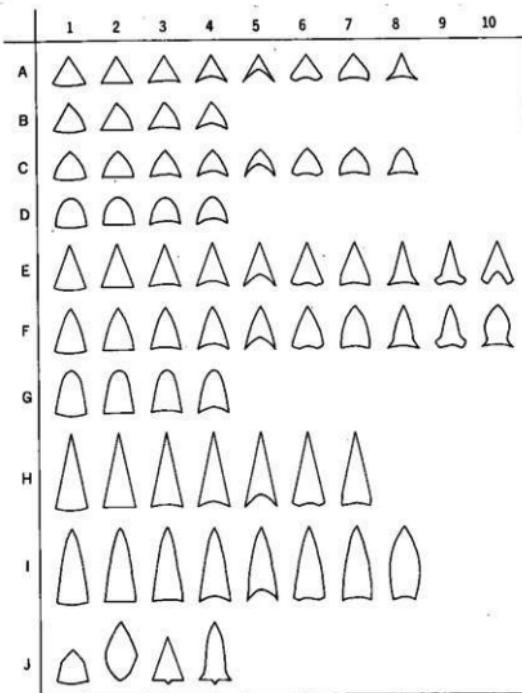
これを押型文土器の出土と比較すると、調査地区北部で石鎌が集中した部分からは押型文土器は出土していない。また、押型文土器が比較的集中したA2・3-1・2とA7-1・2、A8-1をみると、前者では石鎌もやや多い傾向をしめすものの、後者ではA7-2で14点出土している以外に際立った集中は認められない。したがって、遺物の包含状態などを別にして、発掘結果からする限りでは、押型文土器と石鎌との間に密接な関係は認められない。

今回の調査で出土した石鎌には様々な形がみられるが、それらは長さが幅の1.2以下しかなくほぼ正三角形を基本とするもの、長さが幅の2倍以下の二等辺三角形を基本とするもの、長さが幅の2倍以上の細長い二等辺三角形を基本とするもの、その他(J類)に大別することができる。そして、その他としたJ類を除くと、側縁が直線か外湾か、また、先端が尖るか丸くなるかによって、A類からI類に分類し、さらに基部の形によって小分類を行った<sup>註</sup>(第339図)。

A類(第340図1～第341図91)は、ほぼ正三角形を基本とし、先端が尖って体部の側縁が直



第43表 石鎌出土分布表



第339図 石鎚分類模式図

線となるものである。284点出土し、E類に次いで多く、全体の24.9%を占める。8類に細分したが、なかでもA2類が142点で最も多い。A3類・A4類はそれぞれ40~50点の出土で、この三者で8割以上を占める。A類は小形・軽量のものが多く、長さは1.4cm前後を度数分布のピークとしてほとんどが2cm以下である。ほとんどが重さ1g以下で、特に0.4~0.6gのものが7割程度を占める。最も軽いものは0.2gである。

B類（第341図92～第342図102）はA類とC類の中間的形態のもので、34点と出土も少ない。なお、B4類は図示していないが、1点出土している。なお、C5類・C8類以外は図示していないくとも出土している。

C類（第342図103～128）はA類の側縁が外湾するものである。なお、石鎚分類模式図（第339図）にみえるC5類とC8類は実際には出土していない。各個体の大きさ及び重さはA類に類似する。

D類（第342図129～131）は長さと幅の比率がA～C類と同じであるが、先端が丸くなるものである。14点と出土は少ない。

E類（第342図133～第344図222・224～第345図233）は長さが幅の2倍以下の二等辺三角形を

基本とし、側縁が直線となるものである。10類に細分した。309点の出土で、最も多い。これは全体の27.1%にある。これもやはりE 2類～E 4類が多く、全体の2/3程度を占める。E類はA類に比べてやや大形化しており、長さは1.9cm前後、重さは0.6g前後を度数分布のピークとしている。また比較的大形のE 6類～E 10類も全体の3割ほどあるため、A類ほど集中した度数分布を示さない。

F類（第344図223・第345図234～第346図284）はE類の側縁が外湾するもので10類に細分した。E類に比べると出土は少なく、136点出土した。長さ及び重量はE類に類似するが、やや大形化の傾向が認められる。

G類（第342図132）はわずか1点しか図示していないが、総数も少なく16点しか出土していない。また、132は一応G 2類としたが、不定形とすべきかもしれない。

H類（第346図285・286）も少なく、わずか19点しか出土していない。図示した2点は破損しているが、復元すると長さ4cm、幅1.7cm程度の大きさになろう。両者とも体部は細長く尖って基部の抉りは深く、両側下端部は逆刺となっている。285は流紋岩製である。

I類（第346図287～292）もH類と同じく19点出土したのみである。I 1類～I 4類・I 7類・I 8類があるが、I 3類・I 7類・I 8類のみを図示した。長さは2.75cm(289)から4.31cm(291)と長いが、基部の抉りは浅いものが多い。また、長さにともない重量も増加し、重さは1.2g(289)から2.4g(292)を量る。H類・I類は羽佐島遺跡出土の石鏃のうち、最も大形のものである。

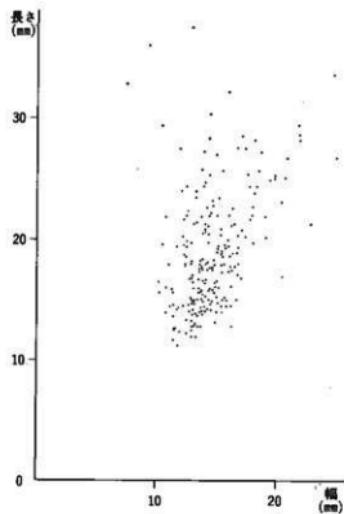
293はE類に含まれる石鏃であるが、一側縁はE 5類、他の側縁はE 9類の特徴を持つ。

294は基部を失った破片で、295は石鏃の未成品である。未製品は薄い剥片を利用して周囲から調整加工し、先端部をつくり出したところで放棄している。

J類（第347図296～299）には五角形状のもの1点、紡錘形のもの（296・297）4点、茎を持つものが11点出土した。この有茎石鏃は、二等辺三角形状の体部に短い茎を持つもの（298）6点と、基部を両横に突出させて小さな茎を持つもの（299）5点に細分できる。298・299とも茎は三角形状の小さなもので、両者とも器面は繩文時代と思われる他の多くの石鏃と同程度の風化である。

羽佐島遺跡出土の石鏃のうち、図示したものを取上げると、長さは128の1.13cmから291の4.31cmまで、重さは21の0.2gから235の4.3g+αまであるが、全体をみると長さは1.2～2.3cm（第44表）、重さは0.3～0.9g程度のものが大部分を占める。ちなみに重量でみれば、1g以下のものが約8割である。

これに対して、3g以上の重さを持つ石鏃は6点ある。このうち、紡錘形をした297を除くと、103・132・136・235・236は2.5cm以上の長さを持つ大形であるが、調整が粗雑で整美な外形をせず、幅広でぐらぐらしたものが多いための特徴を持つ。



第44表 石鏃の長幅比)

一方、197・233・285・286・287・288・291などは長さが3cmを越える大形であるが、調整が丁寧で左右対称の整美な外形を持つ石鎌をみると、最も重い287でも2.1gでありほぼ2g以下であることがわかる。このようにみれば、103・132・136・235・236などの一群は、調整・外形・重さなどの特徴が共通し、前述した分類とは別に考えなければならないようである。

#### 註

実際に行った分類結果からすると、中間的な形態のものや、例えば小分類の4・6・7の区分などは主観的な部分が認められる。また、小分類の4~10については基部の形態からさらに細分できるが、数量が多くなかったことから、ここではあえて細分しなかった。

## 2. 繩文時代の石器（第348・349図）

石鎌・有舌尖頭器・石槍・削器・石匙・石錐・矢柄研磨器が出土した。石鎌は1142点ときわめて多いが、他の石器は少ない。有舌尖頭器と、時期の限定しにくい削器・石錐は旧石器時代の石器の中で紹介したので、ここではそれ以外の石器を紹介する。

### 〈石匙〉

5点出土し、下端部が折損した第348図5は縦型と思われるが、他は横型である。いずれも板状の素材を用い、頭部につまみ状の突起を持つ。2・4は刃部の一部を欠失する。刃部は片面加工である。1・5は三角形状の体部の下辺に両面加工の刃部を持つ。1は整形加工によってつまみ状突起を作り出しが、5は偶然の割れによって出来上ったつまみ状突起を利用している。3は下端部を欠失した縦型の石匙と思われる。一方の側線には両面加工の調整を持ち、他の側線には自然面を残す。

### 〈矢柄研磨器〉

4点出土した。いずれも破片で、結晶片岩製が2点（6・8）・砂岩製が2点（7・11）である。片面（7・11）、あるいは両面（6・8）に幅0.7~1.2cm、断面半円形の溝を2~3条彫りこんでいる。砂岩製の7・11は風化が著しいが、結晶片岩製の8の溝は磨滅のため表面がなめらかになっている。8の溝が最も長く、5.3cmほど残っている。

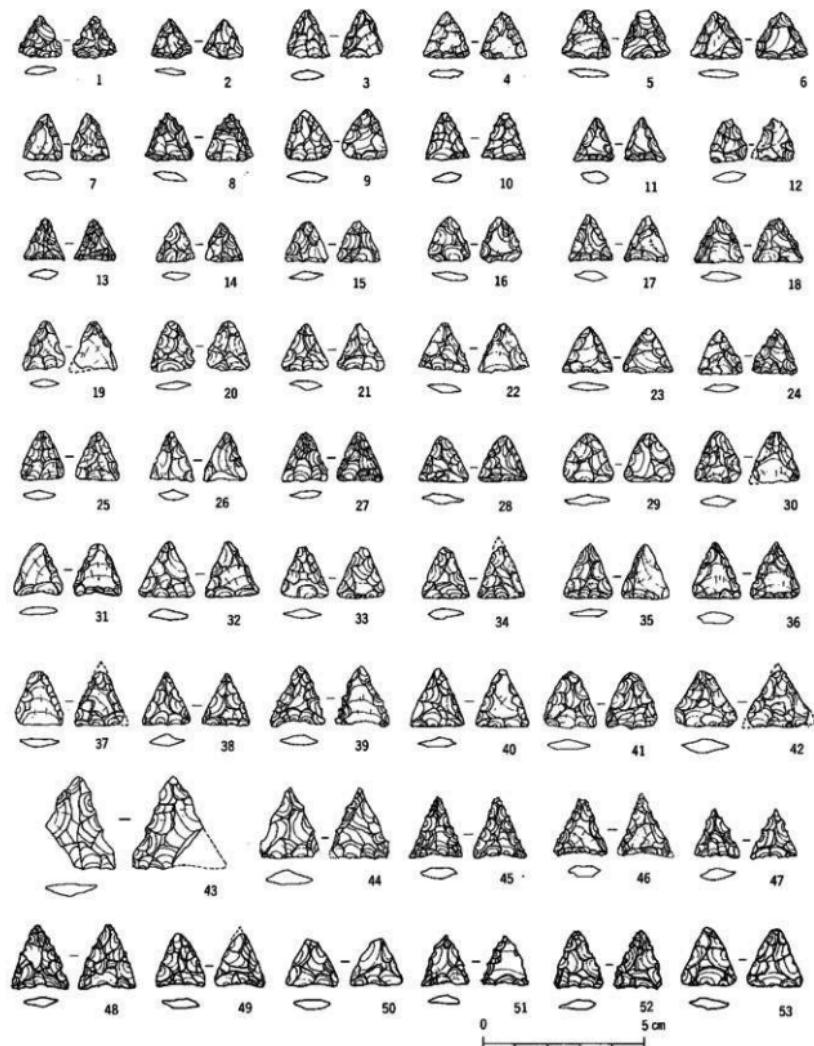
### 〈石錐〉

扁平な結晶片岩の円盤を用い、両端を打欠いてわずかに抉っている。

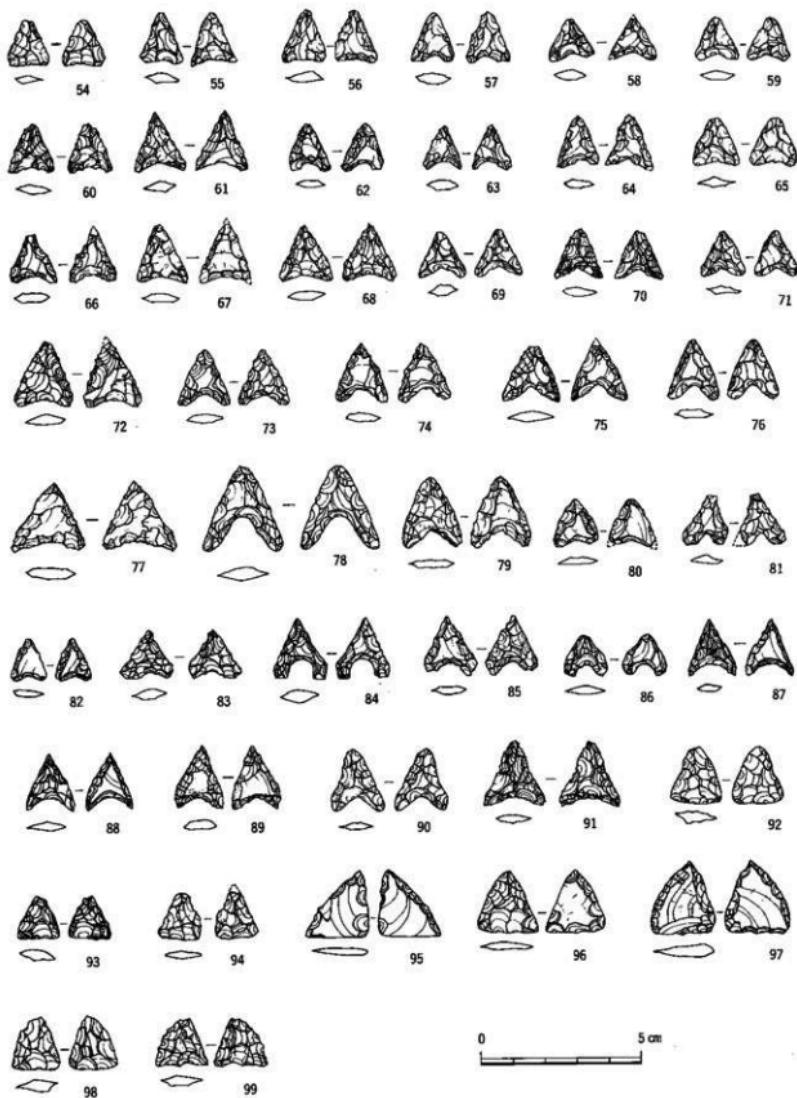
### 〈石槍〉

C10-1 南東部の炭化物出土ピットの直上から出土した。この遺構に伴う可能性が強いものと思われる。先端部を欠失するサヌカイト製の石槍で、現存で長さ18.9cmを計る。復元すると、20cm程度になろう。基部は幅約2cmで体部からそのまま続き、体部中央までゆるやかに幅広となり、最大幅3.3cmを計る。体部中央で若干くびれるようにして狭くなり、そのまま徐々に先端に至る。両側から対向する押圧剝離を両面全体に施している。

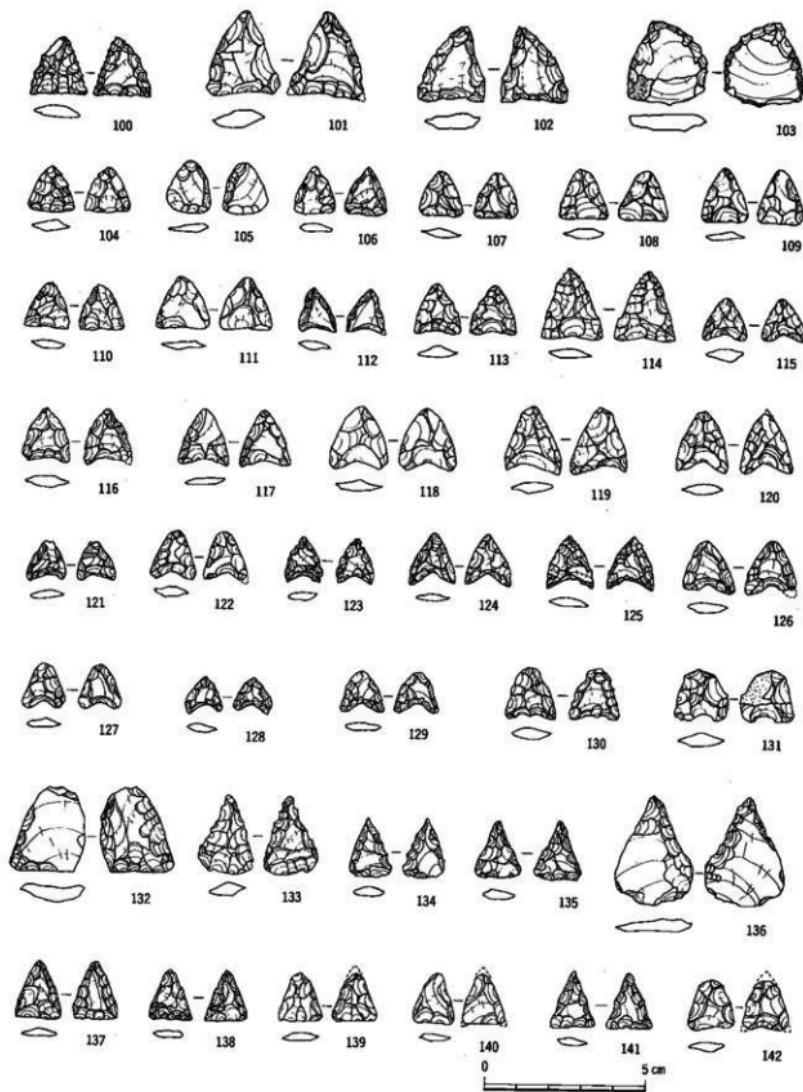
羽佐島遺跡では時期の明らかな繩文土器には早期の土器しか見当らないこと、この石槍が伴う可能性の強いピットからは押型文土器と胎土焼成が同じ無文土器片が出土していることなどから、繩文時代でも早期頃までに比定されよう。



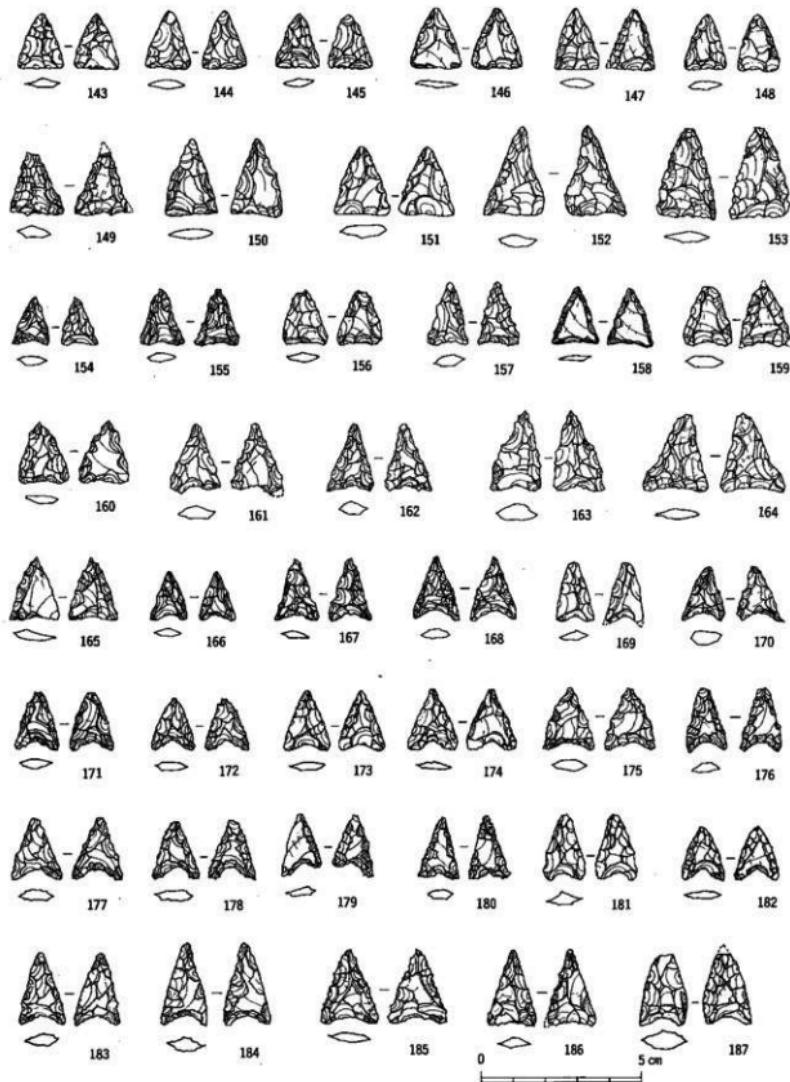
第 340 図 石炭実測図 (1)



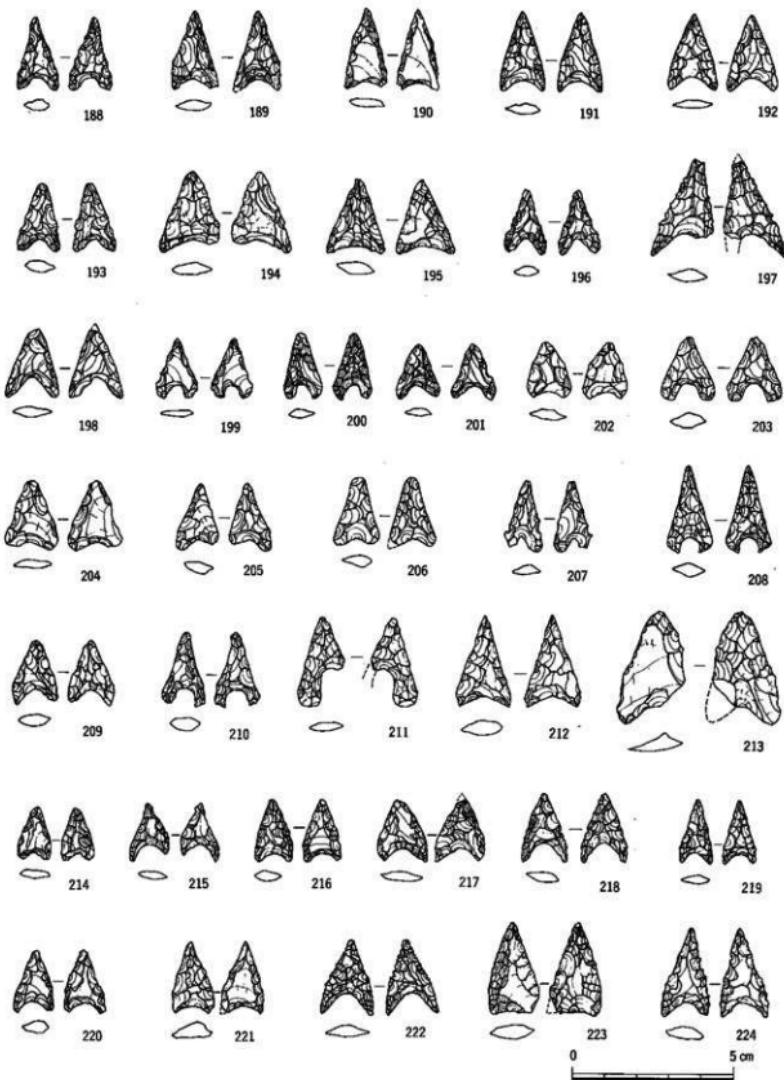
第 341 図 石炭実測図 (2)



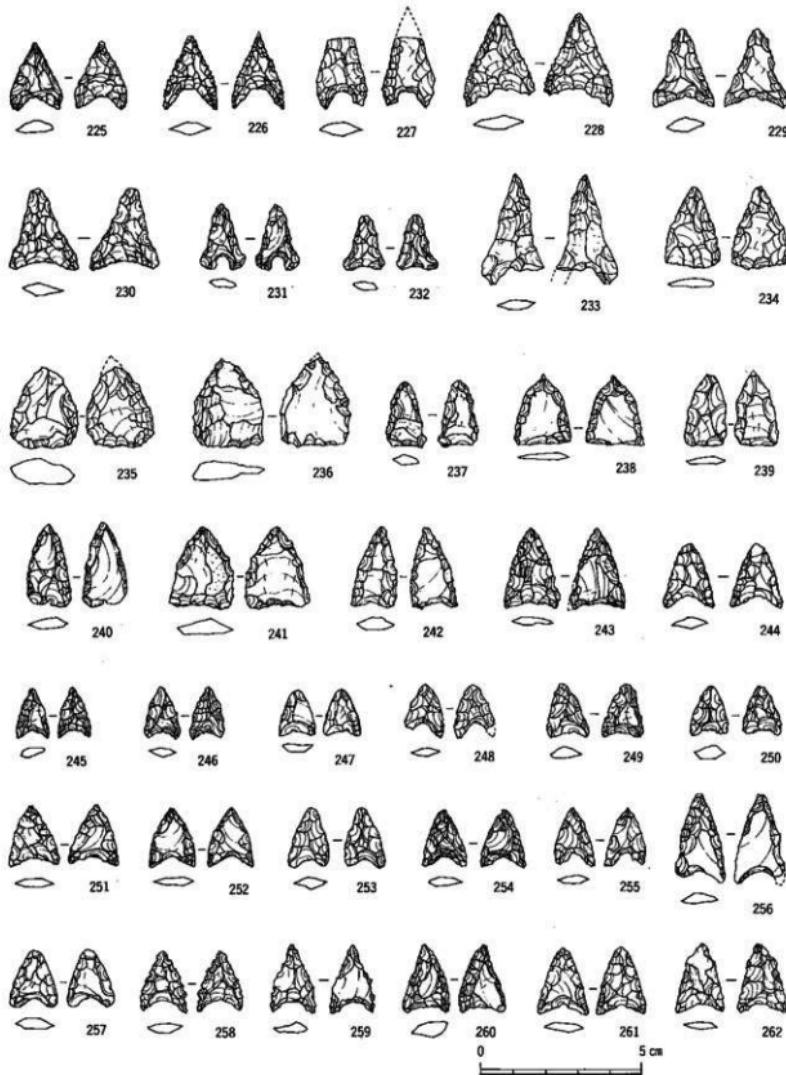
第 342 図 石雄実測図 (3)



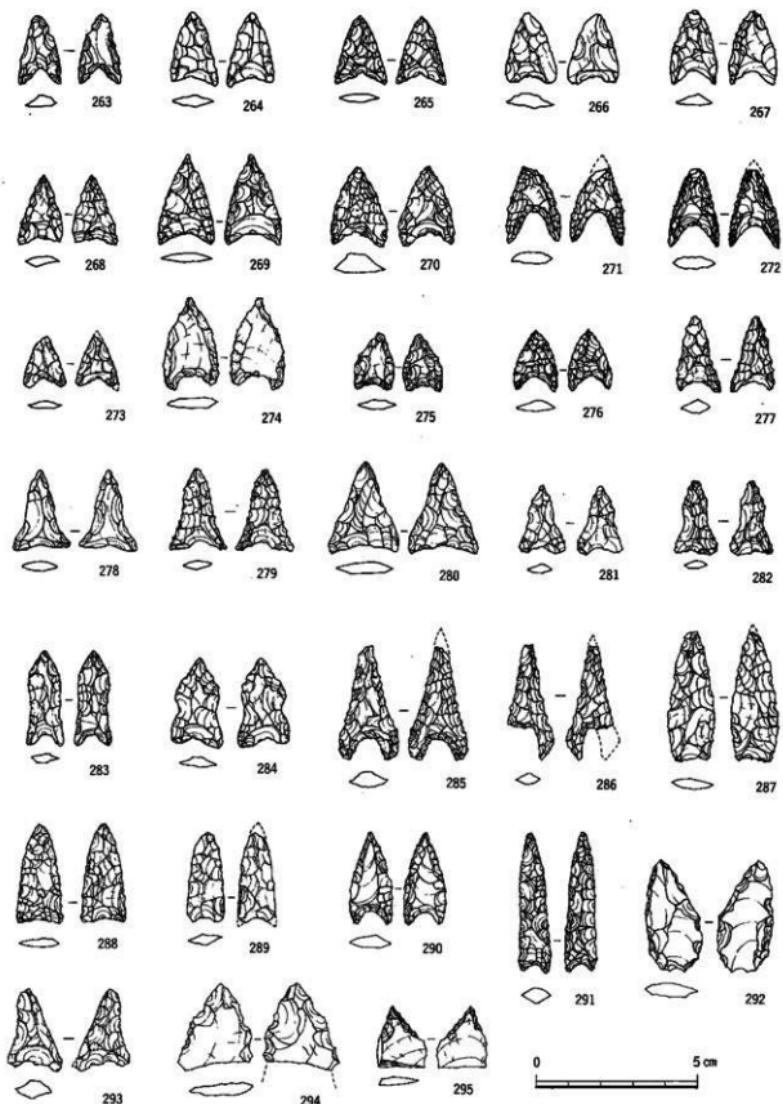
第 343 図 石鱗実測図 (4)



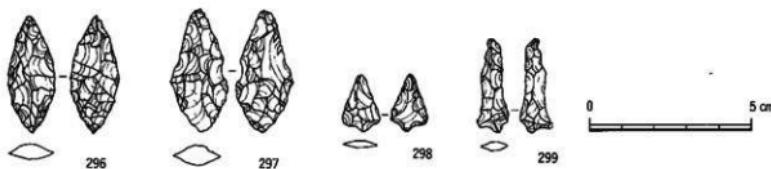
第 344 図 石猿牙測図 (5)



第 345 図 石猿実測図 (6)



第 346 図 石器実測図 (7)



第347図 石鎚実測図 (B)

### 3. 土器類・その他 (第351図～第354図)

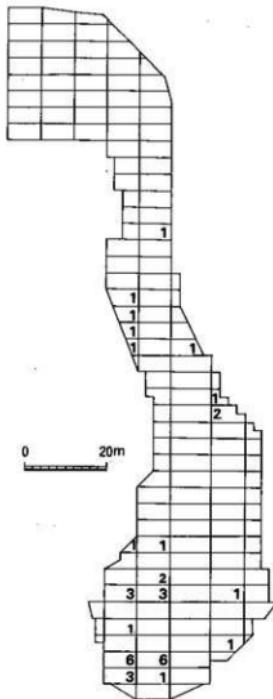
#### 〈縄文土器〉 (第351図1～9)

1はC10-1南東部のピットから出土した無文土器である。口縁部は直線的に開き、上端は平坦な端面を持つ。内面は灰褐色で平滑に仕上げている。暗灰褐色の外面は器面の剥離が著しいのではっきりしないが、径2mm、深さ1～2mm程度の刺突がまばらに施されているように見える。器壁は4～5mmの厚さで、胎土には1mm大の砂粒を多く含む。

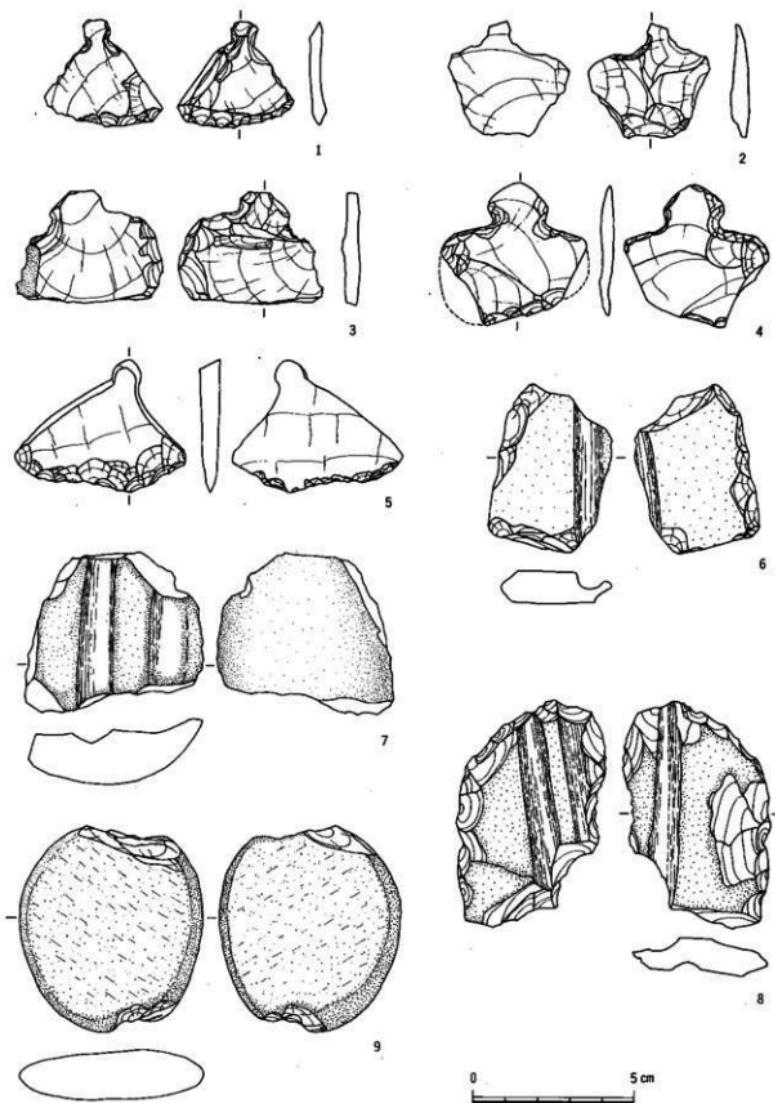
無文のため、この土器の時期ははっきりしないが、ピット内から縄文時代のものと思われる小形の石鎚が出土していること、ピットの直上から押圧剥離の著しい長大な石槍が出土していること、羽佐島遺跡の今回の調査では早期の押型文土器以後の確実な縄文土器が見当たらないことなどから、早期を下ることはないと想われる。

2～7は押型文土器片である。押型文土器は出土グリッドの明らかなものが38点あるが、調査地区南部に多く北部からは出土していない(第45表)。このうち、大形楕円押型文土器は14点あり、A2-1・2、A3-1・2からまとまって出土している。これ以外にみられないことから、これらは同一個体である可能性が強い。また、小形楕円押型文土器はA7-1・2から4点出土したほかは、A21-2で1点出土しているのみである。これに対して、山形押型文土器は調査地区南部から中央部にかけて散在した出土状況を示す。

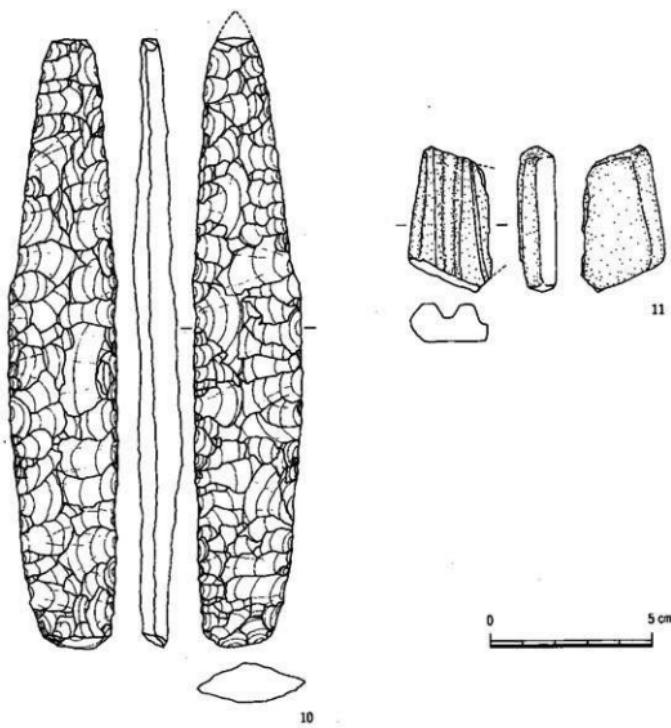
2・3は長径12mm、短径7mm程度の大形の楕円押型文を持つ破片で、他の押型文土器片に比べて厚手である。器壁の厚さは1cmを越え、胎土には1～5mm大の砂粒を多量に含む。4は口縁部の破片で長径5～6mm、短径3mm程度の小形の楕円押型文を持つ。器壁は約5mmで、山形押型文土器片と等しい。



第45表 押型文土器出土分布表



第 348 図 縄文時代の石器実測図 (1)



第349図 縄文時代の石器実測図 (2)

5は凹形の連続山形押型文と思われるが、あるいは小形横円押型文を連続させたものとすべきかもしれない。6・7は連続山形押型文を持つ破片であるが、7の山形文は6に比べて低くゆるやかであり、明らかに別の施文原体を用いていることがわかる。8は横走する無軸絞杉状の刺突文を施す。9は厚手の破片で、磨滅のため不明瞭ながら外面に条痕文が認められる。

以上の土器は淡灰褐色～灰褐色を呈し、胎土に砂粒を多く含む。

#### 〈弥生土器〉(第351図10)

弥生土器の出土はきわめて少なく、図示した個体以外に確実なものは出土しなかった。出土したのは無頬壺で、復元口径約9cmを計る。口縁下に4条の凹線をめぐらし、さらに肩部外面にはヘラ状工具による2条の刻み目をめぐらす。体部外面はタテハケによる調整を施し、内面には指頭痕が残る。口縁部に直径5mmほどの孔を持つが口縁部が一周しないために数は明らかでない。内面は灰褐色、外面は暗灰褐色を呈し、やや軟質の焼成で胎土に1～2mmの砂粒を少量含む。弥生時代中期後半の凹線文が発達した時期に比定される。

### 〈須恵器〉(第351図11~14)

140点ほどの須恵器が出土したが、小破片が多く古墳時代のものの存在は土師器と共にはっきりしない。

11は高台付の杯蓋のつまみである。12・13は杯身で、外方にふんばる低い高台を持つ。いずれも8世紀代のものであろう。11・12は磨滅が著しい。14は片口の口縁部<sup>註11</sup>である。復元口径は約27cmであるが、小破片からの復元のため、口径・器体の傾きとも不確実である。内外面とも灰色を呈するが、口縁部の垂直な端面のみ暗灰色となっている。軟質の焼成で胎土には1~2mm大の砂粒を少量含む。

### 〈綠釉土器〉(第351図15・16)

綠釉土器は14点出土した(第46表)。いずれも小破片で、3列から22列、つまり調査地区南部から中央部での散漫な出土である。

15は口縁部で、灰色を呈する須恵質の胎土の内外面に薄い綠釉が施されている。口縁部は大きく外反し、口径は12cmを計る。体部内面に小さな段を有する。

16は外方にふんばった高い高台に内湾する体部をもった綠釉土器で、高台の直径約7cmを計る。内底面近くに小さな段を持つ。内外面とも全面に綠釉がかけられているが、外面は薄くて灰色ぎみの緑色を呈し、高台内部の釉は非常に薄い。15・16とも胎土には砂粒を含まず、灰色硬質の焼成である。内外面ともヨコナデ調整が認められる。なお、綠釉土器には淡褐色・軟質の胎土に綠釉を持つものがある。

### 〈輸入陶磁器〉(第351図17・18・第352図19~32)

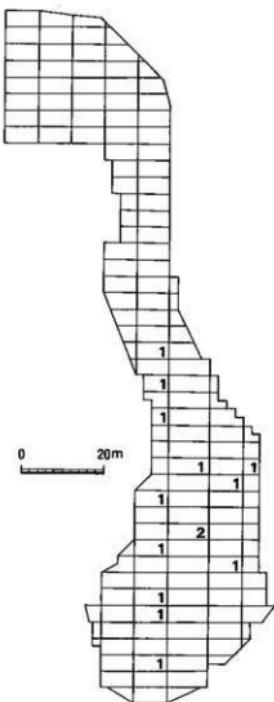
白磁59片・青磁15片がある。調査区域の全体から出土したが、調査区南部の北半や北部の北半にやや集中する傾向が認められる。

横田賛次郎・森田勉氏の分類案<sup>註12</sup>に従うと、白磁碗にはII類(17)・IV類(18~23・27)・VIII類(24)・V類があるが、IV類が16点でほとんどを占める。白磁皿(25・26)は11点あり、V類ないしIV類であろうと思われる。さらに、白磁四耳壺と思われる破片も1点出土している。

青磁碗には、同安窯系I-1・b類、龍泉窯系I-6類、雷文帶蓮弁文(29)、無文(30)などがあり、碗以外には輪花皿(28)・壺底部(31)がある。

30は青色味を含んだ明るい灰緑色の釉をもち、29の釉と類似する。31は外面に薄い灰緑色の釉が施されている。32はわずかに青緑色味を含む潤った淡灰色の釉を内外面に施す。胎土は淡灰色を呈し、精良である。類例に乏しく、産地も明らかでない。

輸入陶器の多くは12世紀前後のものであるが、青磁輪花皿(28)・碗(29・30)などは15~16世紀に下るものである。<sup>註13</sup>



第46表 緑釉土器出土分布表

### 〈黒色土器〉(第352図34)

黒色土器もごくわずか出土している。

34は椀の高台部で、内面は灰黒色、外面は淡褐色を呈し、胎土は精良で焼成も良好である。内面にはヘラミガキが施されているようであるが、磨滅のため詳細は明らかでない。

### 〈瓦器〉(第352図33・35~39・第353図41・45)

椀(33・35~37・45)・小皿(38・39)・ミニチュアの土釜(41)などが出土している。椀以外の出土はきわめて少ない。椀の体部破片には、内側に幅広い粗い暗文が施されたものが多く、これらが和泉型<sup>註4)</sup>であることを示している。

33の体部内面の暗文はやや密である。内底面は磨滅が著しいためにはっきりしないが、もともと暗文が施されていない可能性もある。35~37の内底面には平行の暗文が施されているが、37の暗文は粗い。小皿(38・39)のうち、38は磨滅が著しいため明らかでないが、39の内面にはやや幅広の粗い暗文が認められる。38のみ胎土が淡黄褐色を呈するが、他の椀・小皿は灰白色の精良な胎土を持つ。41はミニチュアの土釜で、口径7cm、鍔の直径9.4cmを計る。口縁部は直立し、底部は浅い。内外面灰黒色を呈し、鍔の下面には型押しの円形文を持つ。

### 〈瓦質土器〉(第353図40)

数点しか出土していない。復元口径12.2cmの椀で、灰白色の胎土の口縁部内外面のみ灰黒色に焼す。軟質の焼成で、外面は磨滅している。

### 〈土師質土器〉(第353図42~44・46~68)

土師質土器の出土は多かったが、これも小破片となり磨滅したものがほとんどであった。

椀(42~44・46~50)には器形の全体を知りえるものはない。42は復元口径約15cmで、浅い器形环部をもつ。器面は磨滅が著しく、口縁部外面にわずかにヨコナデが認められる。

底部には5mm以下の低い高台を持つもの(44~46)、5mm以上の直立した高台を持つもの(48~49)、それが外方にふんばるもの(43・47)、小さくて1cmを越える高い高台を持つもの(50)など、多様なものがあり、時期も一定しないものと思われる。

壺(51・52)のうち、51は椀に似た内湾する体部をもち、52は平底から急角度で立上る体部を持つ。いずれも器壁は磨滅が著しい。

小皿(53~63)には直径7~9cm、高さ1.5cm前後のもの(53~61)と、直径約9cm、高さ1cm前後で体部が大きく外反したもの(62・63)がある。調整が明らかなものは、いずれも体部内外面はヨコナデ、底部外面にはヘラ切りが認められる。外底面の砂粒は、逆時計まわりに移動したものがほとんどであるが、56は時計まわりの可能性がある。54の口縁部内外面の一部にはススが付着し、62の外底面には板目もわずかに認められる。

土釜(64~68)の口縁部をみると、断面四角形の高く突出した鍔が低い位置にめぐるもの(64)から、口縁部近くに断面三角形の低い鍔がめぐるもの(67)まで、さまざまなタイプのものが出土している。口縁部の外面と鍔の上下をヨコナデで調整するが、66・67には鍔のやや下部に指頭痕が残る。また、68の鍔のやや下部には平行の叩き目が施され、67・68の鍔より下の外面にはススの付着が認められる。

### 〈備前焼〉(第354図69)

壺と摺鉢の破片が少量出土している。

69は16世紀前半頃の摺鉢で、口縁部は高く直立てて凹線などの装飾を持たず、その下端に小さな凸帯をめぐらして体部に至る。体部内面には6本を単位とする溝が施されている。

### 〈土製品〉(第354図70・71)

70は直径4~4.2cm、厚さ7mmの円盤形である。表面は磨滅が著しく、土器片の加工の可能性もある。重さは13.6gをはかる。71は直径約1.8cmの球形を呈し、重さは5.3gである。

### 〈鉢壺〉(第354図72)

器高9cm、口縁部の直径5cm、胴部最大径6.2cmを計る。内部は約4×6cmである。上部に紐孔をもち上端にはこれと直角に溝がつけられている。胴部に破損による孔をもち、表面には貝殻の付着が認められる。なお、鉢壺は破片ともで10点ほど出土している。

### 〈土錘〉(第354図73~87)

有溝土錘(73~78)が17点、棒状両孔土錘(79)が1点、管状土錘(80~87)が46点出土した。

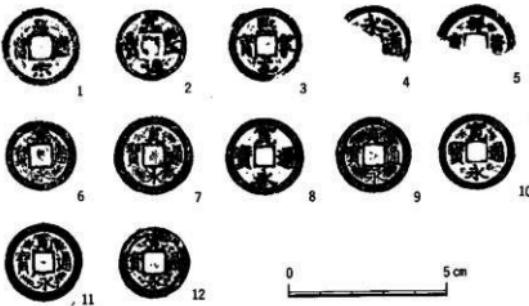
有溝土錘のうち、73・74は大形で復元すると330g程度の重量を持つ。75~78は軽量となり、75で約55g、78で22.8gである。これに対して、棒状両孔土錘と管状土錘はさらに軽量となり、79は15g程度の重さに復元される。

管状土錘のうち図示したものでは、83が最も軽くて3.8g、80が最も重くて16.9gを量る。細長いタイプの84~87は、84・87の10.2gから、86の13.3gの重さである。

### 〈古銭〉(第350図)

中国銭7枚・寛永通宝7枚・鉄錢1枚、さらに戦前の通貨である1銭銅貨3枚・半銭銅貨1枚が出土した。戦前の銅貨は明治13年から昭和10年までの鋳造である。

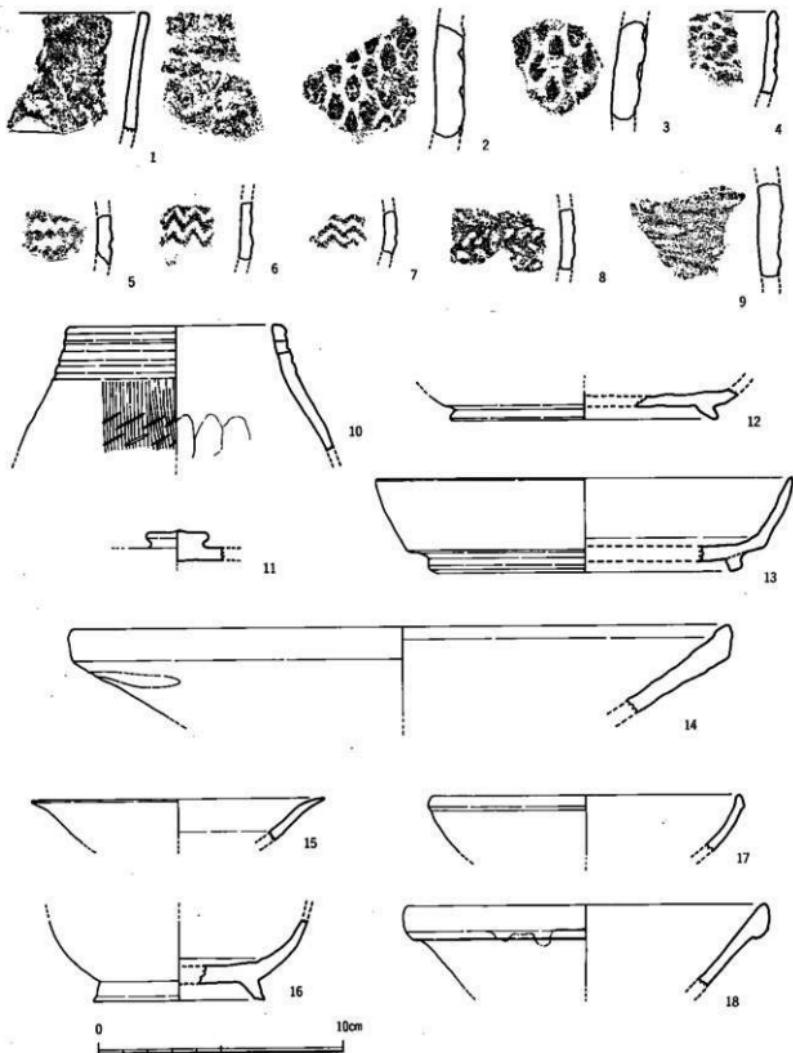
第350図1は圓宋通宝(初鑄1039年)、2は元豊通宝(初鑄1078年)、3は熙寧元宝(初鑄1068年)、4は永樂通寶(初鑄1408年)、5は祥符通宝(初鑄1008年)であり、このほかに中国銭と思われるものが2片ある。また、鉄錢は鏽のため文字が判読できない。6~12は寛永通宝であるが、裏面はいずれも無文である。



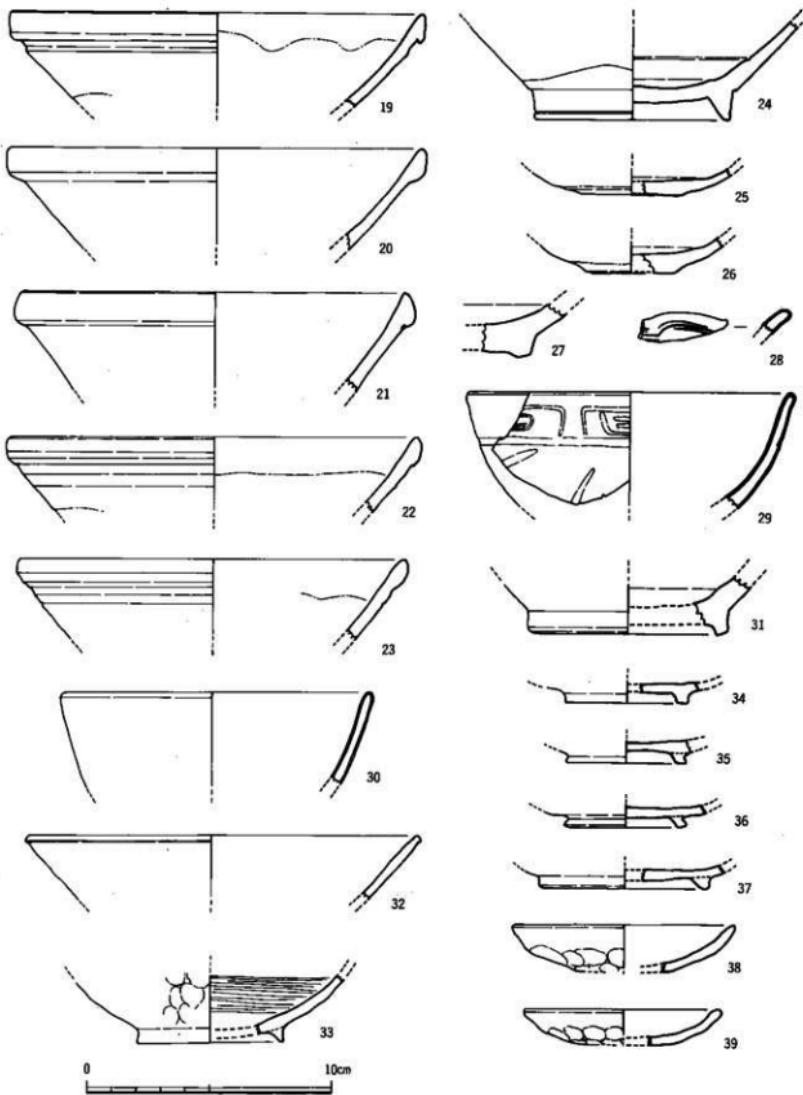
第350図 古銭拓影図

### 註

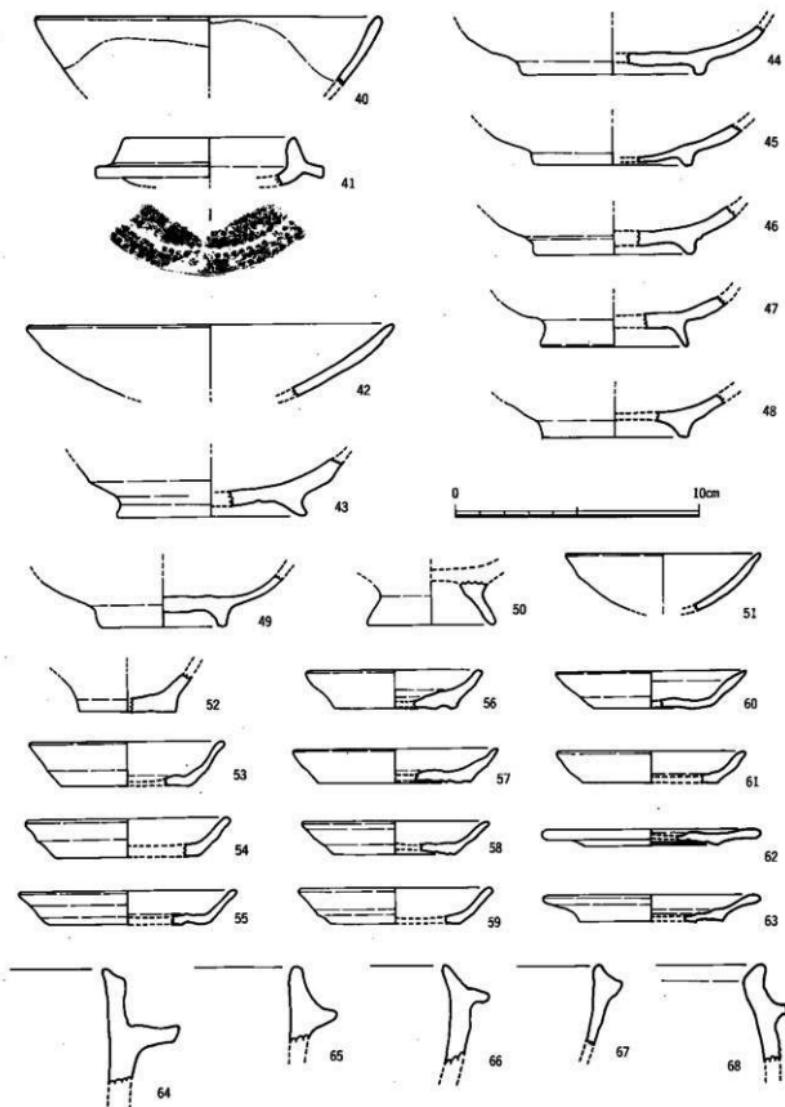
- (1)同一個体と思われる片口部分の破片も出土
- (2)横田賛次郎・森田勉「大宰府出土の輸入中國陶磁器について—型式分類と編年を中心にして—」『九州歴史資料館研究論集』4 1978 九州歴史資料館
- (3)渡部明夫「讃岐出土の輸入陶磁」『森貢次郎博士古稀記念古文化論集』 1982
- (4)橋本久和「瓦器焼の地域色と分布」『讃河泉文化資料』19・20 1980 讀河泉地域史研究会



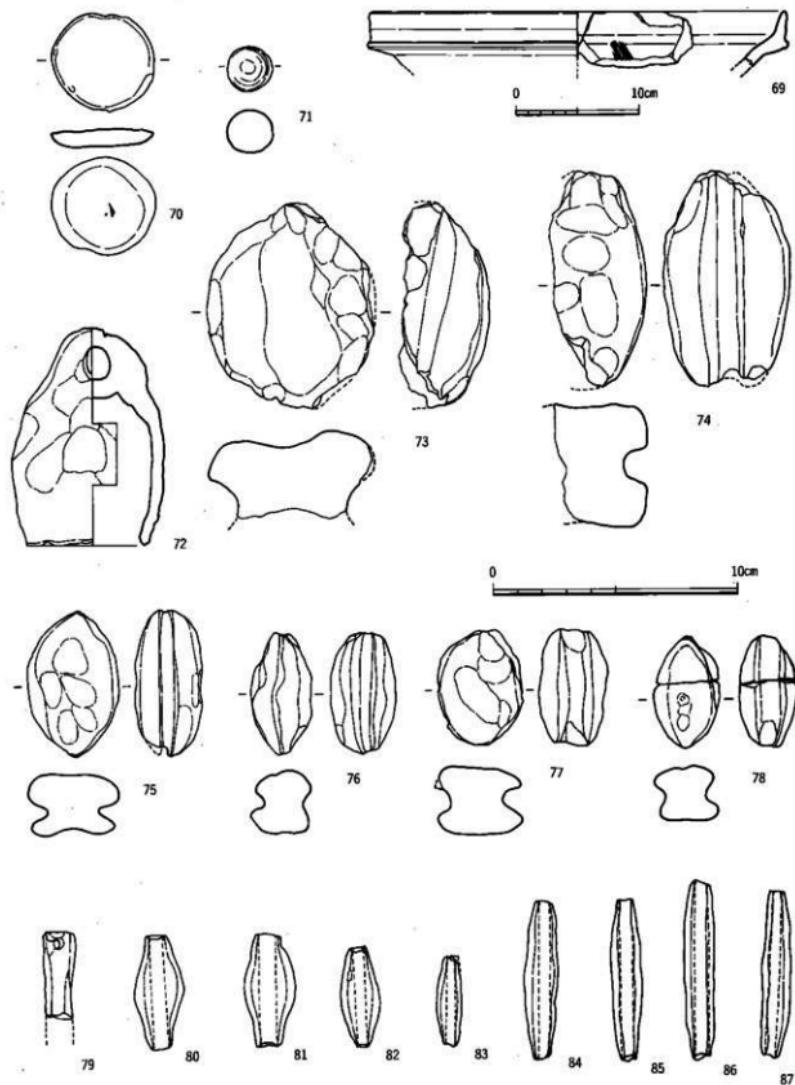
第 351 図 羽佐島出土土器実測図 (1)



第 352 図 羽佐島出土土器実測図 (2)



第 353 図 羽佐島出土土器実測図 (3)



第 354 図 羽佐島出土土器・土製品実測図 (4)

## 第5章 おわりに

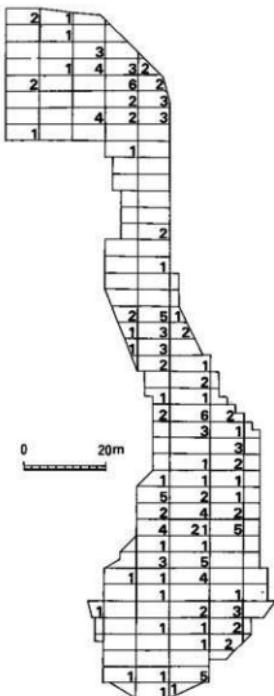
昭和53・54年度に実施された羽佐島遺跡の発掘調査は前章までに紹介したとおりであるが、ここでは調査全体の簡単なまとめを行って結びとしたい。

今回の発掘調査では4,254m<sup>2</sup>に及ぶ広範囲の調査地区を発掘したにもかかわらず、遺物の層位学的な検出はできなかった。これは、羽佐島遺跡が尾根上に立地するため、土層の堆積作用が行われず、遺物包含層がすべて花崗岩風化残留土<sup>註1)</sup>からなることによるものと考えられる。

発掘によって、土器片や石鎚・細石核などが第III層までに多い傾向は指摘できるものの、第IV層下部からナイフ形石器と共に出土することも少なくなく、また、横長剥片利用のナイフ形石器や国府型ナイフ形石器・縦長剥片が層位的に出土する傾向も認められなかった。羽佐島では遅くとも近世初頭以後に耕作が行われていることから、こうした遺物の二次的な移動に人為的な側面があることは認められるが、それと共に木根の作用による土層の擾乱、遺物の沈降なども考えられている。

しかしながら、両面加工の彫器と共に伴うスバル（第19表）や、玻璃質安山岩（第7・8表）・黒曜石（第5・6表）・流紋岩と思われる石材（第47表）など、出土点数が比較的少ない遺物の中には、地点によって出土が特に集中する傾向を持つものがある。このうち玻璃質安山岩製遺物をみると、総数548点のうち、C16-1から43点、C16-2から19点、C17-1から22点が出土して、この地点に特に多い。しかもこの地点の出土遺物の中には剥片・碎片のほかに原石・細石核素材・細石核・細石刃・ナイフ形石器などがあることから、ここで玻璃質安山岩製の細石刃を製作したことは疑いないであろう。したがって、こうした遺物の集中は後世の擾乱のために各遺物の出土層位が一定でなく、範囲も明確にし難いえに必ずしも一時期のものであるとは限らないが、旧石器時代の状況をある程度伝えるものとして注目される。

一方、ナイフ形石器や翼状剥片・縦長剥片石核など、出土点数の多い遺物にも同様な出土傾向が認められたが、集中の規模が大きいことからみて、長期にわたって数多くのブロックが重なった結果形成されたものであろうと思われる。器種による集中傾向をみると、翼状剥片石核を含む横長剥片石核・翼状剥片・ナイフ形石器は互いに類似し、縦長剥片石核と縦長剥片はこれと異なり、尖頭器に近い分布を示



第47表 流紋岩製造物出土分布表

す。こうした分布の相違がそれぞれの時期の違いを反映している可能性があるが、一方では、国府型ナイフ形石器と横長剝片利用のナイフ形石器に顕著な分布の違いが認められないなど、単に時期の違いだけで説明することも困難である。

今回の発掘調査で出土した旧石器時代遺物は膨大な点数にのぼるが、その中で両面加工の彫器とこれに伴うとみられるスパールはこれまで中部瀬戸内地域で確認されていなかったものである。サヌカイトを用いていることやスパールを伴うことから、これらが搬入品ではなく、この地域で製作されたことは明らかであるが、出土点数が少ないとからあまり盛行したとは考えられない。また、出土状態からは時期を限定することはできなかつたが、両面加工技術の類似から、尖頭器と共存する可能性が高いものと思われる。

ナイフ形石器についてみると、翼状剝片石核それ自体に変化が認められるほか、横長剝片の剝離と共存するものがあるので、これらの剝片もナイフ形石器に加工されたとすると、国府文化期における国府型ナイフ形石器の多様さと同時に、少數の横長剝片利用のナイフ形石器の存在を考えなければならない。

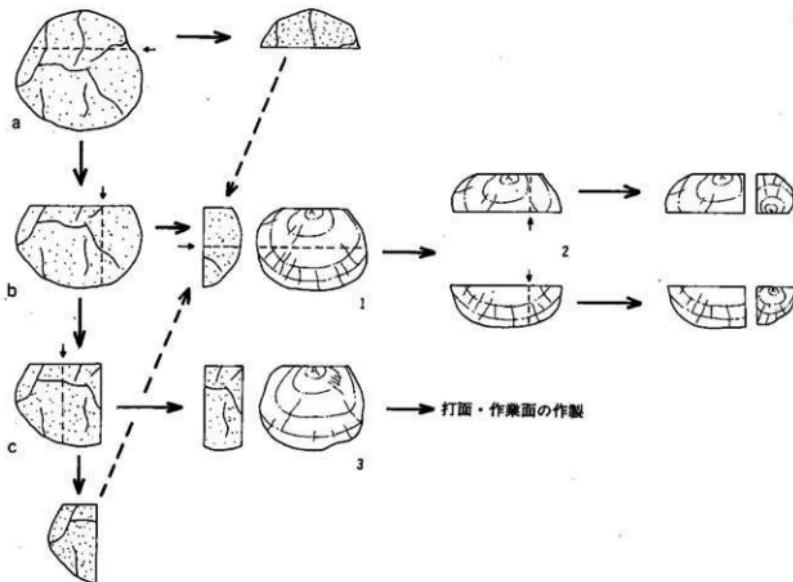
一方、翼状剝片石核を除く横長剝片石核のうち、一側縁の表裏から一枚ずつ横長剝片を剝離する交互剝離石核からは、翼状剝片に類似した横長剝片を得ることができるが、これを加工すれば瀬戸内技法によって製作された国府型ナイフ形石器と同形態のナイフ形石器を製作することもできる。しかも、横長剝片の中には主要剝離面と背面のネガティブな剝離面の剝離に際して、打面を共有して同じ方向に加撃したものも少なくないので、二次調整によって打面部を除去してしまえば、国府型ナイフ形石器と区別することが困難なものも生じる。特に、背面に複数のネガティブな剝離面を持つやや小形のナイフ形石器には分類が困難なものがある。また、横断面が三角形を呈し、背面に底面とネガティブな剝離面の区別を持たないナイフ形石器は翼状剝片と横長剝片の双方から作ることができるので、製品からでは必ずしも技法を断定できない。

ナイフ形石器とその素材となった剝片、及びこれを剝離した石核に以上のような関係が考えられるとしても、羽佐島遺跡のように二次的に移動したことが明らかな資料からその具体的なあり方を把握することは難しい。したがって、ここではナイフ形石器の分類と剝片及び石核との対応が必ずしも従来の説明<sup>註2)</sup>だけでは理解しえないことを指摘し、その解決には将来の一括資料の増加を待つことにしたい。

ところで、羽佐島遺跡から出土した翼状剝片・横長剝片利用のナイフ形石器の中に、主要剝離面に伴う打面側縁辺のみならず、刃部先端にも主要剝離面側から二次調整を施したものがあり、尖頭器ないしは石錐としての機能が考えられるとした。一方、羽佐島遺跡には基部や先端の一部に加工を施した縦長剝片利用のナイフ形石器も存在するので、先端の加工はこうした縦長剝片利用のナイフ形石器の影響や、さらに縦長剝片をナイフ形石器の素材とする地域からの影響を受けた可能性もあるので、今後の検討が必要である。

羽佐島遺跡から出土した細石核のうち、玻璃質安山岩製の細石核はⅠ類～Ⅵ類に分類したが<sup>註3)</sup>、そのうちⅢ類～Ⅴ類は同一原石から製作されたものと思われ、次のような工程が考えられる（第355図）。

- a. 第324図76などのような6cm前後の大きさをもつ自然縁を加撃し、打面を作る。この作業は原石を分割するための大きな打面を作製することにあったと思われるが、剝離された剝片が適当な大きさを持つ場合には、1・2の工程に従って、また板状の適当な剝片であれ



第355図 細石核素材の作製工程図（想定復元）

ば簡単な石核調整を施して細石核としたようである。なお、細石核やその素材からみれば、打面作製以前の調整はあまり行わなかったことが知られる。

b. aによってできた打面を加撃し、背面が自然面の分厚い剥片を剥離する。さらに、この剥片の主要剥離面側を加撃して縦または横に半載する(1)。半載された角錐(柱)状の剥片の一方の端部を切断し、作業面とする(2)。これによってできたものが第324図80であるが、これから直接細石刃を剥離する場合と、側面調整を施す場合(第313図5)とがある。また、1の剥片が角錐(柱)状を呈し、細石核素材として適したものであれば半載しない場合もあったと考えられる。第315図13はこれにあたる可能性もある。

c. bによって残された原石を加撃して板状の剥片をつくり、細石核の素材とする。なお、この場合の加撃方向はbと同一方向をとるものが多い。また、石核の側面調整は一般に貧弱である(第316図21・22など)。第325図83は自然面を作業面としようとしているものと考えられる。

d. cで残された側面部分の剥片が適當なものであった場合には、1・2又は3の工程に従って細石核としたものと思われる。

以上のように考えれば羽佐島遺跡出土の玻璃質安山岩製細石核は、角錐状をしているが打面と作業面以外に自然面を残すことからみて、小礫を半載して2個の細石核をつくるか、あるいは1原石から1石核をつくるもの(I類)・上述したもの・板状の小剥片や不定形の剥片を利用したもの(IIIB類のうち小形のもの・IIIC類)の3種に分けることができる。さらに、第324図

78が細石核素材とすれば、上述した工程に自然面を除去した疊を用いる工程の存在も考えられる。<sup>註4)</sup>

備讃瀬戸の細石核については花見山遺跡出土の細石核の分類を通して全体を概観した西村氏の研究があり、<sup>註5)</sup> この中で羽佐島遺跡の細石核にもふれているものの、IV類～V類が同一原石からの所産であるかどうかについては言及していない。しかしながら、板状の小剝片を用いたと思われる第319図36(III B-3類)が、原石の分割によって得られた第316図22(III B-1類)と同じものとされたり、II類の素材と考えられる第324図80が半舟底～舟底状を呈する別の細石核の素材とされていることなどからみれば、両者の内容の違いの原因はIII類～V類が同一の原石から得られたか否かにあるようである。現在のところ細石核の接合資料が得られていないためどちらとも断定できず、その結論は今後の研究の進展を待ちたい。

細石核には玻璃質安山岩製のほか、黒曜石製・サヌカイト製が出土したが、第372図59・60の2例を除くサヌカイト製細石核は、板状を呈し、狭長な側面を作業面とする。

そして、板状を呈すること、狭長な側面を作業面とすること、一般に側面調整がきわめて貧弱であることなどは縦長剝片石核と共に通じ、細石核にも風化の著しいサヌカイトを用いていることは注目される。前述したように、羽佐島遺跡では4,254m<sup>2</sup>にわたって発掘したにもかかわらず、縦長剝片と縦長剝片石核が包含層の下部から出土する傾向は認められず、発掘の結果からは国府型ナイフ形石器より古く位置づけることはできなかった。しかも、翼状剝片石核を転用したとみられる縦長剝片石核が存在し(第281図9)，後述するように、縦長剝片の基部や先端片側を加工したナイフ形石器が新しい時期に属すると考えられることなどからすれば、羽佐島遺跡においても縦長剝片と縦長剝片石核のすべてを古く位置づけることはできず、今後は各時期における縦長剝片のあり方を追求してゆかねばならないであろう。

ところで、細石核・細石刃として多く用いられた玻璃質安山岩製遺物には、ほかにナイフ形石器14点・尖頭器1点・楔状石器5点・削器4点・二次調整ある剝片8点・横長剝片石核6点などがあるほか、昭和58年度の第2次調査で石鎌1点が出土している。そして、ナイフ形石器には不定形の横長剝片を用いた小形ナイフ形石器や横長剝片利用の小形切出しき形ナイフ形石器、縦長剝片を用いた小形ナイフ形石器、小形縦長剝片の基部と先端の片側を加工したナイフ形石器などがあり、そのあたりは兵庫県太島遺跡<sup>註6)</sup>・香川県井島遺跡<sup>註7)</sup>に類似している。

また、太島遺跡からは黒曜石製のナイフ形石器も出土しているが、羽佐島遺跡でも細石刃5点・細石核2点・小形縦長剝片利用のナイフ形石器2点・石鎌1点などの黒曜石製遺物が出土している。

太島遺跡と井島遺跡は中部瀬戸内における終末期のナイフ形石器を出土したことで知られているが、これに類似したナイフ形石器のみえる羽佐島遺跡の玻璃質安山岩と黒曜石製遺物には国府型ナイフ形石器など、時期の遡る遺物は含んでいない。しかも、玻璃質安山岩の原石として採集された小標からは、国府型ナイフ形石器を連続して作り出すことは困難であり、したがって、両石材には時期の古い旧石器時代遺物はもともと存在しなかった可能性が高いものと思われる。しかもサヌカイト原石の産地にきわめて近い羽佐島遺跡で、両石材が新に使われ始めたのは、両石材の緻密さを利用して細石刃の製作を容易にするためではなかったと思われるのである。

しかも、玻璃質安山岩製の横長剝片石核を転用した細石核(第321図56)が存在することは横長剝片剝離技法が細石刃文化にも残ることを示し、さらに横長剝片を利用した小形ナイフ形石

器や、これと共に伴るとされている縦長剣片利用の小形ナイフ形石器が細石刃と共に存する可能性をも示唆するのではないだろうか。

いずれにせよ、玻璃質安山岩と黒曜石製遺物はこの地域における旧石器時代終末～縄文時代初期の石器の様相を物語るものであり、両石材で作られた小形のナイフ形石器が従来いわれてきたように、ナイフ形石器として最も新しい形態を示すものであることは疑いないものと思われる。

ところで、羽佐島遺跡出土の黒曜石はいずれも漆黒色を呈し、一見して大分県姫島産であることがわかる白っぽいものは出土していない。

一方、羽佐島遺跡からは1,142点もの石鏽が出土しているが、押型文土器以外にはほとんど出土しないことから、それらは縄文時代早期までのものと考えることができる。また、縄文時代草創期の遺物としては2点の有舌尖頭器があり、C10-1南東部ピット上から出土した石槍(第349図10)や、両面加工の木葉形尖頭器なども草創期に属する可能性が強いことからみると、羽佐島遺跡は旧石器時代に引き続き、縄文時代早期までは盛んに利用されたものと考えができる。ところが、こうした多数の石器の出土にもかかわらず、時期の明らかな土器は少量の押型文しかなく、これと胎土・焼成が類似する無文土器を含めても、土器の出土は貧弱である。島嶼部においてはこのような傾向は香川県井島遺跡<sup>註8)</sup>においても確認されているが、一方では香川県小豆島遺跡<sup>註9)</sup>のように押型文土器を出土する遺跡では多量の土器を出土する例もあり、これが押型文土器以前の様相なのか、それとも島嶼部の特定の遺跡の特徴なのか、今後に解決されるべき課題である。

羽佐島遺跡では、平安時代末頃と最近のものを除くと、弥生時代以降の出土遺物は多くない。特に古墳時代については、それらしい須恵器の体部の破片がわずかに認められるのみであったが、1983年度に実施された第二次調査で滑石製勾玉が出土し、古墳時代に祭祀が行われたことを示唆した。羽佐島遺跡における祭祀については、1979年度に縄釉土器の出土が確認され、与島西方遺跡から神功開宝が単独出土していることから、<sup>註10)</sup>瀬戸内海の航海にともなう小規模な祭祀が想定されたが、<sup>註11)</sup>その後、櫃石島大浦浜遺跡で奈良三彩をはじめとする多数の祭祀遺物が出土し、古墳時代から平安時代に及ぶ大規模な祭祀が確認され、<sup>註12)</sup>また、羽佐島遺跡の第二次調査でも銅製帶金具が出土し、規模は別として羽佐島遺跡でも同様な祭祀を行っていたことが明らかになった。

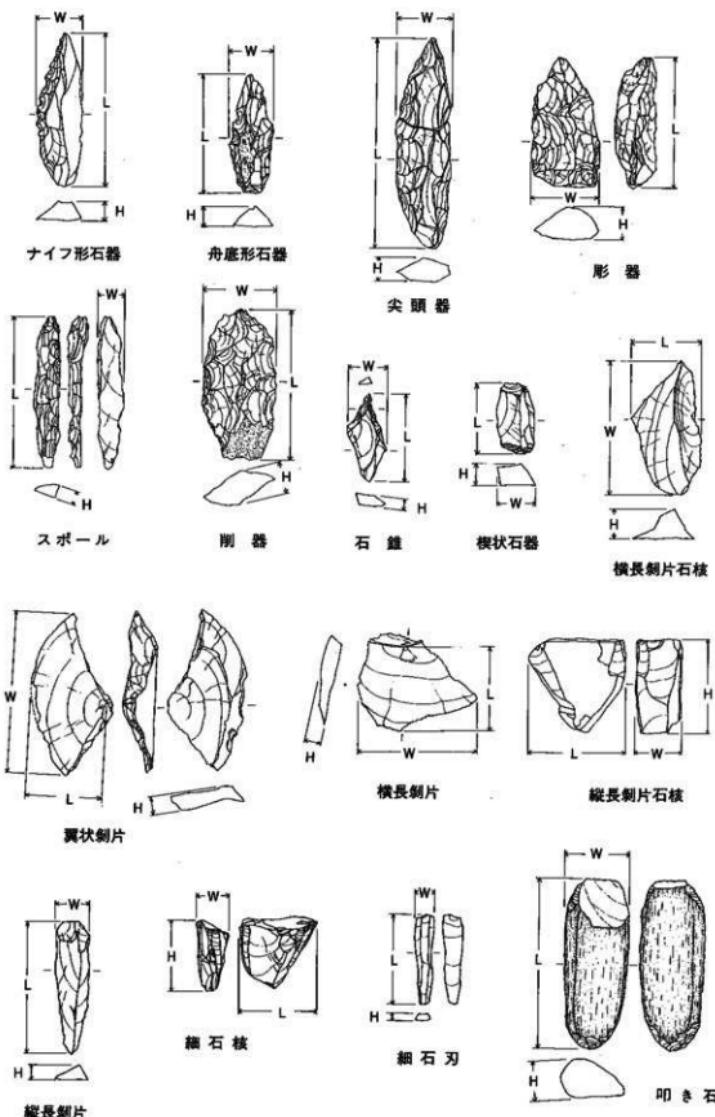
平安時代末頃になると、輸入磁器・黒色土器・和泉型瓦器椀・東播磨系須恵器口・瓦質椀・土師器・香川県陶窯跡群産の可能性もある須恵器などが出土し、前後の時期に比べて遺物量は多い。したがって、この頃の一時期、羽佐島に人々が住んでいた可能性もあるが、発掘地区内からは人々の居住を物語る遺構は検出されなかった。ただ、この頃一時的に人々が定住していたとしても、島が小さく生産性が低いため、これらの出土品のすべてが島民の消費であったとは考えられず、羽佐島が当時の瀬戸内海の交易に係わる一時的な中継地としての役割を持っていたことを示すのではないかと思われる。<sup>註13)</sup>しかしながら、13世紀後半になると対岸の与島塩浜遺跡<sup>註14)</sup>が成立し、輸入陶磁や東播磨系須恵器・備前焼などを出土しているが、これと対応するように、羽佐島遺跡では同時期の出土遺物が激減する。

また、16世紀末頃の羽佐島では道珍・藤兵への2人が羽佐島で耕作し、麦2斗7升6合を得ている。2人とも櫃石島・与島には名前がみえないことから、羽佐島に住んでいた可能性もある。しかしながら、収穫量からみれば、2人あるいは2家族が生活できる量が得られないため、

彼らが農業で生活することは不可能である。したがって、彼らは漁業・交易などにも従事した生活を営んだか、あるいは他島からの出作であったかもしれない。今回の発掘調査ではこの時期の遺構は発見されず、遺物も多くなかったが、今後の調査で検出されることも考えられる。いずれにせよ、羽佐島遺跡は縄文時代早期を過ぎると、一時的な居住や耕作以外にはあまり利用されておらず、そのため大規模な掘削に伴う包含層の消失などはなかったが、旧石器包含層がきわめて浅かったために、遺物の擾乱は進んだようである。

#### 註

- (1) 香川大学教授坂東裕司氏による
- (2) 鎌木義昌・高橋謙「瀬戸内海地方の先土器時代」「日本の考古学」I 1965 河出書房
- (3) 渡部明夫「羽佐島遺跡の遺物整理」「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報」V 1982 香川県教育委員会
- (4) 渡部明夫ほか「羽佐島遺跡」「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報」III 香川県教育委員会
- (5) 西村尋文「中部瀬戸内地域における細石刃生産技術の検討」「旧石器考古学」26 1983 旧石器文化談話会
- (6) 鎌木義昌「無土器文化・縄文文化」「家島群島」 1962
- (7) 鎌木義昌「香川県井島遺跡—瀬戸内における細石器文化ー」「石器時代」4 1957
- (8) 註7に同じ
- (9) 横口清之「讃岐小萬島貝塚の研究」「史前学雑誌」8-1 1936
- (10) 牛乳良典・唐木裕志・藤好史郎・真鍋昌宏「与島西方遺跡」「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査報告」I 1979 香川県教育委員会
- (11) 註4に同じ
- (12) 大山真充・森本義臣ほか「大浦浜遺跡の調査」「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報」IV 1981 香川県教育委員会  
大山真充・真鍋昌宏ほか「大浦浜遺跡の調査」「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報」V 1982 香川県教育委員会
- (13) 渡部明夫「讃岐出土の輸入陶磁」「森貞次郎博士古稀記念古文化論集」 1982
- (14) 渡部明夫・大山真充「与島の遺跡」「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財予備調査報告」I 1977 香川県教育委員会  
中野保・藤好史郎・白本清「塩浜遺跡の調査」「瀬戸大橋建設に伴う埋蔵文化財調査概報」IV 1981 香川県教育委員会



第 356 図 羽佐島遺跡出土主要遺物計測基準図 (縮尺不同)

L : 長さ W : 幅 H : 厚さ

第48表 ナイフ形石器観察表

番号	法 長さ	幅	厚さ	重量	石 質	形	出土地点	
							サヌカイト	サヌカイト
1	62.15	29.90	14.00	22.4	サヌカイト	完形。両端が尖らず幅広で内厚。素材は真状剥片ファーストフレイクか。刃部に新しい痕跡。先端から基部にかけて粗い二次剥片	A31+1-125	
2	10.10	18.00	11.35	10.2	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部はやや幅広。背面は不規則面。断面は台形。	A27+1-a S	
3	59.35	17.65	6.20	6.6	サヌカイト	完形。両端が尖る。真状剥片ファーストフレイクを利用。二次調整は一削除全面にわたり丁寧に施す。断面は台形。	A38+4-295	
4	53.00	16.20	9.95	6.3	サヌカイト	完形。両端が尖る。真状剥片ファーストフレイクを利用。刃部は外端。基部は厚くなり一次剥片を残さない。断面は台形。	A38+2-5218	
5	50.75	16.75	6.30	4.9	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は幅広で先端に向けて次第に窄くなる。真状剥片ファーストフレイクを利用。断面は基部付近で滑緩。断面は台形。	A34+2-343	
6	54.85	16.45	6.45	5.3	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は幅広。真状剥片ファーストフレイクを利用。断面は台形。	A27+2-b S	
7	43.55	15.70	7.10	4.9	サヌカイト	完形。両端が尖る。基部は幅広。素材は真状剥片ファーストフレイク。背面は直線状片の打面は僅かに仄らび。断面は台形。	A36+1-97	
8	53.15	16.55	6.20	6.0	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は幅広。周囲は直線状片ファーストフレイクを利用。断面は折形。	A26+2-26	
9	51.20	18.40	7.15	7.2	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は幅広。周囲は直線状片ファーストフレイクを利用。刃部は直線状片の打面を僅かに仄らす。断面は台形。	A37+4-393	
10	45.45	14.25	6.95	3.9	サヌカイト	完形。両端が尖る。基部は幅広。素材は真状剥片ファーストフレイク。刃部は外端。基部には直線状片の打面を残す。断面は台形。	A7+2-67	
11	43.50	19.15	7.90	6.2	サヌカイト	完形。両端が尖る。基部は幅広。素材は真状剥片ファーストフレイク。刃部は尖らず基部を鋸歯状に残す。断面は台形。	A39+4-b N	
12	44.75	15.05	6.70	3.5	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は幅広。素材は真状剥片ファーストフレイク。背面にネガティブな凹曲があり直線状片の打面は僅かに残す。背面にネガティブな凹曲がある。断面は台形。	A38+2-4118	
13	45.30	16.40	7.10	4.4	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は幅広。素材は真状剥片ファーストフレイク。刃部は山形。断面は台形。	A35+3-915	
14	40.55	15.05	7.30	3.8	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は幅広。素材は直線状片の打面を残す。刃部に向って小刻面を残す。主要剥離面 A17+1-a S	A36+3-2465	
15	45.35	17.00	5.55	4.5	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は幅広。素材は直線状片の打面を残す。刃部は山形。断面は台形。	A36+2-549	
16	39.25	17.05	4.80	2.9	サヌカイト	完形。両端が尖る。海綿の直線状片ファーストフレイク。素材は真状剥片ファーストフレイク。刃部は直線状片の打面 A40+5-c N	A38+1-4463	
17	43.80	15.70	9.45	6.0	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は幅広。素材は直線状片の打面を残す。刃部に向って小刻面を残す。主要剥離面 A39+3-a N	A39+3-330	
18	40.60	18.35	8.50	4.4	サヌカイト	完形。両端が尖る。基部は幅広。素材は直線状片の打面を残す。刃部は山形。断面は台形。	A39+2-362	
19	37.95	10.05	6.25	2.0	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は尖らず、刃部は直線状片の打面を残す。素材は直線状片の打面を残す。刃部は直線状片の打面 A41+5-a N		
20	39.80	13.70	8.50	3.9	サヌカイト	完形。先端が尖る。素材は直線状片ファーストフレイク。刃部は直線状片を残す。断面は台形。		
21	37.45	15.95	6.10	3.2	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は幅広。真状剥片ファーストフレイクを利用。刃部に真状剥片の打面を残す。刃部は分岐型。二次調整面 A24+1-a S		
22	32.65	17.70	9.20	4.8	サヌカイト	完形。両端が尖る。真状剥片の打面を残す。中央部に直線状剥片の打面を残す。二次調整面間に自然面あり。	A42+4-a S	
23	38.50	20.55	7.90	5.7	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は薄く幅広。素材は直線状剥片ファーストフレイクか。刃部は直線状片の打面を残す。A24+121		
24	35.45	14.55	5.55	2.8	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は直線状片の打面を残す。素材は直線状片の打面を残す。刃部は山形。断面は台形。断面は直線状片の打面 A41+5-a N		
25	31.00	13.95	5.95	2.7	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部は薄く幅広。真状剥片ファーストフレイクを利用。刃部は山形。断面は外端。二次調整面は山形。断面は台形。		
26	32.60	14.70	4.75	2.0	サヌカイト	完形。先端が尖る。基部はやや幅広。海綿の直線状片の打面を残す。刃部は山形。断面は外端。二次調整面は山形。断面は台形。		

番号	法 量	幅	厚さ	重さ	石	質	経		出土地点
							長さ	幅	
27	32.70	11.65	5.15	1.8	サヌカイト	完形。先端は尖る。基部は自然面。裏状剥片ファーストフレイクを用いる。二次調整は先端部に施さない。断面は台形。	A35-4-a S		
28	30.20	11.75	4.15	1.3	II	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。薄手の裏状剥片ファーストフレイクを用いる。刃部は山形。	A35-3-d N		
29	45.65	17.25	11.30	6.9	II	完形。先端は尖る。基部は幅広。アーストフレイクに近い裏状剥片を用いる。細かい二次調整を施す。刃部に幾少な削痕面を残す。折れた裏状剥片の先端	A36-5-345		
30	51.85	20.60	13.00	13.1	II	完形。先端は尖る。基部は幅広。薄手の裏状剥片ファーストフレイクを用いる。背面に自然面あり。裏面に石抜の削痕面を残す。刃部に幾少な削痕面を残す。折れた裏状剥片の先端	A39-3-642		
31	73.40	20.05	10.70	15.5	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片を施す。刃部は外壁。断面は台形。	A39-2-b S		
32	49.75	22.20	8.45	9.4	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片を施す。刃部は外壁。断面は台形。	A34-1-257		
33	53.35	17.85	6.15	5.9	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片ファーストフレイクを用いる。先端部に二次調整面を施す。刃部は台形。	A19-1-b N		
34	62.70	19.55	10.25	10.9	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片ファーストフレイクを用いる。刃部中央に削痕面あり。主要側面に複数の新しい削痕あり。C16-1-669			
35	51.95	20.20	10.85	8.7	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片ファーストフレイクを用いる。刃部先端に削痕面。基部に新しい削痕あり。新 A36-2-1863			
36	56.50	18.00	19.35	7.4	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片ファーストフレイク。背面のネジ面は底面からの方針か。刃部は直線	A39-2-a S		
37	43.30	17.50	5.75	4.7	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片ファーストフレイク。粗い二次調整で裏状剥片の刃面は底面から底面へ向かう。刃部は A38-3-1023			
38	43.25	21.90	10.25	8.0	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片を施す。刃部は底面から底面へ向かう。刃部に複数の新しい削痕あり。新 A29-1-b S			
39	42.75	23.05	13.25	11.0	II	先端部破損。裏状剥片ファーストフレイクを用いる。二次調整は粗い。底面基端部に新しい削痕。断面は台形。	A10-1-79		
40	45.20	18.60	9.70	7.0	II	先端部破損。裏状剥片ファーストフレイク。先端から基部まで二次調整を施す。刃部は台形。	A30-1-2009		
41	45.15	16.80	7.00	6.1	II	先端部破損。裏状剥片ファーストフレイク。先端部は細かい二次調整を施す。刃部は底面から底面へ向かう。刃部は台形。	B20-7-42		
42	45.10	17.00	7.20	4.6	II	先端部破損。裏状剥片ファーストフレイク。背面上中部にネジ面が残る。刃部に新しい削痕。新面は台形。	A32-2-c N		
43	43.75	15.10	5.05	4.1	II	開削部破損。裏状剥片ファーストフレイク。背面に複数の削痕面を研ぐか新しい削痕。断面は台形。	A39-4-48		
44	52.40	17.80	6.10	5.9	II	先端部は殆ど尖らない。基部は一筋の削痕。裏状剥片ファーストフレイクを用いる。二次調整は先端から一側全体にわたりて粗く、底面までは刃先から底面へ向かう。刃部は底面から底面へ向かう。裏状剥片を施す。主要側面に複数のネジ面を残す。裏状剥片の刃面は小ささ。	A34-2-39		
45	44.90	17.35	8.60	6.9	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片ファーストフレイク。背面に複数のネジ面があり。裏状剥片の刃面は小ささ。	C12-1-c N		
46	55.80	20.00	19.95	10.0	II	先端部破損。基部は幅広でやや違う。裏状剥片を施す。刃部は底面から底面へ向かう。裏状剥片の刃面は小ささ。	A38-2-4246		
47	45.55	15.80	9.40	5.4	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片ファーストフレイク。裏状剥片を施す。裏状剥片の刃面は小ささ。	A25-1-b S		
48	42.00	16.85	6.40	4.5	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片を施す。刃部は底面から底面へ向かう。裏状剥片の刃面は小ささ。	A41-4-223		
49	39.00	15.05	7.05	4.0	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片を施す。刃部は底面から底面へ向かう。裏状剥片の刃面は小ささ。	A35-4-634		
50	39.80	15.40	7.40	3.8	II	先端部破損。基部は幅広。裏状剥片を施す。刃部は底面から底面へ向かう。裏状剥片の刃面は小ささ。	A39-2-816		
51	39.30	15.70	8.30	4.2	II	先端部破損。裏状剥片ファーストフレイクを用いる。一側全体に複数の削痕面を施しているが。裏面付近で背面から側面が残る。	A34-1-521		
52	37.90	17.15	11.95	8.6	II	開削部破損。裏状剥片ファーストフレイクを用いる。刃部は台形。	C4-1-b N		

番号	法 量	石 質	重 量	厚 さ	長 さ	縫 隙	性 質	出土地点
53	38.70	サヌカイト	2.8	6.25	15.45	2.8	先端は尖る。基部はやや幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。背面にネガ面が見られる。	A35-5-b N
54	44.20	19.30	8.85	6.2	15.45	2.8	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。背面にネガ面が見えて残る。	A41-5-141
55	40.25	12.15	6.55	3.9	12.15	2.8	先端は尖る。基部部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイク。断面は台形。	A36-3-2052
56	44.05	21.05	7.05	6.8	15.45	2.8	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片ファーストフレイク。基面にネガ面が見えて残る。	A24-1-d S
57	36.70	15.50	7.85	4.1	15.50	2.8	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。刃部に複数の剥離面が見られる。断面は台形。	A38-2-4809
58	32.10	18.35	5.40	2.9	15.45	2.8	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。刃部は外側。断面は台形。	A39-1-386
59	33.60	17.15	7.25	4.5	15.45	2.8	先端はやや幅広。基部は尖る。翼状剥片ファーストフレイク。断面は台形やY字形。	A37-2-2650
60	31.45	16.20	4.60	2.9	15.45	2.8	先端部破損。基部は幅広で自然面。素材は扁平な翼状剥片ファーストフレイク。背面にネガ面は見られない。主要剥離面の刃部	A36-1-697
61	33.95	15.20	6.20	2.4	15.45	2.8	先端部破損。基部は尖らない。相手に二回調整を施す。背面にネガ面は見られない。刃部は外側。断面はほぼ三角形。	A38-5-45
62	31.35	15.90	7.75	3.2	15.45	2.8	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。粗い二次調整を施す。断面先端部に新しい刃跡があり。断面は台形。	B22-a N
63	33.00	21.05	8.55	4.5	15.45	2.8	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイク。粗い二次調整を施す。刃部は山形。	A11-b S
64	34.80	18.10	7.00	3.9	15.45	2.8	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。二次調整は先端から施さまで施す。刃部は外側。	A36-4-1386
65	30.20	15.70	5.65	2.5	15.45	2.8	先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。二次調整は基部まで尖らず、刃部は外側に残る。	B18-c N
66	24.60	12.55	4.25	1.6	15.45	2.8	側面破損。薄手の翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部二次調整面と共に直線状を呈す。	A38-2-4030
67	18.10	18.70	5.25	1.8	15.45	2.8	側面が尖らない。刃部先端部、基部はよく削りこむ。底面は翼状剥片ファーストフレイク。底面は翼状剥片の剥離面以外	A28-1-a S
68	48.35	17.85	8.60	5.7	15.45	2.8	側面部破損。基部は幅広。翼状剥片ファーストフレイク。刃部は翼状剥片の剥離面。基面は山形。断面は台形。	A39-3-a N
69	31.45	15.60	6.00	2.4	15.45	2.8	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片ファーストフレイクを利用。先端から基部にかけて細かい二次調整を施す。二次調整面	B13-e S
70	30.85	12.85	5.15	1.6	15.45	2.8	側面が尖る。基部部破損。翼状剥片の刃部を削り落す。底面は翼状剥片ファーストフレイクを利用。粗い二次調整面	C17-1-a N
71	40.35	15.25	5.75	3.3	15.45	2.8	側面が尖る。基部部破損。翼状剥片ファーストフレイク。刃部は外側に残る。刃部は外側に残る。刃部は外側に残る。	A36-3-2052
72	38.90	17.20	8.95	5.1	15.45	2.8	側面が尖らない。素材は翼状剥片ファーストフレイク。刃部は外側。翼状剥片の刃部を削り落としたもの。底面に二次調整面から的小刻印。基面は山形。	A40-4-e a S
73	41.20	18.00	18.70	6.4	15.45	2.8	側面が尖らない。素材は翼状剥片ファーストフレイク。刃部側にも二次調整を落す。切り出しが直線形。断面は台形。風	A30-2-a S
74	44.65	16.25	8.35	6.1	15.45	2.8	側面部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片ファーストフレイクを用いて二次調整で刃点を落としたもの。刃部は直線形状を呈す。風	A41-5-76
75	54.80	17.85	9.00	8.0	15.45	2.8	側面が尖る。基部部破損。翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部は外側に残る。刃部は外側に残る。刃部は外側に残る。	C61-1-441
76	35.30	16.20	6.50	3.1	15.45	2.8	側面が尖る。基部部破損。翼状剥片ファーストフレイクを利用。刃部は外側に残る。刃部は外側に残る。刃部は外側に残る。	A41-4-d S
77	54.30	24.05	10.80	12.0	15.45	2.8	先端は尖る。基部部破損。刃部は外側に近い。翼状剥片を用いる。背面に複数の刃点を持つ。刃部は外側。	C20-1-a N
78	45.50	17.60	8.30	4.9	15.45	2.8	先端は尖る。基部部破損。刃部は外側に近い。翼状剥片を用いる。背面に複数の刃点を持つ。刃部は外側。	A32-2-c S

番号	法 規	基 準	量 石 質	重 量	厚 さ	断 面	新		出土地点
							横	縦	
79	45.50	18.25	7.15	7.4	サヌカイト	先端は尖らない。基部はアーストフレイクに近い真状削片。先端部に斜状削片の打面が残る。背面には複数のネジ穴がある。素材はアーストフレイク。基部は外輪。断面は台形。	A35-3-871		
80	48.55	22.15	9.45	8.7	H	先端部が鋸歯状。基部はやや幅広。素材はアーストフレイクに近い真状削片。先端部付近は打面調整の面が見られる。万能はやや内側。A38-1-4681	A37-4-480		
81	48.50	17.80	8.30	6.7	H	先端は尖らず自然面を呈する。基端部が鋸歯状。先端はアーストフレイクに近い真状削片を利用。荒化斷面。	A25-2-a S		
82	35.90	17.35	6.80	4.5	H	先端は尖らず自然面を呈する。基端部が鋸歯状。先端はアーストフレイクもしくは螺旋長削片か。断面は台形。	A35-2-96		
83	32.35	16.20	6.85	3.2	H	先端は尖らず自然面を呈する。基端部が鋸歯状。素材は真状削片アーストフレイクもしくは螺旋長削片か。万能はほぼ直線状。二次削片は外輪。	A36-1-1304		
84	70.40	26.75	10.70	14.7	H	先端は尖らず薄くなっている。基部はやや幅広。素材は真状削片。万能は内輪。断面は台形。	A36-3-1481		
85	74.90	20.30	11.60	—	H	先端は尖る。基部は尖らない。真状削片を利用。複数のネジ面を持ち。二次削片が先端部が細かい。断面は台形。	A38-4-a C N		
86	71.50	19.35	6.70	4.9	H	先端は尖る。基部は尖らない。真状削片利用。二次削片は先端から基部にかけて丁寧に施す。二次削片部は山形を呈す。	A34-1-718		
87	64.95	12.00	12.35	10.0	H	先端は尖る。基部は尖らない。素材は真状削片。断面は肉厚な台形を呈する。	A35-5-14		
88	62.70	16.75	5.10	5.7	H	先端は尖る。基部は尖らない。扁平な真状削片を利用。背面に大きな1ネジ面を持つ。	A35-3-399		
89	58.40	17.00	6.30	4.9	H	先端は尖る。基部は尖らない。真状削片を利用。二次削片は細かく施される。基部に直面調整の面が残る。	A71-254		
90	37.70	12.50	6.20	3.5	H	先端は尖る。基部は尖らない。素材はネジ面を持つ。二次削片は丁寧に施す。	A36-3-1481		
91	72.40	20.35	12.30	7.3	H	先端は尖る。基部は尖らない。素材は扁平な真状削片。背面に大きなネジ面を持つ。万能・二次削片部は直線状。	A35-2-307		
92	63.10	18.05	5.8	8.2	H	先端は尖る。基部は尖らない。素材は扁平な真状削片。背面に大きなネジ面を持つ。万能・二次削片部は直線状。	A37-2-644		
93	61.55	26.65	11.10	19.4	H	先端は尖る。基部は尖らない。素材は扁平な真状削片。背面に大きなネジ面があり。二次削片部は直線状。	A39-1-130		
94	62.70	21.95	8.80	11.4	H	先端は尖る。基部は尖らない。素材は真状削片。背面は天井かなが面があり面が2面からなる主要削面間に万能からの軸削面が見られ。A12-1-c N	A36-2-1716		
95	66.60	19.15	7.15	8.6	H	先端が尖る。真状削片を利用。複数のネジ面があり。万能部基部よりに小刻削を施す。断面は先端部からの凹部（基部からの凹部とともに考え方される）で形成。膨らむ。	A36-2-1716		
96	59.00	17.45	10.75	9.3	H	先端部よりに比較的大きな刻削の面が見られる。	A30-1-a S		
97	54.60	14.95	7.30	5.8	H	先端が尖る。基部は直線状。先端部付近で外輪。断面は台形。	A36-4-132		
98	57.95	22.50	9.05	8.8	H	先端が尖る。基部は幅広。素材は真状削片。万能部に直ぐな刻削面があり。二次削片部は直線状。	B4-737		
99	59.30	18.15	8.65	9.5	H	先端が尖る。基部は尖らない。素材は真状削片。万能部に直ぐな刻削面があり。二次削片部は直線状。	A35-5-330		
100	57.65	18.85	8.00	6.8	H	先端が尖る。基部は直線状。先端部付近で外輪。断面は台形。	A39-3-556		
101	62.95	17.90	7.25	7.6	H	先端が尖る。基部はやや幅広。真状削片を利用。複数のネジ面を持つ。主要刻削面側に残る面は真状削片の打面か。断面は台形。	A35-2-75		
102	61.65	17.25	8.30	8.8	H	先端が尖り。一端は自然面を残す。二次削片は一側全面に施さず。断面は直線状。	A38-1-4891		
103	57.10	20.00	8.20	8.7	H	先端が尖る。基部は幅広。素材は真状削片を利用。背面に幅広い1ネジ面を持つ。断面は台形。	A40-2-d S		
104	51.80	20.00	5.45	4.9	H	先端が尖る。基部は幅広。素材は真状削片。二次削片部は直線状。			

番号	法 量	幅	重 量	石 質	質	断面		出土地点
						長さ	厚さ	
105	60.55	18.45 <sup>5</sup>	7.35 <sup>5</sup>	7.9	サヌカイト	光形。先端は尖る。基部には自然面。素材は真状剥片。背面に複数のネガ面を持つ。		A35-3-d N
106	58.30	16.70	8.35	6.5	u	光形。先端は尖る。基部は平ら。素材は真状剥片。刃部基部よりに新しい磁場。断面はほぼ三脚形を呈す。		A35-3-b S
107	60.55	17.45	8.60	7.5	u	光形。先端は尖る。基部は平ら。素材剥片を利用。背面には1ネガ面を持つ。主要側面基部には石板の裏材面と思われる面も。二次調整は一切他の先端部に施し、打面が残る。主要側面に打点が見られる。		A39-2-1134
108	56.40	20.50	6.60	7.8	u	光形。先端は尖る。尾状な対称性を利用。基部や刃端を磨き。		A36-1-2412
109	61.00	16.95	8.25	7.7	u	光形。先端は尖る。素材は真状剥片。刃部先端部に小刻痕があり。断面は台形。		A36-3-1272
110	52.90	14.65	6.80	5.4	u	光形。先端は尖る。基部は薄くやや幅広。真状剥片を利用。	B8-567	
111	52.00	18.25	6.45	5.4	u	光形。先端は尖る。基部は薄くやや幅広。素材は真状剥片。刃部先端部に小刻痕があり。	B20-419	
112	48.65	11.20	7.70	4.5	u	光形。先端は尖る。基部は薄くやや幅広。素材は真状剥片。背面に複数のネガ面があり。刃部先端部に小刻痕が見られる。	A36-4-82	
113	65.00	15.95	6.50	5.5	u	光形。両端が尖る。真状剥片を利用。二次側面は先端から基部付近にかけてざわざわした部よりに打面が残る。	A35-2-245	
114	54.90	18.25	5.45	5.5	u	光形。両端が尖る。1ネガ面あり。風化やや厲害。	A39-2-1556	
115	51.65	18.70	7.10	6.9	u	光形。先端は尖る。基部は幅広。素材は真状剥片。刃部先端部に近い小刻痕が見られる。	A39-2-363	
116	59.70	16.50	7.90	7.7	u	光形。両端が尖る。素材は真状剥片。先端部に背面から2の二次側面が見られる。基部に打面を残す。断面は台形。	A34-2-229	
117	53.45	12.55	8.05	6.4	u	光形。先端は尖る。基部は幅広。素材は真状剥片。背面に複数のネガ面が残る。刃部先端部に小刻痕あり。風化厲害。	A35-3-952	
118	51.45	24.20	12.15	9.9	u	光形。両端が尖る。基部はやや幅広で幅広。素材は真状剥片。刃部基部に刻痕あり。	A41-2-d S	
119	49.75	21.20	17.05	8.7	u	光形。両端が尖る。基部はやや幅広。素材は真状剥片。背面に1ネガ面あり。刃部先端部は打面が残り。基部にかけて二次側面が現れる。	A33-2-355	
120	46.20	17.05	6.60	5.0	u	光形。先端は尖る。基部は薄くやや幅広。刃部側にも二次側面を施し切出しがちに變遷する。断面は台形。	A-28-1-a N	
121	54.30	16.55	6.90	—	遺物 不明	光形。両端が尖る。素材は真状剥片。刃部は外側。断面は台形。	A39-4-410	
122	48.75	16.20	5.65	3.7	サヌカイト	光形。両端が尖る。素材は真状剥片。背面に大きなネガ面あり。底面は基部の二次側面によって削減。	A38-4-383	
123	48.25	15.15	7.10	4.6	u	光形。両端が尖る。基部は薄くなっている。素材は真状剥片を利用。背面に1ネガ面あり。刃部先端部に微少な刻痕が残る。	A35-1-1866	
124	49.45	15.15	7.40	3.9	u	光形。両端が尖る。素材は真状剥片。基部に打面が残る。	A36-2-387	
125	46.20	19.55	5.65	4.6	u	光形。両端が尖る。基部はやや幅広。素材は真状剥片。刃部基部付近に刻痕あり。断面は疊平な台形。	A39-4-3	
126	51.50	18.95	7.95	6.3	u	光形。先端は尖る。基部は薄くなっている。真状剥片利用。先端部の二次側面は細かい。	A40-4-e N	
127	54.05	17.00	5.85	5.1	u	光形。先端は尖る。真状剥片利用。基部に打面を残す。幅広いネガ面を持ち底面が長い。二次側面側は山形を呈す。	C14-2-b S	
128	52.70	15.20	6.80	5.8	u	光形。両端が尖る。真状剥片利用。基部に打面を残す。刃部基部よりに刻痕あり。	C5-1-c S	
129	45.35	22.70	8.35	6.4	u	光形。先端が尖る。基部は薄く幅広。素材は真状剥片。刃部に広いネガ面を持つ。刃部は直線状を呈す。	A39-4-349	
130	49.15	17.25	9.50	4.8	u	光形。先端は尖る。基部は薄く幅広。素材は真状剥片。	C5-2-a N	

番号	法 量	幅 幅	厚さ 厚さ	重量 重量	石 質	質	觀	出土地点
131	45.00	16.20	8.70	4.9	サスカイト	完形。先端は尖る。基部は薄く幅広。素材は翼状剥片。	A3-1-489	
132	47.55	10.85	8.10	3.1	石	完形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面をもつ。二次調整は細かい。	A25-2-34	
133	52.45	17.20	8.70	6.4	石	完形。両端が尖る。基部部分背面を残す。前面は台形。	A39-3-748	
134	46.65	19.40	6.25	4.4	石	完形。両端が尖る。基部部分背面を利用。基部部分背面を残す。前面は台形。	A41-3-486	
135	44.60	17.05	5.85	4.1	石	完形。先端は尖る。素材は翼状剥片アースフレイク。基部に打面を残す。	A36-1-184	
136	44.00	11.45	7.35	4.3	石	完形。先端は尖る。基部は自然面を残す。素材は翼状剥片。幅広の斷面を持つ。断面はほぼ三角形を呈す。	A38-3-c S	
137	52.50	16.30	9.35	7.5	石	完形。両端は尖らない。素材は翼状剥片。先端全端に微少な削離痕が見られる。前面は台形。	A38-2-3793	
138	55.35	15.45	7.35	4.7	石	完形。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剥片利用。背面に複数のネガ面あり。	A27-2-214	
139	42.00	18.00	7.30	4.1	石	完形。先端は尖らず。基部は幅広。素材は翼状剥片。基部には打面が残る。両部に微少な削離痕が見られる。	A35-3-1065	
140	45.15	19.20	6.40	6.2	石	完形。先端は尖らす。基部は幅広。素材は翼状剥片。基部には打面が残る。両部に微少な削離痕が見られる。	A38-2-3405	
141	44.20	12.15	7.10	5.1	石	完形。先端は鋭利に尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。前面には打点のない削離痕が見られる。	A24-1-b S	
142	46.40	19.10	6.05	4.9	石	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面あり。基部に打面が残る。両部は外観。	A22-2-231	
143	45.70	18.25	7.50	5.1	石	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面には他のネガ面があり底面は僅かに残る。	A39-1-225	
144	55.25	16.25	6.40	5.5	石	完形。先端は尖る。基部はやや幅広。素材は翼状剥片利用。背面に1ネガ面を持つ。断面は台形。	A32-2-188	
145	50.60	15.55	8.35	5.5	石	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。方底基部よりに削離痕あり。	A38-3-b S	
146	48.00	12.40	6.70	4.5	石	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。主に基部前面部よりに刃部から的小型削離痕が見られる。両部は直線状を呈す。断面は台形。	A39-2-226	
147	55.10	16.65	5.90	6.7	石	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面に複数のネガ面があり底面は基部よりに僅かに残る。	A11-1-182	
148	48.25	19.65	8.50	7.1	石	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。両面には1ネガ面あり。両部はやや外観。	A34-2-252	
149	52.70	16.10	8.10	5.9	石	基部は幅広。翼状剥片利用。二次調整は先端から基礎まで細かく施す。	B9-1-68	
150	54.55	19.50	9.05	9.2	石	完形。先端は尖る。基部は薄くなり幅広。素材は翼状剥片。前面に大きな1ネガ面あり。両部は直線状。	A36-2-1414	
151	45.10	21.25	7.40	7.0	石	両端が尖らない。素材は翼状剥片。底面に打面を残す。両部基部附近に二次調整を施す。	A9-2-67	
152	47.60	12.10	6.30	4.5	石	完形。先端は尖る。素材は翼状剥片。前面に打面をもつ。両部には小刻離痕が見られる。両部は外観。	A27-2-79	
153	45.70	8.50	5.40	4.1	石	完形。先端は尖る。基部は幅広。翼状剥片利用。背面に複数のネガ面を持つ。	A26-2-344	
154	43.65	17.85	6.70	5.6	石	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片。二次調整は先端から基礎まで施す。両部は直線状。	A42-5-c S	
155	50.15	14.15	6.30	4.0	石	完形。両端が尖る。素材は翼状剥片。背面に粗長い1ネガ面をもつ。	C1-1-c N	
156	49.90	18.90	10.65	8.4	石	完形。両端が尖らない。素材は翼状剥片。前面は2面よりなる。断面は三角形を呈す。	A34-2-c N	

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	概 観	縫	出土地点
157	40.65	15.60	7.20	4.3	サヌカイト	先端は尖り。先端は磨かれて。表面は圓錐形で山形を呈す。	B5・124	
158	46.60	12.95	3.56	3.2	ル	先端は尖る。基部はやや幅広。表面は圓錐形で山形を呈す。	A35-1-327	
159	43.05	16.40	6.30	4.0	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A36-1-2087	
160	49.85	15.00	12.05	4.4	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A36-2-2813	
161	41.70	12.20	6.10	4.0	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A6-1-38	
162	46.50	18.35	9.20	5.5	ル	先端は尖り。表面は圓錐形で山形を呈す。	A36-4-777	
163	50.00	16.40	6.45	5.0	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A31-1-239	
164	55.00	15.60	4.20	3.9	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A40-4-5 S	
165	48.70	16.70	8.85	4.8	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A36-1-2813	
166	50.65	18.15	7.65	7.1	ル	先端は尖らぬ。表面は圓錐形で山形を呈す。	A40-5-5 S	
167	46.70	17.35	10.00	6.0	ル	先端は尖らぬ。表面は圓錐形で山形を呈す。	A1-1-278	
168	54.24	15.50	5.00	3.3	ル	先端は尖らぬ。表面は圓錐形で山形を呈す。	A36-3-731	
169	44.85	20.25	6.25	5.3	ル	先端は尖らぬ。表面は圓錐形で山形を呈す。	A39-2-795	
170	46.70	13.95	5.05	2.8	ル	先端は尖らぬ。表面は圓錐形で山形を呈す。	A3-1-161	
171	46.65	17.50	5.35	4.2	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A39-3-a N	
172	36.60	18.65	5.80	3.1	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A38-3-956	
173	40.40	14.40	4.60	2.2	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A44-1-1201	
174	36.20	20.15	16.85	3.8	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A29-1-c N	
175	44.05	16.75	8.45	5.4	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A35-2-868	
176	48.50	6.80	5.95	4.5	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A35-2-a N	
177	41.20	18.85	7.40	6.2	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A35-3-964	
178	45.85	15.75	7.80	5.5	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A35-4-a N	
179	46.20	17.20	6.70	4.0	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A38-3-560	
180	45.60	16.45	11.50	7.4	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A1-1-747	
181	40.20	16.95	9.60	5.0	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	A35-4-322	
182	44.15	17.90	7.30	5.5	ル	先端は尖る。表面は圓錐形で山形を呈す。	B24-1-b S	

番号	法 量	幅 幅	重量	石 質	質	概	出土地点
183	42.75	17.05	5.90	3.7	サスカイト	光形。先端は尖らず。基部は幅広。素材は翼状剥片。断面は台形。	A40-3-b S
184	41.65	18.00	5.30	4.1	B	光形。先端は尖らず。基部は幅広。翼状剥片を利用。断面は平な台形。	A24-1-d N
185	45.55	18.30	7.00	4.9	B	光形。翼端が尖らない。素材は翼状剥片。二次調整は、側面全面に丁寧に施す。	A35-3-668
186	45.25	16.10	5.85	4.1	B	光形。翼端が尖る。翼状剥片利用。基部に打面が残る。	A26-2-27
187	44.80	16.35	5.70	3.7	B	光形。翼端が尖る。翼状剥片利用。背面に1ネガ面。基部に打面を施かに残す。	A42-5-a S
188	57.15	16.25	11.50	8.8	B	光形。翼端が尖らない。素材は翼状剥片。刃部先端部で刃削りを利用。主要裏面は先端部付近に背面からの二次調整が施される。刃部	A40-2-d S
189	40.50	18.35	6.85	4.1	B	光形。翼端が尖らない。基部は薄くなり幅広。翼状剥片を利用。正面は2面よりなる。刃部基端部に小刻磨痕が見られる。	A35-4-164
190	45.75	15.10	6.80	5.2	B	光形。先端は尖る。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。断面は台形。	A36-1-2946
191	38.95	17.25	6.0	4.0	B	光形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。主翼前面中央部に刃削りが見られる。	A38-3-811
192	44.25	17.75	7.35	5.1	B	光形。翼端は尖らない。素材は翼状剥片。刃部はほぼ直線状で一次調整全面は外側を呈す。風化やや顕著。	A35-3-1075
193	44.55	14.05	4.95	3.1	B	光形。先端は尖らず。基部は幅広。素材は翼状剥片。断面は平な台形。	A36-2-2246
194	41.70	14.65	8.35	4.0	B	光形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。背面に抉り1ネガ面あり。	A35-3-1029
195	48.25	21.55	7.55	6.8	B	光形。先端は尖る。素材は翼状剥片。底面は複数からなる。主要剝離面中央部に刃部からの剝離痕あり。断面は台形。	A27-1-a S
196	41.70	17.10	6.30	3.8	B	光形。先端は鋭く尖る。基部は幅広。刃部の基部に剝離痕あり。	A35-3-957
197	44.35	19.00	6.75	4.6	B	光形。先端は尖る。基部は薄くななり幅広。素材は翼状剥片。刃部は外側を呈す。	A37-4-226
198	45.45	18.85	7.70	5.1	B	光形。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片。刃部は外側を呈す。	A39-4813
199	39.60	15.20	4.50	2.8	B	光形。翼端が尖らない。翼状剥片利用。背面は底面とネジ面からなり。二次調整は主要剝離面に施す。断面は台形。	B22-3
200	52.15	18.85	5.70	5.0	B	光形。翼端が尖る。素材は翼状剥片。背面に細かいネジ面あり。基部に打面が残る。断面は台形。	A37-4-255
201	38.40	16.05	6.40	3.1	B	光形。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片。二次調整は先端から中央部にかけて施す。刃部には打面が残る。二	A35-2-665
202	32.15	16.55	6.25	2.6	B	光形。翼端は尖らず。基部は幅広。素材は翼状剥片。二次調整は先端から中央部等にかけて施す。基部には打面が残る。二	C5-1-c N
203	39.00	16.10	8.25	5.2	B	光形。翼端が尖らない。翼状剥片を利用。先端部に打面を残す。	A36-2-351
204	44.05	17.15	7.55	5.0	B	光形。先端は尖る。素材は翼状剥片。側面の芯面をもつ。刃部中央部に小刻痕あり。断面は台形。	A39-4-a S
205	40.85	16.35	7.10	4.0	B	光形。先端は尖る。素材は翼状剥片。背面に複数のネジ面あり。刃部に複数の剝離痕を残す。	A38-2-2951
206	30.00	10.05	8.65	2.9	B	光形。先端は尖らず。基部は自然面を残す。翼状剥片を利用。刃部は外側を呈す。	A37-4-885
207	38.80	16.40	9.00	5.4	B	光形。翼端が尖らない。素材は翼状剥片。主要剝離面刃削りに複数箇所が見られる。	A38-3-625
208	39.60	17.45	5.55	4.5	B	光形。先端は尖らない。基部はやや幅広。翼状剥片を利用。正面は台形。	A38-3-d S

番号	法 長さ	量 幅	重 厚さ	石 質	鏡	鏡	出土地点
209	36.85	17.10	8.20	4.1	サヌカイト	先端は尖る。基部は幅広で自然面で自然面を残す。翼状剣形を利用。	A41-5-277
210	32.65	13.85	5.70	2.7	η	先端。先端は尖る。基部は尖る。素材は翼状片。背面は翼状片。背面に複数のネガ面あり。	C14-2-b S
211	37.90	16.55	6.90	3.7	η	先端。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状片。背面は翼状片。背面に複数のネガ面あり。刃部先端部付近に小刻面があり。主斜削面と基面	A38-3-969
212	67.80	18.10	8.00	8.0	η	先端。先端は鋭く尖る。基部は薄くなつて幅広。素材は翼状剣片。背面に2面のネガ面あり。	A36-2-1350
213	40.65	13.10	7.60	3.3	η	先端。先端は尖る。素材は翼状剣片。底面は2面よりもな。基部には打点が残る。	A36-1-2271
214	41.25	11.85	6.55	4.5	η	先端。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状片。背面は幅広で2面よりもな。基部には打点のない剥離底を見られる。	A39-2-87
215	37.65	15.30	8.80	4.8	η	先端。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状片。刃部や中央部に少しの剥離があり。断面は台形。	C52-a N
216	31.30	12.40	5.30	1.9	η	先端。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状片。刃部や中央部に少しの剥離があり。二次調整は先端から基面にかけて刃間に施	A37-1-1730
217	34.80	14.70	4.15	1.7	η	先端。先端は尖る。基部は幅広。薄い翼状剣片を利用。刃部と部等に微妙な剥離があり。	A40-2-c N
218	30.00	14.10	5.70	2.1	η	先端。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状片。背面に幅広のネガ面あり。	A38-1-1540
219	34.70	15.50	5.95	3.2	η	先端。先端は尖らず。基部には自然面を残す。素材は翼状片。先端に細かい二次調整が施される。	A11-1-a N
220	44.40	14.80	6.75	4.3	η	先端。先端は尖る。素材は翼状片を利用。底面は2面からなる。断面は台形。	A36-1-1519
221	42.35	15.25	8.15	4.4	η	先端。先端は尖る。素材は翼状片。風化やや顯著。	A27-1-b S
222	40.70	11.55	6.35	4.1	η	先端。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状片。刃部の基部に先端掠りに背面からの剥離底あり。断面は削離的な台形。	A36-2-2101
223	42.00	15.20	10.35	6.1	η	先端。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状片。二次調整面中先端掠りに背面からの剥離底あり。断面は削離的な台形。	A31-1-134
224	38.70	12.65	6.25	3.0	η	先端。先端は尖る。基部に自然面を残す。素材は翼状片。	C13-2-b N
225	40.05	14.10	7.40	4.1	η	先端。先端は尖る。基部は外弯を呈す。	A41-3-531
226	38.20	18.25	6.45	5.0	η	先端。先端は尖る。基部は主要剥離面間に自然面を残す。素材は翼状片。刃部先端に剥離底あり。	C12-1-a S
227	38.80	14.30	6.10	2.7	η	先端。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状片。	A24-1-d S
228	41.90	14.70	6.50	3.3	η	先端。先端は尖る。基部はやや幅広。素材は翼状片。二次調整は中央先端掠りから裏まで施する。	A27-2-230
229	43.00	16.70	7.65	5.2	η	先端。先端は尖る。素材は翼状片。二次調整は中央先端掠りから裏まで施す。	A33-2-207
230	42.00	16.50	6.80	6.9	η	先端。先端が尖る。翼状剣片を利用。背面基部等にリネガ面が1面あり。刃部先端付近に小剥離。	A39-3-802
231	42.00	19.50	7.35	5.8	η	先端。先端は尖る。基部は尖らない。素材は翼状片。二次調整は先端から基面にかけて屈く施す。	A40-3-b S
232	46.55	12.35	5.85	3.4	η	先端。先端は尖る。基部は尖らない。翼状剣片を利用。基部には刃面が残る。刃部は直線状。二次調整面側は外弯を呈する。	A38-5-b S
233	39.40	16.25	5.55	3.6	η	先端。先端が尖らない。素材は翼状片。刃部は翼状片付近に剥離底がある。	C5-1-b S
234	43.15	14.95	6.05	3.5	η	先端。先端が尖る。基部は翼状片。刃部は翼状片付近に剥離底あり。	A4-2-335

番号	法 量	幅 厚	重 量	石 質	観 察	出土地点
235	36.85	13.20	8.70	3.5	サヌカイト 完形。先端は尖らない。素材は磨片剥片。	A39-3-b N
236	31.60	14.45	5.25	2.6	完形。先端は鋭く尖る。素材は磨片剥片。二次調整等に施し基部等りには打面が残る。	A37-3-d N
237	40.50	14.05	5.55	2.8	完形。先端が尖る。素材は磨片剥片。基部に凹面が残る。背面には複数のネギ面あり。	A42-3-d S
238	30.75	13.85	6.30	2.2	完形。先端が尖る。素材は磨片剥片。基部に凹面が残る。断面は台形。	A38-1-1667
239	33.55	15.20	5.30	1.7	完形。先端が尖る。素材は磨片剥片。基部は薄くなつて幅広。素材は磨片剥片。背面には打面を以て裏面を構成する。素材は磨片剥片。基部等りに打面を以て裏面を構成する。背面には打点があり。	A2-1-a S
240	47.45	18.95	11.00	6.3	完形。先端が尖る。素材は磨片剥片。底面は幅広。素材は磨片剥片。底面は2面よりなり。中央先端等りの刃面部には削除痕が見られる。基部には打点があり。	A36-2-1711
241	38.80	14.25	6.10	3.5	完形。先端が尖らない。磨片剥片利用。刃部剥片にも一次調整を施す。断面は台形。	C4-1-d N
242	39.65	16.85	6.20	4.4	完形。先端が尖る。素材は磨片剥片。底面は複数よりなる。風化顯著。	A38-3-d S
243	35.45	14.60	5.45	2.1	完形。先端が尖る。素材は尖らない。素材は磨片剥片。背面に幅広くネギ面が1面ある。	A25-2-b N
244	41.90	19.20	5.20	4.6	完形。先端が尖らない。素材は幅広。素材は磨片剥片。刃部先端等に削除痕が見られる。	A9-1-132
245	38.00	14.95	6.35	4.0	完形。先端は尖らない。素材は磨片剥片。刃部中央央部に削除痕があり。	A38-3-a S
246	39.80	14.65	5.75	2.9	完形。先端は尖る。素材は幅広。素材は磨片剥片。刃部剥片等に複数のネギ面が一面あり。二次調整等は刃部剥片等に施す。	A24-1-d S
247	35.60	15.95	7.20	3.1	完形。先端は尖る。素材は尖らない。素材は磨片剥片。刃部剥片等に外側自然面が残る。二次調整等は刃部剥片等に施す。	A36-4-432
248	30.05	15.35	7.20	3.5	完形。先端が尖る。素材は尖らない。素材は磨片剥片。背面には細長いネギ面が1面あり。刃部先端部に削除痕があり。	A24-1-d N
249	36.75	18.45	7.40	4.3	完形。先端は尖らず。基端は尖る。素材は磨片剥片。先端剥片近は背面から2次調整を施す。底面は複数のネギ面あり。	A39-3-460
250	31.80	12.80	5.55	1.8	完形。先端は鋭く尖る。素材は自然面を残す。素材は磨片剥片。刃部は直線状。	A39-2-1253
251	27.90	14.60	4.30	2.2	完形。先端は尖らない。素材は幅広。素材は磨片剥片。刃部は直線状。	A36-4-445
252	38.70	11.00	3.25	1.6	完形。先端が尖る。素材は薄い磨片剥片。先端剥片から中央部にかけては打面が残る。二次調整等は基部剥片等に僅かに残る。	C17-1-242
253	44.05	22.40	3.65	3.4	完形。西側が尖る。素材は磨片剥片。背面は底面とネギ面が一面でつ。二次調整等は背面剥片から残る。断面は扁平な台形。	A36-1-1060
254	77.45	32.65	12.30	30.5	先端は尖る。基端部破損。素材は厚い磨片剥片。基部には打面が残る。刃部に小剣風貌あり。	C11-2-52
255	70.80	19.05	8.15	9.7	先端は尖る。基端部破損。素材は磨片剥片。基部には打面が残る。二次調整等は丁寧に施す。刃部は外側を呈す。	素擦
256	79.15	20.50	12.55	17.9	先端は尖る。基端部破損。素材は磨片剥片。背面には複数のネギ面あり。刃部はやや円錐形。	A20-1-83
257	76.90	17.05	8.50	8.9	圓錐形が尖る。刃部一部破損。素材は磨片剥片。基部には細長く打面が残る。	A36-4-1371
258	59.90	21.75	10.40	12.5	先端は尖らず。基端部破損。素材は磨片剥片。背面には複数のネギ面あり。刃部はほぼ直線状に呈す。	A37-4-87
259	60.10	11.55	8.70	8.8	先端部破損。基部はやや幅広。磨片剥片を利用。二次調整等は一削除全面に施される。断面は台形。	A25-2-91
260	58.60	12.80	8.50	8.0	圓錐形。圓錐形。素材は1面。刃部は外側を呈す。	A8-1-54

番号	法 量	幅 寸	厚さ	重量	石 質	質	出土地点
261	67.20	18.15	10.45	11.4	サヌカイト	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片利用。背面に延長したが型を1面もつ。前面は2面よりもつ。前面は台形。断面は台形。	A23-1-a N
262	52.30	27.00	6.05	6.5	II	先端部破損。基端部は尖らない。素材は翼状剥片。二次調整後矢張り中央基部寄りまで施す。基部には打面を残す。刃部は直角である。翼状剥片を利用する。前面は基部付近で細くなり削減。背面に幅広で大きな刃が面が1面。	A39-3-b N
263	63.30	18.20	7.50	8.7	II	両端破損。素材は翼状剥片。基部に打面を残す。	A39-2-1125
264	64.50	24.00	8.60	11.4	II	先端部は尖る。基部は幅広で先端部破損。翼状剥片を利用。前面は基部付近で細くなり削減。背面に幅広で大きな刃が面が1面。	A38-1-4749
265	60.05	15.80	8.50	8.25	II	先端部破損。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。主要剥離部中央部に新しい破壊。	A40-4-c N
266	57.30	15.20	5.65	5.2	II	先端部は尖る。素材は翼状剥片。二次調整後矢張り中央部に丁寧に施す。	B4-71
267	51.20	17.00	4.50	—	遺物 不明	先端は尖る。基部破損。素材は翼状剥片。前面に2次調整を施す。前面は台形。	A38-2-4119
268	58.30	17.80	6.35	6.2	サヌカイト	両端破損。翼状剥片を利用。基部には打面が残る。風化やや強め。	A37-5-278
269	57.15	20.00	9.40	10.2	II	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。刃部先端部に調整を施す。前面は台形。	A35-4-46
270	52.30	20.60	5.6	8.3	II	両端破損。素材は薄い翼状剥片。背面のネギ面は大きくなっている。	B6-745
271	52.30	24.50	8.65	12.7	II	両端破損。素材は厚い翼状剥片。複数のネギ面を残す。主要剥離面に刃部から的小剝離部あり。前面は刃部から的小剝離部あり。	A30-1-c N
272	59.35	18.65	6.15	6.6	II	先端部は尖らぬ。素材は翼状剥片。前面は鋸歯状で斜面が一面。背面に刃部から的小剝離部あり。	A39-5-289
273	57.45	16.70	7.40	6.0	II	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。先端部に打面を残す。主要剥離部先端部に小剝離部あり。	A10-1-125
274	59.05	19.95	8.10	7.4	II	先端は尖る。基部は幅広で基端部破損。素材は翼状剥片。二次調整面側は山形を呈す。	A42-3-c S
275	54.95	20.40	7.20	8.7	II	先端部破損。基部は幅広で一部破損。素材は翼状剥片。二次調整後は尖らぬ。基部には打面が残る。主要剥離面の刃部には打面が残る。	A38-4-d S
276	64.25	19.40	10.40	10.0	II	先端部破損。基部は幅広で一部破損。翼状剥片を利用。刃部はやや打面。	A40-2-c S
277	59.45	18.25	8.70	8.4	II	先端部破損。素材は翼状剥片。底面は先端方向からの加熱。刃部基部に調整を施す。	A1-1-113
278	64.40	17.55	7.65	8.2	II	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。複数のネギ面をもつ。前面は台形。	A38-2-2735
279	63.10	24.15	8.30	12.4	II	先端部破損。基部は幅広で一部破損。素材は翼状剥片。中央部から先端にかけて打面が残る。主要剥離面に打点あり。	C17-1-d N
280	54.00	16.80	5.15	3.9	II	両端破損。翼状剥片利用。刃部は外側。二次調整面側は山形を呈す。	A39-2-1543
281	51.85	16.15	8.50	6.5	II	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。基部には打面が残す。	A37-4-53
282	56.80	18.60	7.15	8.3	II	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部側にも先端部に餘ぎ調整を施す。前面は台形。	A36-2-796
283	53.90	18.70	6.50	5.7	II	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。	A36-1-2233
284	62.70	15.70	8.60	8.9	II	先端部破損。翼状剥片を利用。先端から基端にかけて細かい二次調整を施す。	A4-1-125
285	58.95	15.95	8.75	4.4	II	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。二次調整は先端から中央基部よりまで施す。前面には打面が残る。	A39-3-1127
286	58.40	12.25	6.70	3.6	II	前面には打面が残る。	A36-3-2438

概							解	出土地点
番号	法 全	幅 厚さ	重 量	石 質	材 質	長 さ		
287	55.80	19.50	9.35	8.2	サヌカイト	先端は尖らない。基端部破損。素材は真状剥片。刃部先端から中央にかけて調整を施す。	A40-5-a S	
288	52.45	30.10	8.00	9.4	ル	先端が尖らない。基端部破損。素材は真状剥片。刃部先端から中央基部寄りにかけて打面を残す。基部には打面が残る。断面は側面からみて丸い形である。主要部表面に刃跡が残る。	A29-1-b S	
289	58.05	17.65	8.85	8.9	ル	断面が尖らない。刃部破損。素材は真状剥片。先端部に打面を残す。	A7-1-2771	
290	56.70	23.10	8.40	9.2	ル	先端は尖る。基部は一部破損。真状剥片を利用。先端から中央まで打面を残す。二次調整は基部に施す。主要部表面には打点がある。	A29-1-a N	
291	58.65	18.05	8.90	10.0	ル	先端が尖らない。基部は尖らない。二次調整部が一部破損。真状剥片を利用。基部の一部自然面を残す。主要部表面と面部に刃跡から	A27-1-b S	
292	54.00	18.60	7.95	6.3	ル	先端は自然面を残す。基端部破損。真状剥片を利用。先端部に打面が残る。氯化銀着。	A38-5-a N	
293	53.60	20.15	5.70	6.3	ル	先端は尖る。基端部破損。素材は真状剥片。先端部に打面が残る。刃部先端に刃跡が施されている。	A11-1-b S	
294	51.05	18.50	9.55	7.6	ル	先端部破損。基部は彎曲。素材は真状剥片。背面には大きな面が2面ある。刃部は直線状。二次調整面側は外縁を量す。	A29-2-a S	
295	54.45	16.50	9.00	8.6	ル	先端は尖る。基端部破損。真状剥片を利用。背面に大きな面は1面。刃部先端部に刃跡を施す。	A40-3-a S	
296	47.60	15.70	7.90	5.8	ル	先端は尖らない。基端部破損。素材は真状剥片。先端部に打面を残す。刃部に小刻み模様があり。	A36-4-487	
297	50.35	15.70	8.25	5.5	ル	先端部破損。基部はやや彎曲。素材は真状剥片。基部が近くに打面を残す。断面は台形。	A41-4-d S	
298	49.30	18.75	6.60	6.4	ル	先端は尖る。基端部破損。真状剥片を利用。二次調整は一側線全面に丁寧に施す。刃部に幾つか刃跡を残す。	A37-4-117	
299	47.95	18.05	10.40	8.4	ル	先端部破損。基部は彎曲。素材は真状剥片。背面に複数の小さな面があり。二次調整は粗い。刃部は前縁部を量す。	A29-1-b S	
300	52.75	15.50	7.75	5.5	ル	先端は剝離に尖る。基端部破損。素材は真状剥片。刃部は外縁を量す。断面は台形。	A36-2-382	
301	61.50	11.20	8.50	8.6	ル	先端部破損。基部はやや彎曲。真状剥片利用。刃部から外縁を量す。断面は台形。	B16-710	
302	47.65	19.60	11.70	9.5	ル	先端が尖らない。刃部の一部破損。素材は真状剥片。背面に複数の小さな面を持つ。	A2-1-漢土	
303	49.40	21.10	6.45	5.3	ル	先端は尖る。基端部破損。薄い真状剥片を利用。先端から中央部にかけて打面を残す。二次調整部は基部に施す。主要部表面に打	A37-2-1332	
304	55.30	15.15	9.75	8.0	ル	先端は尖る。素材は真状剥片。基部に打面が残る。	A26-2-538	
305	48.00	15.05	7.35	5.0	ル	先端は尖る。基端部破損。素材は真状剥片。刃部に6組かい刃跡を施す。	A-29-2-b N	
306	49.55	15.20	5.75	4.4	ル	先端は尖る。基端部破損。真状剥片を利用。氯化銀着。	A38-2-4466	
307	51.35	15.90	5.75	4.5	ル	先端は尖る。基部は尖らない。刃部の一部破損。真状剥片を利用。基部に打面を残す。	A38-3-c N	
308	53.50	21.55	8.95	6.9	ル	先端部破損。基部は尖る。真状剥片を利用。刃部に剝離模様あり。	A40-4-a N	
309	48.45	16.35	6.05	4.4	ル	先端部破損。基部は尖る。真状剥片利用。断面は台形。	A25-2-a N	
310	47.80	18.40	6.65	4.9	ル	側面破損。素材は真状剥片。基部に打面を残す。	A40-5-a N	
311	50.25	13.50	9.30	6.0	ル	先端は尖る。基端部破損。素材は真状剥片。二次調整面側は外縁を量す。	A40-4-a N	
312	45.20	18.55	6.60	4.9	ル	先端部破損。基部は彎曲。刃部は2面を量する。基部には打面が残る。断面は台形。	A35-4-36	

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	織	織	出土地点
313	49.75	18.95	5.75	6.0	サスカイト	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剣片。背面に複数のネガ面をもつ。刃部先端部に繊維を施す。	A41-305	
314	55.10	11.60	6.00	5.7	ア	先端は尖らない。刃部は一部破損。素材は翼状剣片。背面に複数のネガ面をもつ。刃部先端部に繊維を施す。	B19-36	
315	54.65	16.75	7.40	5.7	ア	先端は尖る。基端は鋭状剣片。素材は翼状剣片。背面は細かく施す。	A10-1-130	
316	42.95	18.05	5.55	4.3	ア	先端は尖る。素材は翼状剣片。基部は二次調整面からつかな刺繍面あり。	A36-2-2862	
317	43.95	17.10	6.40	7.3	ア	先端は鋭状剣片。基部は自然面が残る。翼状剣片を素材。刃部は直線状で、二次調整面側は山形を呈す。刃部は直線状で、二次調整面側は山形を呈す。	A39-3-323	
318	44.75	15.50	6.70	2.4	ア	刃端破損。翼状剣片を素材。刃部に微妙な刺繍面が見られる。	A35-2-a N	
319	45.55	17.65	5.90	4.8	ア	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剣片。先端部には打点が残る。刃部は直線状を呈す。	A35-4-330	
320	49.55	11.70	9.15	6.3	ア	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剣片。断面はほぼ三角形。風化やや繊著。	A38-1-3974	
321	5.00	16.95	5.40	4.2	ア	先端は尖る。基端部破損。翼状剣片を素材。ネガ面は1面。断面はほぼ平行形。	A41-3-d N	
322	49.00	18.55	5.90	5.4	ア	先端部破損。素材は翼状剣片。基部に打面を残す。主要刺繡面の基部より4部位から打点のない削除面が残る。	A35-2-d S	
323	53.35	13.00	9.70	9.8	ア	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剣片。刃部は外側を呈す。	A36-3-2227	
324	53.70	17.75	6.25	5.6	ア	先端は鋭く尖る。基端部破損。素材は翼状剣片。基部には刃面が残る。刃部は外側。二次調整面側は山形を呈す。	A39-2-a N	
325	44.60	20.00	5.10	4.5	ア	先端は尖らない。基端部破損。翼状剣片を利用。先端から中央部にかけて刃面が残る。主要刺繡面には打点が残る。背面はネガ面が残る。	A34-1-1455	
326	39.55	17.10	6.40	4.7	ア	先端部破損。基部は済くなり幅広。素材は翼状剣片。背面に複数のネガ面を有り。	A24-2-a N	
327	47.40	18.10	8.95	7.1	ア	先端は尖らない。基端部破損。翼状剣片を利用。刃部は外側。	C20-1-a N	
328	44.70	18.15	6.60	5.9	ア	刃端破損。翼状剣片を利用。組い二次調整面を残す。主要刺繡面には打点と打面を持つ。断面は台形。風化やや繊著。	A33-2-417	
329	49.95	15.10	6.25	4.1	ア	先端は尖る。基端部破損。翼状剣片利用。基部に打面を残す。	A37-3-d N	
330	41.35	14.70	7.90	3.5	ア	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剣片。先端部に打面を残す。	A24-2-c S	
331	49.05	15.05	7.40	5.0	ア	刃端破損。翼状剣片を利用。基部に打面を残す。刃部は外側。	A36-1-1571	
332	52.05	19.80	8.80	9.8	ア	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剣片。二次調整面は一面織全面に施す。	A35-5-313	
333	54.75	18.30	10.20	8.7	ア	刃端破損。素材は翼状剣片。刃部側にも二次調整面を施す。	C17-1-a N	
334	53.45	18.20	5.80	5.7	ア	先端部破損。翼状剣片を利用。基部に打面を残す。刃部は直線状。二次調整面側は山形。	B19-209	
335	53.05	18.55	5.75	6.0	ア	先端部破損。基部やや幅広。素材は翼状剣片。二次調整面は山形まで施す。基部には打面が残る。主要刺繡面に打点あり。刃部は直線状。	A40-4-174	
336	42.75	13.15	6.35	3.4	ア	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剣片。	A36-1-2887	
337	50.80	16.35	8.20	6.8	ア	先端は鋭く尖る。基端部破損。翼状剣片を素材。二次調整面は先端から基部付近にかけて施す。	C14-2-b S	
338	48.45	19.05	4.90	4.2	ア	先端は尖る。基端部破損。翼状剣片を素材。二次調整面は先端から基部付近にかけて施す。	A39-2-a N	

番号	法 量	幅 厚さ	重 量	石 質	概 要	概 要	出土地点
339	55.25	18.20	7.55	一 道 物 不 規 則 性 基 部 は 幅 広 で 先 端 は 幅 狭 く 尖 る。 先 端 部 は 鋸 刃 形 を 利 用 す。	先端は幅く尖る。基部は幅広で一部鋸刃。翼状削片を利用。		A35-1-1196
340	46.75	16.85	7.00	4.5 サ ス カ イ ト	先端は幅く尖らない。基端部破損。素材は翼状削片。		A37-4-5707
341	48.05	17.05	7.25	3.9 〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状削片。二次調整面側は山形を呈す。		A37-3-d S
342	46.00	19.80	9.30	7.5 〃	先端は尖らず自然面を残す。基端部破損。素材に打面を残す。		A39-1-150
343	54.60	20.75	7.95	6.4 〃	先端部破損。基部は尖らない。翼状削片を残す。基部に打面を残す。		A36-3-218
344	48.95	18.85	5.90	4.9 〃	両端破損。素材は翼状削片。基部に打面を残す。刃部に小剝離痕あり。		A36-2-2182
345	44.10	21.65	16.35	5.8 〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状削片。先端部附近に打面が残る。二次調整は基部に一面だけ残す。刃部に小剝離痕あり。		B2-119
346	47.70	12.35	6.30	一 道 物 不 規 則 性 基 部 は 幅 広 で 先 端 は 幅 狭 く 尖 る。 先 端 部 は 鋸 刃 形 を 利 用 す。	先端は尖る。基端部破損。翼状削片を素材。刃部は外側。二次調整面は山形を呈す。		A37-305
347	53.80	24.90	7.00	8.3 サ ス カ イ ト	先端は尖らない。基部の一部破損。素材は翼状削片。基部に打面を残す。主要剝離面の先端部には石核の側面が残る。断面は台形。		A34-2-903
348	47.65	15.95	7.70	5.0 〃	先端は尖る。基端部破損。翼状削片を素材。先端部に打面が残る。刃部に微少な剝離痕を残す。		A38-3-142
349	48.40	17.25	6.55	5.0 〃	両端破損。素材は翼状削片。二次調整は一個全長に丁寧に施す。刃部基部寄りに小剝離痕あり。		A38-2-769
350	49.85	17.20	7.60	6.7 〃	先端部破損。基部はやや幅広。翼状削片を利用。刃部の基部に調整を施す。断面は台形。		A30-1-b N
351	46.80	20.95	10.05	8.1 〃	両端破損。翼状削片を利用。刃部に小剝離痕あり。		A4-2-209
352	53.20	16.00	10.00	6.3 〃	先端は尖る。基部は尖らない。刃部の一部破損。素材は翼状削片。風化やや顯著。		A35-5-421
353	41.60	19.40	9.85	6.5 〃	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状削片。刃部に打面が残る。		A40-3-538
354	50.50	16.50	7.60	4.8 〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状削片。基部に打面が残る。主要剝離面に打点があり。		A38-1-223
355	51.20	15.00	8.50	7.2 〃	先端部破損。基部はやや幅広で自然面を残す。素材は翼状削片。二次調整は粗く施す。		A39-2-1496
356	50.60	15.65	6.10	3.0 〃	両端破損。翼状削片利用。刃部先端部に小剝離痕あり。刃部は外側。二次調整面側は山形を呈す。断面は台形。		C52-4-N
357	47.10	17.45	7.45	4.3 〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状削片。刃部に微少な剝離痕を残す。		A39-1-d N
358	47.65	14.65	5.65	4.3 〃	先端は尖らない。基端部破損。翼状削片を利用。二次調整は一側端全面に施す。		A37-5-298
359	46.70	19.10	7.00	5.8 〃	先端は尖る。基部は幅広で自然面を残す。素材は翼状削片。刃部先端部に剝離面あり。		A36-2-2387
360	42.70	15.55	5.20	3.5 〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状削片。風化やや著。		A35-1-1202
361	47.15	13.60	8.35	4.5 〃	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状削片。		A38-5-b N
362	44.20	16.65	7.00	5.0 〃	両端部破損。基部はやや幅広で自然面を残す。翼状削片を利用。基部に打面残す。		A36-2-1072
363	46.80	15.60	9.15	5.7 〃	両端部破損。基部は尖らない。素材は翼状削片。刃部先端部に調整を施す。刃部は内側を呈す。		A11-1-255
364	47.35	15.35	7.90	4.9 〃	先端部破損。基部は翼状削片。翼状削片を利用。二次調整面先端側に背面からの剝離痕あり。		A35-2-3

番号	法 量	幅	厚さ	重 量	石 質	断 面		出土地点
						横	縦	
365	44.85	16.10	6.20 <sup>15</sup>	3.9	サヌカイト	先端は尖る。基部部破壊。薬村は薬状剥片。先端部は一側面全面に屈かく残す。刃部は外彫。	A35-4-562	
366	45.60	14.60	7.65	4.9	H	先端部に打面が残る。刃部は外彫。薬村は薬状剥片。二次調整面側は山形。	A35-1-126	
367	45.90	15.70	6.95	3.9	H	先端部は幅広。刃部は一部破損。薬村は薬状剥片。二次調整は一側面全面に施す。	A35-1-c S	
368	40.00	19.25	5.2	5.3	H	両端破損。薬村は薬状剥片。基部付近に打面が残る。	A38-2-1936	
369	44.80	22.70	5.75	5.5	H	先端は尖らない。基部部破損。薬状剥片を利用。中央部に打面を残す。主要調整面に打点あり。	A38-2-2882	
370	44.15	20.40	6.80	5.6	H	先端は尖らない。基部部破損。薬状剥片を利用。底面は二面よりなる。刃部の一部に調査を施す。	A35-4-573	
371	42.45	18.35	7.95	5.4	H	先端部は尖らない。基部部破損。薬状剥片を利用。二次調整は一側面全面に施す。底面やや顯著。	A38-1-a N	
372	44.30	14.50	7.20	4.2	H	先端部破損。基部は幅広。薬村は薬状剥片。基部に打面を残す。刃部は直状。二次調整面側は外彫を呈す。	A39-1-d N	
373	39.80	17.10	7.30	4.1	H	先端は鋸くは尖らない。基部は幅広で基部部破損。薬村は薬状剥片。刃部は外彫。軽微面あり。	A38-5-a N	
374	39.40	15.45	4.70	3.4	H	先端は尖らない。基部部破損。薬村は薬状剥片。断面は扁平な台形。	A35-4-254	
375	45.85	18.45	8.55	6.0	H	先端部破損。基部は幅広。薬村は薬状剥片。断面は台形。	A36-4-105	
376	44.55	15.80	6.05	5.0	H	先端は尖らない。基部部破損。薬村は薬状剥片。二次調整は刃部基部から側面全面に施す。	B6-681	
377	49.75	18.15	6.30	6.4	H	先端部破損。基部はやや幅広。薬村は薬状剥片。刃部の基部部付近に刻痕有り。	A25-2-d N	
378	41.20	19.00	4.95	4.4	H	先端は尖らない。基部部破損。薬村は薬状剥片。刃部基部に調査を施す。	A19-1-a S	
379	44.70	15.50	5.90	3.6	H	先端は尖る。刃部の一部破損。薬状剥片を利用。基部付近に屈かる。二次調整を施す。	B5-47	
380	39.60	13.20	8.90	4.2	H	先端は尖らない。基部部破損。薬状剥片を利用。刃部は外彫。二次調整面は山形を呈す。断面は台形。	B9-309	
381	44.75	11.95	5.25	3.2	H	先端は鋸く尖る。刃部から茎間にかけて破損。薬村は薬状剥片。基部に二面を僅かに残す。	A35-5-425	
382	42.40	15.10	8.25	4.2	H	先端は尖る。基部部破損。薬村は薬状剥片。二次調整は先端から一側面全面に施す。断面は台形。	A39-3-1006	
383	42.90	18.80	8.85	6.4	H	先端は尖る。基部部破損。薬村は薬状剥片。主要側面の先端部に刻痕有り。刃部は山形。二次調整面側は山形を呈す。	A40-4-210	
384	43.45	16.20	6.40	4.6	H	先端は尖らない。基部部破損。薬村は薬状剥片。先端部付近に打面が残る。二次調整は中央から基部側にかけて施される。	A36-1-1355	
385	41.45	16.60	9.15	4.9	H	両端破損。薬村は薬状剥片。細かい二次調整が施される。	A9-1-15	
386	47.90	15.70	7.65	5.2	H	先端部破損。基部はやや幅広。薬状剥片を利用。刃部側にも二次調整を施す。	C19-1-b S	
387	43.40	17.15	5.20	4.1	H	先端は尖らない。基部部破損。薬村は薬状剥片。断面は扁平な台形。	A41-5-a N	
388	45.95	14.90	7.40	4.8	H	先端は尖らない。基部部破損。薬村は薬状剥片。基部に打面を残す。背面に複数のホガ面あり。	A36-3-1350	
389	47.35	15.9	6.20	5.5	H	先端は尖る。基部部破損。薬状剥片を利用。細かい二次調整を施す。	A39-4-147	
390	40.00	16.40	6.00	3.7	H	先端は尖る。基部部破損。薬状剥片を利用。細かい二次調整を施す。	A35-4-790	

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	質	概 要	概 要	出土地点
391	45.00	16.65	6.55	4.5	サヌカイト	先端部は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。刃部にハサキ痕がある。二次調整は一削線全面に施す。	A40-5-a N		
392	46.80	16.45	7.40	4.7	II	先端部は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。二次調整全面は山形を呈す。	A24-2-b2		
393	42.20	16.70	9.55	5.9	II	先端部は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部に多少の剝離痕があり。	A38-4-674		
394	40.80	18.40	6.75	4.6	II	圓錐破損。翼状剥片を素材。主要剥離面の刃部側に削面があり。刃部に多少の剝離痕が残す。	A40-2-c N		
395	45.45	19.00	—	—	遺物 不明	先端部は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。背面に複数のネガが面あり。主要剥離面の先端部に削面が3面ある。	A38-3-c S		
396	42.85	17.75	5.00	3.2	サヌカイト 骨	先端部は尖る。基端部は尖る。刃部の一部破損。翼状剥片を利用。底面は2面よりなる。先端部には刃面が残す。底面は扁平なC字形である。	C12-2-b S		
397	48.25	17.50	7.05	5.0	II	先端部は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。底面は先端部から刃が残る。	A38-1-52		
398	45.30	18.00	7.70	5.9	II	先端部は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。基部に刃面が残る。	A32-2-b N		
399	40.35	19.05	7.15	4.5	II	圓錐破損。素材は翼状剥片。刃部中央部に剝離痕がある。二次調整全面側は山形を呈す。	A40-3-a S		
400	38.75	17.55	6.90	4.1	II	先端部破損。基部はやや幅広。素材は翼状剥片。中央部に刃面が残る。刃部は直線状を呈す。	A42-5-d N		
401	40.20	18.55	7.35	5.4	II	先端部は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。低い次元で削面がある。底面は台形。	A24-2-c N		
402	47.65	15.40	7.75	4.4	II	先端部は尖らず。自然面を残す。基端部破損。素材は翼状剥片。主要剥離面先端部に剝離痕あり。風化やや顯著。	A38-3-383		
403	42.35	19.25	7.30	7.0	II	圓錐破損。翼状剥片を利用。刃部は直線状。二次調整全面は刃面を呈す。	B4-101		
404	41.95	20.10	6.30	4.8	II	圓錐破損。翼状剥片を利用。背面は幅広のネガ面が1面あり。底面はない。基部付近には刃面が残る。	A37-4-498		
405	31.30	20.85	7.05	5.8	II	圓錐破損。素材は翼状剥片。背面には複数のネガ面があり。	B1-337		
406	41.80	18.30	8.35	6.5	II	圓錐破損。翼状剥片を利用。	A29-1-a S		
407	38.60	20.00	7.00	5.5	II	先端部は尖らず。自然面を残す。基端部破損。翼状剥片を利用。先端部に刃面を僅かに残す。	A33-1-469		
408	42.75	17.55	6.55	5.1	II	先端部は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用。	A40-3-c N		
409	42.15	20.10	6.85	5.3	II	先端部破損。基部一部破損。素材は翼状剥片。二次調整は基部付近に僅かに削す。先端から基部付近にかけて刃面を残す。	A40-2-c N		
410	29.30	16.25	6.70	3.5	II	圓錐破損。素材は翼状剥片。底面は台形。	B4-529		
411	40.55	16.00	5.65	3.6	II	先端部は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用。基部に刃面を残す。底面は台形。風化やや顯著。	A35-5-349		
412	38.00	18.90	5.50	4.0	II	圓錐破損。翼状剥片を利用。背面のネガ面は幅広で大き。基部に僅かに刃面を残す。	A38-1-467		
413	37.40	16.55	6.35	3.8	II	先端部は尖らない。基端部一部破損。素材は翼状剥片。刃部の基部に小剝離痕あり。	A36-4-1404		
414	40.25	16.40	5.05	2.9	II	先端部は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片。刃部は外側を呈す。	A41-2-2		
415	40.05	17.95	4.85	3.7	II	先端部破損。基部は尖らない。翼状剥片を利用。基部に刃面を残す。底面が残る。	A39-3-842		
416	45.80	16.90	5.90	4.3	II	先端部破損。基部は尖る。底面は翼状剥片。底面は中央から基部にかけて細く残り。調整を施している。	C12-2-b S		

番号	法 量	幅 幅	厚さ	重 量	石 質	觀 察	解 釋	出土地点
417	45.10	15.15	6.20	3.8	サヌカイト	先端部破損。基部は尖る。木材は實状剥片。基部に僅かに打面を残す。断面は台形。	A39-3-135	
418	32.10	19.75	5.20	4.6	II	両端部破損。木材は實状剥片。	B21-656	
419	17.95	17.85	6.10	1.7	II	先端部破損。實状剥片を利用。二次調整は先端まで施される。断面は舟形。	B1-502	
420	46.75	14.10	7.20	4.3	II	先端は尖らない。木材は尖る。刃部の一部破損。二次調整は一部破損。断面は山形を呈す。	A33-1-729	
421	42.80	17.10	7.70	4.9	II	先端は尖る。基部破損。木材は實状剥片。基部に僅かに打面を残す。刀部は外弯。二次調整断面は山形を呈す。	A41-3-d N	
422	36.55	15.95	8.5	5.2	II	両端部破損。實状剥片を利用。断面は台形。	A41-4-d S	
423	36.80	15.55	7.90	4.4	II	両端部破損。木材は實状剥片。	A40-3-c S	
424	41.80	11.85	8.75	4.1	II	先端部破損。木材は實状剥片。刃部に小刻離痕あり。風化顯著。	A36-2-1304	
425	39.20	13.75	6.90	3.6	II	先端部破損。木材は實状剥片。	A39-2-a S	
426	39.35	16.60	5.70	3.5	II	先端部及び刃部の一部破損。基部は僅くなつて瘤状。木材は實状剥片を利用。	A35-5-53	
427	39.45	15.10	9.20	4.4	II	先端部及び刃部の一部破損。基部はやや瘤状。木材は實状剥片。底面は基部方向からの加筆。刃部の基部に調整を施す。	A21-1-156	
428	35.70	15.15	6.60	3.5	II	先端は尖る。基部部破損。實状剥片を利用。断面は台形。	A38-4-c N	
429	38.30	17.00	6.65	4.4	II	両端破損。木材は實状剥片。粗い二次調整を施す。風化顯著。	A33-1-300	
430	36.20	13.95	5.80	3.0	II	先端部破損。基部は尖る。木材は實状剥片。主要側面の先端部と刃部間に割離痕あり。風化顯著。	A35-4-556	
431	35.00	16.30	5.90	3.9	II	先端部破損。基部は尖らない。木材は實状剥片。刃部基部間に調整あり。	A24-1-d N	
432	37.90	14.45	6.55	2.7	II	両端破損。實状剥片を利用。断面は台形。	A40-3-c S	
433	38.10	13.50	5.75	2.8	II	先端部破損。基部は尖る。木材は實状剥片。	C15-2-a N	
434	37.85	14.00	6.15	3.0	II	先端は尖る。基部部破損。實状剥片を利用。熱を受けて底面に焦點がはしる。風化顯著。	A35-2-d S	
435	34.95	15.65	3.85	2.1	II	先端は鋭利に尖る。基部部破損。木材は薄い實状剥片。刃部は外弯。断面は扁平な台形。	A33-1-991	
436	35.30	12.10	4.00	1.8	II	両端破損。實状剥片を利用。刃部は直線状。断面は扁平な台形。	A22-1	
437	28.25	14.50	4.90	2.5	II	先端部破損。基部は瘤状。實状剥片を利用。基部附近には打面が残る。刃部は直線状。二次調整断面は山形を呈す。風化顯著。	B24-1-c N	
438	36.75	15.00	7.75	2.9	II	先端は尖らない。基部部破損。木材は實状剥片。粗い二次調整を施す。	A41-4-b N	
439	19.95	23.15	9.55	4.0	II	両端部破損。木材は尖らない。基部部破損。断面は外弯。	B24-a N	
440	39.10	19.25	7.90	5.3	II	先端は尖らない。基部部破損。實状剥片を利用。二次調整断面先端部には自然面を残す。風化顯著。	A40-2-a S	
441	35.70	20.00	5.05	3.3	II	両端部破損。實状剥片を利用。断面は扁平な台形。	A39-2-169	
442	39.35	21.15	4.50	3.1	II	両端部破損。木材は實状剥片。骨面に瘤状のホガ面あり。先端部には打面が残る。風化やや顯著。	A40-2-528	

番号	法 量	石 質	重 量	厚 さ	解
443	38.85	13.99	7.00	3.5	サヌカイト先端部破損。基部は尖らる。素材は質状剝片。
444	37.05	19.00	7.85	6.2	II先端から中央にかけての底面破損。素材は質状剝片。基部に打面を残す。
445	30.75	17.70	5.50	3.3	II先端は尖らない。基礎部破損。素材は質状剝片。
446	36.10	15.65	4.30	3.1	II先端は尖らる。基礎部破損。素材は質状剝片。先端には二次調整を焼きない。断面は扁平な台形。
447	35.05	17.35	5.30	4.0	II頭端部破損。素材は質状剝片。主要削面の先端部は先端方向からの加圧で薄く剥がれる。風化剥離。
448	38.45	18.35	7.70	4.4	II先端部破損。基部は薄くなつて幅広。質状剝片利用。
449	36.00	15.25	6.00	3.0	II頭端部破損。質状剝片を利用。二次調整面付近には打面調整以前の削面が残る。刃部はやや内側を屈す。
450	33.85	13.10	7.85	—	遺物不明 明照削片を利用。基礎部付近には打面が残る。
451	32.10	14.15	6.55	3.3	サヌカイト II頭端部破損。基部はやや幅広。質状剝片を利用。刃部に新しい底面多変あり。断面は台形。
452	34.80	15.65	9.90	5.2	II先端は尖らない。基礎部破損。素材は質状剝片。
453	38.50	11.55	5.20	3.6	II先端部破損。基部は幅広。質状剝片を利用。先端部付近には打面が残る。風化剥離。
454	33.75	15.65	6.50	2.5	II先端部破損。基部はやや幅広。質状剝片を利用。底面に基部方向からの加圧の削面が残る。断面は扁平な台形。
455	31.60	14.50	4.80	2.3	II先端は尖らない。基部はやや幅広。刃部はやや幅広。断面は台形。
456	35.70	11.85	5.80	3.5	II頭端部破損。素材は質状剝片。
457	32.55	15.75	4.80	2.6	II先端部破損。基部は尖らない。素材は質状剝片。基部付近に打面を残す。
458	36.20	13.05	4.00	1.8	II頭端部破損。素材は薄い質状剝片。先端部付近には打面が残す。断面は扁平な台形。
459	50.55	22.75	8.60	7.5	II先端は尖る。一部底部と基部に一部破損。素材は質状剝片。二次調整は先端部付近のみ細く残す。中央部から底面にかけて打面が残る。主要削面は打点あり。先端部は底面まで及ぶ。主要削面は底面まで及ぶ。基部は幅広な台形。
460	43.90	18.70	5.65	5.0	II頭端部破損。素材は質状剝片。先端部に打面を残す。背面のネガ面は1面で幅広で大きい。断面は扁平な台形。
461	42.35	16.20	6.30	4.2	II先端部破損。基部はやや幅広。質状剝片を利用。基部に打面を残す。刃部は外側を屈す。
462	35.85	17.10	6.20	2.6	II先端部破損。基部は尖る。質状剝片を利用。先端から中央部底面寄りまで打面が残す。二次調整は底面まで及ぶ。主要削面は底面まで及ぶ。刃部は底面まで及ぶ。主要削面は底面まで及ぶ。基部は幅広な台形。
463	33.50	13.00	8.40	2.7	II先端は尖る。基部は尖る。中央部底面寄りに打面が残る。基部の二次調整の削面は底面まで及ぶ。主要削面は底面まで及ぶ。刃部は尖る。基部は幅広。素材は幅広。
464	55.70	19.45	9.75	8.8	II先端は尖る。基部は尖る。刃部は底面まで及ぶ。背面のネガ面が残る。主要削面は底面まで及ぶ。刃部は底面まで及ぶ。
465	48.10	15.50	6.50	4.5	II完形。頭端は尖る。素材は質状剝片か。ネガ面は中央部に幅広く残る。刃部先端に少しき裂れあり。
466	59.05	19.55	11.20	10.5	II完形。頭端が尖る。底面は2面よりなり中央部に幅広く残る。ネガ面は中央部に小さく残る。刃部は外側を屈す。
467	57.00	18.3	10.95	8.1	II完形。頭端が尖らない。底面は広く。ネガ面は底面付近に幅広く残る。基部部には二次調整削面からの中大きな削面あり。
468	53.25	15.45	9.65	6.6	II完形。先端は尖る。基部は尖らない。背面の基部には二次調整削面からの中大きな削面あり。

番号	法 量	量	重量	石 質	質	解	出土地点
469	61.70	18.65	11.35	9.7	サヌカイト	完形。両端が尖る。ネガ面は背面中央部に僅かに残る。底面基部付近に亀裂がある。万部に小字刻まれり。	A36・1・24/9
470	52.80	14.65	9.45	5.6	η	完形。両端が尖る。中央部に細長い水道跡が残る。万部先端部に剥離痕あり。万部は外壁。	A41・3・24
471	53.10	17.35	7.10	6.3	η	完形。先端は尖る。基部は幅広。中央部に僅かにネガ面を残す。万部基部に剥離痕を施す。	A39・3・981
472	61.05	16.00	10.20	7.3	η	完形。先端が尖る。基部は幅広。表面材は裏剥片か。表面材はやや幅広。	A38・2・1876
473	42.45	11.60	5.25	3.6	η	完形。先端が尖る。先端部から中央部にかけて細いネガ面が僅かに残る。二回調査は基部に粗く施す。万部基部付近にも調査	B5・35
474	48.45	15.15	7.30	4.3	η	完形。先端が尖る。基部は幅広。中央部から基部よりにかけて小さなネガ面が複数ある。主要剥離面が剥離部中央部に削り取れ。先端が2ヶ所。風化。	A47・3・c S
475	48.00	12.50	5.95	5.2	η	完形。先端は尖る。基部は幅広で自然面を残す。中央先端部から基部にかけて屈曲し複数ある。二回調査は粗く施す。万部基部に剥離痕を施す。	A36・3・59
476	43.95	14.55	9.70	4.6	η	完形。先端が尖る。基部は薄くなり幅広。中央部に僅かにネガ面が複数ある。万部基部に剥離痕を施す。	A39・2・1289
477	54.75	17.30	11.20	8.4	η	完形。先端は尖る。基部は幅広。中央部は中央から基部にかけて削り取れ。二回調査は粗く施す。万部は外壁。	C81・1・c N
478	43.60	18.40	8.55	—	燧物 不明	完形。先端は尖らぬ。基部は幅広。ネガ面は中央部に僅かに残る。二次剥離は粗く施す。万部中央部に剥離痕を施す。	A34・3・33
479	46.75	21.60	10.65	9.6	サヌカイト	完形。先端は尖らぬ。基部は幅広。背面中央部にネガ面を残す。主要剥離面の万部側には剥離痕が多數残る。	C9・1・59
480	44.30	18.95	7.30	5.1	η	完形。先端は尖らぬ。基部は幅広。背面中央部にネガ面を残す。主要剥離面の万部側よりに粗く施す。先端部	C13・1・c N
481	46.55	15.35	7.20	4.5	η	完形。先端は尖らぬ。基部は幅広。背面中央部にネガ面を残す。万部は中央部に小さく残る。万部は中央部に複数の剥離痕あり。二次調	A38・1・2997
482	49.20	15.55	9.00	6.3	η	完形。先端は尖らぬ。基部は幅広。A面はやや風化。基部にはネガ面がある。B面はボンド面と剥離からのがたの二次剥離面とで	A82・2・a S
483	51.65	16.15	10.15	6.7	η	完形。先端は尖らぬ。基部は幅広。背面中央部に細長くネガ面が残る。	A37・4・a N
484	51.30	12.15	7.65	5.5	η	完形。先端は尖らぬ。基部は幅広。背面中央部に自然面を残す。	A25・2・58
485	49.25	16.75	8.70	6.2	η	完形。先端は尖らぬ。基部は幅広。中央部に自立面を残す。万部は中央基部よりに僅かに	A34・2・64
486	50.90	16.90	8.75	5.3	η	完形。先端は尖る。基部は尖らぬ。ネガ面は中央基部よりに僅かに残る。万部に微少な剥離度あり。	A38・1・4632
487	46.15	16.80	7.30	4.8	η	完形。先端・基部は尖らぬ。底面は2面よりもなる。背面中央部に小さくネガ面あり。	A38・1・4968
488	52.70	15.95	6.40	4.4	η	完形。先端は幅広く、基部は尖らぬ。ネガ面は中央部に小さく残る。二回調査は一回調査面に丁寧に施す。万部は内側。二	A25・1・a S
489	44.05	15.35	8.85	5.3	η	完形。先端は尖る。基部は幅広。中央部に自立面を残す。万部は先端よりに僅かに剥離。風化面有。	B11・287
490	38.10	9.00	5.50	2.5	η	完形。先端は尖る。基部は幅広。中央から基部よりにかけてネガ面が残る。万部は直線状。	A38・2・1264
491	36.55	16.15	7.15	3.5	η	完形。先端は尖らぬ。基部は幅広。ネガ面は背面中央部に小さく2面残る。基部に打痕が残る。	A38・5・3
492	38.60	15.20	10.00	3.6	η	完形。先端は幅広く、基部は尖らぬ。ネガ面は背面中央部から先端よりに非常に粗く残る。万部の基部に剥離を施す。断面は円	A39・2・a S
493	36.70	14.20	6.15	2.7	η	完形。先端が尖らぬ。中央から基部にかけて小さなネガ面が2面残る。	A25・1
494	39.15	16.70	6.45	3.7	η	完形。先端は幅く尖る。基部は幅広。背面中央部にネガ面を残す。風化面有。	A37・4・a S

番号	法 長さ	量 幅	高 厚さ	石 質	測 量	解 説	出土地点
495	32.25	14.00	5.10	2.0	サヌカイト	先端は尖らない。基部は幅広。基部よりに細くネガ面を残す。刃部の基部よりに小刺繡痕。	B7-1133
496	31.30	11.10	6.15	2.0	II	先端が鈍く尖る。先端は中央から基部にかけて残る。刃部を調節部に調整する。	A2-1-b N
497	46.60	14.50	9.35	5.1	II	先端は尖る。ネガ面は中央から先端にかけて細長く残る。底面の基部部に刺繡痕があり。	A37-5-c S
498	51.70	18.60	6.35	6.1	II	先端は尖る。基部が鋸歯状。中央から先端部よりに非常に細くネガ面が残る。刃部は外縁を呈す。	A47-5-a S
499	55.40	15.10	8.60	6.2	II	先端が鋸歯状。基部は尖らない。基部は中央から先端にかけて細かい調整あり。	A38-4-d S
500	69.95	18.40	11.60	11.1	II	先端部破損。基部は尖る。ネガ面は背面に粗く残る。二次調整は一側斜全面に施す。	A29-2-b N
501	59.25	18.20	7.80	7.2	II	先端部破損。基部は尖らない。ネガ面は先端部に残る。基部に背面に多面角あり。二次調整は中央から中央部まで施す。基部に背面に多面角あり。	A36-3-236
502	53.50	21.30	11.45	13.0	II	先端部破損。基部は中央部に小さく残る。刃部側にも調整を施す。	B7-356
503	62.20	17.95	8.90	7.6	II	先端部及び刃部の一部破損。基部は尖る。基部の二次調整面間に自然面を残す。中央から基部にかけて小さくネガ面を残す。二 次調整部及び刃部は直線状。刃部は外縁を呈す。	C19-1-a S
504	52.25	16.60	10.75	7.5	II	先端部破損。基部はやや細い。刃部は中央から基部にかけて成長し残る。刃部に小刺繡痕あり。	A34-1-1180
505	60.30	19.20	11.20	10.2	II	先端は鋸歯状。基部部及び刃部の一部破損。基部は自然面を残す。ネガ面は背面中央部に小さく残る。刃部先端部に調整あり。	B12-795
506	52.25	16.90	8.80	7.3	II	先端は鋸歯状。基部に刃面が残る。背面中央部附近にネガ面あり。風化剥落。	A38-190
507	55.45	18.25	11.45	9.6	II	先端部破損。基部は背面で僅かに自然面を残す。先端部から中央部にかけて非常に細くネガ面を残す。基部には調整を施す。風 化剥落。	A41-5-a N
508	51.85	15.85	8.25	6.1	II	先端は尖らない。背面部破損。ネガ面は小さく3面残る。基部には調整を施す。主要側面刃部間に小刺繡痕あり。	A42-3-d S
509	54.85	15.85	6.90	5.3	II	先端部破損。基部よりに小さなネガ面があり。刃部は背面中央部に僅かに残る。先端部に刃面が見られる。刃部に複数の小刺繡痕。	B17-298
510	52.40	15.40	8.90	4.9	II	先端部及び刃部の一部破損。基部は自然面あり。ネガ面は背面中央部に残る。	A41-5-a N
511	51.65	16.40	8.20	5.3	II	先端は尖らない。刃部は背面中央部に僅かに残る。先端部に刃面が見られる。刃部に複数の小刺繡痕。	A39-2-279
512	49.45	20.20	7.20	5.8	II	先端は尖らない。基部部破損。ネガ面は背面中央部に僅かに残る。先端部に刃面が残る。刃部先端部付近に微少な刺繡痕あり。	C18-1-c N
513	46.75	17.75	7.70	5.5	II	先端は尖らない。刃部は背面部及び基部部破損。基部にネガ面が残る。刃部は外縁。二次調整面は山形。	A42-3-c S
514	53.10	19.50	8.45	6.8	II	刃部部破損。先端部付近にネガ面が残る。刃部は外縁。二次調整面は山形。	A25-1-c S
515	55.20	20.85	9.40	7.4	II	先端部破損。基部は幅広。ネガ面は中央部よりに残る。刃部は中央部附近に二次調整面から中央部へ向かう調整あり。刃部先端部 よりに向けて残る。基部部破損。刃部を調整する。主要側面刃部間に小刺繡痕あり。	A34-1-1395
516	56.15	19.05	10.00	10.8	II	先端部及び刃部の一部破損。背面中央部よりにネガ面が残る。刃部は外縁。二次調整面は山形。	不明-5-102
517	44.40	18.50	8.95	6.1	II	先端部及び刃部の一部破損。刃部は中央部よりに残る。刃部は外縁。二次調整面は山形。	C15-2-a N
518	44.90	16.70	9.80	6.9	II	先端は尖らない。基部部破損。刃部は基部に僅かに残る。刃部は外縁。二次調整面は山形。	A39-2-c S
519	46.90	14.35	9.10	5.2	II	先端は尖る。基部部破損。刃部は基部に細長く残る。刃部は外縁。二次調整面は山形。	B3-9
520	47.20	16.95	7.55	4.8	II	先端は尖る。基部部破損。刃部は中央部に非常に小さく残る。	A36-3-1974

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	性 質	出土地点
521	43.60	18.95	8.15	5.1	サヌカイト	先端は尖らない。基部は幅広。中央から先端にかけて縦長くネガ面が残る。刃部はほぼ直線状を呈す。刃部やや頸部。	A38-5-233
522	45.90	19.75	8.85	6.7	石	先端部破損。基部は幅広で自然面で自然面を残す。ネガ面は中央から基部にかけて残る。長い二次調整を施す。刃部基部に剝離部あり。	A41-4-c N
523	46.70	15.40	8.90	5.8	石	先端は尖らない。基部部破損。背面に小さくネガ面が残る。主要剝離面基部に刃削痕から的小剝離痕あり。風化面。	A38-2-336
524	40.45	22.20	8.20	6.9	石	先端は尖らない。基部部破損。基部付近にネガ面が残る。先端部に打痕あり。	A39-4-689
525	40.50	16.45	11.00	6.7	石	先端は尖らない。基部部破損。中央基部よりにネガ面が残る。断面は台形。	A33-2-332
526	44.10	13.85	7.55	3.8	石	先端部破損。基部に打面を残す。主要剝離面中央部剥離により剝離部あり。	A36-3-1132
527	44.45	15.25	9.55	4.4	石	先端は尖らない。刃部の一部及び基部部破損。中央部から先端にかけて細長くネガ面が残る。断面は刃部前方からの加厚。風化。	A38-1-2869
528	36.85	20.60	6.80	3.9	石	先端部破損。基部は幅広。ネガ面は基部よりに小さく残る。基部に打面を残す。	A34-2-49
529	41.95	16.95	8.25	5.1	石	先端は尖らない。基部部破損。ネガ面は中央から先端部に残る。風化面。	A41-4-c N
530	39.35	14.45	7.30	3.6	石	面端部破損。ネガ面は中央部に残る。二次剝離面方向から裏面の中央から先端にかけて剝離を施す。風化やや頸部。	A34-2-840
531	49.40	18.85	10.60	7.4	石	先端部及び刃部の中央部破損。中央部付近にネガ面を残す。刃部先端部に剝離を施す。刃部が外側。二次剝離面側は山形を呈す。	A41-5-d N
532	35.30	16.30	10.75	4.5	石	先端は尖らない。基部部破損。中央先端よりにネガ面を残す。粗い二次調整を施す。粗い二次剝離痕。	A35-2-672
533	43.30	16.70	8.45	5.3	石	先端は尖らない。基端部破損。先端部に打面を残す。刃部に幾少剝離痕あり。	A39-3-1128
534	39.95	14.15	7.90	3.5	石	先端は鋸く尖る。基端部破損。中央部に長くネガ面が残る。刃部に小剝離痕あり。風化面。	A38-4-b S
535	44.60	19.30	9.70	6.1	石	門歛は尖らない。背面中央部に小さくネガ面が残る。刃部が外側。二次剝離面側は山形を呈す。風化面。	A40-2-d S
536	38.85	10.95	7.25	3.8	石	先端は尖らない。基端部一部破損。ネガ面は中央部に小さく残る。刃部先端部に剝離を施す。断面は自然面。風化やや頸部。	A35-3-1281
537	38.15	17.40	7.35	4.15	石	面端部破損。ネガ面は中央部よりから先端部まで長く残る。主要剝離面の基部に剝離痕あり。	A41-4-c S
538	35.10	16.75	8.60	4.7	石	面端部破損。ネガ面は断面部に残る。刃部は直面状を呈す。風化面。	B21-823
539	37.20	18.30	7.15	3.9	石	先端は尖らない。基端部破損。ネガ面は中央部から先端部で幅長く残る。主要剝離面には打点と打面が見られる。	A40-3-396
540	39.15	17.00	6.55	4.3	石	面端部破損。ネガ面は中央部から基部にかけて剝離を施す。刃部の基部に剝離を施す。	A40-4-b S
541	35.15	12.75	6.80	2.8	石	先端は尖らない。基端部破損。ネガ面は背面の中央や少し基部にかけて幅長く残る。先端部は背面から主要剝離面から二重剥離を施す。	A2-2-N
542	36.70	17.40	5.85	3.0	石	先端は尖らない。基端部破損。ネガ面は中央部から基部にかけて小さく残る。	A41-4-682
543	43.05	15.75	8.20	5.1	石	先端部破損。基端は尖らない。ネガ面は中央基部よりから先端にかけて細長く残る。刃部中央部に剝離痕あり。	A26-2-207
544	47.65	17.75	6.85	4.9	石	先端は尖らない。基端部破損。ネガ面は中央から基部にかけて幅長く残る。先端部に打面を残す。	A37-3-a S
545	41.80	22.75	8.80	7.1	石	先端は尖らない。刃部及び基部の一部破損。中央部に小さな凹面が残る。刃部先端部に剝離を施す。	A40-3-b S
546	33.55	16.60	7.70	3.7	石	先端部破損。基端は尖らない。ネガ面は中央部に小さく残る。刃部の先端に自然面が残りそこから中央にかけて逆損している。	A40-4-c N

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	質	出土地点
547	66.55	15.50	8.35	7.7	サヌカイト	A 36・3-30
548	54.25	19.60	11.75	10.3	〃	A 36-1・2225
549	52.80	24.30	8.90	9.6	〃	C 3-1・b N
550	55.75	18.75	9.10	7.0	光形。先端が尖る。基部は自然面。両端が尖らなく。二次調整面あり。断面は山形。断面は三角形。	B 20・228
551	52.10	24.15	8.55	9.0	光形。先端が尖る。基部は自然面。両端が尖らなく。二次調整面あり。断面は山形。断面は三角形。	A 32・1・63
552	62.65	15.30	9.65	6.4	光形。両端が尖る。先端部に新しい剥離。両端は外端を呈す。断面は三角形。	A 40・3- <sup>a</sup> S
553	43.80	19.35	9.75	7.1	光形。先端が尖る。基部は自然面。両端は外端。断面は三角形。	A 41-4-d S
554	53.10	16.95	8.75	7.9	光形。両端が尖る。先端部に外端。二次調整面は削除され。断面は三角形。風化顯著。	A 33-1・502
555	54.10	17.00	12.75	5.4	光形。先端が尖る。基部は尖らない。両端に打点のない削除面あり。断面は三角形。	A 36-2・2700
556	51.65	14.00	8.45	5.2	光形。両端が尖る。底面が基部に刃状剥離を呈す。両端は直線状。二次調整面側は外端を呈す。断面は三角形。風化顯著。	A 38-2・2901
557	51.80	16.00	7.65	4.3	光形。両端が尖らない。断面は三角形。	A 38-1・1-2933
558	46.85	16.70	8.90	5.0	光形。先端が尖る。基部はやや屈曲。側面中央部に細く楔るのはネガ面か。基部に打痕を残す。断面は三角形。風化顯著。	A 28-2- <sup>a</sup> S
559	48.80	14.65	9.35	4.5	光形。先端が尖く尖る。先端部は尖らなく。両端は外端。二次調整面側は山形を呈す。断面は三角形。風化やや顯著。	A 34-2-2725
560	55.80	19.05	9.15	7.4	光形。先端が尖く尖らない。基部は屈曲。粗い二次調整を施す。両端に複数な剝離があり。断面は三角形。	A 34-5-122
561	57.30	20.25	7.95	6.9	光形。先端が尖る。基部はやや屈曲。両端が尖らなく。両端に多少の剝離があり。断面は三角形。	A 39-2-a N
562	46.95	14.75	7.20	4.2	光形。先端が尖る。基部は尖らない。両端部にも二次調整を施す。断面は三角形。風化やや顯著。	A 35-2-666
563	50.30	19.30	8.75	6.6	光形。先端が尖る。基部はやや屈曲。両端に小剝離あり。断面は三角形。	A 8-2-7
564	54.85	15.50	10.60	6.0	光形。先端が尖らない。基部に自然面を残す。両端部に小さな剝離が残る。断面は三角形。	A 42-3-d S
565	42.60	15.00	9.00	4.5	光形。両端が尖らない。両端は先端部から基部にかけて破壊。断面は三角形。	A 37-4-886
566	45.00	21.00	6.90	5.4	光形。両端が尖る。二次調整面の先端から中央部にかけて自然面が残る。両端部に調整を施す。	A 40-5- <sup>a</sup> C N
567	42.40	18.80	7.80	4.8	光形。先端が尖る。基部は屈曲。両端部に自然面を残す。断面は三角形。	A 35-4-154
568	37.15	16.25	6.20	3.6	光形。両端が尖らない。基部に打痕を残す。断面は三角形。	A 35-5-296
569	42.65	14.05	7.95	3.6	光形。先端が尖る。基部はやや屈曲。断面は三角形。	A 35-2- <sup>a</sup> N
570	45.45	16.10	7.40	4.1	光形。先端が軽く尖る。基部は屈曲。断面は三角形。	A 40-2-585
571	43.55	18.25	7.50	6.0	光形。先端が尖る。基部は屈曲。両端部に小剝離あり。断面は三角形。	A 34-1-950
572	42.60	17.85	6.95	4.5	光形。先端が尖らない。基部は尖らない。基部に打痕を残す。両端部に小さく剝離を残す。	A 39-4-413

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	鏡		出土地点
						鏡面	背面	
573	39. <sup>76</sup>	13. <sup>75</sup>	8. <sup>55</sup>	3. <sup>5</sup>	サスカイト	先端は尖らない。基部はやや幅広。主要刻面の先端部付近に小刻溝あり。刃部は直線状。二次調整面側は外縁を呈す。	A35-2-799	
574	46.25	13.40	9.55	6.3	II	先端。背面は三角形。	A40-4-c N	
575	37.95	15.75	7.70	3.8	II	先端。背面が尖らない。底面は2面よりなる。刃部先端部に刻溝面あり。断面は三角形。	C13-1-d N	
576	35.95	15.40	8.65	3.3	II	先端。先端は尖らない。基部は尖らない。主要刻面の先端部に小刻溝あり。断面は三角形。	A35-3-791	
577	44.55	17.15	7.65	5.0	II	先端。先端は尖らない。基部は自然面を残す。断面は三角形。	A30-1-b S	
578	42.85	20.35	11.35	6.8	II	先端。先端は自然面が残る。基部は尖らない。二次調整は基部側に細かく施す。断面は三角形。	A25-1-a S	
579	39.35	18.65	8.30	3.9	II	先端。先端は尖る。基部は幅広。断面は三角形。	A36-3-234	
580	36.45	17.50	7.75	3.4	II	先端。先端は尖らない。基部に自然面を残す。刃部は外縁。二次調整面側は山形を呈す。	A34-2-461	
581	38.80	13.35	9.20	3.8	II	先端。先端は尖らない。基部に自然面で横筋を残す。底面は刃部基部の方からの方筋で横筋を残す。主要刻面の基部方面に刻溝を呈す。	A38-1-244	
582	39.65	19.10	6.45	4.6	II	先端は尖らない。基部の一部被削。断面は三角形。	A36-3-1761	
583	40.95	13.65	9.80	4.3	II	先端。先端は尖らない。基部は幅広。二次調整面中央先端よりに背面から小さく刻溝を施した面あり。断面は二等辺三角形。	A40-2-b S	
584	35.45	13.60	7.65	3.0	II	先端。先端が尖らない。刃部の一部被削。粗い二次調整を施す。断面は三角形。風化顯著。	A36-3-202	
585	30.50	14.30	4.95	1.5	II	先端。先端は尖らない。基部はやや幅広。断面は三角形。	A40-3-c S	
586	33.70	13.80	6.35	2.4	II	先端。先端が尖らない。底面に二次調整面からとの刻溝あり。先端部は主要刻面から二次調整を施す。断面は三角形。	A11-4-430	
587	40.70	15.75	9.15	3.9	II	先端。先端が尖らない。刃部の基部にも二次刻溝を焼す。断面は三角形。	A29-1-d S	
588	41.45	16.40	6.75	4.0	II	先端。先端は尖らない。二次刻溝は先端から中央にかけて残す。中央部から基部にかけては自然面が残る。断面は三角形。風化	A39-4-256	
589	31.20	11.25	4.90	1.7	II	先端。先端は尖る。基部に背面からの二次刻溝を施す。刃部は基部側であり。断面は三角形。風化顯著。	A24-2-a S	
590	30.35	11.20	6.45	1.6	II	先端。先端は尖る。基部は尖らない。二次刻溝は一部被削側面から施す。刃部は外縁を呈す。断面は三角形。	A35-3-b N	
591	34.30	19.30	5.45	2.9	II	先端。先端が尖る。刃部は尖らない。断面は三角形。	A2-2-c N	
592	41.60	15.25	5.60	2.9	II	先端。先端は尖る。断面は幅広。二次刻溝を焼す。断面は三角形状を呈す。	A26-1-64	
593	43.15	18.45	8.30	5.3	II	両端被削。背面の基部に主要刻面の加厚方向と重交する刃部が残る。断面は三角形。	B3-370	
594	46.35	14.60	7.00	3.5	II	先端。先端は尖らない。基部に打面を残す。断面は三角形。風化や闇苔。	A36-2-3079	
595	44.05	17.20	7.65	4.1	II	先端が尖る。刃部の基部に刻溝を施す。断面は自然面を残す。断面は三角形状を呈する。	A27-2-b N	
596	47.80	12.65	7.60	3.9	II	先端。先端が尖る。基部に打面を残す。断面は三角形状を呈す。	A29-1-d S	
597	52.05	16.30	7.55	4.3	II	先端。先端は尖らない。基部は尖る。刃部は直線状。二次調整面側は山形。断面は三角形。	A38-657	
598	47.00	18.05	7.55	5.7	II	先端。先端は尖らない。基部に打面を残す。二次調整面の先端から中央部にかけて打面調整以前の打面面が残る。	B9-206	

番号	法 量	量	石 質	量	厚さ	幅	長さ	出土地点
599	41.10	14.15	8.20	3.5	サヌカイト	先端が尖る。底面先端部に先端方向から加圧の跡面あり。二次調整は先端部にかたよる。断面は三角形。	599	B15-359
600	60.20	20.50	7.65	8.6	II	先端は尖らず。万節の基部に小さく調整を施す。二次調整は一側縫合面に施す。断面は三角形。	600	A35-5-328
601	64.70	23.20	8.40	9.2	II	先端は尖らず。基部及び万節の一端破損。万節は外壁、二次調整面側は直線状を呈する。断面は三角形。風化層	601	A38-4-809
602	56.40	17.15	8.15	7.6	II	先端部破損。底面の先端部に調整を施す。万節は直線状。二次調整面側は外壁を呈する。断面は三角形。風化層	602	C9-1-c N
603	53.50	6.00	6.55	8.6	II	先端部破損。底面の先端部から打点の多い調整面あり。断面は三角形。風化やや顕著。	603	A30-2-a S
604	54.15	17.50	8.85	6.8	H	先端は尖る。基部部破損。底面基部に二次調整面側から剥離面あり。断面は三角形。風化やや顕著。	604	A39-3-492
605	51.50	14.55	7.05	3.9	H	先端は一側縫合面に丁寧に施す。断面は三角形。風化やや顕著。	605	A41-5-3
606	48.85	15.15	6.15	4.5	H	先端部破損。背面は大きくなめが面でできる底面は外壁を呈する。二次調整は先端から中央部基部	606	A41-3-523
607	46.75	7.70	6.20	4.8	H	先端は尖らず。基部部破損。万節の先端部付近に微少な剥離痕が残る。断面は三角形。	607	A39-4-c S
608	43.20	15.80	7.00	2.0	H	開端破損。二次調整は一側縫合面に施す。主要調整面先端刃部側に剥離痕があり。	608	A39-5-a N
609	48.40	15.45	7.60	5.1	H	先端は尖らず。基部部破損。底面に万節から刃の加圧の跡の長い剥離痕が残る。刃部先端部に調整を施す。	609	A39-2-989
610	47.30	21.05	10.15	7.9	H	開端破損。底面は2面よりもなる。万節先端部付近に剥離痕あり。	610	A37-4-d N
611	48.65	20.30	10.10	8.0	H	先端部破損。基部は尖るように二次調整を施す。万節は先端部では底面から基部は腹面側から調整を施す。断面は三角形。不明-1-243	611	A41-3-c S
612	47.80	16.75	7.10	5.4	H	先端部及び万節の一端破損。二次調整は一側縫合面に施す。万節はやや内張。	612	A24-2-182
613	38.70	17.30	7.75	4.0	H	開端破損。鋭敏な刃部をもつ。断面は三角形。	613	A30-1-b S
614	43.70	16.80	10.40	5.1	H	開端破損。二次調整は粗い。万節は山形を呈す。断面は三角形。	614	A36-2-2287
615	45.95	18.40	5.50	4.0	H	先端は尖らず。万節部の基部付近破損。基部に刃面を残す。刃部先端部に剥離痕あり。	615	A41-3-c S
616	44.15	16.85	6.45	4.0	H	先端部破損。基部は彎曲。二次調整は一側縫合面に細かく施す。風化層。	616	A40-2-b S
617	49.20	17.75	9.20	5.2	H	先端は尖る。基部に自然面を残す。断面は三角形。	617	A25-1-b s
618	43.80	17.70	8.35	5.0	H	先端部破損。基部は彎曲。底面は基部方向からの加圧。先端部付近に細かい二次調整を施す。	618	A35-1-321
619	42.90	17.25	9.10	5.1	H	先端は尖らず。基部部破損。万節の邊部に調整を施す。	619	C15-2-b S
620	41.10	19.55	9.80	6.3	H	先端部破損。基部は彎曲。断面は三角形。	620	A39-1-1480
621	37.65	11.40	8.65	3.1	H	先端部破損。基部は尖らない。中央部に背面からの調整を小さく施す。断面は三角形。	621	A38-1-256
622	42.25	21.25	3.80	3.7	H	先端部破損。基部は彎曲。断面は扁平な三角形。	622	A38-1-3688
623	44.55	29.40	8.85	7.9	H	開端及び刃部の一端破損。先端部破損。刃部側に打点が小さく残る。主要調整面の刃部先端部に小剝離痕あり。	623	A39-3-873
624	33.30	14.55	10.15	4.5	H	先端は尖らない。基部部破損。刃部側にも二次調整を施す。背面中央から基部にかけて背面から刃の調整を施す。	624	B9-676

番号	法 名	長 さ	幅 さ	厚 さ	重 量	石 質	解 説	新 規	出土地点
625	49.10	16.55	8.10	4.9	サヌカイト	断端が尖らない。刃部の一部破損。二次調整は一部全面に施す。断面は三角形。	A35-2-d N		
626	42.20	19.90	8.15	5.3	H	先端部破損。基部は複数面。二次調整は背面側から施す。刃部の基部に調整を施す。断面は三角形。	A35-5-26		
627	41.00	15.75	8.40	5.0	H	先端部破損。基部は複数面。二次調整は背面側から施す。二次調整は背面側から主要側面からの調整面が1面あり。刃部先端部に調整を施す。中央部に背面側から主要側面からの二次調整が見られる。	A35-1-1403		
628	36.55	10.50	5.30	2.7	H	先端部破損。基部は複数面。刃部の基部に小さく調整を施す。断面は三角形。	A36-2-254		
629	37.75	36.60	7.10	4.0	H	両端破損。刃部は直線状。二次調整部は山形を呈す。断面は三角形。風化剥落。	A34-2-c N		
630	38.05	17.40	5.30	3.3	H	先端は尖らない。基部部破損。底面基部に側面側面あり。刃部中央部に側面側面を施す。	A35-2-4 N		
631	36.95	22.05	7.10	4.2	H	先端は尖らない。基部部破損。刃部の中央部に側面側面あり。断面は三角形。	B6-20		
632	40.65	17.35	5.00	3.1	H	先端は尖る。基部部破損。断面は扁平な三角形。	A34-3-980		
633	39.15	15.45	6.90	3.7	H	両端破損。断面は三角形。	B24-206		
634	29.90	14.00	4.65	1.6	H	先端部破損。基部は尖らない。断面は三角形。	C14-1-b N		
635	39.90	17.80	6.20	3.9	H	先端部破損。基部は複数面。刃部の基部に調整を施す。断面は三角形。	A4-2-88		
636	37.65	20.30	7.25	4.5	H	先端部及び刃部の一部破損。二次調整は背面側客りには施さない。断面は三角形。	A35-3-005		
637	37.50	8.20	10.55	5.2	H	先端は尖る。基部部破損。底面は2面となり。二次調整は中央部にかたまる。断面は三角形。	A35-4-374		
638	36.75	17.15	6.85	3.6	H	先端は尖る。基部部破損。断面は三角形。	A38-5-a S		
639	32.80	16.45	7.05	3.5	H	両端破損。刃部側にも二次調整を施す。	A35-1-107		
640	35.05	18.25	8.05	3.8	H	先端部破損。剣、二次調整を施す。断面は三角形。	B6-406		
641	32.80	15.25	8.05	2.6	H	先端は尖る。基部部破損。基部は削りを加減する。断面は三角形。風化剥落。	A38-3-a S		
642	28.55	16.05	4.00	1.8	H	先端折損により切り出し状に整形。二次調整は背面側より施す。	A37-4-a N		
643	24.15	16.75	4.00	—	遺物 不明	基部部破損。刃部側にも調整を施す。	B1-319		
644	64.90	12.50	11.60	9.9	サヌカイト	完形。両端が尖る。中央部から先端にかけては背面からも二次調整を施す。底面中央部先端部寄りに小切端面あり。	A37-5-a N		
645	62.95	16.15	10.90	7.7	H	完形。両端が尖る。中央部から先端にかけて背面からも二次調整を施す。底面中央部先端部寄りに小切端面あり。断面は三角形。	A35-1-646		
646	43.05	14.15	10.00	4.3	H	完形。両端が尖る。中央部に背面から二次調整が見られる。刃部基部寄りに側面側面あり。断面は三角形。	A36-1-500		
647	35.00	12.65	13.75	3.3	H	先端部破損。基部に自然面を残す。中央部に背面側から主要側面からの二次調整が1面残る。断面は三角形。	A21-1-54		
648	57.10	14.80	10.35	7.0	H	先端は尖る。基部部破損。中央部に背面から二次調整を施す。主要側面から二次調整は窪かい。断面は三角形。	A24-2-c S		
649	45.10	13.55	10.05	5.0	H	先端部破損。基部に自然面を残す。底面は基部に剥がれ状。中央から基部にかけて背面から二次調整を小さく施す。	A38-1-615		
650	60.85	18.90	7.20	6.8	H	完形。両端が尖る。素材は軟木剥片か。基部に打痕が残る。主要側面に打点あり。	B8-546		

番号	法 量	幅 厚さ	重 量	石 質	質	出土地点
651	58.35	20.35	11.50	10.0	サヌカイト	先端。先端が尖らない。基部は幅広。基部は直角断面か。底面中央部に二次調整面がある。刃部の基部には主要鋸面から側面への鋸面移行がある。
652	54.10	24.40	9.90	8.8	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を用いる。刃部は直角断面。
653	37.25	17.45	6.65	7.0	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。翼状剥片を用いる。二次調整面は先端から中央先端部寄りにかかる。刃部は直角断面。
654	48.55	26.90	6.30	6.4	刃	先端。先端から中央部にかけて打点が残る。素材は翼状剥片か。背面には自然面で、側面には翼状剥片から側面への鋸面移行がある。主要鋸面から側面への鋸面移行がある。
655	52.75	21.60	9.80	9.0	刃	先端。二次調整面は先端から中央部寄りにかけてです。主要鋸面から側面への鋸面移行がある。背面には自然面で、側面には翼状剥片から側面への鋸面移行がある。
656	51.40	15.90	11.45	6.2	刃	先端部破損。基部には翼状剥片か。素材は翼状剥片か。中央部に打点を残す。断面は三角角。
657	51.10	25.75	8.80	12.0	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。背面に複数のキガ面あり。主要鋸面から中央部寄りにかけて打点が残る。刃部は直角断面。
658	59.40	22.00	7.30	8.7	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。背面に複数のキガ面あり。主要鋸面から中央部寄りにかけて打点が残る。刃部は直角断面。
659	46.65	20.60	6.90	7.1	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。背面に複数のキガ面あり。主要鋸面は先端部に粗く残す。刃部は直角断面。
660	46.55	29.75	7.40	9.3	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。背面に複数のキガ面あり。主要鋸面は先端部に粗く残す。刃部は直角断面。
661	45.8	23.60	9.95	9.6	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。背面に複数のキガ面あり。主要鋸面は先端部に粗く残す。刃部は直角断面。
662	45.90	25.60	7.00	6.4	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。背面に複数のキガ面あり。主要鋸面は先端部に粗く残す。刃部は直角断面。
663	55.85	20.05	10.15	7.9	刃	先端。先端は尖る。基部は幅広。ファーストフレイクに近い翼状剥片を利用か。二次調整は目的的翼状剥片の電鋸で止まる。
664	50.45	24.55	5.30	6.8	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。素材はアーストフレイクに近い翼状剥片か。外端部に打点と、主要鋸面に打点が残る。刃部は直角断面。
665	42.65	16.85	7.20	5.0	刃	先端。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。背面から側面にかけて打点が残る。主要鋸面に打点があり。二次調整面に打点がある。
666	44.45	16.65	9.55	7.0	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。背面から側面に打点が残る。主要鋸面から側面への鋸面移行がある。
667	41.80	17.25	7.00	4.4	刃	先端。先端が尖る。基部は尖らない。基部は翼状剥片か。背面から側面に打点を残す。刃部先端部に突起を出す。
668	40.10	19.30	8.20	6.0	刃	先端。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。刃部は外側。二次調整面は山形を残す。
669	41.70	16.70	6.40	4.1	刃	先端。先端は翼状剥片か。刃部の先端部に小突起あり。底面は2面からなる。風化断面。
670	35.80	14.95	8.60	3.0	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面が残る。刃部は外側。二次調整面は山形。
671	46.95	12.75	4.60	2.8	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。二次調整面は先端寄りにかけて施す。断面は台形。
672	45.15	25.30	10.00	9.6	刃	先端。先端が尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。刃部に複数の鋸面移行がある。
673	44.15	19.60	12.00	6.0	刃	先端。先端は尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。刃部に複数の鋸面移行がある。
674	42.60	18.85	7.40	4.9	刃	先端。先端は尖らない。基部は幅広。素材は翼状剥片か。底面は複数よりなる。基部の刃部側に自然面を残す。断面は台形。
675	41.60	19.60	6.55	4.4	刃	先端。先端が尖る。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面が細長く残る。主要鋸面に打点あり。
676	40.30	15.40	5.80	3.3	刃	先端。先端が尖らない。翼状剥片を利用か。主要鋸面は先端から中央部にかけて二次調整面側から打点を残す。

番号	法 基	幅	重 量	石 質	概		出土地点
					長さ	厚さ	
677	40.60	18.35	10.20	5.0	サスカイト	先端は鋸く尖る。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。刃部先端部に調整を施す。	A35-5-43
678	38.30	16.20	5.75	3.6	砂	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面が残る。背面のエッジに複数の刃形跡があり。二次調整は先端部に施す。	A41-4-1
679	38.00	15.95	4.75	2.8	砂	先端が尖らない。素材は翼状剥片か。基部は幅広。背面のエッジに複数の刃形跡があり。二次調整は先端部に施す。	C13-1-c S
680	44.20	18.00	8.50	7.75	砂	先端が尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部は外彫。二次調整前面は直線状を呈する。	A38-3-33
681	46.80	13.35	7.00	4.1	砂	先端が尖る。素材は翼状剥片か。基部に粗い打面を残す。背面ネガ面の基部に複数の刃形跡あり。二次調整は先端から	A19-1-c N
682	41.30	18.60	7.80	4.8	砂	先端が尖る。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。底面は2面よりもなる。刃部先端部に自然面を残す。風化顯著。	C13-2-a N
683	50.40	18.55	8.10	6.4	砂	先端が尖る。翼状剥片を利用か。刃部は3面よりもなる。風化やや顕著。	A35-3-449
684	46.60	23.05	10.25	9.1	砂	先端が尖る。素材は翼状剥片か。底面の先端部に刃形跡あり。風化	A41-5-a N
685	42.50	13.20	6.50	2.9	砂	先端が尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。刃部は外彫。二次調整前面は山形。前面は台形	A41-4-d N
686	37.65	15.55	6.50	3.5	砂	先端が尖らない。翼状剥片を利用か。刃部に打面を残す。万能先端部に刃形跡あり。二次調整は先端部付近に粗く施す。	A39-4-740
687	41.75	19.65	6.95	4.8	砂	先端が尖る。素材は翼状剥片か。基部は基部附近に粗く残る。二次調整は先端部付近に粗く施す。	A40-4-a S
688	42.25	9.25	8.25	3.1	砂	先端が尖る。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。刃部先端部に小判形跡が見られる。万能は外彫。	A7-2-280
689	42.80	16.70	5.15	4.0	砂	先端が尖らない。素材は翼状剥片か。基部は尖らない。刃部が尖る。主要部前面の刃部側に細長い刃形跡が見られるが、これは主要部	C17-1-d S
690	38.70	12.25	6.10	3.1	砂	先端が尖らない。素材は翼状剥片か。基部には打面を残す。	A35-4-539
691	39.80	20.90	7.10	5.0	砂	先端が尖らない。素材は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。刃部に打面を残す。刃部は小判形跡が見られる。	A26-1-59
692	39.20	20.70	9.00	5.8	砂	先端が尖る。先端は尖る。素材は翼状剥片を利用か。刃部に打面を残す。刃部の先端部に調整を施す。前面は台形。	A34-2-313
693	42.90	15.60	5.30	3.4	砂	先端が尖らない。素材は幅広。素材はやや幅広。翼状剥片を利用か。刃部に打面を残す。刃部は小判形跡が見られる。	A35-4-35
694	42.65	25.10	7.20	5.5	砂	先端が尖る。基部破損。翼状剥片を利用か。背面に複数の丸がめがあり。底面は細長く残る。二次調整は中央部にかかる。	A21-b N
695	45.95	22.70	10.40	8.2	砂	先端が尖らない。素材は幅広。翼状剥片を利用か。二次調整は一側縁全面に施す。前面は台形。	A38-5-b N
696	47.00	22.20	8.55	7.8	砂	先端が尖らない。素材は幅広。翼状剥片を利用か。底面は2面よりもなる。万能の基部に調整を施す。	A17-1-b S
697	42.45	15.20	7.10	4.2	砂	先端が尖る。素材は幅広。素材は翼状剥片か。刃部の基部に調整を施す。風化顯著。	A24-1-d S
698	46.20	17.50	7.65	4.5	砂	先端が尖らない。素材は翼状剥片か。先端から中央に向かって細長い打面が残る。二次調整は中央から基部にかけて施す。主要	B22-401
699	38.50	15.40	5.00	2.3	砂	先端が尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。断面は扇平な台形。	A25-2-b N
700	37.50	16.40	7.55	3.7	砂	先端が尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部は外彫。二次調整前面は山形を呈す。	A34-2-d S
701	35.35	20.75	7.65	4.8	砂	先端が尖る。素材は尖らない。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。底面は先端から中央に向けて扇平となる。二次調整	A38-2-2916
702	37.40	15.55	7.05	3.4	砂	は先端に残す。	A39-4-762
						先端は尖る。基部削除後。素材は翼状剥片か。底面は3面よりもなる。前面は台形。	

番号	法 量	量 幅	重 量	石 質	質	解	出土地点
703	34.96	18.35 <sup>6</sup>	8.20 <sup>6</sup>	4.6	サスカイト	先形。基部は尖る。翼状剥片を利用か。刃部にも調整を施し切出し形に整形する。断面は台形。	A38-2-521
704	39.65	20.30	5.00	4.2	II	先形。翼端が尖らない。翼状剥片を利用か。刃部側にも二次調整を施す。	A1-2-a N
705	44.70	17.60	8.00	6.4	II	先形。先端が尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。底面は背面の大部分を占める。二次調整は刃部にも施す。	A24-2-82
706	40.25	23.00	8.30	6.4	II	先形。先端が尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。中央先端寄りから基部にかけて打面が残る。	A39-5-277
707	35.85	20.80	7.75	4.7	II	先形。先端が尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。底面は台形。	A36-4-1547
708	38.15	18.60	7.90	4.1	II	先形。先端が尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に刃部調整を施す。刃部に基部調整を施す。主要削面側に打点あり。	A28-2-c S
709	36.40	17.65	5.20	3.6	II	先形。先端が尖らない。翼状剥片を利用か。基部に刃面を残す。翼状剥片を利用か。基部には自然面が残る。風化や断面。	A37-2-3021
710	39.10	14.10	7.10	2.7	II	先形。先端が尖らない。翼状剥片を利用か。先端から中央先端寄りにかけて打面を残す。背面に複数の不規則面が見られる。刃部	A11-3-a S
711	37.15	17.35	5.80	3.4	II	先形。先端が尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。底面は自然面を残す。刃部に複数の剝離面が残る。基部に刃面が残る。	A34-1-631
712	38.85	16.25	6.15	2.5	II	先形。先端が尖る。翼状剥片を利用か。底部に刃面が残る。基部に刃面が残る。第二次調整は先端部に施す。	A35-3-a N
713	33.55	17.90	7.10	3.7	II	先形。先端が尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部にも二次調整を施す。刃部に刃面を残す。	A11-5-c N
714	38.60	13.00	5.05	2.3	II	先形。翼端が尖る。翼状剥片を利用か。基部に刃面を残す。刃部に刃面が残す。刃部附近に小斜面が複数見られる。	B22-a N
715	33.00	15.30	8.40	3.7	II	先形。翼端が尖らない。翼状剥片を利用か。刃部の基部に刃面が残す。風化調節。	A36-1-1390
716	32.00	14.00	5.15	2.2	II	先形。翼端が尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部に主要削面寄りからの打点のない剝離面あり。刃部先端部に小斜面	A35-4-a N
717	29.80	15.30	4.70	1.7	II	先形。先端が尖る。翼状剥片を利用か。底面は台形。	C35-1-b S
718	33.85	18.95	7.75	3.5	II	先形。先端が尖る。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。基部には刃面から中央部にかけて残す。	A25-2-129
719	36.75	10.65	5.00	1.4	II	先形。翼端が尖る。翼状剥片を利用か。底面は中央部にかたよる。刃部は直線状。二次調整面は山形を呈す。	C18-1-c S
720	37.05	13.10	4.40	1.6	II	先形。先端が尖らない。基部は幅広。薄い翼状剥片を利用か。粗い二次調整を施す。	A8-1-b N
721	36.30	17.90	7.90	3.8	II	先形。先端が尖らない。基部は幅広。翼状剥片を利用か。底面の先端部に先端方向からの剝離面あり。断面は台形。	A39-2-583
722	31.95	11.10	6.95	3.30	II	先端部削れ。翼端が尖る。翼状剥片を利用か。刃部先端から基部にかけて剝離を施す。断面は台形。風化調節。	A12-3-d S
723	37.55	13.10	6.75	2.9	II	先形。翼端が尖らない。翼状剥片を利用か。基部は幅広。翼状剥片を利用か。底面は外側。断面は台形を呈する。	A38-3-a S
724	31.30	15.45	5.45	3.1	II	先形。翼端が尖らない。翼状剥片を利用か。基部は尖る。翼状剥片を利用か。底面は刃面が残る。主要削面側に打点あり。	A38-2-1899
725	31.75	12.45	4.55	1.9	II	先形。翼端が尖らない。翼状剥片を利用か。基部に刃面を残す。刃部は外側。二次調整面側は山形を呈す。	A22-1-d N
726	31.90	15.00	5.85	2.3	II	先形。先端が尖る。基部は幅広。翼状剥片を利用か。刃部の中央部に複数の刃面が見られる。	A31-1-456
727	37.40	17.95	5.55	3.4	II	先形。先端が尖らない。基部は尖る。翼状剥片を利用か。底面は刃面が残る。先端から基部にかけては刃面が残る。	A38-2-1160
728	34.65	21.00	5.00	2.8	II	先形。翼端が尖らない。翼状剥片を利用か。底面は刃面が残る。先端から基部にかけては刃面が残る。底面は	A35-2-197

番号	法 長さ	量 幅	厚さ	量	石	質	研	出土地点
729	31.20	18.45 <sup>mm</sup>	5.50	2.8	サヌカイト	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は真状片か。基部に刃端方向からの剝離痕あり。	A38-3-424	
730	35.45	18.75	7.15	3.3	II	完形。両端が尖らない。素材は真状片か。先端部に刃面があり。主要剝離面に向て打点がある。	C10-1-c N	
731	35.85	12.90	7.45	2.7	II	先端。両端が尖る。素材は幅広。二次調整面に向て打面がある。刃部は外端。二次調整面側は山形を呈す。風化やや やや黒ず。	A38-2-4771	
732	34.50	14.35	6.00	2.3	II	完形。両端が尖る。基部は尖らなない。真状片か。先端から中央部にかけては、主要剝離面から二次調整面を削して後、 刃部は外端。	A42-3-112	
733	32.80	12.40	5.20	1.7	II	完形。両端が尖る。真状片か。先端部に刃面を残す。刃部は台形。	A38-1-4960	
734	30.55	11.25	7.45	2.2	II	完形。両端が尖る。基部は尖れがちか。中央部に刃面を残す。主要剝離面に向て打点があり。	A38-3-162	
735	21.75	12.50	4.95	1.0	II	完形。両端が尖らない。素材は真状片か。二次調整は一部側面に施す。	A38-1-3648	
736	29.55	13.10	5.30	1.5	II	完形。両端が尖る。基部は幅広。真状片か。刃部の基部寄りから基部にかけて刃が残す。芯面の中央部に主要剝離面からの剝離痕があり。	A36-2-1782	
737	34.60	11.25	4.75	1.8	II	完形。両端が尖く尖る。基部は幅広。真状片か。刃部に刃面を残す。二次調整は一部側面に施す。	A38-3-271	
738	30.50	16.10	5.90	2.4	II	完形。先端は尖らない。素材は真状片か。基部は刃端方向から刃部に打点のない剝離面あり。	B9-441	
739	34.40	14.90	5.65	2.6	II	完形。両端が尖らない。素材は真状片か。背面に複数のニガ面あり。刃部の基部寄りに調整を施す。断面は台形。	C14-1-c S	
740	34.80	15.25	6.95	3.4	II	完形。両端が尖らない。素材は幅広。自然屈曲。刃部は刃端方向から刃部に打点が残る。二次調整は先 端寄りに施す。	A37-4-695	
741	33.30	11.50	6.65	2.1	II	完形。両端が尖らない。真状片か。刃部の中央先端寄りに刃端痕が見られる。二次調整は側面全面に施す。風化顯著。	C18-1-b S	
742	33.40	16.60	5.75	3.5	II	先端部削除。基部は薄くなつて幅広。真状片か。刃部側にも二次調整を施す。断面は台形。	A38-4-d N	
743	32.85	15.10	5.45	2.5	II	先端は尖らない。基部は幅広。真状片か。刃部側に刃面がある。	B33-c S	
744	30.90	12.40	4.80	1.8	II	完形。両端が尖らない。真状片か。刃部側に刃面がある。中央先端寄りに刃部に打点が残る。刃部は外端。二次調整面側 は刃部形状を呈す。	C13-2-116	
745	29.80	11.90	4.65	1.3	II	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は真状片か。二次調整は側面全面に刃部に施す。断面は三角形。	A40-4-a S	
746	27.85	10.95	4.85	0.9	II	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は真状片か。基部に刃面を残す。刃部は刃端形状を呈する。風化やや黒ず。	A39-2-640	
747	26.90	11.65	7.10	1.6	II	完形。先端は尖る。基部は幅広。素材は真状片か。二次調整は側面全面に施す。刃部は刃端形状。二次調整面側は外端。新面	A36-1-2099	
748	23.75	14.70	4.20	1.5	II	完形。先端は尖る。基部は幅広。真状片か。刃部側に刃面がある。基端部には微少な剝離痕が見られる。風化	A37-1-322	
749	33.50	6.90	4.70	1.9	II	完形。先端は尖る。基部は幅広。真状片か。刃部に刃端痕を施す。	C15-1-b N	
750	18.20	11.80	5.50	1.6	II	完形。両端が尖る。真状片か。刃部側に二次調整面を施し、刃部へと変換する。	A37-2-1395	
751	24.40	11.20	2.80	0.9	II	完形。両端が幅広。先端部に刃面があり。刃部は薄く、刃部側から刃端部にかけて刃面が残る。中央先端寄りから刃端部にかけて刃面が残る。	A39-2-c N	
752	22.95	15.15	4.80	1.8	II	完形。先端は尖る。基部は薄くなり幅広。素材は真状片か。刃部の基部寄りに小剝離痕が見られる。	C10-1-d N	
753	27.70	14.60	3.70	1.3	II	完形。両端が尖らない。真状片か。刃部側に刃面を残す。細い二次調整を施す。粗い二次調整が見られる。	A39-2-966	
754	32.15	11.35	5.35	1.6	II	完形。両端が尖らない。真状片か。刃部側に刃面を残す。刃部に主要刃端面側の刃端面の小剝離痕が見られる。	A39-4-d N	

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	質	鏡	銅	出土状況
755	29.80	12.45	6.55	1.7	サヌカイト	先端は尖らな。基部はやや幅広。翼状片を利用か。断面は台形。風化や研磨者			A39-2-1122
756	29.70	17.00	7.85	3.0	石	先端は尖らな。翼状片を利用か。二次調整は先端部に一箇だけ残す。先端部の背面からも調整も二次調整か。			A39-1-d S
757	25.10	9.85	5.45	1.1	石	先端は翼状片か。基部は翼状片か。中央から基部にかけて打面を残す。二次調整は先端部には施さない。			C14-1-b N
758	30.45	10.75	5.25	1.6	石	先端は尖らな。基部は頗る尖る。基部は幅広。翼状片を利用か。二次調整は先端から基部にかけて施す。			A39-2-b N
759	23.55	11.75	5.30	1.2	石	先端は翼状片か。基部は幅広。翼状片を利用か。万部に基部調整を施す。背面にミナガ面が3面ある。二次調整は先端部ではまだ背面か			A39-5-21
760	27.25	10.20	4.20	1.1	石	先端は翼状片か。基部は尖らな。翼状片を利用か。主要な翼状片から基部へ向かって施す。背面の中央矢張り残してある。万部の中央矢張り残してある。二次調整は先端部にかけて調整を残す。一切出し状に差がある			A31-1-76
761	45.60	13.30	6.45	3.9	石	先端は翼状片か。基部は尖らな。翼状片を利用か。万部に基部調整を施し一切出し状に差がある。万部に基部調整を施し一切出し状に差がある。二次調整は先端部にかけて調整を残す。一切出し状に差がある。			B1-1-77
762	37.60	13.10	7.90	3.6	石	先端は翼状片か。基部は尖らな。翼状片を利用か。万部に基部調整を施し一切出し状に差がある。万部に基部調整を施し一切出し状に差がある。二次調整は先端部にかけて調整を残す。一切出し状に差がある。			A36-4-807
763	39.00	12.75	6.45	2.7	石	先端は翼状片か。基部は尖らな。翼状片を利用か。万部に基部調整を施し一切出し状に差がある。万部は外側。二次調整は先端部にかけて調整を残す。一切出し状に差がある。			C1-2-a S
764	35.20	13.85	7.55	4.1	石	先端は翼状片か。基部は尖らな。翼状片を利用か。万部に基部調整を施し一切出し状に差がある。万部は台形。			A35-3-45
765	34.20	11.30	7.60	2.6	石	先端は翼状片か。基部は尖らな。翼状片を利用か。万部に基部調整を施し一切出し状に差がある。万部は外側。二次調整は先端部にかけて調整を残す。一切出し状に差がある。			B11-474
766	34.65	11.50	8.00	2.9	石	先端は翼状片か。基部は尖らな。翼状片を利用か。万部に基部調整を施し一切出し状に差がある。万部は外側。二次調整は先端部にかけて調整を残す。一切出し状に差がある。			A32-1-95
767	30.95	12.60	4.10	1.7	石	先端は翼状片か。基部は尖らな。翼状片を利用か。万部に基部調整を施し一切出し状に差がある。万部は山形。二次調整は先端部にかけて調整を残す。一切出し状に差がある。			A37-1-1152
768	26.00	11.70	4.30	1.5	石	先端は翼状片か。基部は尖らな。翼状片を利用か。万部に基部調整を施し一切出し状に差がある。万部は山形。二次調整は先端部にかけて調整を残す。一切出し状に差がある。			C8-2-110
769	30.10	11.40	6.05	1.9	石	先端は翼状片を利用か。万部に基部調整を施し一切出し状に差がある。万部は尖端から基部にかけて打面に施す。二次調整は先端から基部にかけて打面に施す。一切出し状に差がある。			A25-2-a S
770	32.20	13.00	6.60	2.8	石	先端は翼状片か。基部は尖らな。翼状片を利用か。万部は台形。			B17-a S
771	68.20	25.95	8.95	14.7	石	先端は翼状片か。基部は尖らな。翼状片を利用か。万部に基部調整を施す。先端部付近から中央矢張り残してある。二次調整は先端部に打点がある。底面先端部			C1-1-d N
772	70.50	24.70	6.10	9.6	石	先端部利用。基部は尖る。翼状片を利用か。主要な翼状片から中央矢張り残してある。万部基部に二次調整面から先端部にかけて調整を施す。一切出し状に差がある。			A131-c N
773	64.50	21.55	8.35	9.2	石	先端は尖る。基部破損。翼状片を利用か。万部には打面が残る。基部には基部調整を施す。基部には打面が残る。			A36-4-1539
774	45.45	19.70	7.90	6.0	石	周縁破損。翼状片を利用か。中央部から基部にかけては打面を残す。万部に基部調整を施す。風化調査者。			A38-2-273
775	50.60	21.95	8.50	7.1	石	先端部破損。二次調整面の中央部から基部に自然面が残る。翼状片を利用か。中央部に打面を残す。万部先端部に調整を施す。			A36-5-178
776	46.85	19.35	11.15	9.8	石	先端は尖らな。基部破損。翼状片を利用か。万部基部に二次調整面から先端部にかけて調整を施す。万部基部に二次調整面から先端部にかけて調整を施す。			A30-1-a S
777	46.25	20.50	7.40	5.2	石	先端部破損。基部は頗る。翼状片か。基部は幅広。翼状片を利用か。万部に基部調整を施す。二次調整部が先端部に施す。			A36-1-825
778	49.90	19.00	7.85	5.2	石	先端は尖らな。基部破損。翼状片を利用か。万部の主要な翼状片側に微少な剥離痕が多数見られる。二次調整部が先端部に施す。			A36-1-260
779	61.95	22.35	11.60	13.7	石	周縁破損。翼状片を利用か。二次調整部は廻り。断面は台形。			C14-1-b N
780	46.65	20.00	9.65	7.4	石	先端は尖らな。基部破損。翼状片を利用か。先端部に打面が残る。底面の先端部に先端方向からの剥離面あり。			A39-3-1075

番号	法 基 底 長 さ	幅 厚 さ	量	石 質	観 察	出土地点
781	54.80	20.30	9.00	8.1	サスカイト	A 36-4・1333
782	41.40	23.15	11.85	11.0	ハ	先端部は尖らない。基部部は幅広で一部自然面を残す。翼状剥片を利用か。刃部には小字跡がある。断面は台形。風化痕等 周辺及び刃部の大半破損。素材は翼状剥片か。刃部に大きく打面が残る。
783	49.45	19.30	10.10	9.1	ハ	周辺及び刃部の大部分破損。素材は翼状剥片か。先端部に大きな打面が残る。
784	55.50	23.80	12.80	14.3	ハ	先端部は尖らない。基部は幅広で自然面を残す。刃部の大部分破損。翼状剥片を利用か。
785	49.60	19.55	9.80	9.2	ハ	先端部は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。底面から別の剥離面あり。
786	55.30	15.00	10.15	6.9	ハ	先端部は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。底面から中央基部にかけては背面から、基部附近は主要剥離面から二次剥離面 を残す。
787	44.70	19.80	7.65	6.7	ハ	先端部は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。先端から中央基部にかけては背面から、基部附近は主要剥離面から二次剥離面 を残す。断面は台形。風化痕等。
788	46.85	24.35	8.25	6.7	ハ	先端部は尖らない。二次剥離面の先端部破損。素材は翼状剥片か。基部には小字跡がある。
789	48.50	16.80	7.50	6.9	ハ	先端部破損。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。刃部にも二次剥離を残す。刃部には小字跡がある。
790	49.25	22.50	10.05	10.1	ハ	先端部破損。翼状剥片を利用か。中央部には基部に残る。二次剥離を残す。刃部は粗粒状を呈する。
791	48.90	23.40	8.00	9.6	ハ	先端部破損。基部は尖らない。翼状剥片を利用か。基部に細長い凹面を残す。背面の先端部には自然面あり。
792	49.45	25.65	11.15	10.3	ハ	先端部は尖らない。基部部破損。翼状剥片を利用か。基部に細長い凹面を残す。背面は直線状。断面は台形。風化 痕等。
793	51.45	20.15	10.15	7.8	ハ	先端部破損。翼状剥片を利用か。刃部に基部部を残す。主要剥離面は先端部に浅いな き。
794	49.05	25.50	9.25	9.6	ハ	先端部は薄くなり傾く。基部も傾く。二次剥離面が形成され、基部は薄くなり傾く。刃部には打点が残る。
795	55.35	22.85	10.05	11.9	ハ	先端部破損。基部は薄くなり傾く。刃部には打点を残す。断面は台形。風化 痕等。
796	41.35	21.95	8.85	6.6	ハ	先端部は尖らない。基部部破損。翼状剥片を利用か。底面は自然面を利用か。刃部には粗粒状を呈する。断面は台形。
797	44.05	21.30	5.85	3.8	ハ	先端部破損。翼状剥片を利用か。刃部には粗粒状を呈する。断面は台形。
798	41.15	19.90	8.00	5.4	ハ	先端部破損。素材は翼状剥片か。刃部には小字跡がある。断面は台形。
799	46.90	16.35	7.30	5.0	ハ	先端部破損。素材は翼状剥片か。二次剥離は先端部にかかる。主要剥離面には打点が残る。刃部は直線状。
800	38.50	23.65	7.80	6.5	ハ	先端部は尖らない。基部部破損。翼状剥片を利用か。二次剥離は一側縁全面に施す。断面は台形。
801	19.10	17.75	9.05	7.0	ハ	先端部破損。翼状剥片を利用か。刃部には粗粒状を呈する。断面は台形。
802	44.10	16.75	6.20	3.6	ハ	先端部は尖る。基部部破損。翼状剥片を利用か。刃部に小さく打面が残る。軽かい二次剥離を残す。
803	49.10	14.15	9.70	6.0	ハ	先端部破損。翼状剥片を利用か。二次剥離は側面全面に施す。刃部はほぼ直線状。二次剥離面は外壁。
804	42.15	18.80	7.90	6.4	ハ	先端部は尖らない。基部部破損。翼状剥片を利用か。刃部側面にも二次剥離を残す。風化痕等。
805	41.70	19.10	7.10	5.0	ハ	先端部破損。基部は幅広い。翼状剥片を利用か。基部の先端から中央部にかけては自然面が見られる。
806	43.35	15.55	6.75	4.6	ハ	先端部破損。素材は翼状剥片か。刃部の先端から中央部にかけては調整を施す。断面は台形。

番号	法 量	幅 厚	重 石 質	解		出土地点	
				標 高	厚 さ		
807	50.45	17.75	10.45	8.4	サヌカイト	先端は尖らない。基端部破損。素材は真状剥片か。刃部は基部に小さく自然面を残し、調整を施す。断面は台形。	A40-4-d S
808	47.15	16.65	7.40	5.3	B	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。基部に刃面が残る。中央部に他の二次調整が見られる。	A37-4-b S
809	45.15	16.60	10.15	5.8	B	先端部破損。基部は尖る。翼状剥片を利用か。主要側面の基部には石板の素材面が残る。二次調整は一部側面全周に施す。断面は台形。	B10-492
810	37.30	12.00	7.05	3.6	B	先端から一部刃部にかけて破損。基端部は尖らない。翼状剥片を利用か。先端部に刃面が残る。断面は台形。	A41-5-a N
811	14.00	19.80	9.25	6.1	B	先端は尖る。基部の一端破損。素材は翼状剥片か。刃部側にも二次調整を施す。	A39-2-a N
812	46.35	17.00	8.95	5.9	B	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片か。先端部に刃面を残す。刃部に小さく基部調整を施す。	A29-2-c S
813	43.70	23.85	9.55	7.6	B	先端は尖らない。基部の一端破損。素材は翼状剥片か。先端部に小さく刃面を残す。二次調整は細い。黒化やや顯著。	A35-3-229
814	45.35	16.55	6.95	4.3	B	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。基部前に刃面を残す。断面は台形。	A35-2-294
815	43.00	20.15	7.80	6.4	B	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片を利用か。刃部に複数の刻離痕が見られる。断面は台形。	A39-2-a N
816	41.20	19.50	7.95	5.5	B	先端部破損。素材は翼状剥片か。一部側面全周に二次調整を施す。刃部に小さく基部調整を施す。断面は台形。	A40-2-c S
817	28.60	15.01	8.10	4.0	B	両端部破損。素材は翼状剥片か。二次調整剥片か。断面は台形。	A11-278
818	33.70	20.50	6.60	3.7	B	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。芯部は2面よりなる。二次調整は先端部には施さない。	A38-4-213
819	40.35	15.00	5.45	3.4	B	先端は尖らない。基部は幅広。刃部の一部破損。中央部には刃面を残す。主要側面に打点あり。二次調整は粗い。黒化顯著。	A34-1-714
820	47.65	18.80	9.20	8.7	B	先端は尖る。刃部及び基端部破損。翼状剥片を利用か。芯部の大部分は自然面。先端部に僅い二次調整を施す。断面は台形。	A40-3-d N
821	39.80	18.35	8.75	5.3	B	先端部破損。基部は細くなる。素材は翼状剥片か。刃部に基部調整を施す。	A36-2-1446
822	44.05	16.85	10.35	7.5	B	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。刃部に基部調整を施す。断面は台形。	A37-3-d N
823	36.25	21.00	7.95	5.7	B	先端部及び基部の一部破損。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A39-1-206
824	39.05	15.30	9.80	5.6	B	先端部破損。基部は細くなる。素材は翼状剥片か。刃部に基部調整を施す。	B17-b N
825	53.00	17.20	15.25	11.2	B	先端部破損。基部は自然面を残す。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A40-2-d S
826	36.20	16.55	6.35	3.6	B	先端は尖らない。基端部破損。翼状剥片を利用か。中央から基部にかけて刃面が残る。二次調整は先端部に施す。刃部先端部に鉛錆痕があり。	A29-1-b N
827	37.55	14.75	7.15	3.8	B	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に小さく刃面が残る。主要側面刃部側に刻離痕が見られる。断面は三角形。	A1-b S
828	42.40	19.50	7.70	5.1	B	先端部及び刃部破損。翼状剥片を利用か。中央部から先端にかけて僅く刃面が残る。主要側面に打点あり。二次調整は基部付近に施す。	A40-4-c N
829	40.10	23.20	7.00	6.0	B	先端部及び基部の一部破損。翼状剥片を利用か。中央部から基部にかけて刃面が残り、主要側面に打点が見られる。	A38-1-602
830	38.15	16.20	8.30	4.0	B	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片か。断面は台形。	A25-2-c S
831	40.00	16.35	6.40	3.3	B	先端は尖る。基部は幅広。刃部の一部破損。翼状剥片を利用か。二次調整は芯部から主側面に向て施す。刃部に施す。	A36-3-1331
832	44.40	15.75	6.55	3.9	B	先端は尖る。基部は尖らない。刃部に打点あり。黒化やや顯著。	A35-2-537

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	特 徴	出土地点
833	39.75	19.35	7.50	4.8	サスカイト	先端部剥離及び基部の一部剥離。素材は翼状剥片か。基部に打面あり。主要剥離面には打点が残る。	A40-4-b N
834	38.40	16.45	6.80	3.6	II	先端部剥離。素材は翼状剥片か。二次剥離面は、側縫全面面に施す。刃部に微少な剥離があり。	A26-2-282
835	38.75	22.55	8.55	8.7	II	先端部剥離。基部は幅広。翼状剥片を利用か。粗い二次剥離を施す。断面は台形。風化やや頗著。	A41-5-c N
836	44.05	24.90	6.90	6.1	II	先端部剥離。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に二次剥離を施さない。風化やや頗著。	A22-2-b N
837	39.30	18.25	17.70	5.2	II	先端部は尖らない。基端部剥離。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。刀部の先端よりに剥離痕あり。	A28-2-69
838	37.30	18.60	5.30	4.0	II	先端の一部剥離。基端部剥離。素材は翼状剥片か。背面に微少な凹面あり。	A38-1-2765
839	36.55	18.35	10.65	5.9	II	先端部剥離。基部の一部剥離。翼状剥片を利用か。刃部先端部に剥離を施す。	A36-4-57
840	39.00	16.30	7.20	4.6	II	先端部剥離。基部は幅広。翼状剥片を利用か。断面は台形	A33-1-918
841	47.40	17.60	7.90	4.0	II	先端部剥離。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に打面を残す。	C-1-2-b N
842	38.35	18.80	6.70	4.8	II	先端部剥離。基部は幅広。素材は翼状剥片か。基部に打面を残す。断面は台形。	A32-1-a N
843	42.15	17.80	7.60	5.0	II	先端部剥離。素材は翼状剥片を利用か。断面は複数面よりなる。二次剥離面側は山形を呈す。	A39-4-582
844	36.70	16.60	9.30	4.3	II	両端及び基部剥離。素材は翼状剥片か。先端部は背面から二次剥離を施す。断面は台形。風化頗著。	A38-2-25
845	37.70	17.35	7.55	4.1	II	先端は尖らない。基端部剥離。翼状剥片を利用か。刃部に微少な剥離痕あり。	A41-4-c S
846	35.80	19.20	5.75	3.9	II	先端部剥離。基端部剥離。翼状剥片を利用か。折損した刀部をそのまま使用か。断面は台形。	A39-3-1000
847	29.90	14.95	6.70	2.6	II	先端は尖らない。基端部剥離。素材は翼状剥片か。先端部の二次剥離は細かい。刃部は直線状。二次剥離面側は外側を呈する。	A38-3-b N
848	38.50	15.65	8.55	4.6	II	先端は尖らない。基端部剥離。素材は翼状剥片か。刃部に細かい剥離面跡を残す。風化やや頗著。	A36-1-2182
849	37.15	15.85	6.90	3.4	II	両端が尖らない。二次剥離面側基部が剥離。素材は翼状剥片か。先端から中央基部よりに二次剥離を施す。	A38-2-55
850	38.65	18.45	8.90	5.3	II	先端部剥離。基部は薄くなり幅広。翼状剥片を利用か。刃部に微少な剥離痕あり。断面は台形。	A38-2-2740
851	40.40	18.35	3.90	2.9	II	先端部剥離。基部は尖らない。素材は薄い翼状剥片か。断面は2面とりなる。	A38-1-4282
852	39.90	19.65	11.00	5.4	II	両端部剥離。素材は翼状剥片か。刃部は山形。二次剥離面側は直線状を呈する。	A33-2-254
853	39.30	14.90	8.90	3.7	II	先端は尖らない。基端部剥離。素材は翼状剥片か。断面は基部前方からの丸鋸。	A39-2-296
854	42.40	18.35	8.60	5.5	II	先端部剥離。基部は尖らない。素材は翼状剥片か。二次剥離面は、一線全面に施す。刃部基部に剥離痕あり。	A34-1-1390
855	42.05	21.25	8.60	6.9	II	先端は尖らない。基端部剥離。素材は翼状剥片か。中央部から至端にかけて打面が残る。主要剥離面にて打点あり。	A39-5-399
856	38.00	20.20	8.10	5.3	II	先端部剥離。基部は幅広。翼状剥片を利用か。	A36-2-2018
857	34.55	18.40	5.75	3.0	II	両端部剥離。基部は幅広。翼状剥片を利用か。断面は台形。	A33-1-551
858	35.80	11.95	6.65	3.5	II	先端部剥離。基部は幅広。翼状剥片を利用か。断面は台形。	A35-2-57

番号	法 量	石 質	重 量	厚 さ	概 要	出土地点
859	33.25	19.70	7.60	4.4	II 両端破損。素材は真状剥片か。断面は台形。	A36-3-1419
860	31.70	18.15	7.85	4.2	II 両端破損。素材は真状剥片か。万能の基部に少しだけ削痕あり。風化頗著。	A36-2-1036
861	37.45	19.35	4.70	3.3	II 先端は尖らない。基部は薄くなっている。素材は真状剥片か。万能の中央先端等から基部にかけて折れ。真状剥片を利用か。断面は扁平な台形。風化や變質。	A37-3-a S
862	37.50	15.00	7.40	3.6	II 先端は尖る。基端部破損。素材は真状剥片か。万能の中央部に二次削痕面に打点をもつて削痕面あり。万能の中央部に小剝離痕あり。先端部に小剝離痕。	B19-285
863	39.10	16.30	7.65	4.2	II 先端部破損。基部はやや幅広。素材は真状剥片か。断面は中央部に二次削痕面に打点をもつて削痕面あり。底面は先端部に残る。基部にA3-1-146。	A3-1-146
864	36.75	15.35	5.30	3.1	II 先端は尖らない。基端部破損。素材は真状剥片か。先端から中央基部等によりかけて長く打痕が残る。底面は先端部に残る。基部にC24-1-b N	C24-1-b N
865	37.80	14.60	5.35	2.4	II 先端から二次削痕面の中央部まで、及す両端破損。真状剥片を利用か。基部には打面が残る。二次削痕は中央部付近に1箇所。	C17-1-a S
866	46.20	17.25	6.90	5.2	II 先端部破損。基端は尖る。真状剥片を利用か。万能基部によりに小剝離痕が見られる。	A40-4-b N
867	33.95	15.50	6.50	2.9	II 先端は尖る。基部は幅広。万能基部が破損。素材は真状剥片か。一側縫全面に二次削痕を施す。断面は台形。	A37-3-g S
868	39.45	15.25	8.55	4.7	II 先端部破損。基端は尖らない。真状剥片を利用か。基部には打面が残る。打面側を万能部とし基部を整を施す。	A35-5-s-25
869	38.60	15.55	6.45	3.5	II 両端部破損。真状剥片を利用か。二次削痕は一側縫全面に打面に施す。	A38-2-214
870	43.65	15.65	6.75	3.8	II 両端が尖る。万能の一部端部破損。真状剥片を利用か。基部に打面を残す。主要剝離面に基部剝離を施す。	A39-2-d S
871	36.70	15.00	5.00	3.0	II 先端は尖らない。基部は幅広。万能先端等から中央基部等よりかけて剥損。素材は真状剥片か。断面は台形。	A39-3-b N
872	29.70	11.50	4.75	1.6	II 先端は尖らない。基端部破損。素材は真状剥片か。先端部に僅かに打面が残る。万能部はほぼ直線剥離を施す。	A35-2-c N
873	38.45	19.10	7.30	4.3	II 両端が尖らない。万能の一部端部破損。素材は真状剥片か。基部に打面を残す。	A11-b S
874	36.20	20.00	6.15	4.4	II 先端部破損。基部は幅広。素材は真状剥片か。中央部に打面が残る。万能は直線剥離。二次削痕面側は山形を呈する。風化頗著。	A40-3-c N
875	32.10	15.90	8.65	3.7	II 両端部破損。真状剥片を利用か。万能に近い基部剝離を施す。	C7-1-b N
876	37.35	17.25	6.15	3.8	II 先端部破損。基部は幅広。真状剥片を利用か。万能は直線剥離。二次削痕面側は山形を呈す。	A38-2-2557
877	38.05	18.25	6.65	3.8	II 先端部破損。基部は幅広。真状剥片を利用か。	A36-5-482
878	39.35	19.10	6.60	5.1	II 先端部破損。基部は幅広。真状剥片を利用か。背面に擦痕のネガ面あり。二次削痕は粗い。断面は台形。	B24-a S
879	36.70	17.45	7.20	4.0	II 先端部破損。基端は尖る。素材は真状剥片か。万能に基部剝離を施す。万能のほぼ全面に小剝離痕が見られる。	A37-4-305
880	45.45	16.65	8.00	4.5	II 先端は尖らない。基端部破損。素材は真状剥片か。基部に打面を残す。風化やや頗著。	A39-1-374
881	37.85	16.70	8.60	4.2	II 先端部破損。基部は幅広。素材は真状剥片か。断面は台形。	A39-1-725
882	35.70	15.00	7.60	3.1	II 先端部破損。基端は尖らない。素材は真状剥片か。基部に打面が残る。	A24-1-b N
883	37.80	16.25	8.45	3.8	II 先端部破損。基部は幅広。素材は真状剥片か。基部に打面が残る。	A40-5-c S
884	28.90	15.55	6.05	4.8	II 先端部破損。基部は幅広。真状剥片を利用か。万能基部に小剝離痕が見られる。断面は台形。	A32-2-a S

番号	法 量	幅	厚さ	重 量	石 質	觀	解	出土地点
885	32.05	12.00	6.75	2.8	サヌカイト	先端は尖らない。基部は幅広で一部削損。翼状剥片を利用か。基部に傷かに打面を残す。刃部中央部欠失。	A-0+4/742	
886	30.40	13.30	5.45	1.9	II	先端部破損。基部に自然面を残す。素材は翼状剥片か。底面は小刻面が見られる。断面は台形。	B21-144	
887	34.50	13.85	7.20	3.1	II	先端は尖らない。基部部破損。素材は翼状剥片か。二次削離は先端部には施さない。風化顯著。	A35-2-b S	
888	32.25	14.55	7.65	3.3	II	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。底面は直線状を呈する。断面は台形	A20-1-60	
889	30.00	13.60	5.15	1.6	II	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。底面は直線状が複数ある。断面は直線状。	C10-1-a N	
890	30.15	16.25	5.70	3.1	II	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。断面は台形。	A12-2-217	
891	28.30	13.10	5.25	2.2	II	先端部破損。基部はやや幅広。翼状剥片を利用か。基部に小さく打面を持つ。刃部に微少な剥離痕あり。断面は台形。風化顯著。A38-1-1346		
892	35.00	17.95	6.10	3.6	II	両端破損。素材は翼状剥片か。刃部に小刻面が見られる。	A38-5-b S	
893	30.10	19.85	4.40	2.4	II	先端から刃部中央にかけて破損。基部は裏となり幅広。素材は翼状剥片か。断面は扁平な台形。	A35-1-1913	
894	30.20	14.75	5.80	2.2	II	先端部は尖る。刃部基部より破損。素材は翼状剥片か。二次削離は先端から中央基部寄りにかかる。	A40-2-758	
895	34.70	16.15	6.80	2.8	II	先端は尖る。基部部破損。翼状剥片を利用か。基部に丁口面を残す。主要剝離面に打点あり。底面は先端部に残る。	A39-3-a N	
896	31.30	12.50	4.70	1.7	II	先端部破損。基部は幅広。素材は翼状剥片か。二次削離は先端から中央基部寄りにかけて施す。刃部は直線状。二次削離前面は尖る。	A38-2-3591	
897	29.70	15.30	6.10	1.8	II	先端は尖らない。基端部破損。素材は翼状剥片か。基部よりに打面を残す。風化やや顯著。	A24-1-d N	
898	33.45	13.35	6.30	2.4	II	先端部破損。基端は尖らない。素材は翼状剥片か。刃部は複数の小刻離痕が見られる。	A35-4-204	
899	34.65	17.70	8.35	3.9	II	先端部破損。刃部中央部折損。素材は翼状剥片か。	A21-1-242	
900	35.75	12.65	4.85	2.0	II	先端は尖る。基端部破損。素材は翼状剥片か。底面の中央部に二次削離面から刃部側面からの剝離面をもつ。	C7-11-a N	
901	36.20	15.15	6.15	2.7	II	両端破損。翼状剥片を利用か。断面は台形。	A34-2-3464	
902	29.80	16.55	5.45	1.5	II	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用か。二次削離は細かい。断面は扁平な台形。	A41-4-c d S	
903	18.10	13.10	4.65	1.4	II	先端は尖る。基端部破損。翼状剥片を利用か。基部に傷かに打面を残す。刃部先端部に小刻離痕あり。断面は台形。	A36-2-251	
904	31.95	11.90	5.75	2.4	II	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。基部に傷かに打面を残す。刃部に基部側面を施す。	A24-1-d N	
905	30.60	17.85	5.75	2.3	II	先端は尖らない。基部は幅広。刃部の先端部欠失。翼状剥片を利用か。断面は台形。	A40-2-a S	
906	32.95	15.50	6.05	2.8	II	先端部破損。基部は幅広。翼状剥片を利用か。中央部に複数打面を残す。刃部の基部に小刻離痕あり。風化やや顯著。	A21-1-780	
907	30.85	16.00	7.30	2.7	II	先端部破損。基端は尖る。翼状剥片を利用か。二次削離は側縁全面に施す。	A35-2-b N	
908	26.20	13.15	5.20	1.4	II	先端部破損。基部は幅広。素材は扁平な翼状剥片か。二次削離面は4面。		
909	34.55	12.30	6.45	2.3	II	先端部破損。基端は尖らない。素材は翼状剥片か。底面先端部に背面から刃部側面を残す。	A34-1-387	
910	30.15	13.50	4.45	4.35	II	先端部破損。基端は尖らない。素材は翼状剥片か。刃部に基部側面を施す。	A14-1-b N	
								A41-5-a S

編号	法 量	幅	厚さ	重量	石	質	断面		出土点
							横	縦	
911	27.95	16.15	6.40	2.4	サスカイト	素材は異状剥片か。背面は幅広。二次調整は一側縫全面に施す。断面は台形。	A27-2-c N		
912	36.85	22.95	9.10	7.0	II	先端部破損。基部に自然面を残す。異状剥片を利用か。刃部に刃調整を施す。	A21-1-311		
913	40.40	21.25	16.90	5.4	II	先端は尖る。素材部破損。異状剥片を利用か。先端部に凹凸面を残す。刃部は外側。断面は台形。	B4-150		
914	42.65	16.20	5.80	3.5	II	先端は尖る。素材部破損。異状剥片を利用か。二次調整は背面から刃調整を施す。	C7-1-b N		
915	40.25	10.35	7.80	2.8	II	先端は尖る。素材部破損。基部に刃面を残す。刃が面に二次調整全面から刃縫を施す。	A41-3-a S		
916	32.60	16.95	6.80	2.9	II	先端部破損。基部は尖らない。素材は異状剥片か。中央基部より側から斜めに鋸く打面を残す。主要刃縫面に打点あD。刃面先端部	A35-2-702		
917	25.60	1.00	4.55	1.1	II	先端部破損。基部は幅広。素材は異状剥片か。刃部の基部に小判削痕を残り。	B1-249		
918	24.40	14.40	5.05	1.6	II	先端は尖る。基部の大半破損。素材は異状剥片か。断面は台形。	A38-2-3452		
919	58.20	21.45	9.40	11.4	II	頭端が尖らない。素材は異状剥片ファーストフレイク。背面に大きな穂状剥片の打面を残す。基部に刃縫面が見られる。刃部は内凹面。	A38-2-4857		
920	46.05	18.80	7.55	7.1	II	先端部破損。基部は尖らない。素材は異状剥片ファーストフレイクか。打面は自然面を利用。刃部は外側。断面は台形。	A41-5-102		
921	49.30	18.70	7.40	11.0	II	先端。先端は尖らない。素材は幅広。異状剥片ファーストフレイクの可能性が考えられる。刃部に微少な剝離感が残る。	C16-2-122		
922	36.60	14.80	6.95	3.6	II	先端。先端は尖らない。素材は幅広。ファーストフレイクに近い穂状剥片か。刃部の先端部に調整を施す。断面は台形。	A25-1-d S		
923	19.15	12.20	5.50	1.8	II	先端は尖る。素材部破損。ファーストフレイクに近い穂状剥片の可能性あり。主要刃縫面から側面からの刃縫面が見られる。C10-2-b S			
924	35.95	14.10	6.25	3.1	II	先端は尖らない。素材部破損。ファーストフレイクに近い穂状剥片か。背面基部に基礎方向からの刃縫面を残す。	A38-2-2831		
925	35.85	15.25	7.60	3.9	II	先端。先端は尖らない。素材は尖る。ファーストフレイクに近い穂状剥片を用いる。刃部は基部調整面を利用する。刃部は台形。	C18-1-b S		
926	36.85	17.70	6.25	4.4	II	頭端が尖らない。素材部は刃縫全面は打面か。背面は刃縫部の刃縫面によりなる。	B22-a N		
927	53.05	13.65	7.95	5.9	II	先端。先端は尖らない。素材部は異状剥片の可能性あり。ファーストフレイクに近い穂状剥片を利用。先端部から中央にかけて細長く打面を残す。主要刃縫面はA32-2-b S			
928	37.60	23.15	7.00	5.7	II	先端。先端は尖らない。素材部は刃縫全面に自然面を残す。刃部は先端方向から刃縫面。	A38-2-2836		
929	61.35	28.95	10.00	19.0	II	先端。先端は尖らない。素材部は刃縫全面に自然面を残す。刃部は先端方向から刃縫面。	B12-83		
930	64.00	20.00	7.75	9.4	II	先端。先端は尖らない。刃部は刃縫全面に自然面を残す。刃縫面に二次調整を施す。自然面は刃縫面から基部にかけて自然面を残す。	B7-1015		
931	49.80	17.45	10.60	7.6	II	先端。先端は尖らない。素材部は自然面を利用か。刃部は先端方向からの刃縫面。	A35-1-1033		
932	46.25	15.25	7.95	3.9	II	先端。先端は尖らない。素材部は自然面を利用。刃縫面を残す。	A36-3-1643		
933	44.90	15.25	7.50	3.4	II	先端。先端は尖る。素材部は自然面を利用。背面は刃縫全面に小さく自然面を残す。基部は細長く打面を残す。	A35-2-42		
934	39.40	16.05	8.35	3.7	II	刃部が削れ、尖る。素材部は刃縫全面に自然面を残す。背面は刃縫全面から基部にかけて自然面を残す。刃部に打面を残す。主要刃縫面に打点あり。	A36-2-126		
935	34.10	16.45	7.90	3.5	II	先端。先端は尖らない。素材部は幅広。素材部は刃縫全面に自然面を残す。刃部は刃縫全面のみ残す。	B24-b S		
936	34.50	14.20	7.20	2.9	II	刃部。先端は尖らない。素材部は幅広。素材部は刃縫全面に自然面を残す。刃縫面中央部から基部にかけて自然面を残す。底面中央部に刃縫面が2面	A1-1-207		

番号	法 量	量	量	石 質	質	出土地点
937	29.85	15.00	6.00	2.2	サヌカイト	先端は尖る。基部は幅広。素材は焼成片。背面に中央部から基部に自然面を残す。刃部先端部に小切妻形があり。風化顯著。A34-2-b S
938	35.85	15.10	5.65	2.8	B	先端が尖る。基部は幅広。素材は焼成片。背面に大きめの自然面を残す。刃部は基部に向かうの切妻形。万能は外薄。B14-b S
939	49.45	15.50	9.00	4.4	B	断面は台形。先端が尖る。基部は幅広。素材は焼成片。背面は打削面に中央部から基部に自然面を残す。刃部先端部付近に調整を施す。刃部は基部に向かうの切妻形。万能は外薄。A35-4-831
940	43.25	17.15	10.55	5.9	B	先端が尖る。基部は幅広。焼成片を利用。背面は打削面に中央部から基部に自然面を残す。刃部は焼成片。刃部側にも二次調整を施す。
941	34.50	15.35	6.80	4.1	B	刃部は焼成片。先端が尖る。基部は幅広。刃部は焼成片。背面は打削面に自然面を残す。万能は焼成片。刃部は中央部から基部に細長く残る。背面は中央部から基部に細長く残る。A38-3-179
942	33.80	18.00	6.00	3.4	B	先端が尖る。基部は幅広。焼成片を利用。背面は下半部は自然面が残る。刃部は中央部から基部には主要削面から施す。B12-726
943	82.25	27.50	10.55	20.0	B	刃部はやや幅広。刃部は焼成片。背面は打削面は背面部から、中央先端部よりから基部には主要削面から施す。
944	61.45	24.55	15.90	18.8	B	刃部は中央部から基部にかけては少し削面が多め残される。刃部は中央部から基部にかけては少し削面が多め残される。A38-1-345
945	64.20	24.60	11.15	14.1	B	刃部は幅広。先端が尖る。基部は幅広。焼成片を利用。背面は自然面を残す。背面基部には自然面を残す。二次調整は粗い。
946	72.70	22.50	12.15	23.8	B	先端が尖る。基部は幅広。刃部は焼成片。背面は打削面に二次調整を施してない面が残る。刃部側にも二次調整を施す。A10-1-36
947	67.25	24.60	6.00	12.2	B	先端が尖る。基部は幅広。刃部は焼成片。薄い焼成片を利用。二次調整は中央先端部よりから基部にかけて施す。A2-2-d S
948	50.25	24.45	10.15	10.6	B	刃部は中央部から基部にかけては少し削面が残る。刃部は中央部から基部にかけては少し削面が残る。A26-1-327
949	42.60	28.65	8.00	8.1	B	先端が尖らしない。焼成片を利用。芯部は2面よりもなる。二次調整は基部等りに1面だけ施す。刃部は背面は直角の山形。A35-2-101
950	56.30	17.95	9.35	6.0	B	先端が尖る。刃部は焼成片。背面は焼成片よりなる。刃部に基部調整を施す。
951	66.75	33.55	13.50	35.2	B	先端が尖らしない。基部部に自然面を残す。刃部側も二次調整を施す。
952	49.50	27.65	6.35	8.3	B	先端が尖らしない。基部は幅広。焼成片を利用。刃部側基部に自然面を残す。刃部側全面に施す。
953	42.85	32.80	8.95	8.9	B	先端が尖らしない。基部は幅広。焼成片を利用。刃部側全面を指す。刃部は内歯。断面は台形。
954	42.90	20.60	6.00	4.9	B	先端が尖る。刃部は焼成片。素材は焼成片。先端部には二次調整を施さない。刃部に基部調整を施す。
955	52.40	14.70	9.40	6.2	B	先端が尖る。基部は尖らしない。素材は焼成片。刃部は焼成片。背面は主要削面以前の面が残る。底面基部に万能から刃部側面 A36-3-1978
956	56.70	21.00	10.65	9.1	B	先端が尖らしない。基部は幅広。刃部は焼成片。刃部に基部調整を施す。二次調整は一部焼成片面に施す。背面に刃面を残す。
957	48.20	23.35	15.90	10.0	B	先端が尖る。刃部は焼成片。背面は直角の山形。二次調整は刃部側を指す。刃部は山形。
958	43.50	25.00	10.65	8.4	B	先端が尖る。刃部は焼成片。背面は直角の山形。二次調整は刃部側を指す。刃部は山形。
959	41.60	27.50	8.75	6.9	B	先端が尖らしない。基部は幅広。刃部は焼成片。刃部側は尖らしない。刃部は焼成片。
960	40.45	23.15	7.40	6.1	B	先端が尖らしない。基部は幅広。刃部は焼成片。背面は直角の山形。二次調整は刃部側を指す。
961	38.65	25.40	8.45	6.2	B	先端が尖らしない。基部は幅広。刃部は焼成片。背面は直角の山形。二次調整は刃部側を指す。
962	45.35	25.06	7.00	7.3	B	先端が尖らしない。基部は幅広。

番号	法 量	長 さ	幅	厚 さ	重 量	石 質	解	出土点
963	55.45	26.10	8.05	10.7	サヌカイト	先端はやや幅広。基部は尖らない。基部は尖らぬ。先端は尖る。	B13-a N	
964	45.80	22.95	10.25	10.3	II	先端は尖る。基部は幅広。先端は尖る。	A36-4-222	
965	45.05	21.40	10.50	8.8	II	先端が尖る。側面斜削片を利用。底面基部に斜削面あり。	A37-4-218	
966	45.35	16.55	11.15	6.2	II	側面斜削片を利用。二次調整は一側面全面に施す。刃部中央部に小斜削面あり。	A37-2-22	
967	44.25	19.55	7.45	5.3	II	側面は薄くなり傾く。基部は尖らない。側面斜削片を利用。二次調整は基部附近にかたまる。刃部にも二次調整を施す。主要削面 A38-3-b N		
968	40.00	21.70	7.90	6.0	II	先端が尖る。側面斜削片を利用。二次調整は刃部から落す。主要削面外側部に小斜削面あり。断面は三角形。	A37-4-34	
969	39.00	17.15	8.15	5.2	II	刃部は幅広。基部は尖らない。側面斜削片を利用。刃部中央部に複数の小斜削面あり。風化やや断面は自然面を残す。B3-462		
970	35.60	18.30	6.65	3.9	II	刃部は幅広。基部はやや幅広。側面斜削片を利用。基部には刃面を残す。	A35-5-233	
971	36.35	17.55	6.70	4.0	II	先端が尖る。側面斜削片を利用。刃部は幅広。側面斜削片を利用。二次調整は一側面全面に施す。風化やや断面は自然面。	A35-4-217	
972	36.00	21.25	7.30	4.8	II	先端が尖らぬ。基部は幅広。側面斜削片を利用。底面の中央部から斜削面にかけて刃部から主要削面面向けて能面を残す。主要削面 A35-3-946		
973	60.20	21.00	8.45	7.9	II	刃部が尖る。側面斜削片を利用。二次調整は刃部から主要削面面向けて能面を残す。主要削面 B22-b S		
974	32.70	21.45	9.90	5.3	II	先端が尖る。側面斜削片を利用。刃部は幅広。側面斜削片を利用。基部を小さく残す。主要削面面向けて能面を残す。A32-1-403		
975	44.75	22.65	6.80	5.3	II	先端が尖る。側面斜削片を利用。刃部は幅広。側面斜削片を利用。基部に刃面を残す。主要削面面向けて能面を残す。A38-2-4117		
976	28.20	24.45	9.50	5.7	II	先端が尖る。基部は幅広。側面斜削片を利用。細かい側面調整を施す。風化やや断面。	A40-4-253	
977	33.10	25.35	7.95	4.2	II	先端が尖らぬ。基部は側面斜削片。刃部に刃面を残す。主要削面面向けて能面を残す。主要削面 B30-118		
978	29.45	18.55	8.35	3.4	II	先端が尖らぬ。基部は側面斜削片。刃部に側面斜削片。二次調整面は山形。	A36-3-1173	
979	41.20	23.10	9.55	6.6	II	先端が尖らぬ。基部は尖らぬ。刃部は刃面を残す。主要削面は3面よりな。刃部先端部に微少な斜削面あり。刃部は外 A7-1-2271		
980	38.85	21.10	6.70	5.8	II	先端が尖らぬ。基部は幅広。側面斜削片を利用。二次調整面先端部に複数の小斜削面が残る。二次調整は刃部に背面から A38-2-4041		
981	45.40	18.05	9.95	5.9	II	先端が尖らぬ。基部は幅広。側面斜削片を利用。二次調整面先端部には自然面があり。背面上にはネガ面は見ら A36-2-1902		
982	42.05	19.60	8.45	5.9	II	先端が尖らぬ。基部は幅広。側面斜削片を利用。刃部は刃面を残す。主要削面面向けて能面を残す。A39-5-143		
983	44.15	15.80	7.20	3.6	II	先端が尖る。基部は尖らぬ。刃部に刃面を残す。主要削面面向けて能面を残す。A41-4-287		
984	42.15	15.00	9.65	4.2	II	先端。刃部が尖らぬ。基部は側面斜削片。二次調整は先端から中央部に2面残す。底面に刃部からの斜削面あり。 A38-1-3604		
985	34.15	15.30	6.20	2.5	II	先端。先端は尖る。基部は尖らぬ。側面斜削片を利用。刃部側に刃面を残す。主要削面は粗い。断面は台形。	A35-3-b S	
986	33.65	18.20	6.75	3.0	II	先端。刃部が尖らぬ。側面斜削片を利用。刃部側に刃面を残す。主要削面は粗い。断面は台形。	A39-2-c N	
987	34.85	19.30	6.05	3.7	II	先端。先端は尖る。基部は幅広。側面斜削片を利用。刃部に刃面を残す。主要削面は粗い。断面は台形。	A34-1-1181	
988	35.75	14.80	9.10	4.2	II	先端。刃部が尖る。側面斜削片を利用。刃部に刃面を残す。主要削面は粗い。断面は台形。	A13-1-133	

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	観		出土地点
						長さ	高さ	
989	44.95	22.10	9.45	8.4	サヌカイト	完形。先端が尖る。刃部先端部欠け。櫛長剣片を利用。基部には二次調整を施さない。主要剣面面部には石様の削面が残る。		A.21-1-727
990	41.80	16.20	9.85	5.6	H	完形。先端が尖る。刃部先端部欠け。櫛長剣片を利用。刃部先端部に調整を施す。主要剣面面部には石様の削面が残る。		A.39-5-a-N
991	36.35	14.55	4.05	1.9	H	完形。刃端が尖らない。基部は幅広。肩材は櫛長。肩材は櫛長剣片を利用。中央から先端部にかけて打面を残す。主要剣面面部には石様の削面が残る。		A.12-1-b-S
992	33.35	13.00	6.00	2.6	H	完形。先端が尖らない。基部は幅広。肩材は櫛長剣片。刃部の中央部は鋸歯か。主要剣面面部から先端にかけては、先端方向 A.36-3-2269		A.36-3-2269
993	36.40	16.05	7.15	3.5	H	完形。先端が尖らない。基部はやや幅広。素材は櫛長剣片。主要剣面面部には大きく打面が残る。		A.17-1-58
994	35.45	18.00	6.10	3.4	H	完形。先端が尖らない。基部はやや幅広。刃部には刃部側面に打点が見られる。刃部、二次調整面部とも A.30-1-b-N		A.30-1-b-N
995	39.15	21.65	8.75	7.3	H	完形。先端が尖らない。基部は幅広。刃部側面をもつ。刃部やや厚面。刃部側面打面側に、肩材から刃口のない鉤状面が見られる。刃部、二次調整面部とも A.40-3-873		A.40-3-873
996	40.05	18.01	6.75	3.7	H	完形。両端が尖らない。素材は櫛長剣片。二次調整は中央先端寄りから基部に近く施す。断面は台形。		A.38-2-3788
997	43.25	18.70	8.00	6.3	H	完形。先端が尖らない。素材は櫛長。肩材は櫛長。刃部は櫛長剣片。刃部の先端部に小刻線を残す。風化研磨。		A.34-2-d-N
998	30.10	10.65	7.15	1.8	H	完形。先端が尖らない。差部は幅広。刃部側面を利用。中央部に打面を運ぶに残す。主要剣面面部には自然面を残す。刃部側面と打面側面から A.36-5-324		A.36-5-324
999	30.25	19.60	6.85	2.4	H	完形。先端が尖らない。刃部側面を利用。中央部に打面を運ぶに残す。主要剣面面部には自然面を残さない。刃部側面と打面側面から A.39-2-945		A.39-2-945
1000	30.25	20.65	8.00	4.2	H	完形。先端が尖らない。刃部側面を利用。中央部に打面を残す。主要剣面面部には自然面を残す。刃部側面と打面側面から A.35-1-820		A.35-1-820
1001	33.00	21.40	7.05	4.7	H	完形。先端が尖らない。基部は幅広。刃部は櫛長剣片。二次調整は先端部のみ施す。直面先端部に二次調整面部から A.27-1-4-S		A.27-1-4-S
1002	41.00	18.75	9.25	6.3	H	完形。先端が尖る。素材は櫛長剣片。二次調整面部先端部には自然面を残す。刃部先端部に刃部側面から A.38-2-285		A.38-2-285
1003	35.00	21.15	8.00	5.3	H	完形。先端が尖らない。基部は幅広。刃部は櫛長剣片。刃部側面は先端から基部にかけて細長い斜面 C.18-1-231		C.18-1-231
1004	34.95	20.25	6.95	3.7	H	完形。先端が尖らない。基部は幅広。刃部は櫛長剣片。刃部側面は先端部のみ施す。直面先端部に二次調整面部から A.21-31		A.21-31
1005	36.95	16.10	8.20	3.6	H	完形。刃端が尖る。素材は櫛長剣片。二次調整は先端から中央部にかけて施す。刃部は外壁を呈する。主要剣面面部には打点あり。		
1006	41.15	17.60	9.60	5.2	H	完形。刃端が尖る。刃部側面を利用。主要剣面面部を刃部側面に施す。刃部側面と打面側面から A.38-5-1		A.38-5-1
1007	39.80	14.60	6.70	4.0	H	完形。刃端が尖らない。刃部側面を利用。刃部側面と打面側面から A.38-4-36		A.38-4-36
1008	36.90	17.00	6.95	4.2	H	完形。刃端が尖らない。刃部側面を利用。刃部側面と打面側面から A.4-1-c-S		A.4-1-c-S
1009	43.75	13.20	6.85	3.1	H	完形。刃端が尖る。刃部側面を利用。刃部側面と打面側面から A.24-2-8		A.24-2-8
1010	38.80	20.90	7.45	4.9	H	完形。刃端は幅広く、差部は尖らない。刃部側面を利用。刃部側面と打面側面から A.9-885		A.9-885
1011	39.55	16.45	7.80	4.6	H	完形。刃端は尖る。刃部側面は幅広。刃部側面と打面側面から A.6-522		A.6-522
1012	37.40	18.70	7.65	4.9	H	完形。刃端とともに幅広。刃部側面を利用。刃部側面と打面側面から A.37-5-b-N		A.37-5-b-N
1013	31.30	18.05	5.70	3.8	H	完形。刃端は幅広。刃部側面を利用。刃部側面と打面側面から A.12-811		A.12-811
1014	32.10	18.45	6.00	3.9	H	完形。刃端は幅広。刃部側面を利用。刃部側面と打面側面から A.12-811		A.12-811

番号	法 量	幅 厚	質	石 質	質	断面	出土地点
1015	36.85	18.25	6.85	4.1	B	先端。先端から基部にかけて、横長剥片を利用。背面には一側縫合面に二次調整面を施す。打面を中央基部寄りに小さく残す。	A25-2-223
1016	36.20	15.15	6.55	3.3	B	先端。先端は幅広。基部はやや狭い。横長剥片を利用。背面には僅かに自然面を残す。二次調整は下部に施す。	B21-733
1017	38.90	17.20	11.85	5.1	B	先端。先端は幅広。基部は尖る。横長剥片を利用。背面には先端から基部にかけて二次調整面を組む。打面中央寄付近に小刻調整面が見られる。	A38-4-635
1018	48.40	16.10	9.35	6.1	B	先端。先端は尖る。基部は尖らなく、横長剥片を利用。背面には複数のネジガム面あり。「二枚調整面」は背面から基部には細かく施す。先端は先端寄りから基部にかけて二次調整面が見られる。	A24-1-d S
1019	41.55	19.80	9.80	5.8	B	先端。先端は尖る。基部は幅広。横長剥片を利用。背面には横長剥片の方向を異なる2面よりなる。二次調整は下部に施す。	A29-2-b N
1020	37.80	12.40	4.60	2.2	B	先端寄付。横長剥片を利用。先端から基部にかけて二次調整面を施す。主要剝離面から先端に二次調整面を削除する。主要剝離面新あり。刃部は外寄。	A41-4-a S
1021	37.50	10.35	4.55	1.2	B	先端。剥離は尖らない。横長剥片を利用。背面にはドヤが見れない。二次調整は主要剝離面には直角的に施す。	B9-74
1022	34.30	12.55	4.55	30.25	B	先端。背面は尖らない。横長剥片を利用。先端から寄付まで二次調整面を施す。主要剝離面の基部には矢張り方向からの剝離面。	A29-1-b N
1023	27.40	15.95	7.35	2.1	B	先端。先端は尖らない。基部は幅広。二次調整は下部に施す。主要剝離面基部には矢張り方向からの剝離面が残る。	A38-5-b S
1024	27.80	18.15	8.00	2.5	B	先端。先端は尖らない。基部は少し尖る。横長剥片を利用。二次調整は一側縫合全面に施す。主要剝離面の一次調整面中央部に剥離面が残る。	A28-2-b S
1025	21.50	12.00	6.85	1.6	B	先端。背面は少し幅広。横長剥片を利用。断面はほぼ台形。	A35-2-b N
1026	29.15	14.40	6.35	1.7	B	先端。先端は尖らない。基部は幅広。二次調整を主に用いる。粗い二次調整面から中央部から基部にかけて相異なる剝離面。	C7-2-c N
1027	28.05	14.70	7.25	2.5	B	先端。先端は尖らない。基部は幅広。二次調整面から中央部から基部にかけて相異なる剝離面が残られる。風化。	A37-4-a S
1028	30.10	14.80	7.65	2.4	B	先端。先端は少し尖り基部はやや幅広。横長剥片を利用。断面は三角形。	A25-1-c S
1029	32.35	11.35	6.90	2.2	B	先端。剥離は尖らない。横長剥片を利用。二次調整面は先端から中央基部寄りにかけては主要剝離面から、基部は背面から施す。	A25-2-a S
1030	30.15	16.55	5.05	2.4	B	先端。先端は尖らない。横長剥片を利用。背面には複数のネジガム面を持つ。二次調整は中央部に1面だけ残す。主要剝離面の刃部は外寄。	A40-4-664
1031	28.65	13.75	6.45	1.9	B	先端。先端は尖る。横長剥片を利用。二次調整面は尖かい。刃部、二次調整面側共外寄。断面は三角形。	A42-5-215
1032	29.00	14.90	6.25	2.3	B	先端。先端は尖らず。基部は幅広。横長剥片を利用。先端から中央にかけて打面を残す。主要剝離面に打点を残す。	A38-3-b N
1033	31.65	14.10	4.25	1.9	B	先端。先端を尖る。横長剥片を利用。刃部の先端から基部寄りにかけて。主要剝離面に二次調整面を施す。主要剝離面に打点を残す。	B18-1006
1034	29.00	10.70	6.65	1.3	B	先端。先端は尖り。基部は幅広。横長剥片を利用。一次調整面側先端部消失。	B14-535
1035	28.80	18.80	6.15	2.9	B	先端。先端は幅広。横長剥片を利用。背面には複数のネジガム面あり。二次調整は中央部にのみ施す。刃部は直線	B12-a K
1036	28.80	11.70	6.80	2.1	B	先端。先端は幅広。横長剥片を利用。二次調整が3面されいて組織である。刃部は直線状を呈す。主要剝離面に打点を残す。	C18-1-a N
1037	29.75	14.60	7.90	2.5	B	先端。剥離とも幅広。横長剥片を利用。中央部より先端にかけて二次調整面が残る。	A38-3-522
1038	31.95	15.80	5.10	1.9	B	先端。先端は幅広。横長剥片を利用。刃部は外寄。刃部は幅広。二次調整面に打点を残す。主要剝離面に小刻調整面を施す。	A46-3-2022
1039	29.35	13.00	6.40	2.1	B	先端。先端は幅広。横長剥片を利用。刃部は幅広。背面には矢張り方向からの剝離面が残る。	B19-195
1040	29.15	16.00	5.90	1.9	B	先端。先端は尖る。基部は幅広。刃部は外寄。	A39-2-531

番号	法 量	幅	厚さ	石 質	鏡		出土地点
					長さ	重 量	
1041	29.15	17.25	6.45	2.4	II	台形。先端はやや尖り、基部は薄く幅広。楕円片を用いる。先端から基部にかけて全面に二次調整を細かく施している。断面は	A37-2-822
1042	26.45	19.15	5.80	2.6	II	先端が幅広で、基部が最も狭い。楕円片を利用。先端から基部にかけて二次調整を丁寧に施す。刃部は2面よりも中央部に主張する鏡面側	A38-2-1766
1043	35.30	12.45	8.40	2.3	II	先端が幅広で、基部が最も狭い。楕円片を利用。先端は薄く幅広。楕円片を利用。先端は自然面であり。二次調整は下平幅に施す。底面の先端に鏡面側に骨面からの	A39-3-1108
1044	29.60	16.45	7.65	2.6	II	先端。先端は尖り、先端から基部にかけて二次調整が施されている。刃部から基部にかけて二次調整あり。先端から基部にかけて二次調整	A47-2-193
1045	26.95	15.10	6.10	2.3	II	先端。先端は尖らない。基部は幅広。楕円片を利用。背面は自然面であり。先端から基部にかけて二次調整	A49-3-035
1046	26.00	9.80	5.75	1.0	II	先端。先端は尖る。基部は尖らない。楕円片を利用。背面は半端にほぼ直角に行う。刃部は外輪。断面は三	A55-2-626
1047	28.45	9.85	5.25	1.2	II	先端。先端に少し尖る。楕円片を利用。二次調整は上半部に粗く施す。刃部は直線状。二次調整面側は山形を呈す。風化断面。	C18-1-a N
1048	25.50	11.70	5.30	1.3	II	先端。先端が尖らない。楕円片を利用。二次調整は下半部に細かく施す。底面は2面よりなる。	C6-1-284
1049	22.15	12.30	4.55	1.0	II	先端。先端が尖る。基部も幅広。楕円片を利用。二次調整は全て主要鏡面側から施す。刃部は外輪を呈する。断面は台	A41-2-38
1050	23.50	10.70	4.55	0.9	II	先端。先端が尖る。楕円片を利用。背面は半端から刃部の削撲を施す。二次調整は背面側から後ろへ行う。断面は台形。A36-4-1523	B16-282
1051	20.05	18.60	6.35	1.7	II	先端。先端は尖らず、基部は薄く幅広。楕円片を利用。背面は底面と思われる平坦な2面のみ残る。二次調整は背面側から一側面	A51-241
1052	28.40	9.25	3.90	0.9	II	先端。先端が尖らず、基部は幅広。楕円片を利用。	B4-614
1053	24.70	8.70	4.30	0.6	II	先端。先端がやや尖る。楕円片を利用。二次調整は一面全体に施されている。断面は三角形。基部調整を小さく行う。	A40-3-d N
1054	26.95	9.15	2.40	0.4	II	先端。先端が尖る。楕円片を利用。背面は1面、二次調整は外輪側から厚度寄りにかけて施す。主要鏡面側は背面から基部側に	A26-1-438
1055	19.95	9.25	3.45	0.6	II	先端。先端が幅広で、楕円片を利用。背面。主要鏡面は1面つづ。一側縫合側から二側縫合側す。	A23-2-b S
1056	17.90	9.70	3.65	0.5	II	先端。先端はやや尖るが基部は薄く幅広。楕円片を利用。二次調整は先端部に2方からの主要鏡面を削す。断面は三角形を呈す。	C14-1-a N
1057	22.00	7.00	6.80	1.0	II	先端。先端から小刻みに削る。楕円片を利用。背面は2面よりなる。楕円片を利用。背面は底面に削る。主張鏡面側に	B21-1938
1058	63.80	33.70	8.40	15.8	II	先端が尖るが、一部鏡面が削る。楕円片を利用。背面は2面よりなる。楕円片を利用。背面は底面に削る。主張鏡面側に	A36-2-797
1059	59.25	41.00	16.40	24.9	II	先端が鏡面側に偏る。楕円片を利用。背面は2面よりなる。楕円片を利用。背面は底面に削る。背面は底面に削る。主張鏡面側に	A34-2-a N
1060	52.70	22.45	11.85	15.4	II	先端が鏡面側に偏る。楕円片を利用。背面は2面よりなる。基部側は幅広。先端が底面に削る。背面は底面に削る。主張鏡面側に	A38-2-903
1061	59.85	32.80	10.05	17.5	II	基部が鏡面側に打痕を残す。先端は尖る。楕円片を利用。先端から基部にかけて二次調整を施す。背面刃部側下半部に自然面を残す。	A39-3-496
1062	43.55	13.50	8.65	3.7	II	先端が鏡面側。基部はやや幅広。楕円片を利用。背面自ら側面側に鏡面側自ら側面側に鏡面側。背面は2面より二次調整を行うが、打点痕は折れる。主張鏡面側の刃部側基部	A36-2-797
1063	41.70	14.05	7.90	3.5	II	先端が鏡面側に偏る。背面は2面よりなる。楕円片を利用。背面は底面に削る。背面は底面に削る。主張鏡面側が見られる。背面は底面に削る。背面は底面に削る。	A34-2-c N
1064	42.50	27.50	12.20	12.3	II	刀の先端が尖らず、基部側は幅広。先端が刃部側に偏る。背面は底面に削る。背面は底面に削る。主張鏡面側に	A38-2-903
1065	52.25	33.75	7.00	5.8	II	刃部側が底面に残る。先端は尖る。基部はやや幅広。背面片を利用。背面は底面に削る。背面は底面に削る。	A38-4-a N
1066	42.55	25.55	4.75	4.6	II	凹面側鋸歯。基部は幅広。周平な楕円片を利用。背面には底面はない。刃部は外輪する。	A36-2-28

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石	質	縫		出土場所
							基部	背面	
1067	43.50	28.00	6.00	6.3	サメカイト	基部は端面で縁を欠く。楕長剣片を利用。基部に打面を残す。背面には幅広い基部が残っている。	A37-2-d N		
1068	46.25	22.35	8.15	8.1	II	基部部破損。楕長剣片を利用。背面に複数のミガ面あり。二次調整は一部全面に施す。断面はほぼ三角形。	A39-1-715		
1069	49.75	24.90	11.10	10.2	II	基部破損。楕長剣片を利用。刃部から中央部に一次調整を行う。断面は三角形。	C8-1-a N		
1070	53.15	17.90	14.90	12.1	II	両端とも破損。肉厚な楕長剣片を利用。背面全体と背面の一端に自然面を残す。二次調整は端面のみ。断面は三角形。	A40-2-d S		
1071	47.65	22.00	11.30	8.9	II	先端部破損。基部は尖る。楕長剣片を利用。背面の先端から基部にかけて二次調整を施す。基部には背面からの剥離面を残す。断面は台形。	A35-3-1286		
1072	49.00	35.40	14.25	17.0	B	刃部上半部破損。基部は鋸歯状。肉厚な楕長剣片を利用。	A29-1-c S		
1073	45.95	25.35	9.30	9.5	H	先端部破損。楕長剣片を利用。背面より打面と主要側面に打点を残す。中央先端より打面に施す。	C17-r-b N		
1074	54.50	26.45	8.55	10.2	H	両端の中央先端部から基部にかけて破損。楕長剣片を利用。二次調整は一部全面に丁寧に施す。	A35-4-231		
1075	44.25	25.45	9.50	10.1	H	基部部破損。楕長剣片を利用。二次調整は最も3面施す。主要側面に打点を施す。刃部の先端部に調整を施す。断面は三角形。	A35-2-1737		
1076	56.15	23.25	8.05	12.3	H	両端部破損。楕長剣片を利用。背面の先端と基部に二次調整を施す。刃部の先端部に調整全面に施す。	A40-5-239		
1077	47.05	20.80	10.20	6.7	H	先端部破損。基部はやや細び。楕長剣片を利用。背面上面半部は二次調整全面方向から基部にかけて自然面が残る。先端から基部にかけて二次調整全面に施す。	A35-3-1151		
1078	51.20	15.20	9.40	6.4	H	先端部破損。刃部は尖る。楕長剣片を利用。背面の二次調整全面方向から基部にかけて自然面が残る。先端から基部にかけて二次調整全面に施す。断面は台形。	A36-5-38		
1079	46.00	13.80	11.20	5.6	H	両端部破損。楕長剣片を利用。刃部の中央部に二次調整を施す。主要側面は平坦な2面となりる。	A38-2-1382		
1080	35.05	16.00	10.15	4.4	H	先端部破損。基部は鋸歯状。楕長剣片を利用。背面全面と刃部の先端部から基部にかけて自然面が残る。履化痕有。	A30-1-c S		
1081	45.05	20.00	8.50	6.0	H	両端から小鉢頭部破損。楕長剣片を利用。背面下部は末梢方向から自然面が残る。刃部は中央方向から自然面が残る。	A39-2-974		
1082	33.00	17.80	9.05	4.8	H	先端は尖る。基部部破損。楕長剣片を利用。細い二次調整を施す。	A39-2-1408		
1083	41.45	18.35	8.55	4.5	H	先端部破損。基部は鋸歯状。刃部が強いため、直面は刃部方向から3面の剥離面。主要側面部からは打点がない。	A38-5-a N		
1084	32.70	15.45	6.65	2.8	H	先端部破損。刃部は尖らなくなつ。楕長剣片を利用。背面の先端から基部まで二次調整を施す。刃部、中央部に主要側面部から的小剥離面を残す。	A38-1-790		
1085	38.60	14.70	5.90	2.9	H	先端部破損。基部は鋸歯状。楕長剣片を利用。二次調整は一部全面に丁寧に施す。	A27-2-63		
1086	48.35	18.97	10.70	8.8	H	先端部破損。基部は鋸歯状。楕長剣片を利用。主要側面部の先端部に斜めに削除全面で二次調整を施す。刃部は自然面が残る。	C14-1-c N		
1087	31.40	19.45	8.05	5.1	H	刃部の下半部消失。基部に打点あり。二次調整は先端部に施す。背面にはネジ穴はない。	C18-1-c N		
1088	32.05	18.85	6.85	3.0	H	刃部の先端から基部にかけて欠失。楕長剣片を利用。先端から基部まで二次調整を施す。	A38-4-900		
1089	48.15	16.65	9.10	6.1	H	両端部破損。楕長剣片を利用。背面の中央部から基部にかけて二次調整を施す。断面は三角形。	A24-2-84		
1090	42.20	19.40	5.50	4.6	H	先端部破損。基部は尖る。楕長剣片を利用。背面の基部に剥離面を残す。断面は台形。	B21-973		
1091	41.40	18.30	13.40	8.6	H	両端部破損。楕長剣片を利用。背面の中央部から基部にかけて二次調整を施す。背面は中央部から基部まで剥離面を残す。	A36-4-92		
1092	18.60	9.45	2.20	0.4	H	先端は尖る。刃部の下半部破損。楕長剣片を利用。背面にはネジ穴がない。	A39-2-786		

番号	法 量	幅 厚さ	重 量	石 質	観 察	測 定	出土地点
1093	36.45	19.30	8.85	3.8	B 新規破壊。先端は尖らない。橢長剣片を利用。底面は2面よりなる。背面の先端から基壇にかけて二次調整を施す。断面は三角形。	A38-5・b N	
1094	37.15	18.90	6.25	4.7	B 先端破壊。基部は幅広。橢長剣片を利用。二次調整を施す。背面先端部は直角である。断面は三角形。	A40-2-96	
1095	44.35	21.55	7.35	5.0	B 先端破壊。基部は尖る。橢長剣片を利用。断面はねじ面。断面は白色。	B7-322	
1096	44.10	18.10	13.10	6.6	B 周縁破壊。橢長剣片を利用。断面は2面よりなる。背面には未加工面がない。中心部から基壇にかけて、打面を残す。主要剥離面 A39-1-d S	C13-1-b N	
1097	40.75	18.65	8.45	5.9	B 先端破壊。刃部は一部欠け。橢長剣片を利用。粗い二次調整を施す。主要剥離面の先端部に背面から側面への剥離面 C14-2-43	A40-5-b S	
1098	39.60	16.20	6.75	3.9	B 先端は尖らず、刃部は直角である。橢長剣片を利用。断面は自然面を残す。二次調整は中央先端部寄りから A40-3-d N	C5-2-a N	
1099	26.60	11.85	5.05	1.3	B 先端破壊。刃部は尖る。橢長剣片を利用。二次調整面の先端部と底面の中央部に自然面を残す。粗い二次調整を施す。	A40-3-d N	
1100	46.55	22.90	10.25	8.5	B 先端部破壊。先端は幅広。橢長剣片を利用。主要剥離面の先端部に底面の側面を残す。	C5-2-a N	
1101	37.55	22.40	8.70	7.2	B 先端部破壊。先端は尖らない。橢長剣片を利用。基部に自然面を残す。刃部は直角状を呈する。底面の基部に主要剥離面 A3-2-535	A3-2-535	
1102	40.20	20.40	9.95	5.2	B 前面から2面の剥離面があり。	A3-2-727	
1103	42.25	23.95	9.00	7.0	B 先端部及び刃部の一部破壊。背面基部に尖端方向からの剥離面がある。	A3-3-d N	
1104	38.15	15.40	9.25	3.7	B 二次調整面。基部は幅広。背面基部はやや細い。橢長剣片を利用。刃部は直角である。風化断面。	A39-4-75	
1105	35.25	19.70	19.85	4.1	B 先端破壊。基部は幅広。主要剥離面の打面側から下半部は背面側から二次調整を施す。刃部は直角状を呈する。	A25-1-a N	
1106	39.35	18.80	6.75	5.9	B 周縁破壊。先端は尖らない。橢長剣片を利用。主要剥離面の打面側が残る。刃部側には細長い剥離面がある。	A40-4-b S	
1107	39.10	19.50	6.05	4.7	B 先端から2面の剥離面がある。	A17-1-65	
1108	39.80	20.30	8.25	5.1	B 先端破壊。基部は幅広。橢長剣片を利用。二次調整は下半部にかかる。	A36-5-274	
1109	35.35	18.30	6.20	3.1	B 先端破壊。基部は幅広。刃部の側面から細長い剥離面がある。背面の側面から中央部にかけて二次調整を施す。刃部は背面から2面の剥離面が見	A40-2-b S	
1110	35.40	17.85	7.45	3.8	B 周縁破壊。橢長剣片を利用。二次調整は下半部にかかる。上半部には打点のない未が面を持つ。風化断面。	A38-3-a S	
1111	45.00	17.95	8.15	6.1	B 先端破壊。先端は尖らない。橢長剣片を利用。主要剥離面の打面側には細長い剥離面を持つ。二次調整は直角である。風化断面。	A35-3-647	
1112	37.90	19.90	8.95	4.6	B 先端破壊。基部は尖る。橢長剣片を利用。背面下半部に自然面を残す。二次調整は先端から基部により削ぐ。断面は台形。	A41-4-a N	
1113	36.60	15.95	6.65	3.3	B 周縁部破壊。先端は尖る。橢長剣片を利用。刃部は直角である。主要剥離面の打面側は2面持つ。	B20-193	
1114	32.10	15.85	6.20	3.2	B 先端破壊。先端は幅広。橢長剣片を利用。刃部は直角である。主要剥離面の打面側は2面持つ。	A14-1-a N	
1115	32.65	17.95	7.60	3.5	B 基部部破壊。先端は幅広。橢長剣片を利用。粗い二次調整を施す。主要剥離面の刃部側基部より小剥離面あり。	A38-1-627	
1116	33.10	18.00	6.05	3.0	B 周縁部破壊。橢長剣片を利用。底面は下半部は刃部から2面の剥離面がある。刃部は直角状を呈する。風化断面。	B11-407	
1117	30.00	12.40	4.45	1.3	B 先端部破壊。基部は幅広。薄い橢長剣片を利用。底面は先端から基部まで二次調整を施す。断面は台形。	A38-1-3860	
1118	28.95	10.90	6.55	2.2	B 先端部破壊。基部は幅広。橢長剣片を利用。二次調整は粗く下半部は打点付近で折損する。		

番号	法 量	幅 厚さ	重 量	石 質	概 観		出土地点
					長 さ	幅 度	
1119	34.15	18.55	3.6	サスカイト 基岩部後退。先端は幅広。機長剣片を利用。機長剣片を用いる。背面は先端から基壇にかけて一次調整を施す。断面は三角形。	A24-1-d S		
1120	29.85	21.45	5.10	2.9	Y	先端は尖る。基部は幅広。機長剣片を利用。主要剣頭部の下半部に背面から側面にかけて刃面削除部には背面から側面削除部がある。刃部は外露。二次調整が施す。刃部は外露。	A22-1-a S
1121	37.30	15.90	7.50	1.3	Y	先端は幅広。基部は幅広。機長剣片を利用。二次調整は中央先端寄りから基壇にかけて施す。主要剣頭部の刃面削除部には背面から側面削除部がある。	A41-3-d N
1122	28.45	13.55	5.70	2.0	B	機長剣片を用いる。機長剣片を用いる。背面には複数のネギ面があり。背面には刃面削除部がある。先端は少しだる。機長剣片を用いる。背面には刃面削除部がある。刃部は外露。二次調整面側は直線的である。	A38-2-1981
1123	33.50	15.45	4.80	2.2	B	先端は幅広。基部は幅広。機長剣片を利用。背面基部に中央先端寄りから小剣頭部が複数見られる。刃部は外露。二次調整面側は直線的である。	A40-2-d S
1124	36.50	14.15	8.60	3.1	B	先端は幅広。機長剣片を利用。中央先端寄りから刃面を残す。主要剣頭部に打点があり。断面は2面とする。断面は直角三角形。	B15-e N
1125	49.45	18.80	10.75	7.3	B	先端は幅広。機長剣片を利用。二次調整は上半部にかたなる。下半部は背面からの刃面削除部を持つ。断面は三角形。	A41-5-d N
1126	25.15	14.77	4.95	1.5	B	方面上半部削除。中央部に幅かい二次調整を施す。	A39-4-c N
1127	24.95	12.20	4.30	1.2	B	機長剣片を用いる。背面先端部削除。先端は幅広。機長剣片を利用。二次調整は上半部にのみ施す。下半部は剣片刃縁を行う前の折損面を利用。主要剣頭部は刃面削除部から刃面を残す。	A40-3-b S
1128	22.10	15.90	6.45	2.0	B	先端は幅広。機長剣片を利用。二次調整は先端部を残さない。断面は三角形。	A40-2-458
1129	22.30	10.65	3.15	0.6	B	同上。削除は一削除全面に施す。背面、主要剣頭部1面ずつ。下半部は刃部方向からのネギ面、二次調整は一事に施す。風化や顕著。	A40-3-c S
1130	28.05	14.20	6.35	2.4	B	先端は幅広。基部は尖る。機長剣片を利用。背面先端部を削す。上半部は刃部方向から刃面を残す。	C5-2-a N
1131	24.25	10.95	6.05	1.1	B	先端は幅広。基部は少しだる。機長剣片を利用。背面の上半部は一次調整を施さない。断面は三角形。	B18-d N
1132	34.70	14.05	6.00	2.5	B	刃端が尖る。刃部の中央部破壊。機長剣片を利用。二次調整は削除全面に施す。背面から基部よりかけては背面	A8-1-47
1133	34.90	15.60	6.30	2.5	B	刃端が尖る。機長剣片を利用。背面の基部には主要剣頭部削除から、主要剣頭部側よりかけては背面	A35-2-d N
1134	29.80	14.60	4.70	1.8	B	から二次削除を行す。断面は台形。先端は幅広。主要剣頭部の二次調整面側に自然面を残す。二次調整は先端から基部まで細かく施す。	A25-1-c N
1135	37.95	17.00	6.25	3.7	B	基部は幅広。二次調整面の中央部に自然面を残す。風化や顕著。	A39-2-110
1136	37.55	24.05	6.70	4.6	B	先端は幅広。基部は幅広。先端は尖る。二次調整は刃部に2面施す。背面から刃部側よりかけては背面	A39-4-62
1137	42.55	16.10	6.70	5.2	B	刃端が尖る。基部は幅広。二次調整は先端部に施さない。刃部は中央から基部にかけて刃縁面を残す。縱長剣片を利用。	A39-3-837
1138	55.35	16.00	8.70	5.2	B	先端は幅広。基部は幅広。同削除の基部に主要刃縁面側から二次調整を施す。縱長剣片を利用。	A36-2-2738
1139	47.70	20.60	7.95	7.1	B	先端は幅広。基部は尖る。機長剣片を利用。二次調整は刃部の中央から基部にかけてと刃部削除全面に施す。	A34-2-b S
1140	48.60	23.70	8.90	7.8	B	先端は幅広。基部は幅広。縱長剣片を利用。背面にはわずかに刃面を残す。断面は自然面を利用。二次調整は基部に粗く施す。	B24-b S
1141	28.15	15.15	6.65	2.7	B	先端は尖らない。基部は幅広。刃部先端寄りから基部にかけて刃縁。機長剣片を利用。二次調整は背面側から施す。	B18-568
1142	43.90	15.95	9.40	4.4	B	先端が尖る。機長剣片を利用。刃部は細い打削面を残す。断面下半部は基部方向から剝離を施す。	A11-4-d S
1143	32.60	18.25	5.75	3.3	B	先端。先端部は幅広。基部は尖らない。基材は機長剣片、刃部中央先端寄りから基部に二次調整を施す。断面は台形。	B16-791
1144	39.40	10.60	7.05	1.6	B	先端。二次調整は削除全面に施す。外縫を呈す。	B1-991

番号	法 並	幅	厚さ	重さ	石 質	概		出土点
						長さ	幅	
1145 27.90	11.45	4.75	1.0	サメカイト	先端、両側が尖る。深い槽長剣片利用の切出し形ナイフ。刃部下半部に調整を施す。	A-0-5-33		
1146 28.60	14.65	4.00	1.3	石	先端、尖端は幅広。基部は尖らない。素材は青石。二次調整は背面側の打削面全面と反対側の基部附近に施す。断面は平行台形。	B-22-b S		
1147 31.10	12.25	4.65	1.8	石	先端部鋸歯。基部は尖らない。素材は青石。	A-0-2-d N		
1148 30.90	11.80	5.10	1.2	石	先端部鋸歯。基部は尖らない。素材は青石。	A-38-1-2537		
1149 35.40	17.40	5.00	2.4	石	先端部鋸歯。基部は尖らない。素材は青石。	C-1-1-c N		
1150 25.45	10.05	8.10	1.8	石	先端部鋸歯。基部は尖らない。素材は青石。	A-12-1-292		
1151 24.55	11.75	6.05	1.4	石	先端部鋸歯。基部は尖らない。素材は青石。	B-3-1002		
1152 25.10	9.90	2.65	0.8	石	先端部鋸歯。基部は尖らない。刃部一部欠失。薄い槽長剣片を利用。刃部中央部に調整を施す。刃部外側部と背部刃先端部に小調整を施す。刃部には擦痕がある。	B-14-b N		
1153 36.85	12.15	5.35	1.9	石	先端、尖端は鋸歯状。基部は尖らない。薄い槽長剣片を利用。基部に主要斜面側から調整を施す。	B-14-7		
1154 37.20	13.60	7.00	3.5	石	先端は尖る。基部は幅広。刃部の一部欠失。絞長剣片を利用。基部に主要斜面側から調整を施す。断面は三角形。	A-2-d N		
1155 71.10	35.20	10.10	21.5	石	先端、尖端が尖らない。縫長剣片を利用した大形のナイフ。断面は上半部に二次調整。下半部は自然頭を残す。刃部は平行。	A-33-2-c S		
1156 75.60	33.10	10.25	18.8	石	先端部鋸歯や尖り。縫長剣片を利用。刃部外側部と背部刃先端部に二次調整を施す。刃部に多數の小刻みがある。	C-1-61		
1157 61.70	36.30	10.50	18.2	石	先端、尖端が尖らない。基部は幅広。縫長剣片利用のナイフ。刃部外側部と基部の刃部側に二次調整を施す。主要斜面側の側面に斜面部を施す。	A-34-2-c N		
1158 47.35	24.75	7.70	5.6	石	先端部鋸歯。基部は幅広。縫長剣片を利用。刃部下半部には別段調整が見られる。刃部側にはほぼ全周面に調整を施す。刃部側 A-25-1-d S			
1159 30.05	17.15	8.05	5.2	石	先端、尖端が尖らない。縫長剣片を利用。刃部側に二次調整を施す。断面は台形。	C-18-1-c S		
1160 41.60	16.85	8.65	4.6	石	先端、尖端が尖らない。基部は幅広。縫長剣片を利用。主要斜面側から一側面全面に二次調整を施す。主要斜面側の中央部 A-24-4-a S			
1161 34.90	15.00	6.50	2.9	石	先端部鋸歯。基部は尖らない。刃部外側部と背部刃先端部から基部にかけて調整を施す。	A-29-3-d N		
1162 44.45	21.40	7.55	6.9	石	先端部鋸歯。基部は幅広。刃部先端部欠け。二次調整は先端部に施さない。刃部側の中央部から基部にかけて調整を施す。	B-3-969		
1163 45.25	7.90	9.35	4.9	石	先端部鋸歯。基部は幅広。縫長剣片を利用。刃部先端から基部まで自然頭が残る。主要斜面側の基部と先端部に調整が見らる。	A-38-2-b S		
1164 42.20	21.20	9.10	5.6	石	先端部及び刃部一部鋸歯。基部は幅広。縫長剣片を利用。刃部に複数の斜面側と小調整が見られる。	B-3-95		
1165 30.70	21.95	7.25	4.4	石	先端部鋸歯。基部は幅広。縫長剣片を利用。一側面全面と基部側に二次調整を施す。刃部に基部調整を施す。	C-1-115		
1166 30.25	19.00	5.85	2.9	石	先端部鋸歯。基部は幅広。縫長剣片を利用。側面の一部と基部側に自然頭を施す。	A-11-4-a N		
1167 23.85	14.90	7.90	2.4	石	先端は幅広。基部は尖らない。縫長剣片を利用。主要斜面側の刃部方向を先端部とする。刃部に基部調整を施す。刃部には擦痕がある。	B-20-614		
1168 29.50	14.90	5.10	2.0	石	先端部鋸歯。基部は幅広。縫長剣片を利用。刃部外側部と背部刃先端部から調整を施す。刃部側は平行台形。	A-10-1-a N		
1169 28.85	12.15	5.20	1.5	石	先端部鋸歯。基部は幅広。縫長剣片を利用。刃部側は平行台形。	B-6-212		
1170 32.20	16.00	4.80	1.7	石	先端部鋸歯。基部は幅広。縫長剣片を利用。刃部側は平行台形。	A-11-1-c S		

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	調 査		出土地點
						長さ	短 軸	基 面
1171	27.90	10.50	1.4	サヌカイト	先端はやや幅広。縫長剝片利用の切出しがナイフ。一面削全面及び刃部側の基部に、二次調整を施す。	B18-c S		
1172	47.35	18.60	6.15	4.7	表層質安山岩	基部は尖る。基部は幅広。縫長剝片を利用。二次調整は一面削全面と背面の基部に施す。刃部先端部は新しい剝離痕か。断面	A39-3-c N	
1173	30.00	15.50	4.90	1.5	サヌカイト	先端は尖る。刃部先端部に小調整を施す。	A10-1-55	
1174	27.30	11.80	8.75	2.1	H	先端は尖る。基部は幅広。縫長剝片を利用。刃部先端部から中央にかけて剝離痕が4面見られる。断面	A2-1-341	
1175	52.52	17.65	8.00	7.4	H	先端は尖る。基部は幅広。刃部の一部欠け。表層質安山岩に似る石材を使用。背面にはえがき面が3面あり。刃部は直線状を呈す	A42-5-a N	
1176	56.00	22.05	9.45	9.3	H	先端は尖る。基部は尖らず。基部は尖る。表層質安山岩に似る石材を使用。側面に自然面を残す。刃部前半端部に一次調整を施す。	C17-2-a N	
1177	52.75	24.20	6.20	7.4	H	先端は尖る。基部は尖らず。表層質安山岩似石材。背面にはえがき面が3面見られる。二次調整は一側削全面に細かく施す。断面は台形。	A37-4-570	
1178	52.85	16.00	7.00	5.7	H	両端削除。表層質安山岩似石材。背面には複数のえがき面が見られる。主削離全面の先端部に剝離痕が2面ある。	A35-3-670	
1179	37.55	12.65	7.90	3.7	H	両端削除。表層質安山岩似石材。背面には複数のえがき面が見られる。主削離全面の先端部に剝離痕が2面見られる。背面上面	A3-1-c S	
1180	38.15	14.90	8.35	4.2	H	先端は尖らる。基部は幅広。縫長剝片を利用。刃部に縱長い剝離痕を持つ。	A5-1-a N	
1181	31.05	17.15	10.15	4.0	H	両端削除。表層質安山岩似石材。背面にえがき面は見られない。万能かずな。二次調整は三三角形を呈する。	A5-1-b N	
1182	55.80	28.15	10.35	—	—	先端から上半部削除。基部は尖る。縫長剝片。二次調整は先端部に施さない。		
1183	28.35	17.00	6.40	2.6	表層質安山岩	先端削除。基部は尖る。縫長剝片を利用。主要削離面に打点と幅狭く刃部を残す。二次調整は背面から施す。	C14-1-684	
1184	26.00	12.15	5.55	1.7	H	先端は尖らない。刃部下部から基部前にかけて破損。縫長剝片を利用。二次調整は主要削離面から一削離全面に施す。	C16-1-531	
1185	30.05	18.40	7.15	2.7	H	先端削除。先端部は尖る。縫長剝片を利用。二次調整は上半部にかたまる。芯面は2面性異なる。	A37-1-335	
1186	24.40	9.60	6.50	0.9	H	先端部は幅広。基部は尖る。先端部は幅広。二次調整は背面から一削離全面に施す。	A41-4-d S	
1187	18.55	11.00	4.60	0.8	H	先端部は幅広。基部は尖る。先端部は幅広。二次調整に二次調整を施す。断面は台形。	A35-2-c S	
1188	19.15	8.00	4.05	0.7	H	先端部は尖らない。基部は幅広。縫長剝片を利用。断面は台形。	A39-3-1037	
1189	21.05	9.95	5.00	0.8	H	先端削除。基部は尖る。両側面に主要削離面と背面の両方から二次調整を施す。断面は台形。縫長剝片を利用。	A21-1-535	
1190	27.50	11.30	4.45	1.6	H	先端部削除。基部は尖らない。縫長剝片を利用。背面は複数の削離面よりなる。	A40-4-d S	
1191	21.95	9.15	6.70	1.2	H	先端部は幅広。基部はやや幅広。縫長剝片を利用。背面には自然面を残す。基部調整を施し切出しが形に整形。	A13-1-d S	
1192	41.15	12.65	6.05	2.7	H	先端部は幅広。基部は尖る。縫長剝片を利用。二次調整は両端部の先端部に小さく施す。断面は台形。	C13-1-430	
1193	25.30	10.65	5.00	1.1	H	先端部は幅広。基部はやや幅広。縫長剝片を利用。二次調整は基部と正面部に小さく施す。	A20-1-27	
1194	29.95	8.05	4.40	1.0	H	先端部削除。基部は尖る。縫長剝片を利用。二次調整は一面削離全面と背部の基部に施し切出しが形ナイフとする。断面は台形。	C8-1-100	
1195	21.05	9.95	5.00	0.8	H	先端部は幅広。基部は尖らない。縫長剝片を利用。主要削離面から一削離全面に二次調整を施す。刃部の下半部に背面から調整を施す。	A21-1-535	
1196	37.95	17.45	7.65	4.9	H	先端部は幅広。先端部は尖らない。基部はやや幅広。縫状剝片ファーストフレイク。刃部はか駆。断面は台形。	A29-1-c S	

番号	法 基	厚さ	重さ	石	質	調		出土地点
						幅	高さ	
1197	42.5	16.55	8.35	4.5	青 灰 岩	先端は尖る。基部は平たい。表面に斜面がある。主要斜面打面部先端よりに斜面があり、斜面が1面見られる。断面は台形。	先端部破損。基部は鋸形である。主要斜面打面部先端よりに斜面があり、斜面が1面見られる。断面は台形。	A39-2-d N B3-376
1198	45.95	24.60	10.40	13.2	石 灰 岩	先端部破損。基部は鋸形である。主要斜面打面部先端よりに斜面があり、斜面が1面見られる。断面は台形。	基部は尖らない。背面にネギ面が残らぬ。断面は三角形。	B23-a S
1199	72.45	17.95	14.30	14.1	石 灰 岩	先端部及び円部の一部破損。基部は尖らない。背面にネギ面が残らぬ。断面は三角形。	完全形。向端が尖る。中央から基部にかけてネギ面を残す。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。	B17-424
1200	56.55	13.30	12.20	14.2	石 灰 岩	先端部破損。基部は鋸形。	複数の面で底面を形成。二次底面は基部に残さない。断面は台形。	B24-20
1201	44.00	16.95	7.55	5.2	石 灰 岩	先端部破損。基部は鋸形。	向端が尖る。背面にネギ面は残られない。断面は三角形状を呈する。	A22-1-c N
1202	40.15	17.65	8.65	5.0	石 灰 岩	先端破損。背面にネギ面は残られない。	アーチ形石器。先端は尖る。背面に斜面がある。主要斜面打面部先端よりに斜面。絞長削片を利用。	B1-8-a S
1203	21.35	21.00	5.90	2.7	石 灰 岩	先端部破損。基部は尖らない。切出し形ナイフ。向端に二次調整を施す。断面は四角形。	アーチ形石器。先端は尖る。背面に斜面がある。主要斜面打面部先端から二次調整を施す。断面は四角形。	A34-2-888
1204	14.25	9.30	4.05	0.6	黑 石 灰 岩	先端部破損。基部は尖らない。切出し形ナイフ。向端に二次調整を施す。断面は四角形。	完全形。向端が尖る。中央から基部にかけてネギ面を残す。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。	A18-1-33
1205	12.95	11.10	4.75	0.7	石 灰 岩	先端部破損。基部は尖くない。	主要斜面打面部先端から二次調整を施す。断面は四角形。	A22-23-1
1206	30.45	12.30	4.05	1.4	サヌカイト 石 灰 岩	先端部は尖るが、先端部は丸みを帯びる。背面に斜面がある。主要斜面打面部先端よりに斜面。絞長削片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A15-1-a S
1207	32.40	16.00	6.15	2.9	石 灰 岩	先端部破損。基部は尖くない。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A2-1-a S
1208	36.80	13.05	5.35	2.1	石 灰 岩	先端部は尖る。背面に斜面がある。主要斜面打面部先端よりに斜面。絞長削片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A35-3-3
1209	34.80	14.60	5.30	2.5	石 灰 岩	先端部は尖る。背面に斜面がある。主要斜面打面部先端よりに斜面。絞長削片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A41-3-688
1210	39.95	14.20	5.70	3.0	石 灰 岩	先端部は尖る。背面に斜面がある。主要斜面打面部先端よりに斜面。絞長削片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	C20-1-a N
1211	43.70	15.10	7.10	3.4	石 灰 岩	先端部は尖る。背面に斜面がある。主要斜面打面部先端よりに斜面。絞長削片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A38-3-d N
1212	47.05	14.95	7.60	4.4	石 灰 岩	先端部は尖る。背面に斜面がある。主要斜面打面部先端よりに斜面。絞長削片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A39-3-1143
1213	51.95	17.05	7.20	6.1	石 灰 岩	先端部は尖る。背面はやや広い。黄鉄鉈片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A10-2-16
1214	58.40	18.40	7.30	7.6	石 灰 岩	先端部は尖る。背面はやや広い。黄鉄鉈片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A35-2659
1215	48.80	16.20	8.20	6.2	石 灰 岩	先端部は尖る。背面はやや広い。黄鉄鉈片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A38-3-506
1216	67.95	17.90	9.40	9.8	石 灰 岩	先端部は尖る。背面はやや広い。黄鉄鉈片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A25-1-d N
1217	64.50	18.00	9.60	7.8	石 灰 岩	先端部は尖る。背面はやや広い。黄鉄鉈片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A38-3-d S
1218	60.20	30.25	8.85	12.5	石 灰 岩	先端部は尖る。背面はやや広い。黄鉄鉈片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A36-2-2805
1219	83.90	19.05	12.45	16.0	石 灰 岩	先端部は尖る。背面はやや広い。黄鉄鉈片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A36-3-506
1220	31.40	16.35	7.55	3.2	石 灰 岩	先端部は尖る。背面はやや広い。黄鉄鉈片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	A7-2-21
1221	42.10	11.20	8.80	4.1	石 灰 岩	先端部は尖る。背面はやや広い。黄鉄鉈片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	C17-1-d S
1222	38.60	17.90	7.25	3.5	石 灰 岩	先端部は尖る。背面はやや広い。黄鉄鉈片を利用。	主要斜面打面部先端よりに斜面。万部は外端。一次调整直側にはほび隙状を呈す。断面は四角形。	

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	標 記	概 要	出土地點
1223	39.55	18.00	5.1	ナスカイト		主部は表面に大きな凹凸がある。基部は滑らかで、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。主部を剥離した後は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A39-4-279
1224	40.75	15.70	6.80	4.3	B	基部は幅広。基部は滑らか。下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	C12-1-a N
1225	38.35	13.90	7.40	3.3	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A21-1-s37
1226	32.15	20.55	7.85	4.2	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A40-4-274
1227	47.65	19.00	8.10	6.8	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。背面下半部は複数の刃状面を有する。	A38-2-2
1228	50.10	19.65	9.80	8.3	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A25-2-152
1229	55.50	20.05	10.70	9.2	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A26-2-246
1230	65.00	19.10	10.25	9.8	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。断面は台形。	A28-2-172
1231	69.80	18.00	8.50	9.9	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A38-4-733
1232	76.65	17.85	11.50	12.7	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	C5-1-d S
1233	74.40	23.65	9.35	12.7	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A36-2-1466
1234	29.50	14.80	5.00	2.0	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A19-1-15
1235	33.60	14.60	7.30	2.9	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A38-2-150
1236	31.60	16.20	8.25	3.9	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A5-1-163
1237	35.50	15.00	6.60	3.4	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A36-1-2105
1238	36.30	10.70	7.65	2.6	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A2-2-233
1239	37.60	15.20	9.20	4.4	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A35-4-197
1240	40.40	18.60	7.40	4.9	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A37-455
1241	51.50	17.00	7.75	6.5	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A42-5-d S
1242	46.40	16.20	7.25	4.4	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A39-4-863
1243	42.20	16.70	7.60	4.4	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A35-2-b S
1244	49.80	19.55	8.30	7.1	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	C14-105
1245	55.65	21.00	8.20	9.0	B-	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A34-1-821
1246	60.00	21.45	8.50	9.1	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	C5-1-a S
1247	70.55	29.00	12.70	25.8	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	A11-1-291
1248	28.15	12.75	5.70	1.9	B	主部は滑らかな平面で、下端は刃状の打削面と基部に主要剝離面から二次剝離面を残す。	B1-85

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	質	概		出土地点
							長さ	幅	
1249	41.75	14.55	5.05	3.1	サヌカイト	ト 先端部は尖る。基部は幅広。横長剣片を利用か。主要剣面側の先端部を除く全領域に主要剣面側から二次調整面側から三次調整面側へ向かう。	A36-1-15		
1250	38.35	16.10	5.15	3.6	B	先端部は尖らぬ。基部は幅広。扁平な横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の先端部を除く全領域に主要剣面側から二次調整面側から三次調整面側へ向かう。	A35-2-b N		
1251	40.15	16.05	7.05	3.8	B	先端部は尖らぬ。基部は幅広。扁平な横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の先端部を除く全領域から三次調整面側へ向かう。	C18-1-490		
1252	39.55	15.80	7.15	4.3	B	先端部は尖る。基部は幅広。刃部には打面を残す。主要剣面側の打面側と刃部全領域に主要剣面側から二次調整面側へ向かう。	A40-3-676		
1253	47.55	14.25	7.75	5.1	B	先端部は尖る。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部に主要剣面側から二次調整面側へ向かう。	A40-5-a S		
1254	55.00	19.10	7.25	7.5	B	先端部は尖る。基部は幅広。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部全領域に主要剣面側から三次調整面側へ向かう。	A39-1-290		
1255	58.25	18.95	10.65	10.5	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の上部に打面を残す。主剣面側面の打面側から三次調整面側へ向かう。	A36-2-2730		
1256	53.85	25.80	12.45	12.8	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の下部に打面を残す。主剣面側面の打面側から三次調整面側へ向かう。	A41-4-c S		
1257	65.05	19.45	6.50	8.4	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の下部に打面を残す。主剣面側面の打面側から三次調整面側へ向かう。	A36-3-1162		
1258	53.65	22.85	9.90	12.4	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の上部に打面を残す。主剣面側面の打面側から三次調整面側へ向かう。	A13-1-113		
1259	40.10	13.00	6.55	3.6	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の先端部を除く全領域を残す。断面は台形である。基部は尖らぬ。	A35-3-b N		
1260	58.70	16.65	7.00	6.4	B	先端部は尖る。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の先端部を除く全領域を残す。断面は台形である。基部は尖らぬ。	A11-1-92		
1261	48.45	16.40	6.75	4.9	B	横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は尖らぬ。	A36-1-300		
1262	47.65	17.60	7.55	4.9	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	C4-1-b N		
1263	78.05	20.85	8.35	13.5	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	C4-1-418		
1264	41.55	12.25	9.10	4.3	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	A11-1-324		
1265	45.35	15.30	5.85	4.1	B	先端部は尖る。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	A36-1-303		
1266	42.30	21.60	7.95	6.3	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	A38-1-303		
1267	65.55	15.80	8.15	7.2	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	A38-2-2458		
1268	28.65	8.95	5.75	1.3	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	B21-1513		
1269	44.95	13.10	4.65	3.3	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	C30-1-265		
1270	27.60	9.85	3.40	1.1	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	A19-1-c N		
1271	35.80	9.55	4.50	1.7	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	A23-1-a S		
1272	24.80	8.15	3.30	0.4	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	C17-1-b N		
1273	27.55	11.35	4.35	1.3	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	A21-1-b N		
1274	23.70	10.20	2.65	0.3	B	先端部は尖らぬ。横長剣片を利用か。主要剣面側の打面側と刃部の全領域を残す。断面は台形である。基部は幅広。	A22-165		

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	質	出土地点
1275	25.55	8.00	3.85	0.5	サスカイト	完形。両端が尖る。螺旋片を利用か。細身。小形。打面側、刃部共に主張面から細かく丁寧な二次調整を施す。
1276	23.90	13.20	3.15	0.3	H	先端が尖る。刃部上半部の刃部は細い。螺旋片を利用か。細身。刃部共に主張面から細かく二次調整を施す。
1277	20.65	9.40	3.35	1.1	H	刃部は尖らない。刃部は細い。螺旋片を利用か。細身。刃部共に主張面から細かく二次調整を施す。
1278	23.25	14.65	5.85	1.9	H	刃部は尖らない。螺旋片を利用か。細身。刃部共に主張面から細かく二次調整を施す。刃部の調整は打面側
1279	28.75	13.00	4.75	2.0	H	先端は尖る。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形。
1280	34.55	17.10	4.90	2.8	H	先端は尖る。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形。
1281	31.45	15.15	5.70	2.4	H	先端は尖る。螺旋片を利用か。打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は台形。
1282	44.75	12.85	8.10	4.9	H	先端はやや鋸歯状。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からC3-1-22
1283	28.45	15.35	6.15	2.3	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA21-1-218
1284	54.15	19.85	5.45	6.6	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA38-1-2639
1285	36.90	18.30	8.65	5.8	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からB12-1-65
1286	34.90	20.20	10.15	5.5	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA31-1-182
1287	31.00	17.60	5.85	3.2	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からC12-1-49
1288	51.95	14.00	7.25	4.8	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA38-1-2049
1289	50.25	16.70	5.40	4.9	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA39-2-219
1290	50.20	16.85	11.05	6.1	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA38-1-5042
1291	75.80	21.75	11.35	16.7	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA38-1-1329
1292	84.25	21.45	12.65	22.5	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA38-2-1007
1293	43.15	16.10	5.70	3.9	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA38-1-106
1294	42.90	18.25	7.70	4.4	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA38-2-88
1295	45.45	17.75	8.60	5.5	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA38-4-782
1296	49.10	16.50	5.95	4.9	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA38-1-2539
1297	34.90	14.95	5.55	2.3	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA25-1-d N
1298	42.25	13.30	8.15	3.5	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からC14-1-b S
1299	52.15	20.70	9.55	8.7	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA38-2-2592
1300	52.30	18.75	5.20	5.8	H	先端が鋸歯状。刃部は細い。螺旋片を利用か。主張面側の打面側と刃部に主張面側から細かく二次調整を施す。断面は斜平台形からA38-2-1

番号	法 長さ	法 幅	量 厚さ	重 量	石 質	観 察	出土地点
1301	30.40	14.65	6.05	2.5	サヌカイト	先端部破損。基部は極端に打削面と刃部に主要な削面から二次調整を施す。刃部の調整は打削より細かい。新A.25-1-a S	
1302	36.45	18.60	6.35	4.4	サヌカイト	先端部破損。基部は極端に打削面と刃部に主要な削面から二次調整を施す。刃部の調整は細かい。新A.38-3-999	
1303	45.15	21.20	7.40	6.3	サヌカイト	先端部破損。基部は極端に打削面と刃部に主要な削面から二次調整を施す。刃部の調整は細かい。新A.38-5-131	
1304	53.65	20.75	7.70	6.1	サヌカイト	先端部破損。基部は全く打削面と刃部に主要な削面から二次調整を施す。刃部の調整は細かい。新A.38-1-2038	
1305	55.75	19.15	5.35	7.2	サヌカイト	先端部は全く打削面と刃部に主要な削面から二次調整を施す。刃部の調整は細かい。基部部及び刃部の第一削面は平らな台形。	A.38-2-4119

番号	法 量	幅 厚さ	重 量	石 質	概 要	断 面	出土地点
1	33.80	14.70	7.40	3.0	サヌカイト 光沢、小形。上端、下端とも尖つていてる。底面の下部に大きな鋸歯面を持つが、上部は削面から調整する。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は甲板面から狙い。斜面を削る。断面は台形。	B14+44	
2	45.30	12.00	9.10	6.5	サヌカイト 光沢、小形。上端は尖つていてる。下端は幅広。底面は中央部から下端に大きな鋸歯面を持つ。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は甲板面から狙い。斜面を削る。断面は台形。	C11+1-227	
3	45.35	18.25	9.10	8.0	7端とも尖つていてる。上端は幅広。下端とも尖つていてる。底面は中央部に大きな鋸歯面を持つ。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は台形。	A39+3-977	
4	49.00	17.95	9.05	7.9	光沢、小形。底面は中央部から下端も鋸歯を削る。上端は尖つていてる。斜面は台形。底面は中央部に大きな鋸歯面を持つ。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は甲板面から狙い。斜面を削る。断面は台形。	A40+2-b S	
5	57.80	14.90	8.70	6.6	光沢、小形。底面は中央部から下端も尖つていてる。斜面は台形。底面は大きくて、機剥ぎか。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は甲板面から狙い。斜面を削る。断面は台形。	C18+1-b S	
6	54.25	22.65	11.85	10.6	サヌカイト 光沢、小形。上端、下端とも尖つていてる。底面は大きな鋸歯面であり、側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で機剥ぎか。側面は粗い調整を施す。断面は台形。	A26+2-588	
7	39.50	12.55	9.10	4.0	光沢、小形。上端は幅広。底面は尖つていてる。斜面は大きな鋸歯面を持つ。側面は粗い調整を施す。断面は台形。	B18+e S	
8	46.60	17.05	7.35	5.8	光沢、小形。上端がに欠失する。上端は尖る。底面の一部に自然面を残す。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は三角形。	A23+1-a N	
9	30.85	26.25	15.10	25.4	光沢、小形。底面は中央部から下端に鋸歯面を持つ。上端と下端とも鋸歯面で分厚い。上部の側面は側面方向から2つの調整面であるが、斜面はやや幅広で分厚い。	C15+2-208	
10	38.70	19.20	8.0	6.7	光沢、小形。底面は幅広。底面には大きな鋸歯面を持ち、側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。断面は台形。	A40+3-629	
11	28.40	16.60	12.40	5.2	光沢、小形。上端部が欠失する。上端部は尖つていてる。小形。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は台形。底面は1面で機剥ぎ。側面には調整面を施す。	B3+689	
12	45.90	14.00	8.50	6.1	光沢、小形。底面は幅広。下端とも尖つていてる。斜面は台形。底面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。底面の下端部には調整のない側面が残る。側面は粗い調整を施す。	A36+3-40	
13	40.10	17.20	10.10	6.3	光沢、小形。底面は幅広。下端とも尖つていてる。斜面は台形。底面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で機剥ぎ。底面の大きな鋸歯面を残す。	A36+3-1877	
14	39.30	12.20	8.0	3.2	光沢、小形。底面は幅広。下端とも尖つていてる。斜面は台形。底面は甲板面から粗い調整を施す。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。底面は粗い調整を施す。側面は粗い調整を施す。断面は台形。	A38+2-4255	
15	51.35	18.40	11.00	9.4	光沢、小形。底面は幅広。下端とも尖つていてる。斜面は台形。底面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で機剥ぎ。底面は粗い調整を施す。断面は台形。	A25+2-c S	
16	79.15	17.30	13.60	18.9	光沢、小形。上端部と下端部とも尖つていてる。斜面は台形。底面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で機剥ぎ。底面は粗い調整を施す。断面は台形。	C1+1-101	
17	93.40	22.00	11.30	26.7	光沢、小形。上端部と下端部とも尖つていてる。斜面は台形。底面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で機剥ぎ。底面は粗い調整を施す。断面は台形。	A12+1-c N	
18	92.00	21.95	11.45	27.2	光沢、小形。上端部、下端部とも尖つていてる。斜面は台形。底面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で機剥ぎ。底面は粗い調整を施す。断面は台形。	C3+1-b N	
19	39.40	18.10	9.20	6.3	光沢、小形。上端部は尖つていてる。甲板面の上端部に調整面を持つ。一方の側面には粗い調整面を施す。側面は台形。底面は粗い調整面を施す。断面は台形。	A15+1-51	
20	19.00	14.40	6.2	2.2	光沢、小形。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。断面は台形。	A40+4-718	
21	56.30	19.30	9.4	10.8	光沢、小形。上端部と下端部とも尖つていてる。上端部は幅広。底面は定刃の万刃から削除された2面の大さな鋸歯面からなる。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。断面は台形。	B3+891	
22	38.20	14.15	7.35	4.7	光沢、小形。上端、下端とも尖つてする。断面は台形。甲板面は機剥ぎ。底面は機剥ぎの大きな鋸歯面からなる。	C38+1-b S	
23	44.35	19.95	10.25	6.6	光沢、小形。上端、下端とも尖つていてる。斜面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。側面は甲板面から調整面を施すが一部は自然面。甲板面は粗い調整面。	A39+3-a N	
24	55.00	12.40	10.30	8.7	光沢、小形。上端部を尖つて。下端部は幅広。底面は全部自然面である。斜面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。断面は三角形。	A3+2-228	
25	51.30	16.40	10.20	7.1	光沢、小形。上端、下端とも尖つていてる。斜面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。甲板面は1面で機剥ぎ。側面は粗い調整を施す。底面は大きな複数方向の鋸歯面。側面の一部は底面は自然面である。	A39+4-c S	
26	59.00	14.20	11.50	8.6	光沢、小形。上端部を尖つて。甲板面は粗い調整を施す。甲板面は自然面である。	A36+2-2856	

番号	法 量	幅 長さ	厚さ	重量	石 質	観 察	解 説	出土地点
27	35.40	13.00	8.40	2.8	サスカイト	先端が上端、下端とも尖っている。小形。底面には大きな斜面を特たない。側面は甲板面から低い調整を施す。甲板面は1面	B12-744	
28	39.40	13.20	10.60	4.4	II	先端が上端、下端とも尖っている。甲板面は1面で傾斜ぎ。底面と一部の側面にかけて自然面を残す。側面は甲板面から調整を施す。	B12-326	
29	33.50	10.70	9.10	3.3	II	先端が上端、下端とも尖っていない。小形。甲板面の上端部に側面から調整を施す。側面は甲板面から調整を施す。側面の調整はB3-1171	B3-1171	
30	42.4	12.60	9.40	4.1	II	先端、上端、下端とも尖っていない。側面は甲板面から調整を施す。甲板面は1面で傾斜ぎ。	B12-306	
31	26.7	14.90	9.80	2.2	II	下部を尖りする。上端部は尖っている。甲板面は傾斜ぎ。側面は甲板面側と底面側に2段に調整を施す。	A21-1-271	
32	30.80	18.40	10.50	5.1	II	上端、下端とも欠失する。底面に打抜孔を残す。側面には低い調整を施す。甲板面は1面で傾斜ぎ。	A17-1-15	
33	40.0	18.40	11.00	6.6	II	下部を尖りする。上端部は尖っていない。側面は甲板面から丁寧な調整を施す。甲板面は傾斜ぎ。	A38-2-1215	
34	40.65	15.45	9.30	5.9	II	下端部を尖らせる。側面はやや傾斜。側面は底面から丁寧な調整を施す。底面は一方の側面から調整を施す。	B18-b S	
35	51.85	14.50	9.85	8.0	II	側面を尖らせる。側体は細身。上端部は尖る。一方の側面の調整は粗い。底面には一方の側面から調整を施されている。甲板面はA17-3-c N		
36	43.60	12.60	14.40	7.8	II	上端部、下端部とも尖失する。細身。側面の調整は細で粗い。甲板面は1面で傾斜ぎ。底面は傾斜から左右に調整を施す。	C16-2-486	
37	69.00	18.20	13.70	16.8	II	上端部と下端部を尖失する。細身。底面は1面である。側面は甲板面から調整を施し、底面には傾斜から左右に調整を施す。	C17-1-a N	
38	33.80	11.80	7.40	2.7	II	下端部を尖らせる。上端部は尖っていない。小形。底面は台形。底面は大きな斜面からなる。甲板面は2面で、さらばに小さな斜面A38-2-543		
39	42.30	12.95	8.45	4.3	II	下端部を尖らせる。上端部は尖っている。側面の調整は甲板面から施している。甲板面は3面で傾斜ぎ。	A17-1-24	
40	58.30	26.45	11.65	21.1	II	先端、上端部、下端部とも尖っている。甲板面は3面で、斜面方向は異なる。器体は幅広で分厚い。側面の調整は粗い。	A39-4-559	
41	47.60	27.00	11.45	13.4	II	先端、器体は幅広で上端、下端とも尖らない。側面の調整は底く斜面角度は小さい。甲板面は一面からなり、斜面方向が異なる。A34-2-b N		
42	57.00	30.10	12.70	21.4	II	先端、器体は幅広で上端、下端とも尖らない。甲板面傾斜ぎで一方の側面に調整を持つ。斜面は分厚い。側面の調整は細かく、A39-1-b S		

第50表 尖頭器觀察表

番号	法 益	量	重量	石 質	質	圖	解	出土地点
1	31.0	22.3	6.2	3.8	サヌカイト	先端は尖っているが、基部は平らである。片面は周縁のみ調整を施す。基部に自然面を残す。	B2・242	
2	38.6	26.7	8.4	8.1	U	先端。小形で幅広。先端は尖っているが、基部は平らである。片面は周縁のみ調整を施している。	A1・1・c N	
3	39.1	24.3	7.3	5.9	U	先端。小形で幅広。先端は尖っているが、基部は平らである。周面とも周縁に調整を施している。鍛錬跡片を利用。	A39・2-d S	
4	42.1	28.3	6.7	6.3	U	先端。小形で幅広。先端は尖っているが基部は平らである。周面とも全面に調整を施している。	A2・1-c S	
5	48.3	25.6	10.0	10.7	U	先端。小形で幅広。先端は尖っているが基部は丸くなる。周面とも全面に調整を施しているが先端と基部の調整が細かい。	A37・2-403	
6	37.7	22.1	7.6	6.5	U	基部を失する。先端部は尖っていない。周面とも全面に調整を施している。	A2・2-382	
7	36.1	17.2	6.4	3.8	U	先端部を欠失する。基部は丸くなる。周面とも全面に調整を施している。	A2・1-717	
8	41.6	18.4	4.3	3.4	U	先端。小形で幅広。先端部を失している。周面の側面に調整を施している。	B4・486	
9	39.1	17.8	4.3	3.6	U	先端部を失する。基部は尖っている。周面にのみ細かい、調整を施している。	A11・1-319	
10	57.7	26.7	5.8	9.1	U	先端部を欠失する。基部は尖っている。周面にのみ調整を施す。	C16・2-340	
11	32.4	17.3	4.2	2.3	U	先端部を欠失する。基部は尖っている。周面ともほぼ自然面に調整を施している。	A41・1-84	
12	44.4	16.2	6.5	4.0	U	先端部を欠失する。基部は尖っている。周面とも側面から調整を施している。	A39・3-d N	
13	85.50	22.20	10.00	18.6	U	先端。周縁部とも尖っている。周面とも全面に調整を施している。接合資料。	B1・966	
14	57.0	20.9	9.9	12.0	U	先端。周縁部とも尖っている。周面とも周縁に調整を施している。左端の中央部には自然面が残る。	A39・3-b N	
15	78.0	26.8	23.6	34.6	U	先端部を欠失する。基部は幅広。厚手の作りで、左端の左上部には本調整の大好きな斜面を持つ。	C17・1-d S	
16	57.10	15.00	5.85	5.3	U	先端。周縁部とも尖っている。左端は全面に調整を施すが、右端は右端部と片側の側縁に調整を施している。	B3・b N A31・b S	
17	48.4	16.3	8.0	5.7	U	先端。周縁部とも尖っている。周面とも比較的大きな斜面を施している。	A25・2-113	
18	65.4	22.3	9.1	12.4	U	先端。先端は尖っているが基部は丸い。周面とも全面に丁寧な調整を施している。	A36・3-29	
19	93.4	20.4	10.2	16.2	U	先端。周縁とも尖っている。周面には切削面から加工を施す。細身である。	C15・1-520 C14・1-485	
20	37.6	10.1	2.7	0.9	U	先端。周縁が尖っているが基部は茎状となる。先端と基部にむぎがりに調整を施す。小形で細い。	C7・1-78	
21	51.6	18.5	6.4	5.7	U	基部を欠失する。先端。周縁とも尖り、基部は茎状となる。周面の一端の側縁のみ調整を施す。	C13・2-134	
22	51.60	18.00	6.15	5.9	U	先端。先端。周縁とも尖るが、基部は茎状となる。周面とも丁寧に調整され、前面は凸レンズ状を呈する。	A36・3-688	
23	61.1	24.6	8.0	10.6	U	先端。周縁とも尖る。舌状頭器である。周面とも周縁から細かい調整を施している。	A2・2-a N	
24	56.6	26.1	7.3	10.1	U	先端。先端は尖っているが基部は平らである。周面の側縁に調整を施している。	C4・1-c S	
25	50.6	23.7	9.5	8.8	U	先端。先端は尖っているが、基部は平らである。片面は一面にのみ調整を施しているが、他面は全面に調整を施している。	A13・1-d N	
26	67.4	19.2	8.2	10.6	U	先端。先端。周縁に調整を施している。左端は全面に調整を施している。	B1・3-a N	

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	概 要	概 要
27	41.80	20.85	8.50	7.7	サヌカイト	基部を欠失する。両面とも全面に調整を施す。下部は幅広い臺状のつくりとなる。	A35+4-324
28	37.20	18.35	5.30	4.5	B	先端部を僅かに欠失する。断面三角形の鍔長削片を行き基部のみわずかに調整する。基部は幅広い臺となる。	B12+1
29	29.4	21.5	5.7	3.8	B	基部を欠失する。側縁部にのみ調整が施されている。	A3+1-327
30	29.0	18.6	6.4	3.6	B	基部を欠失する。先端は欠失する。側縁部に片側4°、方向を越えて斜行状の調整を施す。	C14+1-d N
31	41.2	19.0	5.9	5.1	B	基部を欠失する。先端は欠失している。側縁部の側縁は極めて細かく丁寧に調整されている。	A21+1-212
32	40.1	27.6	6.7	6.6	B	先端部及び基部を欠失する。側縁部にのみ調整が施されている。	C16+2-537
33	22.0	18.0	4.8	1.6	B	両面とも側縁に調整を施している。先端部は尖っている。	A21+1-536
34	44.6	29.1	4.6	7.3	B	基部を欠失する。両面とも側縁に調整が施されている。側縁部は尖っている。	A5+1-110
35	90.05	28.25	7.05	19.4	B	基部を欠失する。両面とも側縁に調整を施している。細身である。先端部は尖っている。	C11+1-968
36	70.4	23.0	8.7	13.2	B	基部を欠失する。両面の側縁に調整を施している。先端部は尖っている。	A1+ b S
37	57.7	30.9	6.5	11.0	B	先端部を欠失する。両面とも基部には調整を施していないが基部が尖っている。両側縁の一部の調整を施している。	A12+2-145
38	51.2	29.8	9.0	13.0	B	先端部、基部を欠失する。両面とも一尾の側縁に調整を施す。	B10+580
39	56.35	25.20	11.30	13.5	B	基部を欠失する。先端は側縁に限られる。	C15+1-b N
40	51.9	30.0	8.0	11.2	B	基部を欠失する。先端は尖っている。左図は全体に調整を施しているが、右図は側縁の一部に調整を施している。	B18+ b S
41	59.0	24.1	12.7	16.9	B	両面とも側縁を欠いている。左図は側縁に調整を施し、先端から基部の中央に自然面を残す。右図は側縁の一部に調整を施している。	B14+ c N
42	29.60	14.20	6.55	3.1	B	先端。先端は尖っているが、基部は平である。両面とも側縁から調整を施している。	A34+3+1071
43	28.8	8.5	2.7	0.8	B	基部を欠失する。先端は尖っている。小さくて細身。片面は一部の側縁に調整を施し、他面は全体に調整を施している。	A38+2+122
44	26.3	18.1	4.6	2.0	B	先端、基部とも欠失する。側縁にのみ細かな調整を施す。	A37+2+278
45	31.2	16.3	6.5	2.7	B	両面とも側縁に調整を施している。両面とも側縁に調整を施す。	B14+ c N
46	29.9	20.6	13.1	6.2	B	先端を欠失する。基部は尖っている。両面とも側縁に調整を施す。	B22+ c N
47	50.2	25.0	11.8	14.4	B	先端、基部を欠失する。左図は側縁に調整を施している。右図は全面に調整を施している。	C7+1+ N
48	55.4	29.5	10.1	15.7	B	先端を欠失する。基部は尖らない。左図は側縁に調整を施す。右図の基部には少し自然面を残す。	C11+1-145
49	42.6	24.4	8.0	8.2	B	先端、基部を欠失する。両面とも側縁に調整を施している。左図の先端部に小さな自然面が2つ残る。	C12+1-457
50	36.9	20.8	6.5	4.3	B	基部を欠失する。左図の中央部には調整が加えられていない。	A39+4+ a S
51	29.8	18.0	7.8	2.8	B	両面を欠失する。先端は尖っている。左図は側縁に調整を施しているが、右図は先端部の側縁にのみ調整を施している。	B19+ e S
52	37.8	26.2	7.9	5.2	B	両面を欠失する。両面とも比較的大きな調整が施されている。	C15+1-822

番号	法 量	幅	厚さ	重は	石	質	解	出土點
53	39.9	28.8	8.4	7.4	サスカイト	先端、基部を欠失する。左図は両側面の先端部のみを調整するが、右図は全面に調整を施している。	C16-1-1145	
54	34.7	23.4	9.0	6.2	η	基部を欠失する。先端は尖っている。右図の中央部には調整が施されていない。	C16-1-1587	
55	35.2	21.9	4.8	3.2	η	先端、基部、中央部を欠失する。左図は両側面のみ調整を施している。右図は全面に調整を施している。	A40-3-c S	
56	46.9	17.3	10.2	10.4	η	先端、基部を欠失する。両面とも両側面から削除せばが、右図の中央部の一部には調整が及んでない。	A10-2-14	
57	33.6	31.5	6.4	7.9	η	先端、基部を欠失する。両面の両側面から調整を施している。	A38-1-243	
58	28.9	23.5	10.0	8.8	η	先端、基部を欠失する。右図は両側面にわずかに調整を施している。	C4-1-a S	
59	59.5	23.7	12.1	16.0	η	先端、基部を欠失する。左図は全面に削除部分のみ削除を施す。右図は先端部にのみ削除を施す。	A14-1-a S	
60	68.4	58.6	21.3	122.0	η	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも両側面から調整を施すが、古い削除が部分的に残っている。61と同一個体と思われる。	B20-e S	
61	57.3	63.2	16.6	63.1	η	先端部を欠失する。基部は丸い。両面とも粗い調整を施している。大形である。60と同一個体と思われる。	B20-e S	
62	27.0	27.0	7.0	1.6	η	先端部を欠失する。先端は尖っている。小形である。両面とも全面に調整を施している。	C14-1-a N	
63	23.3	20.0	5.1	2.6	η	先端、基部を欠失する。左図は片側をわずかに調整を施す。右図は全面に調整を施している。	A40-2-d S	
64	23.3	23.3	11.5	6.6	1.0	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも丁寧に調整を施している。	B20-1090	
65	26.2	26.2	13.1	7.4	2.3	安山岩	両面とも粗い調整を施す。小形である。先端は尖らない。両面とも丁寧に調整を施している。	C5-1-c S
66	26.9	19.4	5.8	2.5	サスカイト	先端、基部を欠失する。両面ともやや大きめの調整を施している。	C11-1-615	
67	32.4	16.5	5.9	3.1	η	先端、基部を欠失する。両面とも大きめの調整を施す。小形である。	C17-1-174	
68	37.4	12.4	8.6	2.7	η	基部を欠失する。先端は尖っている。左図は両側面からかく丁寧な調整を施すが、他方の調整が施される。細身である。	C14-2-205	
69	36.7	33.8	8.6	8.7	η	先端部を欠失する。細辺。先端は尖っている。右図は片側に細かく調整を施している。	A40-4-a N	
70	39.6	24.1	10.7	9.6	η	先端部を欠失する。基部は尖っている。両面ともやや大きめの調整を施している。	C14-1-808	
71	33.3	16.6	9.0	4.7	η	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも全面に調整を施している。	B15-c S	
72	33.0	13.0	5.5	2.1	η	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも細かく全面に調整を施している。	A2-2-12	
73	66.45	25.80	9.85	—	一連 物 不 明	先端、基部を欠失する。両面ともやや粗い調整を全面に施している。	C16-2-513	
74	57.5	22.7	11.9	15.2	サスカイト	先端、基部を欠失する。両面とも全面に及ぶ調整を施している。	B16-131	
75	37.8	8.2	8.4	4.0	η	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも細かく細かな調整を施している。	B13-a S	
76	54.1	27.0	13.6	—	η	基部を欠失する。両面とも粗く大きな削除を施したのち側面の一部に細かな調整を施している。	C7-2-134	
77	67.3	24.9	10.5	16.9	η	基部を欠失する。先端は尖っている。両面とも細かく全面に調整が施されている。	A34-2-275	
78	50.2	12.0	9.3	6.8	η	基部を欠失する。先端は尖っている。小形で、両面とも丁寧な調整が施されている。	C14-1-635	

番号	法 式	基 底	厚さ	重 量	石 質	質	概		出土地点
							長 さ	幅 寸	
79	44.0	24.7	8.7	8.4	サヌカイト	基部を欠失する。先端は尖っている。前面とも全面に丁寧な調整を施している。	B9-664	A16-1-b N	
80	21.0	13.6	5.3	1.1	H	基部を欠失する。先端は尖っている。前面とも側縫から調整を施している。		A42-5-a S	
81	22.0	22.7	7.0	2.9	H	先端部を欠失する。基部を欠失する。前面とも全面に丁寧な調整が施されている。		B3-194	
82	14.3	13.6	4.8	0.9	H	先端部を欠失する。左図は片側縫に調整を施している。右図は全面に調整を施している。		A32-2*(8)	
83	16.3	22.7	5.9	2.7	H	先端部を欠失する。前面とも側縫から調整を施している。		A32-1-394	
84	27.2	18.4	6.0	3.1	H	先端部を欠失する。前面とも側縫から調整を施している。		A21-b S	
85	29.0	22.1	8.2	4.0	H	先端部を欠失する。前面とも側縫から調整を施している。		B17-c N	
86	31.9	20.7	7.8	3.5	H	先端部を欠失する。前面とも側縫から調整を施している。		A41-4-d N	
87	28.0	22.4	9.4	6.5	H	先端部を欠失する。前面とも全面に丁寧な調整を施している。		A41-1-46	
88	24.2	20.2	6.3	2.7	H	先端部を欠失する。前面とも側縫から調整を施している。		B18-a N	
89	25.0	43.9	14.6	19.9	H	先端部を欠失する。前面とも側縫から調整を施す。		B18-c N	
90	29.4	17.3	7.8	4.4	H	先端部を欠失する。前面とも側縫から調整を施す。		B9-729	
91	31.3	28.5	10.3	8.1	H	先端部を欠失する。前面とも側縫から調整を施す。前面は凸レンズ状をなす。		C15-1-a S	
92	30.7	17.8	6.3	3.0	H	先端部の一部、基部を欠失する。左図は先端部に側縫を施している。右図は片側縫に調整を施す。		B19-697	
93	32.6	26.9	9.0	8.7	H	先端部を欠失する。前面とも側縫から調整を施している。		A35-3-d S	
94	37.9	20.7	6.3	4.3	H	先端部を欠失する。前面とも全面に丁寧な調整を施している。		A37-1-1693	
95	44.3	28.3	13.0	14.5	H	先端部の一端及び基部を欠失する。前面とも全面に丁寧な調整を施している。		C17-1-c S	
96	39.2	23.4	9.5	6.6	H	先端部を欠失する。前面は尖っている。前面とも側縫はやや細い。		A39-4-d N	
97	35.8	32.6	12.2	15.6	H	先端部を欠失する。基部は丸い。左図は高部に側縫から調整を施している。右図は片側縫から調整を施している。		A12-c N	
98	36.5	27.3	9.9	12.8	H	先端部を欠失する。前面とも側縫から調整を施している。		C14-2-b S	
99	42.7	26.8	8.6	9.3	H	先端部を欠失する。先端部は尖っている。前面とも側縫から調整を施している。		A37-3-c N	
100	82.15	50.25	10.60	30.0	H	先端部を欠失する。前面は凸レンズ状をなす。前面は片側縫から調整を施す。		B20-b S	
101	55.0	37.9	11.0	18.0	H	先端部を欠失する。前面は尖っている。前面とも側縫から調整を施しているが、側縫部以外はやや粗い。形状は幅広である。		A13-1-b S	
102	44.8	27.0	8.0	9.2	H	先端部を欠失する。前面は丸い。		C17-1-c N	
103	36.4	35.0	14.2	21.4	H	先端部を欠失する。一方の側縫の調整は粗く、他の側縫には階段状調整がみられる。		A39-3-895	
104	36.4	29.7	11.1	11.1	H	先端部を欠失する。前面とも側縫から調整を施している。		A39-2-c S	

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	概 要	解 説	出土地点
105	40.5	33.5 <sup>m</sup>	10.0 19.6 <sup>m</sup>	II	先端、基部を欠失する。両面とも側縁から調整を施す。		A18-1-b S
106	36.5	34.4	11.7 18.6 <sup>m</sup>	II	先端、基部を欠失する。両面とも側縁から調整を施す。断面は凸レンズ状となる。		B20-d S
107	51.2	30.9	11.7 14.0 <sup>m</sup>	II	先端の一部及び基部を欠失する。両面とも全面に調整が施されているが、側縁の調整は細かい。		A35-4-i-357
108	40.70	20.00	6.55	—	遺物 不明 完形。三角形状の頭部をもつ。基部にのみわずかな調整を施す。蓋状にする。ナイフ形石器とすべきか。		B9-348
109	38.90	18.15	7.80	4.0	サスカイト 完形。蓋部は蓋状となる。片側の側縁に調整を施す。		
110	39.65	22.50	6.70	6.7 <sup>m</sup>	基の一部と先端部を欠失する。三角形状の短い茎をもつ有尖頭器である。両面とも全面にわかつて側縁から調整を施す。		兩端小切紙端

第51表 彫器観察表

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	概 要	解 説	出土地点
1	53.15 <sup>m</sup>	27.85 <sup>m</sup>	14.25 <sup>m</sup> 22.6 <sup>m</sup>	サスカイト	下端部を欠失する。両面加工品を素材とし、上端の斜上方から加筆し、交叉刃型刀部をつくりだす。		A40-2-c S
2	55.10	26.15	11.45 19.7 <sup>m</sup>	II	完形。板状サスカイトを素材とし、素材の一方の側面には上下端から調整を施す。下端から上方に加筆し、側刃型刀部をつくりだす。		A39-3-a N
3	22.40	16.45	6.00 2.2 <sup>m</sup>	II	下端を欠失する。小形品。両面加工品を素材とし、右図の上端の左斜上方から加筆し、斜刃型刀部をつくりだす。		C20-1-637
4	64.75	37.30	16.60 30.3 <sup>m</sup>	II	完形。板状サスカイトを素材とし、上端から加筆して側刃型の刃形刀面をつくりだす。		C11-1-793
5	59.15	32.60	15.60 33.9 <sup>m</sup>	II	完形。両面加工品を素材とし、下端から上方に加筆して刃形刀面をつくりだす。上端は両面の右斜上方から加筆して打		A41-5-a N

第52表 スポール観察表

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	観	出土地点
1	40.80	13.15	8.80	3.2	サヌカイト	完形。側面の調整が片面しかないので半製片の初期の剥離は上方からと思われる。下端部	B21+238
2	36.50	14.50	8.55	4.4	η	両端部を欠失する。側面の調整は両面に施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A35+ b S
3	40.00	9.45	8.20	4.5	η	両端部を欠失する。側面の両面から調査を施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A35+ b S
4	40.35	9.20	12.10	5.5	η	両端部を欠失する。側面の両面から調査を施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A35+1-009
5	31.45	14.35	8.60	3.3	η	両端部を欠失する。側面は断面から施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。上方からの剥離が断じる。	A35+1-185
6	33.15	18.40	11.80	7.7	η	両端部を欠失する。新面は三角形で両面には細かく丁寧な調整を施す。主要剥離面両面には細かく丁寧な調整を施す。上方からと思われる。	A24+2-d N
7	41.40	9.95	9.75	4.3	η	両端部を欠失する。側面は断面から施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A35+e c N
8	49.10	11.95	6.80	5.3	η	両端部を欠失する。側面の調整は一方の端方にのみ施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。絶長剥片の初段の剥離の可能性もある。	A35+3-c N
9	41.35	10.55	9.85	7.1	η	両端部を欠失する。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。新面は三角形で両面に調整を施している。	A35+2-1245
10	41.30	11.55	6.45	3.3	η	両端部は細かく調整を持つ。新面一方はわずかに調整は施められないが、他の	A35+g-c N
11	42.80	15.45	9.30	6.1	η	両端部は細かく調整を持つ。新面一方はわずかに調整が施される。	C18+1-d S
12	52.40	12.50	8.85	5.7	η	両端部を欠失する。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。絶長剥片の初段の剥離の可能性もある。	B17+471
13	51.10	9.40	8.95	5.3	η	両端部を欠失する。側面に細かな一次調整を施す。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A35+3-d S
14	62.50	11.00	4.95	4.4	η	完形。両側面の調整は細かく丁寧に施されている。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A35+3-151
15	59.85	17.15	9.45	7.4	η	両端部を欠失する。一方の側面にのみ、調整を施している。絶長剥片の初段の剥離の可能性もある。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	C6+1-62
16	60.85	21.55	12.00	19.2	η	両端部を欠失する。側面には「事なき調整が施されている。主要剥離面からの調整も認められる。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A35+2-1387
17	41.45	10.85	12.15	6.2	η	両側面の調整は未だ施されていない。上端部は薄くて幅広。一方の側面の調整は未だ施されていない。	A35+2-c N
18	42.90	19.35	11.90	10.0	η	両端部を欠失する。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。両側面には丁寧な調整が施されている。	A35+2-c S
19	54.65	22.70	13.65	14.6	η	両端部を欠失する。主要剥離面の剥離は上方からと思われる。	A35+5-477
20	59.90	14.35	8.20	7.4	η	両端部を欠失する。新面とボジ面を各一面ずつ持つ。一方の側面の調整は、新面からなされていない。刃部再生ないしは巻刀。	A40+3-380
21	48.75	16.25	13.80	9.7	η	完形。刃部面と思われる複数の層は削離を持っているので刃部再生剥片と思われる。	A35+1-72

第53表 石器調査表

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	解	出土地點
1	36.15	16.95	5.15	2.4	サスカイト 先端。薄い剣片を利用し、一方を尖らせて刃部とする。刃部の調整は片面の両側に施すが、他の面には施されていない。	A36-1-1058
2	38.80	20.00	6.30	4.5	先端。薄い剣片を利用し、刃部は尖って右方に曲げていている。刃部の調整は上端部の片面の両側に施す。一方の側面に自然面を残す。	A36-2-663
3	26.70	35.70	7.90	6.0	刃部の先端を欠失する。刃部の調整は片面のみがある。	A8-2-c N
4	38.30	27.10	9.10	6.0	先端。剣片を利用し、下端部には主要機能面の打点を残す。刃部の調整は片面のみで、一方の側面は大きな1回の削離ですかませます。先端。刃部の調整は片面のみである。この調整には施された後近くまで及んでいます。	A39-3-b S
5	34.35	31.10	9.05	6.6	先端。刃部の調整は片面のみである。この調整には施された後近くまで及んでいます。	B9-119
6	36.70	32.45	14.05	11.6	先端。やや分厚い剣片を利用する。刃部の調整は片面のみに施す。基部にも調整を施す。	A39-5-b S
7	40.10	26.85	15.95	13.8	先端。焼成剣片石器を利用する。刃部の調整は片面の両側に深く丁寧な削離を施す。	C16-1-582
8	23.35	24.05	4.45	2.4	先端。薄い剣片を利用し、刃部の調整は片面の両側に施す。	A6-2-138
9	35.00	21.10	6.60	3.8	先端。薄い剣片を利用し、刃部の調整は片面の両側に施す。	C11-2-111
10	33.30	29.55	5.80	4.7	先端。薄い剣片を利用し、刃部の調整は一方の側面のみに施す。刃部には使用時のものと思われる断滅がある。	A37-4-c S
11	30.30	21.30	4.25	2.8	先端。薄い剣片を利用し上端部を尖らせて刃部とししている。刃部の調整は片面の両側に施す。刃部の裏面には先端からの中軸が脱離が認められる。	A36-3-656
12	51.10	75.60	15.00	42.2	先端。大形で、上端部を尖らせて刃部とししている。刃部の調整は片面の両側に施す。刃部の裏面には先端からの中軸が脱離が認められる。	A40-2-686

第54表 削器・機器観察表

番号	法 量	幅 幅	厚さ	重量	石 質	概 要	出土地点
1	61.9	32.2 <sup>m</sup>	13.3 <sup>m</sup>	23.9 <sup>g</sup>	サヌカイト	削器。翼状剥片石核を軸用。石核未端部の削面に調整を施す。調整は底面側から行う。刃部は外端する。	B5-181
2	33.50	69.60	10.90	20.9	g	削器。交互斜面石核の末端部削除を調整する。調整は片側削面からのみ行う。直線刃。	A38-1-5
3	42.10	65.15	12.95	29.8	g	削器。交互斜面石核を軸用。石核の削片剥離は「ガ」の順序の裏面から各1枚ずつを剥離。刃部の裏面は片面側から行うが、調整	A38-5-107
4	59.1	37.0	15.6	24.6	g	削器。石核軸用。一方の側縁に、片面から調整を施す。直線刃。	C11-2-172
5	31.20	42.70	14.00	18.9	g	削器。翼状剥片石核を軸用。石核未端部の側面に底面側から調整を施す。直線刃。	C10-1-c S
6	37.70	53.10	12.25	22.1	g	削器。石核軸用。石核の削片剥離を片面から調整を施す。	A39-4-d N
7	51.10	87.75	28.10	103.0	g	削器。石核軸用。石核の削片剥離を施す。調整は片側削面から行う。	A40-4-b S
8	43.6	43.3	17.8	25.5	g	削器。石核軸用。三角形形状をなす器体の二刃を片面とみなす。調整は片面側からのみ行う。	A17-1-a S
9	48.6	30.5	15.3	16.7	g	削器。石核軸用。一方側縁に片面側から調整を施す。直線刃。	B23-123
10	27.40	73.85	18.60	33.0	g	削器。石核軸用。石核打削面間に調整を施す。刃部の反対側には自然面を残す。	C9-2-b S
11	56.40	67.45	19.65	62.1	g	削器。石核軸用か。上端部は片面から調整を施しているが下端部は両面から調整を施す。	A33-2-386
12	57.4	41.9	16.0	29.3	g	削器。石核軸用。一方縁に片面側から調整を施す。反対側からもむちかに調整を施す。外端刃。	A23-2-a S
13	53.9	22.0	17.1	15.7	g	削器。削片利用。一方側縁に片面側から調整を施す。刃部は内溝刃。	B3-841
14	33.8	22.9	11.4	6.5	新潟寶安山岩	削器。縮長剥片利用。主要側縁に二次調整を施す。調整は主要側縁から行う。	A3-2-212
15	41.5	36.1	9.6	9.8	g	削器。縮長剥片利用。打削側削面に主要側縁から調整を施す。刃部は外端刃。	C13-2-184
16	37.90	28.35	11.30	9.9	g	削器。縮長剥片利用。可側縁に主要側縁から調整を施す。	A22-2-a N
17	56.85	63.60	15.85	42.2	サヌカイト	削器。縮長剥片利用。主要側縁の未端部に細かな調整を施す。細部調整剥片とするべき。	B24-a N
18	24.1	20.4	10.5	2.7	新潟寶安山岩	削器。縮長剥片利用。主要側縁の未端部に細かな調整を施す。	A25-2-c N
19	31.80	55.20	7.25	14.3	サヌカイト	削器。翼状剥片利用。主要側縁の未端部に調整を施す。直線刃。	A38-3-1257
20	22.75	76.30	7.50	15.9	g	削器。翼状剥片利用。未端部の側刃に粗い調整を施す。直線刃。	C7-2-132
21	19.55	34.45	5.60	4.2	g	削器。縮長剥片利用。主要側縁からむちかに調整を施す。直線刃。	A37-2-1548
22	24.50	37.90	5.90	5.1	g	削器。縮長剥片利用。主要側縁剥片から未端部に削離部の調整を施す。直線刃。	A40-4-a S
23	55.85	68.45	11.55	30.1	g	削器。縮長剥片利用。削離部に粗い調整を施す。	B7-7
24	18.95	12.00	3.85	0.8	新潟寶安山岩	削器。短側縁。底側縁に調整を施す。底側縁の裏面には細かな調整を施す。長側縁の調整は粗い。	B2-947
25	16.50	45.40	4.75	3.4	サヌカイト	削器。縮長剥片を利用。剥片の未端部に粗い一次調整を施す。	A37-1-225
26	33.10	57.05	8.30	13.8	g	削器。縮長剥片利用。未端部の側刃に主要側縁剥片から二次調整を施す。主要側縁の打点は除去される。	A40-3-c S

番号	法 量	長さ mm	幅 mm	厚さ mm	重量 g	石 質	調 査		出土地點
							前 部	後 部	
27	21.5 <sup>b</sup>	27.0 <sup>a</sup>	4.35	2.6	サスカタイト	削器。螺旋片を利用。螺旋片の側縁を調整する。調整は片面からのみを行う。	B5-564		
28	27.80	53.00	9.50	15.3	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。螺旋片を削除後、主要削面側から螺旋片の打ち込み部を大きく削除。遮蔽のリソップ・フィッシュヤーから見て、アースト・ブレーカーに近い状態である。底面側から調整を施す。	A34-1-1113		
29	26.10	36.95	3.35	4.1	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。螺旋の両面に二次調整を施す。直線刃。	C18-1-c N		
30	32.40	45.80	7.85	12.2	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。斜片の末端部の側縁に調整を施す。調整は片面から行う。刃部は外側である。	C13-1-14		
31	62.45	123.05	14.20	116.0	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。対応する2辺に調整を施すが、短辺は尖り刃部をなさない。	A10-1-d N		
32	34.80	39.05	4.60	7.5	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用か。螺旋側に主要削面側から調整を施す。	A24-2-74		
33	42.80	40.75	6.50	6.0	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用か。下図の上端部に調整を施す。直線刃。	C6-1-281		
34	37.75	61.10	7.25	19.8	<i>b</i>	削器。薄い板状の斜片を利用。一端刃の両面に調整を施す。直線刃。	A39-3-a S		
35	38.35	57.00	8.40	21.3	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。対応する2辺に調整を施すが、一方は両面に加工している。	A25-2-100		
36	29.65	60.20	7.25	16.3	<i>b</i>	抜器。螺旋側。長錐縁に調整する。長錐縁の調整は粗略である。	A1-b S		
37	26.35	56.75	4.75	11.8	<i>b</i>	削器。薄い板状の螺旋片を利用。絞辺の両面に二次調整を施す。外側刃。	A29-1-d N		
38	43.45	62.00	14.15	38.4	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。素材は分厚い。絞辺に片面側から調整を施す。内側刃。	A35-3-472		
39	29.05	58.65	4.60	8.9	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。対応する2辺に調整が施されている。	C5-1-d S		
40	83.50	82.25	13.70	110.0	<i>b</i>	削器。絞辺に調整を施す。調整は粗く、尖り刃部をなさない。	C19-1-a S		
41	51.70	103.60	10.50	55.9	<i>b</i>	削器。一方の削縁に主要削面側から調整を施す。直線刃。	A35-3-249		
42	56.15	96.65	9.45	43.5	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。側縁の両面に細かな二次調整を施す。外側刃。	A40-2-667		
43	32.20	64.75	6.90	12.8	<i>b</i>	削器。三角形状をなす二辺に調整を施す。	A23-1-b S		
44	55.95	89.10	9.60	58.4	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。対応する2辺の両面に調整をして刃部としている。	B15-1-1917		
45	46.65	28.45	5.45	8.5	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。両方の削縁に主要削面側から調整を施す。	C10-1-136		
46	35.70	23.85	6.70	6.4	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。長錐縁。短錐縁とも丁寧な調整を施し、削器と表面の接続を持つ。	A35-3-126		
47	111.00	56.10	29.55	170.0	<i>b</i>	長削器。螺旋片を利用。長錐縁に調整。素材は分厚い。螺旋片底端の転出である。	C5-1-169		
48	24.95	35.90	7.20	7.2	<i>b</i>	削器。螺旋片を利用。主要削面側に打点が残る。削器端に調整を施す。	B22-d N		
49	34.05	47.45	9.70	16.7	<i>b</i>	抜器。長錐縁。短錐縁のみに粗い調整を施す。長錐縁と短錐縁とも丁寧な調整を施す。	A39-5-241		
50	52.5	59.2	18.8	32.9	<i>b</i>	抜器。螺旋片を利用。素材は分厚い。螺旋片底端の転出である。	B7-1-010		
51	48.80	65.45	20.60	52.4	<i>b</i>	長削器。螺旋片を利用。素材は分厚い。螺旋片底端の転出である。削器と表面の接続を持つ。	A24-1-d N		
52	47.00	57.45	13.35	34.4	<i>b</i>	長削器。螺旋片を利用。素材は分厚い。螺旋片底端の転出である。	A42-5-313		

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	調 査	出土地点
53	35.20	56.25	8.95 <sup>mm</sup>	18.5 サヌカイト	長削線と短削線とも丁寧な調整を施す。削面と研磨面の機能を持つ。	A28-1・b N
54	52.25	49.50	18.85	48.2	ハサミ、石抜を用いる。短削線のみに調整。両端部に二次調整を施す。	A35-2-454
55	57.60	60.40	17.75	51.2	ハサミ。短削線のみに調整する。調整は片面側からのみ行われている。両端部は強く外削する。	A37-3-593
56	51.60	31.10	11.05	17.1	ハサミ。長削片を利用。短削線に二次調整を施す。主要削面側に打点が残る。	A39-4-693
57	46.30	39.50	10.55	14.6	ハサミ。長削片を利用。両端部は尖った錐形の先端に二次調整を施してつくっている。	A38-2-4295
58	95.65	41.65	33.20	139.0	ハサミ。短削線のみに調整。両端部には両面から二次調整を加える。錐形は十分薄い極長削片。	A37-3-448
59	41.96	36.85	12.20	18.9	円形彫器。長削片を利用。ほぼ全周に二次調整を施す。両端部は主要削面側から調整を施す。	A39-5- c N
60	28.50	28.85	9.05	7.5	ハサミ。短削線のみに細かな調整をする。	A6-1-383
61	28.35	25.20	5.60	4.4	円形彫器。上刃をよく削りに削面に調整を施す。調整は一部では両面から行われている。	A37-2-373
62	28.10	19.20	4.95	2.6	円形彫器。両部は部分的に片面側から調整を施す。	C12-1・b N
63	49.10	43.20	11.70	24.5	円形彫器。上刃をよく削りに片面側から調整が施されている。調整は下刃のみが特に丁寧であり、錐形とすべきかもしれない。	A7-1-217
64	49.65	31.10	9.20	14.7	ハサミ。薄い板状削片の凹面側のみに調整する。	A7-2- b S
65	42.00	33.65	6.80	12.1	円形彫器。薄い板状削片を利用。ほぼ全周に二次調整を施す。調整は両面から施す。	A4-2- d S
66	31.30	35.65	7.70	9.3	円形彫器。薄い板状削片の全体に二次調整を施す。主要削面側の打点は除去されている。	C10-2-928
67	41.96	40.55	5.85	10.5	薄い板状削片を利用。凹面側のみに調整を施す。鉢状石器の可動性もある。	C13-2-167
68	73.6	33.0	6.7	23.1	薄い板状削片を利用。左刃の右削線と下端部に、右刃は上端部と右削線に調整をする。	B11-494
69	110.0	53.5	20.4	135.7	方形容の左削線と右削線に細かい二次調整を施しているが、右削線は粗い二次調整を施す。右刃は両端部と左削線に細かな二次削線を施す。	B8-108
70	53.85	32.10	7.85	19.0	長方形の板状削片を利用。左刃の右削線と上端部に調整を施し、右刃は下端部に調整を施す。	C12-2- c S
71	47.80	32.90	7.85	15.3	長方形の板状削片を利用。左刃の左削線は片面から二次調整を施しているが、両端部は片面から調整を施している。	C11-1-426
72	43.60	39.45	8.70	17.2	長方形の板状削片を利用。ハチ形の体部の上刃を強く各辺に調整を加えている。	A23-2- b N
73	64.70	49.20	21.75	79.1	短削形。左刃の左削線と右削線に片面側を残す。両刃右削線と下端及び左削線の一部（底面）に調整を施す。	B7-664
74	72.40	51.05	8.90	40.0	下端部を欠失する。体部の下方に折れを入れる。上端部は両面から調整を施す。	C16-1-1242
75	162.40	76.15	12.65	185.0	大形の長方形板状を素材とし、左刃の左削線には自然面から削除するが両端部は残る。打石臼。	B23-258
76	76.18	53.55	12.25	10.5	圓筒形の一部に調整を加える。調整は中央部が途切れ、上下に分かれれる。左刃上面の調整は、尖りぎみの体部上端まで施されている。	B36-4-38
77	22.15	34.45	8.80	6.2	側長削片を利用。錐片尖端の邊縁の一部を背面から調整する。対応する側刃部には自然面が認められる。	A39-5-320
78	22.20	31.60	5.40	2.7	三列形の小削片の尖端に、片面側から調整している。	C6-1- S

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	概 要	出土地点
79	47.65	53.00	12.50	24.4	サヌカイト 三角形状の小剣片の鋭い縁辺に、片面側から細かな削離を丁寧に施す。	A38-1-4131
80	30.75	32.35	7.90	5.9	不規四角形の剣片を素材とし、細かな調整を加えて縫合かと内溝する刃部をつくっている。	A37-3-430
81	45.15	28.95	6.80	8.2	三角形状の小剣片の鋭い縁辺に、細かな調整を施している。	A36-3-2254
82	43.55	33.20	5.50	10.7	精良剣片を利用。鋭い縁辺の両面に不規則な小削離がある。	B6-191
83	38.60	31.30	16.00	21.7	剣片の鋭い長剣縫の両面に不規則な小削離を伴つ。	B18-711
84	20.60	32.30	9.85	9.2	精良剣片石様を利用。鋭い縁辺に片面側から細かな調整を施す。	B1-171
85	26.40	39.05	8.85	10.7	剣片の鋭い長剣縫に不規則な小削離が両面に認められる。	A28-2-190
86	29.50	38.00	10.85	7.1	剣片の両側縫にわずかな調整を施す。調整は片面側からのみ行い、側縫のごく一部にとどまる。	B8-742

第55表 模状石器觀察表

番号	法 量	幅 厚さ	裏 面	石 質	観 察	出土地点
1	29.05	10.90	6.55	2.3	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、圓の下面には凹面とも階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。側面は下方から加壓して切斷する。	A241-b S
2	31.90	10.05	5.05	2.1	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、圓の下面には凹面とも階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。側面は下方から加壓して切斷する。	A82-b N
3	31.3	9.7	9.2	3.6	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、圓の下面には凹面とも階段状剥離を主体とした圓盤を持つ。側面は上方から加壓して切斷する。	B126
4	23.95	9.95	8.45	1.8	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、圓の下面には凹面とも階段状剥離を主体とした圓盤を持つ。側面は上方から加壓して切斷する。	C181-713
5	24.10	9.55	8.40	2.4	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、圓の下面には凹面とも階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。側面は上方から加壓して切斷する。	A31-d N
6	29.0	14.7	9.0	5.4	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、圓の下面には凹面とも階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。下縁の一筋に下方から加壓する。	B21-543
7	34.3	12.1	8.6	6.1	サヌカイト 光沢。三角形状を呈し、下縁の両面とも階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。側面は下方から加壓して切斷する。	A391-c S
8	25.00	18.50	6.25	3.0	サヌカイト 光沢。三角形状を呈し、下縁の片面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。側面は上方から加壓して切斷する。	A363-375
9	29.80	6.30	4.75	0.9	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、上縁の片面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。側面は下方から加壓して切斷する。	A402-c N
10	43.8	20.7	10.5	10.5	サヌカイト 光沢。菱形。菱形状を呈し、下縁の両面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。一方の側面は上方から加壓して切斷する。	C162-254
11	25.00	22.40	5.85	2.8	サヌカイト 光沢。不整な三角形状を呈し、上・下縁には片面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。左図の右側面は上方から加壓して切斷する。	A374-a N
12	34.8	14.8	5.6	3.2	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、上・下縁には片面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。左図の右側面は上方から加壓して切斷する。	C181-99
13	26.0	24.3	6.0	4.7	サヌカイト 光沢。方形状を呈し、上・下縁には片面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。左縁に小さな自然面を残す。	B21-804
14	27.35	25.65	5.55	4.5	サヌカイト 光沢。方形状を呈し、上・下縁と一方の側面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。右図の左側面は上方から加壓して切斷する。	A322-b S
15	25.15	26.85	10.25	7.6	サヌカイト 光沢。正方形状を呈し、上・下縁と一方の側面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。一方の側面は上方から加壓して切斷する。	C111-1-297
16	32.0	25.7	8.6	6.3	サヌカイト 光沢。正方形状を呈し、上・下縁と一方の側面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。一方の側面は上方から加壓して切斷する。	A392-c S
17	30.5	21.4	10.9	8.5	サヌカイト 光沢。方形状を呈し、上縁の片面と下縁の両面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。左図の右側面は下方から加壓する。	A101-d N
18	27.30	16.60	5.30	2.1	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、上縁の片面と一方の側面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。下縁部を欠失する。	C112-1
19	36.6	11.3	4.4	2.0	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、上・下縁と一方の側面に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。他方の側面は上方から加壓して切斷する。	A51-d S
20	48.4	24.1	8.5	10.3	サヌカイト 光沢。三角形状を呈し、一側縁に階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。他方の側面は上方から加壓して切斷する。	C162-22
21	39.40	39.30	11.40	17.5	サヌカイト 光沢。不整な四角形を呈し、上・下縁には片面とも階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。左図の右側面には自然面を残す。	A364-46
22	41.15	12.25	7.35	6.4	サヌカイト 光沢。三角形状を呈し、上・下縁には片面とも階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。	A32-98
23	40.0	19.0	11.7	10.4	サヌカイト 光沢。三角形状を呈し、上・下縁には片面とも階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。中央の図の上部には自然面が残る。	A42-561
24	28.70	11.45	6.60	2.3	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、下縁には片面とも階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。側面は下方から加壓して切斷する。	A332-a S
25	21.2	21.0	4.4	1.7	サヌカイト 光沢。方形状を呈し、下縁には片面とも階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。上縁には自然面を残す。	A385-b N
26	39.20	21.85	12.20	10.8	サヌカイト 光沢。柱状を呈し、下縁には片面とも階段状剥離を主体とする圓盤を持つ。上縁には自然面を残す。	C171-319

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	形	出土地点
27	34.4	18.6	6.2	4.7	サヌカイト	完形。柱状を呈し、上縁と下縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。右図の右側面は上方から加壓して切削する。	A6-1-b-8
28	30.10	13.85	5.80	2.6	サヌカイト	完形。柱状を呈し、上・下縁には階段状剥離を主体とした調整を施す。左側は上方と下方から加壓して切削する。	A37-3-b N
29	31.7	23.0	5.7	5.5	サヌカイト	完形。柱状を呈し、上・下縁には同面に階段状剥離を主体とした調整を施す。右図左側面は上方から加壓して切削する。	A38-2-110
30	29.7	17.1	5.3	2.4	サヌカイト	完形。三角形を呈し、上縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A38-1-886
31	24.5	11.8	8.1	3.2	サヌカイト	完形。柱状を呈し、上縁と下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。左図左側面は上方から加壓して切削する。	C4-1-d N
32	23.2	24.8	4.0	2.3	サヌカイト	完形。柱状を呈し、下縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。左図の右側面には折れ面と思われる面を持つ。	A40-3-608
33	26.00	12.65	5.25	2.8	サヌカイト	完形。方形状を呈し、上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。左図の右側面には折れ面と思われる面を持つ。	A40-3-c N
34	20.10	10.05	2.65	0.9	サヌカイト	完形。方形状を呈し、上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A36-1-534
35	28.4	14.6	11.9	1.6	サヌカイト	完形。柱状を呈し、上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。右図の左側面には折れ面と思われる面を持つ。	A37-1-c S
36	23.4	23.5	4.6	2.6	サヌカイト	完形。三角形を呈し、中央図の左側には上下からの加壓がなされている。	B20-108
37	16.40	22.70	4.35	1.8	サヌカイト	完形。柱状を呈し、上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。右図の左側には折れ面と思われる面を持つ。	B3-458
38	24.6	18.3	4.1	2.3	サヌカイト	完形。方形状を呈し、上・下縁には階段状剥離を主体とした調整を施す。	C16-1-1680
39	34.95	15.85	5.10	2.7	サヌカイト	完形。柱状を呈し、一側縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。	B - 12-c S
40	28.65	16.20	4.65	2.4	サヌカイト	完形。方形状を呈し、上縁の片側と下縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A39-3-25
41	37.4	21.2	5.4	5.4	サヌカイト	完形。方形状を呈し、一側縁と上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。一方の側縁に所附面と思われる面を持つ。	A39-1-c S
42	31.0	15.8	8.9	5.2	サヌカイト	完形。方形状を呈し、上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A39-2-d S
43	34.2	17.7	4.5	2.7	サヌカイト	完形。三角形を呈し、一方の側縁の両面には階段状剥離を主体とする調整が施されている。	A10-1-164
44	31.1	22.7	6.9	5.2	サヌカイト	完形。柱状を呈し、上縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。右側に折れ面と思われる面を持つ。	C6-1-7
45	27.5	14.8	5.0	2.0	サヌカイト	完形。柱状を呈し、一側縁の両面と上・下縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A3-1-1
46	33.60	14.50	4.70	2.3	サヌカイト	完形。柱状を呈し、一側縁に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A37-1-3519
47	32.15	16.85	6.15	3.4	サヌカイト	完形。長方形を呈し、一側縁及び下縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A39-1-d S
48	30.1	21.0	5.0	3.2	サヌカイト	完形。三角形を呈し、上縁の両面には階段状剥離を主体とした調整を施す。	C10-1-36
49	22.7	16.4	2.7	1.1	サヌカイト	完形。長方形を呈し、一側縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A39-4-c S
50	15.20	22.15	3.65	1.5	サヌカイト	完形。長方形を呈する。一側縁に折れ面と思われる面を持つ。同面との肩面から調整が施されている。	B13-389
51	34.15	31.15	5.65	7.5	サヌカイト	完形。方形状を呈し、上・下縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	B10-186
52	33.37	19.7	4.2	3.1	サヌカイト	完形。長方形を呈し、上・下縁の片面には階段状剥離を主体とした調整を施す。	A36-1-441

番号	法 量	幅	厚さ	重 量	石 質	調 査	出土地点
53	30.20	17.80	3.65	2.0	サヌカイト	完形。三角形状を呈し、下縁と側縫に調整を施す。	A37-2-1156
54	24.6	23.2	5.6	3.2	完形。方形形状を呈し、下縁と側縫に調整を施す。	A39-2-386	
55	20.35	25.35	4.55	2.5	サヌカイト	完形。方形形状を呈し、上・下縁には階段状剥離を主体とする調整を施す。	A24-2・b S
56	29.6	15.5	4.4	2.2	"	完形。柱状を呈し、上縁の片面と下縁の両面に階段状剥離を主体とする調整を施す。	C11-1-486
57	31.6	20.8	12.7	5.4	"	完形。三角形状を呈し、上・下縁と側縫に階段状剥離を主体とする調整を施す。	B4-155
58	28.2	31.4	5.4	8.1	"	完形。方形形状を呈し、上縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。	A4-2-245
59	35.75	25.80	4.80	4.9	"	完形。方形形状を呈し、上縁と下縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。	A39-4-367
60	30.9	22.7	4.0	2.7	"	完形。三角形状を呈し、上縁の両面に階段状剥離を主体とする調整を施す。	A36-1-331
61	30.00	19.20	4.70	2.8	"	完形。三角形状を呈し、上縁の片面と下縁の両面に階段状剥離を主体とする調整を施す。	A21-1-813
62	46.6	19.5	8.1	5.2	"	完形。柱状を呈し、上縁の片面に階段状剥離を主体とする調整を施す。	B16-627
63	34.9	22.6	5.0	3.9	"	完形。異方形形状を呈し、片面の上下縁に階段状剥離を主体とする調整を施す。	A40-3- c S
64	18.55	31.00	6.10	4.2	"	完形。異方形形状を呈し、周縁から階段状剥離を主体とした調整を施す。	A35-2- d S
65	22.50	31.80	3.90	3.6	"	完形。異方形形状を呈し、周縁から階段状剥離を主体とした調整を施す。	A38-2-1839
66	26.00	29.30	6.45	4.6	"	完形。方形形状を呈し、周縁の両面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	B14- c N
67	45.40	49.45	7.20	20.1	"	完形。方形形状を呈し、周縁から階段状剥離を主体とした調整を施すが、特に右縁左縁の両面が頗著である。	A39-4- b N
68	40.40	45.45	7.40	14.3	"	完形。方形形状を呈し、下縁と側縫の両面及び上縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A27-2- a N
69	29.75	35.80	6.15	6.9	"	完形。異方形形状を呈し、上縁と側縫に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A28-2-153
70	21.65	26.65	4.90	2.8	"	完形。方形形状を呈し、下縁と側縫の両面に調整を施す。	A39-3-1397
71	20.30	18.95	5.80	2.6	"	完形。方形形状を呈し、周縁の両面と下縁の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A4-2-200
72	18.55	32.70	5.25	4.0	"	完形。異方形形状を呈し、上縁と側縫の片面に階段状剥離を主体とした調整を施す。	A10-1- c S
73	23.95	28.80	6.30	5.0	"	完形。方形形状を呈し、周縁から階段状剥離を主体とした調整を施す。	A33-1-45

第56表 二次調整ある剣片計測表

番号	法 全	幅 厚さ	重量 石 質	出土地点 番号	法 全	幅 厚さ	重量 石 質	出土地点
1	26.20	9.45	3.70	0.9 サヌカイト A4-1-b N	27	34.75	17.60	7.80 3.0 球頭寶安山岩 B2-40
2	34.75	17.00	4.90	3.6 / A39-5-a N	28	22.55	11.65	3.60 1.0 / C14-2-b N
3	30.60	15.55	5.55	2.6 / B11-85	29	25.10	16.25	3.60 1.3 / A39-3-c S
4	30.35	21.25	4.75	3.0 / A35-2-d N	30	22.80	21.70	5.75 1.8 / A10-1-122
5	35.15	18.15	5.45	2.5 / A37-3-a S	31	14.90	8.70	2.90 0.4 / A9-1-103
6	48.30	24.80	4.95	5.3 / A36-2-3049	32	14.40	10.45	2.00 0.4 / B1-378
7	25.00	15.30	2.90	0.8 / A2-1-491	33	21.06	15.25	5.60 1.7 / A1-1-c N
8	28.00	12.45	6.25	1.6 / C12-2-148	34	20.80	17.80	3.55 1.3 / C9-1-c N
9	32.25	13.55	6.60	1.9 / C11-1-775	35	15.10	16.55	5.70 1.2 / C16-1-1692
10	41.90	13.15	6.90	2.6 / A3-1-321	36	24.30	18.20	6.40 2.7 / A39-2-393
11	23.50	9.00	5.95	1.2 / B16-2-03	37	28.45	20.85	7.45 4.3 / A36-4-119
12	27.20	10.10	5.70	- / A26-1-205	38	27.30	10.90	6.15 1.8 / A12-1-a N
13	34.75	16.85	9.65	3.2 / B-8-235	39	22.90	11.20	4.45 0.9 / A24-1-d S
14	29.10	23.25	11.15	6.9 / A40-5-d N	40	27.90	27.00	7.15 5.6 / 滑 級 岩 A42-3-d S
15	44.95	15.60	12.10	6.4 / A40-4-536	41	15.70	4.65	3.35 0.2 ヤヌカイト A2-4-264
16	37.60	26.30	8.40	7.3 / C15-1-688	42	30.15	8.60	3.40 0.7 / A36-3-1992
17	36.25	40.65	10.10	15.0 / A37-3-b S	43	29.75	8.95	4.75 1.3 / B18-589
18	23.20	26.70	11.50	7.8 / A17-1-a S	44	26.95	10.45	4.20 0.8 / A37-1-3061
19	32.40	19.40	9.85	4.7 / C15-1-694	45	30.50	6.55	3.60 0.9 / A38-1-1816
20	30.00	15.25	9.55	5.0 / B15-3-14	46	36.65	11.25	6.55 1.8 / C17-1-c N
21	23.05	19.10	6.80	2.8 球頭寶安山岩 A39-2-393	47	32.90	10.70	4.95 1.7 / C13-2-a N
22	28.20	19.35	7.30	4.3 / A36-4-119	48	31.75	9.55	6.10 1.5 / A38-3-1973
23	43.00	13.65	8.65	6.0 サヌカイト A24-1-c S	49	32.30	8.05	8.00 1.5 / A37-1-2037
25	55.90	21.20	8.45	10.8 サヌカイト A15-592				
26	72.80	16.25	8.50	10.8 / A36-3-2211				

第57表 横長剝片石核観察表

番号	法 長さ	法 幅	法 厚さ	重量	石	質	角度	鉛 長さ	鉛 幅	鉛		出土地点
										鉛	鉛	
1	39.5	28.1	17.5	7.4	サスカイト	光沢。背面部・底面部とも1面の自然面。上面に自然面を有する。打面調整は4回。真状剥片の剥 離は剥片下方石核。元形。背面・底面部とも1面の自然面を有する。打面調整を2回。A4-1-c N	-	40.80	14.05	117'	41.15	C4-1-c N
2	42.3	25.2	10.9	10.0	H	光沢。底面部は剥片下方石核。元形。背面・底面部とも1面の自然面を有する。打面調整は中央部に施さない。底面は作業面側から 剥離は下部から行う。真状剥片の剥離面には古い剝離紋を2面残す。A3-2-1575	-	40.80	14.05	117'	41.15	A3-2-1575
3	50.6	30.1	14.4	18.5	H	光沢。底面部は剥片下方石核。元形。底面は下部のみに施し、上半部は山形になつた石核背面を利用。素 材は部分的に剥離。背面・底面とも1面の剝離面から削離。A2-1-126	104'	41.40	16.00	-	-	A3-2-1437
4	48.1	33.0	16.2	16.8	H	光沢。底面部は剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面の剝離面から削離。A3-1-287	121'	-	-	-	-	A3-1-287
5	47.0	35.1	9.8	16.3	H	光沢。石核の剥離、底面とも1面の剝離面から削離。底面は作業面側から削離。A3-1-287	101'	-	-	-	-	A3-1-287
6	44.0	33.6	11.0	13.8	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が欠け、背面は2面よりなり。一方の面上に打面調整が残る。打面調整は中央部を削除した後、底面の小切端を施す。A2-1-154	121'	32.45	12.00	-	-	B2-1-123
7	48.3	33.6	10.9	13.6	H	光沢。底面は剥片下方石核。元形。背面・底面とも一面が欠け、背面は3面よりなる。打面調整は石核片面のみ施す。真状剥片の剥離は A12-1-a S	124'	29.95	10.30	-	-	A12-1-a S
8	41.4	38.5	10.8	12.0	H	光沢。底面は剥片下方石核。元形。背面・底面とも一面が欠け、背面は3面よりなる。打面調整は中央部を削除した後、底面の小切端を施す。A3-4-540	114'	34.70	16.70	-	-	A3-4-540
9	47.0	31.7	12.6	16.6	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整は剥片下方石核の背面を削除し、打面張を換 A20-1-54	124'	21.45	12.00	-	-	A20-1-54
10	47.1	40.0	11.5	18.4	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整を上部に残す。背面側辺には両面から削離を施し、打面張を換 A3-5-7767	130'	49.25	16.60	-	-	A3-5-7767
11	54.60	31.20	15.60	19.7	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整は剥片下方石核の背面を削除する。A4-3-b S	113'	58.40	20.50	-	-	A4-3-b S
12	59.0	27.7	14.3	17.5	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整は剥片下方石核の背面を削除する。A2-1-416	133'	42.20	16.35	-	-	A2-1-416
13	46.7	38.9	14.3	19.0	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整は剥片下方石核の背面を削除する。A21-1-724	125'	51.20	14.60	-	-	A21-1-724
14	56.7	27.9	12.7	12.7	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整は剥片下方石核の背面を削除する。A3-9-1-3354	124'	48.25	22.85	-	-	A3-9-1-3354
15	55.5	36.6	20.9	30.0	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整は剥片下方石核の背面を削除する。A3-9-1-2999	120'	-	-	-	-	A3-9-1-2999
16	52.0	40.2	17.2	25.7	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整は剥片下方石核の背面を削除する。A3-8-898	140'	44.55	14.05	-	-	A3-8-898
17	48.4	44.3	9.4	17.9	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整は剥片下方石核の背面を削除する。打面調整は下部に自然面を残す。A3-9-1-1285	125'	51.20	14.60	-	-	A3-9-1-1285
18	67.4	37.8	16.7	28.1	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整は剥片下方石核の背面を削除する。打面調整は下部に自然面を残す。A3-7-a-b S	124'	50.05	15.90	-	-	A3-7-a-b S
19	69.5	29.0	13.4	19.0	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整は剥片下方石核の背面を削除する。打面調整は上部に自然面を残す。A41-4-b N	115'	65.05	15.90	-	-	A41-4-b N
20	73.4	42.3	19.2	40.4	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整は剥片下方石核の背面を削除する。打面調整は上部に自然面を残す。B11-50	127'	10.60	25.70	-	-	B11-50
21	57.0	30.6	13.1	22.3	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整を2回。背面側辺には両面から削離がある。A3-9-1-475	-	43.50	13.45	-	-	A3-9-1-475
22	76.3	24.0	14.0	23.1	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整を2回。背面側辺には両面から削離がある。A1-1-55	-	57.10	24.20	-	-	A1-1-55
23	56.9	48.3	19.5	60.5	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整を2回。背面側辺には両面から削離がある。A8-1-187	116'	-	-	-	-	A8-1-187
24	63.45	22.85	10.65	20.4	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整を2回。背面側辺には両面から削離がある。A3-9-3-c S	122'	80.11	7.70	-	-	A3-9-3-c S
25	60.4	25.5	11.4	26.9	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整を2回。背面側辺には両面から削離がある。A3-8-2-291	59.35	25.25	7.00	-	-	A3-8-2-291
26	83.9	31.5	22.6	47.1	H	光沢。剥片下方石核。元形。背面・底面とも1面が削離。打面調整を2回。背面側辺には両面から削離。A3-9-3-111	112'	59.10	21.00	-	-	A3-9-3-111

番号	法 量	量	重 量	石 質	刻 離	刻 離	長 さ	幅	測		出土点
									度	角	
27	43.8	35.6	16.5	21.1	サスカイト	—	35.54	13.65	露状剥片石核。背面2面のうち1面は自然面。打面調整は上部と下端部に施す。露状剥片の剥離面	A.35-5-223	
28	75.8	38.1	15.4	33.0	H	116°	55.00	21.05	露状剥片石核。背面2面のうち1面は自然面。打面調整は上部と下端部に施す。露状剥片の剥離面	A.35-2-478	
29	67.3	50.5	23.6	54.1	H	—	66.70	23.75	露状剥片石核。背面2面のうち1面は自然面。打面調整は上部と下端部に施す。露状剥片の剥離面	A.38-2-c N	
30	57.60	35.10	16.00	20.1	H	121°	57.90	27.75	露状剥片石核。背面2面のうち1面は自然面。打面調整は上部と下端部に施す。露状剥片の剥離面	A.37-4-c S	
31	67.0	35.0	11.7	20.4	H	—	53.35	14.80	露状剥片石核。露面の辺縁を僅かに欠失。露面は1面の剥離面。背面の上部に自然面を持つ。	A.38-2-4044	
32	65.9	36.4	15.5	24.2	H	—	50.90	17.50	露状剥片石核。下端を僅かに欠失。露面は1面の剥離面。上部には小刻離面を持つ。	B.35-4-486	
33	46.8	55.7	15.4	40.0	H	133°	47.35	21.00	露状剥片石核。完形。背面・底面とも1面の剥離面。上部に自然面を持つ。	A.35-3-178	
34	76.2	41.4	17.7	43.9	H	—	48.45	16.90	露状剥片石核。底面の中央を僅かに欠失。露面には古い剥離面を持つ。底面の下部には自然面を持つ。露面は1面の剥離面。	A.44-1-a N	
35	80.85	24.20	12.15	50.0	H	—	66.40	24.95	露状剥片石核。完形。背面・底面とも1面の剥離面。露状剥片を複数枚。素材は分厚い。	A.40-4-81	
36	72.2	31.4	18.8	40.6	H	113°	53.00	18.00	露状剥片石核。下端と作業面を僅かに欠失。背面は1面の剥離面。露状剥片の剥離面は打面調整の剥離面を加	A.35-2-c N	
37	62.9	36.7	10.1	21.8	H	112°	52.90	14.00	露状剥片石核。下端を僅かに欠失。露面は1面の剥離面。上半部は石核の背面を利用。	B.25-124	
38	60.5	21.9	56.6	17.6	H	123°	19.05	21.45	露状剥片石核。背面は2面の剥離面。打面調整の剥離面は細かい。	A.34-2-160	
39	65.1	44.0	14.2	29.8	H	—	52.30	19.30	露状剥片石核。下端部には古い剥離面。背面は2面の剥離面。打面調整の剥離面を残す。背面は2面より、1	C.15-1-730	
40	72.7	44.0	16.7	45.1	H	114°	52.00	18.35	露状剥片石核。底面は1面の剥離面。背面は自然面。	A.39-3-920	
41	86.0	40.9	16.9	34.9	H	115°	71.10	19.65	露状剥片石核。打面調整の下部を僅かに欠失。上部の打面に自然面を持つ。打面調整は上・下部に残す。	A.41-3-c S	
42	110.7	23.0	23.9	48.8	H	141°	86.80	27.65	露状剥片石核。完形。背面及び底面の線辺に自然面が残る。素材は分厚い。	B.7-797	
43	74.9	33.3	23.2	54.5	H	117°	65.65	20.80	露状剥片石核。完形。背面・底面とも2面よりなり。1面は自然面。底面の最辺部には細かな剥離面を	A.39-3-1005	
44	65.2	45.2	11.8	28.4	H	—	47.80	30.55	露状剥片石核。下端部を僅かに欠失。背面は2面よりなり。1面は自然面。底面は層平。露状剥片の剥離面は背面を加	A.35-4-363	
45	66.0	40.9	13.6	43.4	H	109°	40.60	20.85	露状剥片石核。完形。底面は1面の剥離面。背面は複数の剥離面からも剥離が施されている。底面 C.14-1-856		
46	73.3	28.9	23.6	39.6	H	99°	45.05	20.05	露状剥片石核。完形。背面には複数の剥離面からも剥離が施されている。底面 A.37-2-1883		
47	81.5	65.0	23.2	94.2	H	—	—	—	露状剥片石核。下端部を僅かに欠失。背面は自然面を残す。底面は1面の剥離面。	A.18-1-b S	
48	60.3	30.4	12.0	17.1	H	108°	50.05	18.50	露状剥片石核。完形。下端に自然面を持つ。底面は1面の剥離面。底面は層平。露状剥片の剥離面は背面を加	A.35-4-363	
49	57.0	32.6	12.9	23.4	H	121°	56.30	12.65	露状剥片石核。完形。底面は1面の剥離面。背面は複数の剥離面からなる。	A.35-3-351	
50	41.0	35.9	11.7	14.4	H	124°	36.60	14.00	露状剥片石核。完形。小形の石核。底面には露状剥片を複数枚。底面から剥離が施されている。	A.35-4-600	
51	40.9	33.8	14.0	15.2	H	124°	30.45	18.65	露状剥片石核。完形。底面は1面の剥離面。背面は複数枚。底面の線辺からなる。露状剥片 A.38-1-2183		
52	52.3	27.3	30.0	27.5	H	94°	—	—	露状剥片石核。底面は1面の剥離面。背面は自然面を残す。素材は分厚い。打面調整は上・下端部に残り、底面の中 A.36-2-2960		

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	剥離 角度	剥離 長さ	剥離 幅	観		出土地点	
								度	度		
53	62.5	41.6	23.2	32.3 サヌカイト	—	39.20	19.55	真状剥片石核。完形。背面は複数の剥離面からなる。底面は1面で下部に剥離面を持つ。素材は分厚い。 真状剥片石核。底面は複数の剥離面には古い剝離痕を残す。	A-27-2-245		
54	48.8	42.6	16.9	23.9	H	115°	28.10	18.20	真状剥片石核。底面は複数の剥離痕を残す。	A-33-2-a N	
55	56.40	30.15	16.20	21.8	H	110°	48-10	26.15	真状剥片石核。底面には古い剝離痕を残す。	A-22-1-b N	
56	48.5	31.6	10.7	12.5	H	—	47.00	23.60	真状剥片石核。底面は1面の剥離面。剥離面に打面調整跡によつ	B-5-222	
57	51.3	20.4	21.7	28.4	H	109°	41.00	21.70	真状剥片石核。底面は分厚い。真状剥片石核の底面には古い剝離痕を残す。打面調整は上部のみ施され	A-2-2-a S	
58	46.8	44.6	16.4	19.8	H	113°	40.90	19.35	真状剥片石核。底面は1面の剝離面。底面に自然面を残す。底面は1面の剝離面。	A-38-2-4569	
59	45.8	40.6	15.5	20.6	H	—	33.75	12.30	真状剥片石核。底面は2面の剝離面。素材は分厚い。	A-35-1-487	
60	49.0	33.6	10.5	16.7	H	—	—	—	真状剥片石核。底面は1面で上端部分から剝離されている。底面に剥離跡が残されている。	A-34-2-107	
61	44.3	32.0	16.2	18.7	H	—	35.05	14.60	真状剥片石核。底面は1面の剝離面。素材は分厚い。	A-25-1-a S	
62	73.5	38.3	16.3	34.5	H	—	32.90	15.45	真状剥片石核。底面は並列して剝離される。底面には古い剝離痕を残す。	A-35-4-501	
63	50.5	42.8	16.4	20.9	H	135°	36.70	21.55	真状剥片石核。上部をわざかに欠失。底面には自然面を残す。上部には打面調整が施されていない。底面は2面の剝離面。	A-38-1-2657	
64	41.8	38.1	20.8	28.8	H	118°	36.00	36.30	真状剥片石核。完形。底面は真状剥片石核の底面には剥離痕がある。底面は下方に向かう。	A-5-1-161	
65	59.3	27.1	11.9	12.2	H	—	36.55	15.60	真状剥片石核。底面は整た山形となる。打面調整が全体に施され	A-27-1-d S	
66	59.3	30.7	19.4	25.0	H	109°	36.50	16.00	真状剥片石核。底面は未完成方向からの剥離。底面は下端方向からの剥離。粗い打面調整を施す。真状剥片の剥離面に古い剝離痕を残す。	A-39-2-1141	
67	59.3	39.8	23.8	41.1	H	—	40.05	19.85	真状剥片石核。完形。肉厚な真状剥片を素材。打面調整は細かい。真状剥片の剥離面は下端方向からの剥離。底面は自然面を残す。	C-13-1-784	
68	52.4	34.4	15.3	19.3	H	116°	45.65	19.30	真状剥片石核。左側の底面に右端方向からの大きな剝離面が残る。真状剥片の剥離面は打面調整の大半	B-7-1087	
69	51.2	40.4	12.0	17.4	H	102°	35.95	12.90	真状剥片石核。完形。底面は左端方向からの剥離。底面は未完成方向からの剥離。粗い打面調整を施す。真状剥片の剥離面には古い剝離痕が残る。	A-38-2-426	
70	42.75	25.00	14.80	15.6	H	117°	33.65	22.10	真状剥片石核。光形。底面は2面によつてなる。底面は下端方向からの剥離。粗い打面調整を施す。真状剥片の剥離面には古い剝離痕が残る。	A-38-2-3270	
71	59.6	55.5	16.2	49.2	H	124°	—	—	真状剥片石核。底面は下端部欠失。底面は大きくなり自然面が残る。底面は下端方向からの剥離。打面調整は粗く、山	B-4-443	
72	62.4	42.5	14.0	23.8	H	—	41.65	24.20	打面調整を施す。底面は自然面ととなり重複する。底面は自然面ととなり重複する。底面は自然面ととなり重複する。	A-35-4-757	
73	60.6	35.6	11.7	21.9	H	—	—	—	打面調整が残る。	B-2-706	
74	63.7	70.6	13.0	33.5	H	145°	42.90	16.20	真状剥片石核。底面は真状剥片を素材。底面は2面よりなる。底面は1面で上端方向からの剥離。真状	A-38-3-185	
75	62.5	31.9	17.2	34.4	H	96°	—	—	底面は下端方向からの剥離。底面は自然面を残す。	A-21-1-99	
76	38.0	54.4	17.3	20.7	H	118°	41.20	23.70	真状剥片石核。完形。上端部及び下端部の一部に自然面を残す。底面・背面とも1面。打面調整は粗い。	A-24-2-b S	
77	47.8	25.7	15.3	19.1	H	—	—	—	真状剥片石核。光形。底面は3面。底面は4面。底面は自然面を残す。真状剥片の剥離面に古い剝離痕を持つ。	A-34-1-1311	
78	65.75	46.00	16.25	37.5	H	—	—	—	真状剥片石核。光形。底面は3面。底面は4面。底面は自然面を残す。真状剥片の剥離面に古い剝離痕を持つ。	A-34-1-1407	

番号	法 量	幅 厚	厚さ	重量	石 質	制離 刻離 痕	制離 痕 角度	長さ 幅	縫		出土地点
									縫	縫	
79	57.1 <sup>m</sup>	56.7 <sup>m</sup>	13.5 <sup>m</sup>	26.5 <sup>m</sup>	サスカイト	-	49.65 <sup>m</sup> 20.65 <sup>m</sup>	縫	縫	縫	B-8-727
80	69.3	69.4	19.3	90.2	石	118° 49.80 20.60	縫	縫	縫	縫	A-5-1-348
81	42.6	29.7	14.8	9.6	石	138° 21.90 13.25	縫	縫	縫	縫	A-5-4-842
82	79.4	57.2	15.3	59.3	石	123° 57.80 17.35	縫	縫	縫	縫	B-8-589
83	52.7	18.5	14.0	17.1	石	90° -	縫	縫	縫	縫	A-8-2-4193
84	56.1	41.1	17.4	34.9	石	120° 39.60 17.25	縫	縫	縫	縫	A-8-5-435
85	57.0	29.7	21.5	32.8	石	114° 46.85 19.90	縫	縫	縫	縫	A-6-2-178
86	47.30	30.80	10.15	11.6	石	141° 37.60 18.00	縫	縫	縫	縫	A-0-3-d N
87	44.2	48.0	13.9	28.5	石	111° 46.50 13.90	縫	縫	縫	縫	A-31-2-246
88	50.10	34.65	16.70	18.3	石	-	-	縫	縫	縫	
89	38.4	39.6	14.5	13.6	石	135° 38.90 27.25	縫	縫	縫	縫	A-9-4-57
90	18.00	39.85	10.75	17.4	石	- 39.20 15.45	縫	縫	縫	縫	A-7-2-3082
91	24.60	48.05	16.85	57.0	石	105° 47.60 17.95	縫	縫	縫	縫	A-9-4-d N
92	74.2	55.0	22.7	52.3	石	130° 58.90 26.80	縫	縫	縫	縫	A-34-2-750
93	60.3	22.1	12.9	11.9	石	- 33.60 15.35	縫	縫	縫	縫	A-31-2-35
94	52.2	36.2	15.2	17.5	石	123° 50.30 11.45	縫	縫	縫	縫	A-7-2-1150
95	56.5	36.2	15.0	51.4	石	123° 59.55 15.35	縫	縫	縫	縫	B-21-930
96	63.7	27.6	12.5	16.4	石	123° 58.90 13.25	縫	縫	縫	縫	A-0-5-c S
97	57.2	24.8	10.0	18.2	石	132° 35.05 10.10	縫	縫	縫	縫	A-4-2-221
98	59.50	22.70	10.80	10.8	石	109° 54.95 21.20	縫	縫	縫	縫	A-4-4-b S
99	64.20	29.55	15.65	27.8	石	136° -	縫	縫	縫	縫	A-39-2-c S
100	41.1	26.4	13.9	13.2	石	102° -	縫	縫	縫	縫	A-30-2-b S
101	40.6	19.2	12.2	10.3	石	113° -	縫	縫	縫	縫	A-35-2-866
102	37.9	28.7	15.7	12.5	石	122° -	縫	縫	縫	縫	A-37-2-2050
103	45.0	31.1	18.8	18.2	石	121° 32.20 12.70	縫	縫	縫	縫	C-6-1-1256
104	41.2	39.2	12.4	14.0	石	114° -	縫	縫	縫	縫	A-37-2-2656
									打面調整の線上を正規する。		

番号	法 長	量 幅	幅 厚さ	重量	石 質	質 感	剥離 角度	剥離 長さ	剥離 幅	剥離 角度	剥離 長さ	剥離 幅	剥離 角度	剥離 長さ	剥離 幅
105	48.0	32.8	12.7	15.9	サヌカイト	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A37-3-d N
106	50.0	37.0	17.2	25.9	B	■	■	■	■	■	■	■	■	■	A35-3-206
107	48.2	27.4	16.7	20.1	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A37-1-2183
108	41.3	29.5	10.8	17.3	B	-	-	123°	-	-	-	-	-	-	A35-1-1968
109	50.5	21.0	14.6	12.6	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A32-2-c S
110	75.35	41.70	21.65	51.1	B	90°	64.75	18.50	■	■	■	■	■	■	A40-2-c S
111	69.40	44.45	13.30	39.9	B	130°	-	-	-	-	-	-	-	-	A40-2-a S
112	51.8	43.1	14.2	21.1	B	-	41.45	20.90	■	■	■	■	■	■	A38-3-1246
113	56.6	23.0	15.0	17.6	B	123°	-	-	-	-	-	-	-	-	A36-1-1602
114	49.9	32.7	13.5	17.6	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A37-3-28
115	34.50	59.50	15.90	54.5	B	112°	-	-	-	-	-	-	-	-	A38-2-3614
116	50.65	44.05	21.70	34.9	B	129°	-	-	-	-	-	-	-	-	B13-a N
117	43.5	33.8	17.4	16.4	B	109°	-	-	-	-	-	-	-	-	A37-2-2235
118	45.2	26.3	11.7	14.7	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A20-1-c N
119	58.70	52.95	19.45	63.6	B	117°	-	-	-	-	-	-	-	-	B3-2-36
120	47.3	35.1	13.5	16.6	B	123°	-	-	-	-	-	-	-	-	C18-1-663
121	57.15	43.60	13.40	35.6	B	132°	-	-	-	-	-	-	-	-	A41-4-a N
122	56.7	54.4	18.3	35.9	B	124°	-	-	-	-	-	-	-	-	B17-314
123	58.35	33.45	15.00	17.2	B	125°	-	-	-	-	-	-	-	-	A30-1-a S
124	57.9	39.6	11.7	34.1	B	127	-	-	-	-	-	-	-	-	B8-7-31
125	58.30	30.50	13.10	27.2	B	115°	34.45	18.40	■	■	■	■	■	■	A39-4-b N
126	52.8	50.1	13.7	26.3	B	140°	-	-	-	-	-	-	-	-	A37-2-1904
127	14.3	42.8	14.30	19.6	B	67°	-	-	-	-	-	-	-	-	A39-5-a S
128	67.0	33.2	13.9	27.4	B	127°	-	-	-	-	-	-	-	-	B21-1268
129	76.45	48.65	9.65	44.1	B	114°	39.80	15.75	■	■	■	■	■	■	C18-1-a S
130	86.8	47.5	23.6	69.2	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A24-2-125

番号	法 量	幅 厚さ	重 量	石 質	角 度	長 さ	幅 幅	刻 雕 漆		出土地点
								刻 刀	漆 刷	
131	9.55	40.0	14.85	32.3	サヌカイト	-	41.05	19.40	19.40	天然剥片の表面は細かく、質状剥片のA41-3-d N
132	68.7	23.00	22.15	74.7	石	112°	-	-	-	天然剥片の表面は細かく、質状剥片のA38-1-3822
133	77.0	43.3	14.3	40.8	石	141°	-	-	-	天然剥片の表面は細かく、質状剥片のA26-1-329
134	52.4	39.1	14.6	19.8	石	-	-	-	-	天然剥片の表面は細かく、質状剥片のA34-2-d N
135	56.6	39.6	16.2	25.5	石	-	-	-	-	天然剥片の表面は細かく、質状剥片のA24-2-700
136	53.9	29.0	22.0	28.5	石	112°	20.80	13.85	13.85	天然剥片の表面は粗く、他方の端邊部をくぼらし2ヶ所から質状剥片をA36-1-2394
137	50.5	40.0	19.4	25.0	石	150°	24.80	21.25	25.00	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。両方から質状剥片を削る。
138	52.3	23.0	13.0	12.4	石	113°	38.50	14.05	14.05	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。両方の側面にはや粗く削して、2ヶ所からB23-276
139	40.9	44.8	16.6	26.1	石	-	39.55	25.90	25.90	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。両方の側面には自然面を残す。下端には自然面を残す。背面質剥片を削して質状剥片を削る。2ヶ所からC17-1-311
140	55.0	18.0	34.4	24.9	石	114°	39.80	16.05	16.05	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。底面は下部わずかに残る。
141	55.20	33.95	12.80	23.8	石	134°	45.35	21.80	21.80	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。背面は自然面を残す。2ヶ所から質状剥片を削る。
142	60.6	35.6	13.8	22.2	石	129°	41.45	15.00	15.00	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。背面は自然面を残す。下端部に自然面を残す。背面質剥片を削して質状剥片を削る。
143	61.30	31.06	16.30	19.4	石	128°	46.25	2.00	2.00	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。
144	68.4	31.5	19.0	29.7	石	-	66.00	20.35	35.00	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。底面には大きな質状剥片の剝離面が2面見られる。
145	52.30	31.60	10.10	17.7	石	115°	27.00	17.65	17.65	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。
146	69.0	52.8	19.5	62.1	石	125°	-	-	-	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。底面には自然面を残す。B2-292
147	64.7	30.8	12.7	19.8	石	-	39.40	16.55	16.55	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。底面には自然面を残す。上端部に自然面を残す。天然剥片は上・下で2
148	43.6	27.0	11.6	12.2	石	-	-	-	-	A35-2-c N
149	71.1	51.3	24.6	33.5	石	113°	42.30	23.40	23.40	天然剥片の表面は上下端に粗く削す。背面は自然面を削す。天然剥片は上半部に削る。下半部は石板背面の山形とA2-1-c N
150	71.9	35.4	16.0	31.4	石	-	41.50	13.40	13.40	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。底面は自然面を削る。天然剥片は下半部に削る。下半部は上半部に削る。上半部は石板の山形とA35-1-1792
151	53.8	36.4	17.9	22.0	石	129°	42.20	12.40	12.40	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。
152	65.6	42.1	14.8	29.3	石	137°	49.35	21.06	21.06	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。底面は山形を利用し、質状剥片を削る。作業面の上面には古い削離跡を残す。
153	59.4	38.4	16.2	22.5	石	-	40.00	12.45	12.45	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。底面はA34-2-443
154	61.0	49.2	21.0	50.7	石	105°	51.50	23.35	23.35	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。底面は自然面の下端部に削る。天然剥片は下端部を削る。
155	43.0	39.6	13.0	12.7	石	-	33.60	13.50	13.50	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。底面には古い削離跡が残る。A7-1-110
156	74.0	33.6	13.2	29.9	石	141°	-	-	-	天然剥片の表面は細かく、質状剥片を削る。底面は山形を利用し、質状剥片を削る。

番号	法 量	幅 厚	重 量	石 質	刻 画	刻 画 角 度	刻 画 長 さ	幅	刻 画 表		出土地點
									横	縦	
157	62.8	43.9	15.3	36.4 サヌカイト	-	-	-	-	■	■	B46-76
158	53.6	28.1	13.0	17.5	H	97°	38.65	19.35	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。自然面と下半部の1面の打削面のなす角	A34-2-909	
159	34.5	56.1	17.3	17.2	H	-	21.55	17.00	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。自然面と下半部では、打削面と背面の一端を削除する。	A38-2-3837	
160	45.7	32.6	13.6	22.1	H	-	-	-	■	■	B14-148
161	49.6	34.3	15.8	20.2	H	-	31.60	17.65	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右上部の1面の打削面を削除する。左図の左上部の1面の打削面を削除する。左図の左上部の1面の打削面を削除する。	A37-1-2583	
162	43.2	34.1	33.0	14.0	H	-	39.00	14.55	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の左側面の1面の打削面を削除する。左図の左側面の1面の打削面を削除する。左図の左側面の1面の打削面を削除する。	A41-1-a N	
163	52.7	30.50	10.5	23.3	H	120°	41.45	19.30	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の左側面の1面の打削面を削除する。左図の左側面の1面の打削面を削除する。	A39-1-b N	
164	59.2	41.0	23.7	44.2	H	-	42.85	31.50	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の左側面の1面の打削面を削除する。左図の左側面の1面の打削面を削除する。	B2-611	
165	54.4	35.8	18.2	23.5	H	131°	-	-	■	■	A38-1-4369
166	55.6	27.0	13.0	15.3	H	95°	-	-	■	■	A23-1-c S
167	47.0	43.7	16.6	28.4	H	108°	39.60	18.00	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	A29-2-a N	
168	39.2	39.8	14.2	19.8	H	118°	33.40	19.60	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	B18-49	
169	47.3	33.1	10.8	20.5	H	100°	-	-	■	■	A38-5-590
170	69.2	52.5	15.3	41.3	H	124°	31.23	25.55	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	A35-3-244	
171	41.4	26.4	9.5	7.3	H	-	30.00	8.60	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	A39-1-68	
172	39.7	34.6	13.2	15.2	H	117°	-	-	■	■	C14-1-257
173	17.2	33.85	11.6	16.6	H	124°	35.25	22.00	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	A39-5-c S	
174	48.6	43.3	12.6	18.3	H	-	32.45	19.00	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	A39-2-987	
175	25.4	31.6	15.3	17.0	H	140°	44.30	11.75	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	A39-1-52	
176	53.0	33.1	56.8	26.3	H	-	48.40	18.60	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	C13-2-252	
177	58.65	29.70	15.15	19.3	H	-	132°	34.40	11.00	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	A39-2-d N
178	63.6	42.0	18.6	35.9	H	-	-	-	■	■	A29-1-b S
179	77.6	33.2	13.3	43.8	H	-	31.00	58.10	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	B21-522	
180	33.25	44.0	10.4	17.5	H	-	22.30	9.80	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	A41-5-d N	
181	52.3	43.6	18.1	28.5	H	-	128°	46.80	17.00	石核背面の山形の上部を加筆して裏切削片を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。左図の右側面の1面の打削面を削除する。	C14-1-400
182	60.7	43.0	17.2	50.0	H	-	-	-	■	■	A3-1-313

番号	法 量	長 さ	幅 厚さ	重 量	石 質	角 度	長 さ	幅 度	刻 畫		出土地点	
									左	右		
183	15.25	47.25	18.3	36.4	サヌカイト	118°	—	—	直角	直角	C17-2-a N	
184	73.5	47.5	20.3	51.9	石	—	41.70	22.35	直角	直角	A37-3-245	
185	50.1	31.2	18.2	16.5	石	113°	34.80	13.20	直角	直角	A36-5-506	
186	54.0	39.6	14.1	23.2	石	—	127°	24.40	11.50	直角	直角	B16-420
187	50.00	41.20	22.60	35.2	石	123°	43.00	24.25	直角	直角	A39-1-c N	
188	65.5	34.8	16.2	27.5	石	125°	45.30	18.40	直角	直角	B12-c S	
189	72.0	40.0	22.9	54.0	石	90°	—	—	直角	直角	A2-2-a N	
190	19.80	35.30	16.70	30.0	石	123°	49.25	18.00	直角	直角	A39-4-a N	
191	69.3	36.6	17.0	33.5	石	123°	35.50	23.00	直角	直角	C14-1-847	
192	54.1	27.3	16.4	17.5	石	105°	36.80	15.60	直角	直角	A34-2-531	
193	74.0	51.3	23.7	60.7	石	96°	33.60	15.85	直角	直角	A29-1-a S	
194	51.3	31.6	12.4	18.0	石	127°	—	—	直角	直角	A37-1-2382	
195	45.6	37.3	11.6	14.0	石	145°	38.20	15.00	直角	直角	A37-2-1959	
196	66.2	44.7	14.4	32.2	石	123°	—	—	直角	直角	A38-2-4265	
197	56.5	46.1	15.3	29.9	石	—	129°	29.00	直角	直角	A38-5-84	
198	60.4	35.5	13.6	22.4	石	—	138°	56.00	直角	直角	A25-1-b N	
199	88.5	31.7	18.2	35.0	石	—	94°	40.00	直角	直角	A38-1-2429	
200	55.7	53.3	16.8	32.6	石	—	51.20	16.20	直角	直角	A4-0-4-b N	
201	54.9	26.7	9.5	10.5	石	—	134°	29.40	元	直角	A2-1-567	
202	50.0	30.8	13.5	18.2	石	—	94°	33.65	元	直角	B16-703	
203	56.7	33.6	17.4	25.5	石	—	—	—	元	直角	C14-1-940	
204	57.4	32.0	13.4	18.6	石	—	142°	—	元	直角	A35-2-395	
205	48.7	28.3	13.6	14.3	石	—	35.40	6.40	上端一端	直角	A38-2-3945	
206	59.0	30.8	13.5	18.2	石	—	—	—	直角	直角	B10-828	
207	71.4	36.6	17.4	43.3	石	—	115°	53.10	17.45	直角	A37-3-615	
208	77.4	37.5	26.2	42.2	石	113°	—	—	直角	直角	この直角	

番号	法 量	幅 幅	厚 厚	重 量	石 質	剝離		剝離		出土地点
						角 度	長 さ	幅 幅	長 さ	
209	61.4	28.3	10.0	13.3	サヌカイト	133°	47' 09"	18.5	10.0	完形。薄い板状の半晶半晶。側縫には自然面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面。右図左半部に斜めの剝離面をもつ。A-35-1-1155
210	66.0	30.3	14.5	24.2	η	110°	35' 85"	15.00	10.0	上部剥離。右図左側は下端欠失。側縫には自然面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面。右図左半部に斜めの剝離面をもつ。B-6-87
211	80.5	50.4	21.5	56.2	η	—	75.80	48.65	13.40	完形。薄い板状の半晶半晶。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。A-14-1-b N
212	57.1	33.2	11.9	15.5	η	135°	43' 50"	13.25	10.0	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-35-3-1195
213	83.6	56.7	19.4	61.3	η	—	—	—	—	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-38-1-3616
214	56.5	31.4	15.9	21.4	η	—	40.05	16.20	10.0	側縫から剥離。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。C-16-1-1377
215	54.4	26.0	10.3	10.9	η	—	24.60	8.00	10.0	上部剥離。右図左側の表裏で交互剥離をもつ。右図右側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-38-2-1670
216	60.75	37.25	13.20	19.0	η	125°	37' 80	16.05	10.0	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-27-2-202
217	44.5	40.0	9.6	14.0	η	157°	—	—	—	側縫から剥離。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-38-2-3798
218	46.9	35.1	16.4	20.9	η	138°	—	—	—	左図左側の表裏で交互剥離をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-29-1-b N
219	50.75	32.05	12.75	21.5	η	—	—	—	—	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-39-2-245
220	58.7	35.2	14.6	27.8	η	—	—	—	—	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。B-12-9 N
221	60.7	43.1	19.45	38.0	η	136°	—	—	—	上部剥離。交互剥離をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-37-4-111
222	74.5	47.00	16.50	43.3	η	117°	56.35	27.40	10.0	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。B-17-d N
223	61.7	30.4	16.7	30.5	η	—	35.90	16.80	10.0	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。B-12-71
224	54.0	36.1	11.9	17.0	η	—	34.35	14.05	10.0	側縫下部剥離。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-37-1-634
225	72.1	56.4	14.8	58.2	η	—	—	—	—	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-34-2-768
226	69.1	44.5	16.9	42.8	η	142°	35' 60	22.80	10.0	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-37-2-3567
227	64.0	27.6	13.4	16.6	η	88°	—	—	—	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-33-1-610
228	63.3	53.3	13.4	41.5	η	142°	56.70	18.05	10.0	側縫一部欠失。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-37-1-668
229	62.5	28.7	14.0	24.2	η	122°	29.55	10.90	10.0	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。B-12-873
230	45.50	29.40	14.05	21.5	η	120°	30.10	16.15	10.0	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-38-2-3577
231	60.70	27.45	21.60	33.9	η	122°	57.25	18.10	10.0	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-39-1-d N
232	43.0	44.3	11.6	15.8	η	—	31.10	12.15	10.0	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。B-24-b S
233	67.9	32.4	21.8	32.7	η	—	40.75	21.06	10.0	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-42-4-c S
234	55.40	38.35	15.55	25.2	η	142°	—	—	—	左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。左図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。右図左側は直角の大きな剝離面をもつ。右図右側は左図右側の剝離面をもつ。A-40-4-b S

番号	法 盛	幅 厚さ	重 量	石 質	先 端 角 度	刻 離 或 者	長 さ 幅	解		
								出土地點		
235	67.6	28.9	12.1	31.6	サヌカイト	-	23.85-21.65	完形。右図左側に並列刻離を行なう。左図は線下部に調整痕が見られる。石核伝用の標識か。	B6+1136	
236	56.4	39.0	21.6	34.4	H	-	-	面を直面にして刻離している。山形の像を示す。	B9+388	
237	43.3	31.0	15.2	10.6	H	120°-25.60	24.00	機長刻片石核。先形。両面で1面ずつ交互刻離で削離。右図上半部端辺に小刻離痕が見られる。	A38+1-355	
238	58.9	24.5	15.9	16.1	H	94°	36.30	18.60	機長刻片石核。先形。線上を直面して前面で1面ずつ交互刻離を行なう。また、右図右側は擴大刻片の削離か。	A1+1-87
239	58.5	25.6	15.8	19.0	H	-	-	下端欠失。右図左側縁の表端で擴長刻片を削離する。左図下半部及び右図ではも機長刻片を削離か。	A31+1-279	
240	44.9	31.1	12.7	18.4	H	-	29.80	17.00	機長刻片石核。先形。両面で1面ずつ交互刻離。右図右側縁の端部の小刻離痕は削離への転用の跡跡か。	A37+1-3751
241	54.5	21.60	13.25	12.6	H	-	-	-	機長刻片石核。先形。底面・背面は平面子。貴状刻片の刻離度は石核の幅と同じで打抜き面の刻離面を加	A29+2-b N
242	56.05	19.95	20.90	18.9	H	120°	-	-	左図下半部は未端方向から一面ずつ交互刻離する。左図下端部は未端方向から一面ずつ交互刻離する。	A38+2-2044
243	49.3	32.8	13.0	18.7	H	116°	31.60	26.25	機長刻片石核。先形。両面で1面ずつ機長刻片を削離する。	A38+1-2799
244	62.0	34.7	19.7	27.8	H	-	51.00	28.80	右図の左側縁の表端から1面ずつ交互刻離で機長刻片を削離する。左図左側を底面とする貴状刻片石核の可	C16+1-620
245	77.2	40.8	31.0	59.6	H	-	-	-	機長刻片石核。先形。内厚な尖次形は。交叉刻離で、左図及び中央図から1面ずつ削離する。	A37+3-540
246	66.8	35.9	13.0	23.1	H	-	48-30	24.60	機長刻片石核。先形。両面から1面ずつ削離。右図左側は線上に加筆で削離。	A30+1-c N
247	71.8	33.1	19.8	35.7	H	-	44.85	18.90	機長刻片石核。先形。交叉刻離で両面から1面ずつ大きな機長刻片を削離する。	B12+137
248	93.9	47.2	19.3	77.6	H	-	66.80	17.75	下端部の削離痕に自然面が残る。左図右側の刻片には両面間に自然面	A39+5-c S
249	52.4	28.2	13.1	17.9	H	118°	-	-	機長刻片石核。先形。両面から1面ずつ削離。右図下端部に複数の刻離痕があり。	A2+2-336
250	66.0	24.0	22.8	26.4	H	-	37.65	14.40	機長刻片石核。先形。両面で1面ずつ交叉刻離を行う。	B10+653
251	73.95	42.90	25.45	43.3	H	-	38.30	29.10	機長刻片石核。上端部端縁が斜面には多数の打抜き跡がある。	A5+1-b N
252	65.7	33.6	21.3	31.6	H	-	38.50	14.00	機長刻片石核。上端部端縁。側縁の一部を残す。交叉刻離で表端から機長刻片を削離する。	A2+1-a N
253	71.2	42.1	22.4	54.3	H	-	49-30	21.20	機長刻片石核。先形。左図上端部に自然面を残す。両面で1面ずつ交叉刻離で機長刻片を削離する。	A37+2-2310
254	77.6	55.0	18.4	36.9	H	-	-	-	右図下端には機長刻片削離痕があるほか、両端下端部は機長刻片削離痕か。	A26+1-113
255	51.2	27.4	18.2	17.6	H	100°	28.65	18.70	機長刻片石核。側縁の一部欠失。交叉刻離で、左図は上半部に、中央図は下半部に、側縁を削離をする。	A35+2-170
256	49.4	34.1	15.1	21.1	H	70°	27.50	22.60	機長刻片石核。下端部から1面ずつ削離する。	A3+1-285
257	55.4	40.4	12.1	30.8	H	144°	51.35	33.70	機長刻片石核。左図右側の削離痕は、右図左側と同面1面ずつとの交叉刻離。左図左端は裏面下部	C20+1-407
258	47.4	29.2	12.4	9.1	H	133°	-	-	右図左側の削離痕は、右図右側の削離痕である。両面で1面ずつ交叉刻離で機長刻片を削離。片側縁に薄い	A40+4-a S
259	50.1	27.5	10.2	14.4	H	148°	33.05	12.80	機長刻片石核。上端に自然面を残す。左図左側にボリティップな端部が残されている。両面で1面ずつの削片を	A35+2-364
260	58.3	47.9	13.9	33.1	H	-	-	-	機長刻片石核。上端の一部を被離。右図の左側縁の削離面で、機長刻片を交叉刻離する。	B22+561

番号	法 式	幅 長さ	幅 厚さ	重量	石 質	角度	剝離 長さ	幅	概	
									剥離片	直角
表面剥離片石板。下部及び側面の一部破損。交互剥離で右回転の両面から1面ずつ剥離する。左回右側の剥離片を剥離する。右回左側の剥離片を剥離する。両面の角度と直角である。										
261	46.25	32.45	16.95	18.4	サヌカイト	-	38.65	18.50	表面剥離片石板。右回転の両面から1面ずつ剥離する。交互剥離で右回転の両面から1面ずつ剥離する。左回右側の剥離片を剥離する。両面の角度と直角である。	A33-2-265
262	59.7	37.6	20.7	41.1	H	103°	42.15	18.10	表面剥離片石板。右回転の両面から1面ずつ剥離する。交互剥離で右回転の両面から1面ずつ剥離する。左回右側の剥離片を剥離する。両面の角度と直角である。	A1-2-101
263	39.1	31.4	12.5	13.4	H	140°	36.70	18.35	表面剥離片石板。右回転の両面から1面ずつ剥離する。交互剥離で右回転の両面から1面ずつ剥離する。右回左側の剥離片を剥離する。両面の角度とも直角である。	A35-4-a b N
264	52.0	40.2	18.6	26.9	H	116°	31.00	18.60	表面剥離片石板。平行。交互剥離で両面から1面ずつ剥離片を剥離する。右回左側は端部への延用のための直角である。	B11-893
265	51.1	43.4	14.3	21.9	H	133°	-	-	交互剥離片石板。一方の面線の上半部に自然面を残す。交互剥離で両面から1面ずつ剥離する。	C13-1-794
266	46.3	33.6	13.3	18.5	H	114°	27.55	10.35	表面剥離片石板。完全。交互剥離で両面に1面ずつ剥離片を剥離する。交互剥離で両面から1面ずつ剥離片を剥離する。左回左側の剥離片を剥離する。さらにも、右回右側の剥離片を剥離する。	A25-2-80
267	46.8	39.3	18.5	21.9	H	112°	-	-	交互剥離片石板。完全。交互剥離で両面から1面ずつ剥離片を剥離する。右回左側の剥離片を剥離する。左回左側は端部への延用のための直角である。	A37-1-2665
268	67.0	35.4	24.4	36.4	H	121°	61.30	36.35	表面剥離片石板。完全。交互剥離で両面に1面ずつ剥離片を剥離する。右回左側は端部への延用のための直角である。	B10-200
269	60.6	64.2	13.4	43.4	H	123°	-	-	交互剥離片石板。完全。交互剥離で両面に1面ずつ剥離片を剥離する。左回右側の剥離片を利用。交互剥離で両面から1面ずつ剥離片を剥離する。	A36-2-1906
270	47.8	28.5	16.2	18.1	H	107°	-	-	表面剥離片石板。完全。交互剥離で両面に1面ずつ剥離片を剥離する。左回右側の剥離片を剥離する。左回左側の剥離片を剥離する。左回左側は端部への延用のための直角である。	A24-1-c N
271	40.6	31.2	16.0	14.6	H	103°	21.80	26.65	表面剥離片石板。完全。交互剥離で両面から1面ずつ剥離片を剥離する。左回左側は端部への延用のための直角である。	A39-2-1429
272	40.90	28.95	12.35	13.6	H	-	-	-	表面剥離片石板。完全。交互剥離で両面から1面ずつ剥離片を剥離する。左回右側の剥離片を剥離する。	A38-3-a S
273	59.6	31.7	11.7	16.5	H	119°	-	-	表面剥離片石板。完全。交互剥離で両面から1面ずつ剥離片を剥離する。左回右側の剥離片を剥離する。	A38-3-1033
274	55.5	32.2	18.2	23.1	H	-	-	-	表面剥離片石板。輪郭一部欠失。一方の面線の両面でそれぞれ複数の横長剥離片の剥離を行なう。	A39-2-1393
275	41.7	31.5	13.3	16.5	H	116°	32.75	11.95	表面剥離片石板。完全。右回の左側端部と上端部の両面から横長剥離片を剥離する。	A34-2-a N
276	63.0	31.6	25.1	30.5	H	110°	-	-	表面剥離片石板。完全。右回の左側端部の両面から、それぞれ2面の横長剥離片を剥離する。	A36-2-2134
277	54.1	44.1	15.2	33.3	H	-	27.00	21.45	表面剥離片石板。完全。右回左側で2面、左回右側で2面の横長剥離片を剥離する。	B4-548
278	60.0	36.8	12.5	29.8	H	-	-	-	表面剥離片石板。完全。片側線の両面で複数の横長剥離片を剥離する。	B19-255
279	64.6	43.8	18.2	34.2	H	-	53.00	42.35	表面剥離片石板。完全。下端部に自然面を残す。左回左側に2面の横長剥離片を残す。	A5-1-96
280	76.7	37.6	22.9	58.7	H	-	50.60	23.00	表面剥離片石板。完全。右回右側の両面で5面の横長剥離片を残す。	A30-1-a S
281	75.0	34.4	16.2	39.1	H	-	40.35	13.30	表面剥離片石板。完全。右回左側の両面から2面ずつの横長剥離片を並列して剥離する。	A36-2-40
282	81.0	34.8	20.6	54.6	H	-	54.30	21.85	表面剥離片石板。完全。右回右側の両面から横長剥離片を剥離する。	A36-1-2138
283	57.6	35.0	17.3	20.2	H	110°	32.75	15.75	表面剥離片石板。完全。右回転の両面で交互剥離し、複数の横長剥離片を剥離する。	A1-1-c N
284	48.7	25.2	17.4	14.5	H	-	-	-	表面剥離片石板。完全。右回転の両面で横長剥離片を持つ。右回転に際しては過去の剥離面のなまけ音を加す。	A42-4-a S
285	53.0	31.2	15.8	20.4	H	-	32.80	14.90	表面剥離片石板。完全。両面線の両面5ヶ所から複数剥離片を剥離する。剥離に際しては過去の剥離面を加す。	A35-2-262
286	93.3	43.0	18.3	43.0	H	-	26.20	17.45	表面剥離片石板。上面波状。左回下部の小刻印は右回の刻印と対応する打面側面か。	A38-5-130

番号	法 量	幅	厚さ	體積	石 質	刺繡 角度	刺繡 長さ	幅	解		出土地点
									刺繡片	刺繡片	
287	53.6	45.4	25.9	57.7	サヌカイト	-	39.5 50.5 52.5 53.5	18.55	刺繡片が石板。完形。両側の両面で模様刺繡片を刺繡する。また、片側刺繡片より小さめ。	A-28-2-78	
288	50.7	33.3	15.0	21.6	B	-	40.6 45.0 50.0	15.20	模様刺繡片。片側縫合部で模様の刺繡を行う。右図左側の刺繡は後上加筆。	A-38-4-199	
289	52.8	36.3	11.7	22.1	B	-	-	-	模様刺繡片。下部破損。両側縫合から模様刺繡片を刺繡する。	A-35-2-469	
290	47.6	36.9	17.6	20.4	B	130°	-	-	模様刺繡片。下部破損。裏面にわざつて刺繡に「面」が2つの模様刺繡片を刺繡する。右図左側の刺繡は身上。	A-35-2-884	
291	61.5	27.20	9.45	12.9	B	138°	-	-	模様刺繡片。下部破損。片側縫合部に複数の刺繡痕を持つ。反対側の両面にC-18-1-a N		
292	56.1	41.9	17.8	36.5	B	125°	41.20 15.90	15.90	模様刺繡片。片側縫合部の両面に2面ずつ模様刺繡片を刺繡する。右図左側中央部の刺繡がA-24-2-211	A-24-2-211	
293	70.5	36.7	22.6	48.4	B	-	-	-	模様刺繡片。下部破損。奥の板状素材を用いる。片側縫合部の両面に複数の刺繡痕を施す。	A-38-2-169	
294	67.2	33.6	14.0	27.9	B	138°	35.40 40.12 75.15	12.75	模様刺繡片。下部破損。片側縫合部の両面に4面の刺繡痕が見られる。反対側縫合部の下部に調整が施されてB-38-1133		
295	63.0	30.95	12.50	32.8	B	-	-	-	模様刺繡片。下部に自然面を残す。左図にも自然面が付いているが、中央突起を打痕調整とすると複数片石板のA-38-2-3226		
296	76.4	30.0	16.6	38.3	B	-	44.40 21.25	21.25	模様刺繡片。片側縫合部の交差互換が最終的に完成する。左図の刺繡より右図の刺繡が新しく、両面どもB-7-629		
297	67.6	45.1	11.1	27.5	B	-	44.25 19.10	19.10	模様刺繡片。片側縫合部の交差互換が最終的に完成する。左図の刺繡よりも右図の刺繡が新しく。	A-2-2-c N	
298	55.6	22.4	15.8	21.9	B	-	-	-	模様刺繡片。左図の大半は自然面。右図に1面、左図に2面の模様刺繡片を刺繡する。打痕調整は丁寧。	A-3-1-220	
299	56.6	23.8	14.4	16.5	B	-	38.85 14.45	14.45	模様刺繡片。下部破損。左図の刺繡より右図の刺繡が新しく。	A-38-2-2548	
300	49.15	36.70	17.90	22.3	B	119°	-	-	模様刺繡片。上部破損。両側縫合から模様刺繡片を刺繡。4面の刺繡痕を持つ。		
301	37.6	30.5	17.9	22.2	B	102°	-	-	模様刺繡片。下部破損。両側縫合から小形の刺繡痕を刺繡する。	B-16-103	
302	56.7	32.4	14.6	16.1	B	124°	-	-	模様刺繡片。上部破損。両側縫合の両面に5面の模様刺繡片を刺繡する。後上を加筆した刺繡は認められない。	A-38-2-4417	
303	55.5	41.8	25.9	45.4	B	-	-	-	模様刺繡片。下部破損。右図右側面に自然面を付す。両側の素材を利用。右図左側と左図上部に大きな刺繡 C-14-1-949		
304	48.9	48.7	14.2	21.8	B	-	-	-	模様刺繡片。左側縫合部で自然面を刺繡する。左図右側縫合部で自然面を刺繡する。上部の片縫合 A-37-1-1938		
305	71.5	40.9	17.2	37.7	B	-	-	-	模様刺繡片。右側縫合部で自然面を刺繡する。左側縫合部で平坦面を打痕として刺繡している。	A-18-1-b S	
306	77.3	31.9	21.6	36.8	B	110°	-	-	模様刺繡片。右側縫合部の一部欠け。右側縫合部に自然面を付す。右側縫合部に自然面を刺繡する。右図左側の両面から複数の模様長絹片を刺繡する。A-37-1-2994		
307	68.0	37.0	12.5	30.2	B	-	-	-	模様刺繡片。右側縫合部で自然面を刺繡する。左側縫合部で自然面を刺繡する。左図左側では半周面 A-23-2-85		
308	166.3	70.9	32.4	39.0	B	-	44.26 24.60 43.15 18.55	18.55	左図の左側縫合部の刺繡片を刺繡する。右図の左側縫合部の刺繡片を刺繡する。表面の裏面に付する打痕調整の可能性がある。中 A-3-1-70		
309	52.5	32.0	21.0	22.4	B	-	-	-	模様刺繡片。完形。左図上面を除き、左図下面を刺繡する。左図左側縫合と下部の3面から長絹片を刺繡する。右図右側縫合でも平坦面 A-36-2-1858		
310	59.0	36.6	12.2	22.2	B	-	-	-	模様刺繡片。完形。左図上面を除き、左図下面を刺繡する。右図右側縫合でも平坦面 A-37-1-2275		
311	62.1	33.2	19.3	28.1	B	-	-	-	模様刺繡片。完形。両側縫合の両面から長絹片を刺繡する。 A-30-2-a S		
312	42.7	30.8	11.5	9.4	B	133°	41.06 12.75	12.75	左図左側縫合では半周面を打痕として刺繡する。右図上面には縫邊に調整を施す。右図左側縫合に適用。 A-39-3-245		

番号	法 量	幅 さ	厚 さ	重 量	石 質	刺 鉄 片	刺 鉄 片 角 度	刺 鉄 片 長 さ	幅	規			出土地点		
										規	規	規			
313	51.0	33.7	11.8	15.9	サスカイト	139	43.65	16.75	75	標準刺鉄片石核。完形。右回左側縁と下縁の両面で標準刺鉄片を刺繕する。				A.2-1777	
314	60.1	40.5	12.2	28.3	B	-	46.50	16.15	80	標準刺鉄片石核。完形。右回左側縁と下縁の両面から、それぞれ1面ずつの標準刺鉄片を刺繕する。				B.3-1083	
315	43.1	43.9	13.3	24.0	B	-	33.25	12.80	75	側縁の一部欠失。右回の左辺の両面から標準刺鉄片を刺繕するが、左回右辺の刺繕面は小さい。右回下部には尖端部から絞り落ちる。				A.39-3-432	
316	53.0	30.25	12.90	17.3	B	-	133°	-	-	標準刺鉄片石核。完形。側縁及び下縁で複数の標準刺鉄片を刺繕する。				A.38-2-3081	
317	65.0	36.20	20.05	34.2	B	-	120°	-	-	標準刺鉄片石核。側縁の一部欠失。上端に自然面を残す。片側縁の両面上面に1面ずつ刺繕が施されている。右回右側縁の刺繕面				A.39-2-d S	
318	63.8	36.5	17.6	38.1	B	-	130°	33.80	18.85	75	標準刺鉄片石核。左側縁と下半部には平坦面を留め、左側縁と右側縁との間に1面ずつの刺繕面を持つ。また、左回左下半部には平坦面を留めして刺繕する。				A.37-2-2481
319	59.6	31.0	18.6	21.3	B	-	136°	47.40	18.95	80	標準刺鉄片石核。左側縁と下半部には平坦面を留め、左側縁と右側縁との間に1面ずつの刺繕面を持つ。右側縁の両面上面に1面ずつ刺繕が施される。				B.10-386
320	66.3	38.3	29.0	59.8	B	-	95°	-	-	標準刺鉄片石核。左側縁と下半部には平坦面を留め、左側縁と右側縁との間に1面ずつの刺繕面を持つ。右側縁の両面上面に1面ずつ刺繕が施される。				B.17-b N	
321	44.0	35.8	15.6	15.6	B	-	115°	32.25	19.90	80	標準刺鉄片石核。下部表面は平坦面。片側縁に反芻刺繕を行なう。左回左側縁と右側縁を用いた小判形が見ら				A.26-1-236
322	40.2	41.8	12.8	15.4	B	-	-	-	-	標準刺鉄片石核。右回左側縁では両面から1面ずつの刺繕面を刺繕する。左回左側縁では平坦面を留めして刺繕する。				A.37-1-3508	
323	46.4	29.2	12.2	12.8	B	-	97°	-	-	標準刺鉄片石核。右回左側縁では両面から1面ずつの刺繕面を刺繕する。右回左側縁では自然面を残す。				A.32-1-363	
324	58.90	40.65	15.00	33.1	B	-	120°	33.30	12.35	80	標準刺鉄片石核。左側縁の両面から標準刺鉄片を刺繕する。左回左側縁の両面から標準刺鉄片を刺繕する。左回左側縁の両面から標準刺鉄片を刺繕する。左回左側縁の両面から標準刺鉄片を刺繕する。				B.14-c N
325	58.95	37.10	20.45	34.1	B	-	117°	34.25	19.00	80	側縁の両面から標準刺鉄片を刺繕する。左回左上部の刺繕面は細かいので、打面鑿痕の可能性がある。				B.18-d S
326	36.8	33.3	13.8	21.0	B	-	126°	-	-	標準刺鉄片石核。左側縁の両面で交互引縫を行なう。さらに、右回左側縁の両面で交互引縫を行なう。				A.35-3-a S	
327	64.5	68.60	26.85	15.40	B	-	120°	55.40	43.35	75	標準刺鉄片石核。左側縁の両面は自然面。右回左下半部は自然面。右回左上部は自然面。左回左側縁と右回左側縁の両面から標準刺鉄片を行い、左回左側縁でも標準刺鉄片を刺繕する。				A.32-1-557
328	53.2	29.1	16.8	17.2	B	-	32.05	24.65	-	標準刺鉄片石核。完形。両側縁部を加刷して標準刺鉄片を刺繕する。左回右上部には他のかな刺繕が施されている。A.40-5-c N					
329	60.1	24.8	24.1	-	B	-	32.80	16.75	-	標準刺鉄片石核。完形。右回右側縁の両面で交互引縫を並立てて施す。左回右側縁の両面で標準刺鉄片を刺繕する。				A.24-2-93	
330	81.6	43.9	26.2	85.1	B	-	108°	-	-	標準刺鉄片石核。完形。右回右側縁の両面で交互引縫を並立てて施す。左回右側縁の両面で標準刺鉄片を刺繕する。				B.3-491	
331	55.85	34.30	17.90	24.6	B	-	107°	38.45	18.90	90	標準刺鉄片石核。完形。両側縁及び下縁の両面から標準刺鉄片を刺繕する。				A.8-1-c N
332	53.4	35.9	14.2	16.6	B	-	115°	29.65	16.75	75	標準刺鉄片石核。完形。右回右側縁の両面で交互引縫を行なうほか、右回右側縁の下縁や下端からも刺繕を刺繕する。				A.38-1-493
333	54.0	26.8	13.1	17.2	B	-	-	-	-	光面。左回左下半部には自然面を残す。右回右側縁の両面から2面ずつの標準刺鉄片を刺繕すると共に、右回左側縁の両面から1面ずつ刺繕している。				A.36-5-202	
334	66.8	34.3	20.9	40.3	B	-	-	-	-	標準刺鉄片石核。完形。両面から複数の標準刺鉄片を刺繕する。				A.3-5-512	
335	45.8	35.0	13.0	13.0	B	-	112°	-	-	標準刺鉄片石核。完形。前面にわだつて周囲から標準刺鉄片を刺繕する。				A.6-1-443	
336	41.4	30.8	20.1	19.0	B	-	-	-	-	標準刺鉄片石核。完形。前面にわだつて周囲から標準刺鉄片を刺繕する。				A.38-1-493	
337	40.6	44.4	17.2	19.2	B	-	127°	38.80	15.90	75	標準刺鉄片石核。完形。両面に不定方向から複数の標準刺鉄片を刺繕する。				B.2-604
338	45.2	33.9	19.4	26.0	B	-	36.10	13.40	-	標準刺鉄片石核。完形。両面に不定方向から複数の標準刺鉄片を刺繕する。				A.35-2-a N	

番号	法 基	幅	厚さ	面積	石 質	結織 角度	刻 縫 強 度		測 定 點	出土地點
							長さ mm	幅 mm		
339	53.0	45.7	21.0	40.4	サヌカイト	-	-	-	左図は、上端・右側縫・夾縫の3方向からの剥離度 が最も強く、右端は自然面を残す。左図には、上端・右側縫・夾縫の3方向からの剥離度 が最も弱く、左端は自然面を残す。	A6-1-371
340	40.7	25.8	13.9	9.8	II	-	-	-	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A35-5-310
341	54.3	33.0	15.8	16.1	II	-	125°	34.20-28.70	左図は下部から施す。左図は、右端から剥離度が最も弱く、左端は自然面を残す。	A7-1-21
342	61.4	42.7	22.0	37.2	II	-	126°	40.60-26.30	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A39-1-151
343	53.4	32.8	27.3	31.0	II	-	-	-	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A39-3-708
344	59.1	33.0	19.8	27.2	II	-	38.00	22.15	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A35-1-334
345	54.0	36.6	21.5	31.0	II	-	-	-	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A26-1-203
346	52.9	31.4	13.8	23.4	II	-	119°	37.45-13.65	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A38-1-377
347	57.7	36.2	20.5	26.8	II	-	146°	37.35-20.60	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A38-1-3617
348	42.8	50.0	17.8	27.1	II	-	-	-	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A37-3-580
349	54.0	40.9	15.0	18.8	II	-	-	-	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A23-1-b N
350	57.1	39.3	13.3	21.0	II	-	126°	38.40-12.50	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A40-2 c N
351	61.7	43.8	17.9	37.5	II	-	-	-	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A23-1-d N
352	56.30	29.10	14.45	17.8	II	-	121°	34.95-15.15	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A23-1-b N
353	55.4	36.1	18.6	21.2	II	-	115°	37.10-19.85	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A35-4-833
354	46.20	36.80	9.80	12.7	II	-	138°	-	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A38-2-904
355	51.4	42.6	15.9	22.8	II	-	33.65	11.45	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A39-3-1107
356	43.4	34.3	13.7	17.5	II	-	-	-	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A21-1-74
357	62.0	40.4	16.2	33.3	II	-	28.35	17.25	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	B25-120
358	62.2	43.1	14.5	31.7	II	-	119°	37.05-25.20	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A45-3-925
359	69.3	25.3	26.3	37.0	II	-	114°	57.70-24.65	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A44-2-798
360	69.6	36.8	31.0	64.1	II	-	91°	-	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	B1-321
361	66.6	54.7	17.5	45.4	II	-	103°	28.00-17.10	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A37-2-2234
362	51.05	38.65	14.05	21.7	II	-	136°	-	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	C20-1-a S
363	41.2	33.5	12.7	15.6	II	-	22.00	32.65	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A24-2-142
364	36.8	20.6	12.6	9.9	II	-	127°	31.80-12.65	左図は、左端から剥離度が最も弱く、右端は自然面を残す。	A38-1-3479

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	角 度	剝離 面		剝 離 角	出土地点	
							長 さ	幅			
365	53.5	29.2	18.9	18.4	サヌカイト	-	30.55	22.00	完形。機長剝片石板。左図及び中央図下部から機長剝片を剥離する。	B9-392	
366	52.8	46.6	14.9	39.5	石	-	30.10	14.45	機長剝片石板。左図下端に集中して自然面を残す。右図右側の剝離は共に平坦面を加離す。右図右側の剝離は共に平坦面を加離す。	B18-470	
367	60.0	46.7	11.5	19.6	石	131°	-	27.12	12.20	完形。右図左側面にはボディア的な打痕がある。	C18-1-625
368	51.4	42.1	12.2	26.9	石	-	37.75	16.85	完形。右図左側面の剝離面は共に平坦面を加離して剝離する。右図右側面には微小な調整が原層に施されている。	A35-4-a S	
369	50.5	33.8	15.6	20.2	石	-	125°	22.40	12.20	機長剝片石板。先形。下部に自然面を残す。右図左側の剝離面は平坦面を加離して剝離する。	A35-5-94
370	67.8	58.8	15.4	40.0	石	-	33.25	22.00	機長剝片石板。下部に自然面を残す。左図右側面を加離して剝離する。左図左上部に自然面を残す。	A32-2-343	
371	62.6	34.3	22.9	36.9	石	-	38.00	19.80	機長剝片石板。左側面が残る。左側面を加離して剝離する。右図の右側と中央左側の左削上部に自然面を残す。	A39-1-269	
372	37.8	31.7	14.1	10.6	石	-	27.70	17.40	機長剝片石板。右側面が残る。右図右側面には使用車と誤わ	A31-1-203	
373	56.0	32.5	16.7	24.8	石	-	125°	-	-	B21-2306	
374	77.8	43.6	22.4	72.2	石	115°	-	-	完形。片側側面に自然面を残す。右図の平坦面を加離して機長剝片を剥離する。	A36-2-1889	
375	49.0	39.4	12.0	18.8	石	-	123°	24.60	12.40	機長剝片石板。先形。片側側面が残る。左側面を加離する。右図の側面はボディア。	A34-2-78
376	48.7	39.8	26.6	29.5	石	121°	-	-	機長剝片石板。先形。右側の左削剝離面にはボディア的な打痕を残す。剝離片の主要剝離面を打面を加離して	A38-5-30	
377	45.50	37.40	13.20	23.8	石	-	30.85	13.25	機長剝片石板。先形。左図右側の機長剝片は裏面の平坦面を加離して剝離する。	A22-2-a S	
378	56.5	40.4	14.0	21.7	石	-	-	-	機長剝片石板。先形。左側側面にはボディア的な打痕が残る。このボディアな剝離面を加離し、	A21-1-415	
379	54.2	45.0	17.0	30.9	石	-	32.90	16.60	機長剝片石板。左側側面を加離して左図上部の機長剝片を剥離。右図左側とその裏面で交互剥離。	B16-721	
380	76.5	58.1	33.1	118.7	石	-	-	-	機長剝片石板。先形。肉厚の裏面を用いる。左図右上部に大きく自然面を残す左図の一部と右図の全側が	A37-1-2176	
381	53.4	48.5	15.5	20.9	石	-	123°	39.00	16.65	機長剝片石板。片側側面欠失。左図下部に自然面を残す。右図左右の側面を加離して剝離片を加離する。	B5-375
382	59.0	42.65	20.00	35.0	石	-	129°	45.25	21.30	機長剝片石板。片側側面欠失。右図下半部に自然面を残す。右図右側面に細かい調整が見られる。右図右側の裏面が	A42-3-d S
383	53.8	41.6	15.2	26.4	石	-	32.00	28.60	機長剝片石板。下部破損。右図左側の裏面は後付歪を加離して機長剝片を得る。	A38-4-c N	
384	53.0	29.7	13.5	11.3	石	129°	-	-	上部破損。側縁一部欠失。右図左側の裏面は平裏面を加離。	B24-b S	
385	61.5	37.2	15.8	27.3	石	-	121°	44.25	16.90	機長剝片石板。下部破損。右図の平裏面を裏面に向て側縁から機長剝片を剥離する。	A37-2-449
386	29.4	33.8	12.2	11.4	石	-	32.30	21.00	機長剝片石板。右図左側の裏面は後付歪を加離。右図右側面に細かい調整が見られる。右図右側の裏面が	B19-723	
387	42.6	32.0	13.7	15.6	石	-	-	-	機長剝片石板。右図左側の裏面は後付歪を加離して機長剝片を得る。	B17-273	
388	65.4	40.7	22.5	36.5	寒磧質安山岩	-	36.20	11.45	板状の自然面を用いる。片側側面で裏面を剥離する。裏面の裏面を剥離する。	A28-2-b N	
389	57.5	32.9	20.6	27.0	石	-	35.00	22.50	完形。両面が1面ずつの剝離面を残す。先端部に小調整を施す。裏面の機能を持つ。	A2-2-a N	
390	45.0	35.6	20.4	30.5	石	115°	23.95	20.80	機長剝片石板。完形。左図中央部に自然面を残す。不定方向から両面にわたって機長剝片を剥離する。	A34-2-780	

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	角度	剝離 板 幅	剥 離	剥 離	出土地点
391	43.7	33.6 <sup>mm</sup>	19.4	29.5 <sup>kg</sup>	安山岩	—	—	—	A2-1-4
392	46.3	25.9	12.7	15.9	"	—	—	—	A21-1-163
393	46.5	45.8	19.1	37.5	"	—	—	—	A35-2-1278
394	76.4	47.8	18.7	49.5	泥 岩	—	—	—	B12-337
395	64.9	25.4	15.1	27.8	"	—	—	—	A2-1-656
396	85.1	29.6	30.4	71.3	"	—	—	—	B10-611 B10-542
397	47.90	25.45	17.75	14.1	"	125°	—	—	A42-5-404
398	67.20	60.55	25.35	11.0	サヌカイト	—	—	—	B1-454
399	33.25	23.45	19.60	17.7	チ ヤー ト	—	—	—	B4-7

剥離板の面には細かい削離跡を残す。

左側面から剥離板及び長剝片を剥離する。剥離面には細かい削離跡を残す。

左側面から自然面を残す。周囲に自然面を残す。片剝離の両面に剝離の跡を残す。

左側面から自然面を残す。周囲から剥離板・長剝片を剥離する。

左側面は作業面から剥離。打面面積は細い。直状剥片の剥離は打面面積を加

算する。直状剥片の上部には細かい。直状剥片の下部には複数の小剝離板が

見える。直状剥片の上部から自然面が残る。

直状剥片の上部には細かい。直状剥片の下部には複数の小剝離板が

見える。直状剥片の上部から自然面が残る。

第58表 翼状剥片観察表

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	角膜	剝離	側	出土地点
1	45.60	14.45	5.55	13.4	サヌカイト	130°	上面部後端。表面に打点を持つファーストフレイク。打面調整は細く2面。面部は外壁。打面部はほぼ直線状を呈する。	A37・4・b S
2	30.45	21.15	7.25	6.3	II	-	上・下面部共に平行。表面は扁平な四角形。背面に複数の小切痕を持つ。	A35・2・c N
3	61.80	15.45	13.35	18.2	II	134°	平行。上・下端が尖る。底面は分厚い四角形。 外側。表面は部分的に削除。下端は鋭くなり尖る。底面は円アーチフレイク。打面調整は打面全体に一面上に施す。面部、打面部共に直線状。	A41・3・247
4	37.35	23.50	4.85	5.1	II	121°	平行。上・下端が尖る。底面は円アーチフレイク。打面調整は上端部と下端に施し、中央部附近は自然面を保つ。	A37・3・b S
5	63.40	17.70	6.50	8.4	II	111°	平行。刃部はやるく外側に傾く。底面は円アーチフレイク。打面調整は打面全体に底面から施す。面部上半部は自然面。	A38・5・16
6	71.15	25.40	8.60	20.8	II	133°	平行。上端は自然面を残す。底面は円アーチフレイク。刃部は自然面を残すが、刃部は外壁。	A37・2・1388
7	45.95	20.60	4.80	3.9	II	127°	平行。下端部を欠失するが、刃部は自然面を残す。面部は外壁。面部は直線状。	A37・2・b N
8	51.15	17.40	5.60	6.4	II	124°	平行。刃部は外側に傾く。底面は円アーチフレイクと想われる。底面下部は折損か。面部は直線状。	A38・1・5067
9	51.40	25.25	6.65	9.4	II	92°	上端部及び下端の一部削除。刃部は直線状。打面部は山形を呈する。面部は山形。	B18・115
10	45.30	21.00	6.15	8.8	II	-	上端部削除。刃部は直線状。打面調整は底く3面。上端部は直線状で打面調整を施さない。断面は扁平四角形。	C8・2・106
11	42.50	16.35	8.55	7.1	II	-	平行。打面調整は上端部に剝離痕と底面を各1面ずつ持つ。面部は外壁。断面は四角形。	A24・1・d S
12	33.85	20.90	7.65	5.9	II	108°	平行。面部にまだタイプAな焼長の剥離痕を2面持つ。下端の剥離痕は下端方向からの剥離。	A72・c S
13	34.30	8.25	5.25	3.1	II	112°	平行。面部は自然面を残す。刃部は直線状。	A39・2・c S
14	36.90	12.95	4.95	3.2	II	-	平行。底部は3面の剥離痕からなり、いずれも刃部側からなる剥離。	A22・1・a S
15	30.25	13.80	4.35	2.1	II	112°	平行。刃部が尖る。細部は扁平四角形。打面調整は下端部が細かい。断面は四角形。	A40・2・538
16	35.45	11.55	3.40	1.9	II	91°	平行。上端が尖る。下端は尖らない。細部は扁平四角形。打面調整は上端部から下端にかけて施す。面部はやるやかに外側する。	B17・d N
17	38.70	15.90	4.15	3.0	II	124°	平行。刃部が尖る。面部は直線状。面部は底面と対面剥片剥離痕を1面ずつ持つ。面部は平行四辺形。	A40・2・25
18	36.70	11.05	4.15	1.5	II	124°	平行。刃部が尖る。面部は直線状。面部は底面と対面剥片剥離痕を1面ずつ持つ。面部は平行四辺形。	B8・100
19	41.50	15.60	4.65	3.2	II	121°	下端部削除。打面調整は上部に施す。断面は平行四辺形。	A38・3
20	36.10	18.20	4.60	4.3	II	-	上端部は尖る。下端部削除。打面調整は中央部は底く1面ずつ持つ。面部は外壁。打面部は斜面状。	A37・4・319
21	43.85	19.80	7.55	6.6	II	-	やるやく外側。面部は直線状。面部は底面と対面剥片剥離痕を1面ずつ持つ。面部は底面から施さない。	A38・2・385
22	42.60	16.60	5.55	5.7	II	-	平行。打面調整は打面全体に施す。底面は直線状の剥離痕と底面を1面ずつ持つ。面部は外壁。	A40・3・530
23	48.90	17.35	4.85	3.8	II	115°	平行。刃部を底から1次元。背面には対面剥片の剥離痕と底面を1面ずつ持つ。面部は外壁。面部は直線状。	A40・3・788
24	54.55	25.30	7.15	10.1	II	-	平行。刃部を底から1次元。面部は直線状。	A36・4・1441
25	51.25	21.70	6.85	9.1	II	119°	平行。刃部を底から1次元。面部は直線状。	B9・181
26	49.25	21.20	5.40	6.1	II	-	平行。刃部を底から1次元。面部は直線状。	A37・1・3288

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石	質	鉱種	断面		出土地點
								縦	横	
27	59.60	20.55	4.95	7.5	サスカイト	イト	126°	上端破壊。底面は上部全体に丁寧に施す。断面は扁平な四角形。	A37-2-2502	
28	66.85	28.40	6.65	15.5	B		-	円錐形で尖る。刃部は山形を呈す。主要部斜面の下端には刃点は山形の頂上に残る。打面調整は全体に施されるが、下半部が細かい。B22-c N		
29	62.80	23.55	11.80	16.1	B		111°	一方部は外側。刃部は山形を呈す。打面調整は打面全体に丁寧に施す。主翼斜面の下端側に底面側から的小剣鋸痕を2箇所持つ。A37-1-3726		
30	66.60	19.00	8.75	8.8	B		117°	上端破壊。下端は薄くなり尖る。底面は下端附近で削減。打面調整は全面上に丁寧に施す。断面は四角形。	A8-2-a N	
31	60.75	23.25	8.40	9.2	B		109°	刃部は山形を呈す。打面調整は打面全体に施すが、下半部は上半部より細かい。刃点は山形の頂上にある。刃部はやるい外側。A40-2-d S		
32	47.45	18.35	5.75	5.8	B		111°	上端破壊。下端は自然形を呈す。下端をいかで削減。打面調整は全体に細かく施す。刃部はほほぞぎ跡。打面部は山形を呈する。A35-3-1066		
33	50.75	19.10	7.70	6.7	B		-	刃部は下端側に細かい。打面調整は打面全体に施す。背面の下部に刃ガナイフな剣鋸痕の下部に古い剣鋸痕。	A35-2-c N	
34	53.00	24.00	8.65	7.9	B		90°	刃部を極端に尖らせる。底面は下半部に施す。刃部はやるやかに外側。打面側面は山形。断面は四角形。	A36-1-2230	
35	52.25	15.55	5.60	5.0	B		122°	上端は鋸く尖る。下端破壊。打面調整は下半部に施す。刃部はやるやかに下端に施す。背面の下部にネガナイフな剣鋸痕。	A37-2-3171	
36	49.75	15.85	5.70	5.0	B		133°	刃部。上端は鋸く尖る。底面は下部付近で削減。打面調整は全面上で施す。背面の下部に古い剣鋸痕。	A37-4-757	
37	61.00	18.60	6.35	14.1	B		123°	上端は鋸く尖る。下端は細い。打面側面は打面全体に施す。背面下部には石様の削痕を有す。刃部は平行四辺形。	A36-2-1012	
38	69.25	28.50	6.15	18.9	B		134°	上端は刃部及び刃部を細く削減。背面には真状斜片の剣鋸痕と底面を1箇所持つ。打面調整は全面上で施す。断面は平行四辺形。	A25-2-200	
39	41.75	19.25	9.90	8.5	B		-	上端は鋸く細い。刃部は山形を呈す。「下端は厚く刃部はゆる」。刃部は山形を呈す。打面調整は打面全体に施す。背面には複数のネガナイフな剣鋸痕を有す。底面は2面よりA2-2-b S	A36-2-3551	
40	36.15	15.30	5.25	4.1	B		126°	刃部。上端は鋸く尖らせる。横長斜片持つ。		
41	43.00	26.00	5.95	6.0	B		107°	上端部は山形を呈す。刃部は四角形。	A32-b N	
42	49.95	18.45	6.65	8.1	B		-	上端は鋸く細い。刃部は山形を呈す。真状斜片の上半部が削減され、刃部は直線状である。打面側面は粗い。刃部は直線状である。A27-2-b N		
43	49.85	25.25	5.45	8.5	B		-	上端は鋸く細い。刃部は山形を呈す。刃部は山形を呈す。背面下部には、上面の真状斜片持つ。	A40-2-c N	
44	50.00	19.30	7.30	8.5	B		-	刃部。上端部は自然形が残る。	A39-4-d S	
45	44.80	15.75	5.35	3.1	B		109°	上端は鋸く尖る。刃部を極めに尖らせる。底面は上端部に小さく残る。打面調整は打面全体に丁寧に施す。	A37-3-912	
46	51.55	16.40	5.80	5.2	B		-	一前部を極めに尖らせる。底面は下部ほど細くなる。上端部の打面調整は細かい。刃部は直線状である。打面側面は粗い。A18-1-d N		
47	55.45	23.15	7.25	15.5	B		103°	下端部の一端破壊。打面調整は粗い。背面と半部に小剣鋸痕が認められる。	A35-4-283	
48	55.35	23.20	10.65	13.5	B		137°	下端及び打面の一部欠失。下端部に自然面を残す。粗い打面調整を施す。断面は四角形。	A26-1-242	
49	62.55	18.00	11.70	14.5	B		110°	完形。上端は尖る。下端は最も大きな剣鋸痕。打面調整は粗い。刃部は直線状である。打面側面は粗い。A35-3-81		
50	42.75	15.75	7.65	5.9	B		-	完形。底面は2面よりもなる。打面調整は打面全体に細かく施す。斜面下部には正面方向からの剣鋸痕が2箇所持つ。	A24-2-a S	
51	62.05	17.30	5.20	7.0	B		-	完形。上端は尖る。打面調整は粗い。刃部は直線状である。断面は平行四辺形。	B6-732	
52	60.45	25.65	11.80	18.9	B		98°	完形。上端部は内厚。下半部は薄い。上端に自然面を残す。底面は2面よりもなり。下半部は刃部から刀身側面が細かくA36-4-542		

番号	法 基	長さ 幅	厚さ 高さ	重量 石 量	質 材	剝離 角度	観		解	出土地点
							左	右		
53	44.60	23.95	7.35	9.1	サヌカイト	-	完形。上端に自然面を残す。打面剥離は全体に施す。刃部は直線状を呈する。断面は四角形。		A23-1-d N	
54	51.20	19.95	4.15	4.4	B	-	完形。剥離が尖る。打面は傾斜で上端と自然面を残す。断面は薄い四角形。		A31-1-d N	
55	50.45	16.45	6.45	4.6	B	101°	上端は尖る。打面部を僅かに欠失。上端には打面剥離面を施さない。質状剥片の剥離底の上部に工作面よりは古い剥離底を残す。	A7-1-a S		
56	49.60	20.65	5.25	8.5	B	130°	完形。剥離は尖る。質状剥片の剥離底の下部に複数のネガティブな剥離痕を残す。	A23-1-b S		
57	53.10	18.85	7.40	7.9	B	-	完形。打面剥離は全体に施す。打面部は山形を呈する。断面は四角形。	A23-2-a N		
58	54.35	19.50	7.65	7.9	B	-	完形。剥離が尖る。底面は山形を呈する。断面は四角形。	A35-1-339		
59	54.00	25.95	6.40	8.1	B	-	完形。底面下端部は上端と下端に施さない。背面下端部には下端方向からの剥離痕が残る。	A37-2-2598		
60	62.80	19.00	8.60	9.0	B	137°	完形。下端が尖る。底面は中央下部より削減。打面剥離は打面全体に施すが、中央部の剥離は細い。	A40-4-140		
61	46.90	19.00	7.70	6.2	B	-	完形。打面剥離は打面全体に施す。底面は鋸刃に細く集められて削減。刃部はあるく外側に施す。断面は四角形。	A23-1-c S		
62	62.80	21.60	7.50	11.9	B	-	上端は尖る。下端は後張。打面剥離は打面全体に丁寧に施す。底面は中央下部より削減。	C4-1-d N		
63	55.55	19.40	6.80	8.3	B	-	上端破損。打面剥離は全体に丁寧に施す。底面は中央下部より削減。	A35-2-c N		
64	53.65	18.70	5.80	5.0	B	-	下部破損。背面の質状剥片の剥離底には古い剥離痕を残す。刃部に微小な剥離痕が記認められる。	A39-2-d S		
65	60.00	18.65	7.55	14.3	B	-	完形。両端は尖らない。打面剥離は打面全体に丁寧に施す。断面は扁平な四角形。	C1B-1-b N		
66	55.10	17.55	9.40	10.5	B	-	完形。背面の質状剥片の剥離底は3面倒かる。断面はやや内厚の四角形。	A41-3-a S		
67	64.50	28.15	9.00	14.7	B	-	完形。両端が尖る。底面は下部付近で削減。断面は四角形。	A25-1-d S		
68	47.80	30.40	7.25	11.6	B	-	完形。幅広。背面刃部側の下部には平行面から刀刃が残る。質状剥片の剥離底の下部に水滴状方向からの剥離痕が見られる。	A36-4-909		
69	58.35	28.85	8.65	14.4	B	-	下端部破損。底面は下端部付近で、細くなり削減し、刃部方向から加厚する。断面は四角形。	B16-212		
70	66.80	19.60	12.05	17.3	B	-	完形。上端は尖る。下端は尖らない。打面剥離は最もよく打面全体に施す。質状剥片剥離の両端に刃のネガティブな剥離痕を見える。	C16-2-549		
71	41.05	19.75	5.80	6.2	B	-	下部破損。打面剥離は打面全体に細かく施す。刃部、打面剥離共、ほど痕跡を呈する。断面は四角形。	A37-5-297		
72	47.30	26.45	8.40	12.5	B	124°	幅広。打面剥離は細かく施す。背面には2面の削離底と質状剥片の剥離底を1面ずつ持つ。	A36-3-2292		
73	50.75	25.60	9.70	12.8	B	-	完形。主たる剥離面の上部に平坦な剥離面を持つ。背面は底面と質状剥片の剥離底を1面ずつ持つ。	A39-3-231		
74	52.80	31.15	10.10	15.0	B	87°	完形。打面剥離は上部に大きく2面持つ。背面は自然面を残す。刃部は直線状。	A40-5-1		
75	59.70	26.65	6.70	17.3	B	147°	上端は尖る。刃部を僅かに削減。下端部に自然面を残す。底面に点を持つファーストスクイスク。	A39-3-512		
76	56.10	24.85	7.70	11.2	B	95°	刃部中央部及び下端の一部が失却。底面は上端と下端に細かく残る。	A39-4-d S		
77	65.15	24.75	6.25	17.4	B	141°	完形。打面剥離は打面全体に施す。質状剥片の剥離底の上部に小さな剥離面を残す。主要剥離面の刃部側に底面から剥離の跡を残す。	B20-850		
78	53.70	15.15	6.40	4.2	B	108°	両端が尖る。刃部の下部破損。打面剥離は全体に施す。底面に主要剥離面から剥離の跡を残す。	B14-1-b S		

番号	法 量	幅	厚さ	重さ	石	質	角度	解		出土地点
								鏡面	鏡底	
79	52.85	27.80	6.80	13.2	サスカイト	115°	光形。上端に僅かに自然面を残す。底面は加熱方向の異なる2面よりもなる。万能面は四角形。断面は四角形。	A38-4+502		
80	58.20	18.60	7.30	11.0	η	117°	上端部破損。下端に僅かに自然面を残す。主要斜鏡面が切削面にあたる。万能面は直線状。打面部は山形。	A35-3+1053		
81	69.90	21.00	14.95	20.1	η	95°	下端の一部破損。打面部の上端に自然面を残す。底面は上端方向から剥離面を持つ。万能面、打面 B7-717	A38-4+1267		
82	66.85	29.55	10.00	16.6	η	104°	光形。周端が尖る。打面部堅いが上半部に細かい調整面を残す。背面には2面の斜鏡片の剥離面を持つ。万能面、打面 A38-4+773	A38-4+773		
83	57.50	20.25	5.50	7.0	η	-	下部破損。背面には底面と斜鏡片の剥離面を1面ずつ持つ。主要斜鏡面は2面よりもなる。	A28-2+170		
84	48.95	21.90	5.55	5.8	η	-	下部破損。主要斜鏡面の打面部は山形に調整された頂点にある。背面下部には上端面からの加熱と思われる剥離面が見られる。	A38-4+1 N		
85	43.85	16.55	5.05	5.9	η	126°	上端は尖る。下端部破損。打面部調整は細かい。背面には2面の斜鏡片の剥離面を残す。	A38-5+ S		
86	42.90	16.80	5.35	4.7	η	130°	下端部破損。斜鏡片剥離面が点付近に小斜鏡面を持つ。万能面はやるく外曲。	A38-5+200		
87	84.40	25.55	8.80	21.7	η	112°	光形。周端が尖る。大弯。背面には底面と斜鏡片のタブア面を残す。打面部に底面はほぼ直線状を呈する。	A39-7+19		
88	65.30	15.00	11.15	12.2	η	137°	上端部破損。打面部調整は中央から下端へかけて残す。背面下部には翼状片剥離面と並びする小斜鏡面を持つ。	A38-2+905		
89	63.45	18.45	6.45	9.1	η	110°	上端部破損。芯面は2面よりもなる。フーストフレイク。	A38-5+63		
90	72.05	25.70	10.70	24.4	η	133°	下端を僅かに欠失。背面上部には古い斜鏡片の剥離面を残す。主要斜鏡面上部に刃先部の通い斜鏡面が見られる。上半部は底面を僅かに残す。打面部は細い。	A38-5+3 D N		
91	69.95	29.85	5.70	15.2	η	134°	上端に自然面を残す。打面部は底面にネガティブな斜鏡面を小さく残す。断面は扁平平行四辺形。	A37-5+ c S		
92	64.30	25.75	7.45	25.1	η	-	刃部を僅かに欠失。刃部上部はやるく外曲し。下半部はほぼ直線状を呈する。	A37-1+2668		
93	55.40	27.25	8.35	15.6	η	133°	万能面の上半部及び下端を欠失。打面部調整は上端にあたる。背面には翼状片剥離面と並びするネガティブな斜鏡面。	B1-196		
94	51.15	22.70	8.40	13.1	η	141°	光形。下端に自然面を残す。打面部調整は粗く施す。背面下部には細かい。	A39-3+ b N		
95	44.10	21.20	13.10	13.1	η	-	上端及び下端の一部欠失。下端には自然面を残す。主要斜鏡面の打点は山形に調整された頂点にある。断面は平行四辺形。	A40-4+551		
96	59.95	28.40	8.00	20.1	η	130°	光形。上端部は僅く残す。底面は2面よりもなる。背面下端部にネガティブな斜鏡面が僅く残る。	C51-1+ b S		
97	63.40	14.50	5.65	5.1	η	-	万能側の下部破損。打面部調整は全体に施すが、下半部が細かい。	A51-1+168		
98	72.45	27.75	9.25	22.4	η	118°	光形。上端が尖る。下端に僅かに自然面を残す。主要斜鏡面の打点は山形に調整された頂点にある。断面は平行四辺形。	A34-1+964		
99	55.90	29.10	8.95	19.7	η	130°	光形。下端部に自然面を残す。打面部調整は打面全体に丁寧に施す。主要斜鏡面の小斜鏡面を複数枚す。	A36-5+297		
100	49.00	13.65	3.85	3.1	η	123°	背面破損。打面部調整は全体に丁寧に施す。断面は薄い四角形。	B23-317		
101	76.70	26.90	11.65	26.3	η	-	万能面の下部に主要斜鏡面から剥離面が施され、また下半部には細かい斜鏡面が見られるのでナイフに使用される性あり。	A34-2+159		
102	78.15	21.25	11.15	23.0	η	123°	下端を僅かに欠失。主要斜鏡面の上部に石灰の頭面を残す。背面は直線状。万能面は直線状。	A23-1+b S		
103	34.40	12.55	4.00	3.1	η	-	背面破損。断面は四角形。	A27-1+a S		
104	35.35	16.70	3.90	3.6	η	-	下端部破損。底面は2面よりもなる。			

番号	法 量	幅 幅	厚さ	重量	石 質	剥離 角度	概 要	質	出土地点
131	44.70	27.15	10.45	12.8	サヌカイト	-	下端破損。上端は幅広で傾辺に小剝離面あり。組い打面調整を施す。背面にはネガティブな剝離面を4面持つ。	A81-d N	
132	43.90	18.15	6.80	7.4	<i>R</i>	124°	下端破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。断面は四角形。	A31-d N	
133	51.90	20.80	7.25	6.8	<i>R</i>	-	上端は尖る。下端部破損。主要剝離面の上半部が前側に自然面を残す。背面下半部に古い剥離面の剝離痕を残す。	A39-2-1236	
134	54.05	19.70	7.65	9.5	<i>R</i>	-	上端は幅広。下端部破損。底面の下半部は尖り。万能はほぼ直線状を呈する。	A41-4-43	
135	52.15	19.25	7.25	7.0	<i>R</i>	124°	上端は尖る。下端部破損。底面は中央下部よりで削減。打面調整は打面全体に丁寧に施す。	B22-555	
136	43.15	20.70	5.90	5.4	<i>R</i>	-	両端破損。底面は上端部近で削減。断面は四角形。	A41-3-d N	
137	31.20	12.90	4.95	2.8	<i>R</i>	140°	両端破損。刃部は直線的。断面は平行四边形。	A24-1-c S	
138	49.15	21.15	9.90	10.2	<i>R</i>	120°	上端は尖る。下端部破損。組い打面調整を施す。万能は外彫。打面部は山形を呈する。	A38-3-723	
139	52.40	17.30	6.30	7.5	<i>R</i>	-	上端に自然面を残す。下端部破損。底面上部に打面痕を残す。	C71-1-261	
140	59.30	23.00	9.60	8.9	<i>R</i>	130°	上端が尖る。下端破損。打面調整は打面全体に施す。断面は扁平な四角形。	A39-1-202	
141	43.85	22.40	7.35	11.6	<i>R</i>	117°	両端破損。組い打面調整を施す。断面はやや内彫な四角形。	C15-1-369	
142	55.55	13.65	6.8	8.6	<i>R</i>	-	右端は尖る。下端破損。組い打面調整の下部には主要剝離面から的小剝離痕を残す。ナイフ形	A7-2-a S	
143	52.00	26.50	5.15	8.7	<i>R</i>	124°	下端部破損。組い打面調整を施す。背面には複数のネガティブな剝離痕を残す。	A12-1-c S	
144	44.85	26.30	6.50	7.9	<i>R</i>	-	下端部破損。極端な打面を持つ。背面にはネガティブな剝離痕が2面ある。断面は四角形。	A35-1-187	
145	56.15	19.50	9.45	8.5	<i>R</i>	117°	下端部破損及び刃部を細かに欠く。断面は中央矢立で削減。打面調整は打面全体に施す。上半部の打面調	A40-3-d S	
146	67.40	15.40	4.10	7.2	<i>R</i>	148°	上端は尖る。下端破損。打面調整は丁寧に施されるが上半部は特に細かい。断面は扁平な四辺形。	A35-3-737	
147	65.55	21.35	7.40	9.6	<i>R</i>	76°	上端は尖る。下端部破損。底面は上端部削減する。背面にはネガティブな剝離面が2面残る。	A38-3-7206	
148	63.00	25.00	6.35	7.0	<i>R</i>	110°	下端部破損。万能はゆるく外彫する。打面部は山形。	A39-2-30	
149	50.45	20.85	9.05	11.1	<i>R</i>	-	下端破損。背面にはネガティブな2面の剝離面を持つ。万能はゆるく外彎する。	A24-a N	
150	61.55	19.25	6.20	6.7	<i>R</i>	-	上端は尖る。下端破損。底面は中央矢立で削減。打面調整は打面全体に施す。ネガティブな小剝離	C15-1-707	
151	46.15	31.30	7.40	8.3	<i>R</i>	115°	両端が残る。打面調整は打面全体に細かく施す。断面は細長く残る。	C18-1-b S	
152	50.80	24.25	6.10	11.4	<i>R</i>	141°	下端部破損。刃部の上部欠け。背面には複数の剝離痕と底面を1面づつ持つ。	A39-3-d N	
153	69.45	27.25	7.20	12.2	<i>R</i>	-	両端が尖る。刃部下端部破損。打面調整は打面全体に施すが下半部の調整が特に細かい。断面は三角形状を呈する。	A13-b-d N	
154	69.85	24.55	6.90	14.5	<i>R</i>	-	下端部破損。刀頭元すれば最も大きな刃部形状アーチである。万能、打面部ともあまり外彎しない。背面は複数片剝離痕と平	B9-108	
155	60.90	27.55	9.10	15.5	<i>R</i>	101°	下端部は尖る。下端部が薄くなり脆弱。上半部の打面は細広。	A37-4-851	
156	49.55	25.90	6.15	15.4	<i>R</i>	112°	下端部破損。背面下部にはネガティブな剝離痕が複数見られる。	A38-1-107	

番号	法 蓋	幅 幅	厚さ	重量	石 質	刻鑿 角度	縫 隙	出土地点
105	35.50	21.60	8.50	6.4	サスカイト	- 上端部破損。背面にはネガティブな刻鑿痕を2箇所ずつ。	A23-1・b N	
106	32.95	20.75	7.40	6.3		127 下部破損。粗い打面調整を施す。底面は尖端。刃部は山形を呈す。	A19-1・a S	
107	39.65	17.90	12.50	7.9		99° 完形。上端は尖り、内厚。下端は薄い。刃部はゆるく外側する。断面は四角形。	A14-1・a S	
108	42.15	20.05	4.95	5.0	B	130 下部破損。打面調整は打面全体に一気に施す。主要刻鑿痕の打点は山形に調整された頂点にある。刃部は直線状を呈する。	A37-1・1250	
109	36.90	18.25	7.25	6.2	B	- 下部破損。底面の上・下端部に打面調整を施す。背面にはネガティブな刻鑿痕を3箇所持つ。	A22-1・a S	
110	41.15	14.20	4.90	3.9	B	133 上端は尖る。下部破損。背面にはネガティブな刻鑿痕を3箇所持つ。	A23-1・d N	
111	49.75	16.50	3.55	5.1	B	- 上端に自然面を残す。下部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。断面は薄い四角形。	A37-2・239	
112	46.55	14.95	6.00	4.5	B	- 上端は尖る。下部破損。底面は中央付近で削減。打面調整は打面全体に施す。	A23-1・d S	
113	37.50	17.40	6.75	4.7	B	- 上端は尖る。下部破損。細かい打面調整を施す。刃部はゆるく外側する。断面は平行四辺形。	B23-359	
114	48.00	16.90	4.80	6.0	B	127' 上端は尖る。下部破損。背面下部に古い刻鑿片の剥離痕を持つ。打面調整は打面全体に施かず。断面は扁平な四角形。	A37-1・3521	
115	52.20	16.35	5.95	8.8	B	- 下部破損。底面は2面よりもなる。断面は四角形。	A26-2・564	
116	41.05	16.80	5.55	4.7	B	- 下部破損。底面は上半部に残る。刃部中央部に主な刻鑿痕からわむけた調整を施す。	A35-2・380	
117	38.65	18.15	4.30	4.1	B	110' 下部破損。打面の中央部は自然面。主要刻鑿痕はその部分を加算して刻まれる。刃部は直線状を呈する。	A14-1・b S	
118	41.20	16.75	4.80	4.5	B	126' 上端は薄くなり尖る。下部破損。打面調整は上部に施さない。刃部はゆるく外側する。	A35-3・1265	
119	33.85	19.10	4.50	3.6	B	- 下部破損。打面の上部は、上端方向からの剥離痕を残す。	A23-1・b N	
120	51.90	21.30	6.65	7.8	B	106' 刻鑿痕。背面に底面を残さない。主要刻鑿痕の打点は山形に調整された頂点にある。	A13-1・a N	
121	46.00	20.65	5.00	5.2	B	- 面側破損。上部の打面は非常に削減。	A37-3・700	
122	44.40	23.40	9.35	7.0	B	85° 上端は尖る。下部破損。打面調整は粗く施す。底面は上部に残る。	A25-1・c N	
123	43.30	23.15	6.30	6.5	B	125' 下部破損。粗大片刻鑿痕の打面削除下部に主要刻鑿痕から打面を残す。ナイフ形石器か。	A39-2・a S	
124	39.25	17.65	5.90	5.7	B	- 上端から刃部上部にかけて欠失。下部破損。底面は下部に細く残る。	C12-1・b N	
125	47.45	21.55	6.80	9.2	B	106' 下部破損。主要刻鑿痕の上端部に背面側から打面を残す。刃部は直線状を呈する。	A36-3・1029	
126	47.15	17.65	6.50	7.0	B	- 同上。背面にはネガティブな刻鑿痕を3箇所持つ。刃部はゆるく外側する。	A37-2・3045	
127	44.70	22.00	8.60	7.5	B	107' 上端は尖る。下部破損。刃部はゆるく外側する。断面は四角形。	A25-2・b N	
128	46.35	24.00	4.70	7.1	B	114' 両端破損。幅広。打面調整は粗く施す。刃部は直線状。底面は山形を呈する。	A42-5・a N	
129	41.45	21.65	4.30	4.1	B	125' 下部破損。上半部の打面調整は細かい。刃部は直線状。底面は下端に至る剥離。打面調整は打面全体に丁寧に施す。断面は薄い四角形。	A39-5・b N	
130	51.50	19.35	5.15	5.9	B	109' 上端は尖る。下部破損。底面は下端に至る剥離。打面調整は打面全体に丁寧に施す。断面は薄い四角形。	A38-4・453	

番号	法 長さ	法 幅	量	厚さ	重量	石	質	新難	角度	難	鏡	出土地点
157	57.60	18.55	11.35	12.8	サヌカイト			上端は尖る。下端部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。異状剥片剥離面の上部には古い剥離面を小さく残す。	103°			A37-1-2672
158	50.05	27.90	7.70	13.8				下端部破損。底面。粗い打面調整を施す。背面には2面の細広の剥離面を残す。刃部はあるく外側しない。	130°			A34-2-677
159	58.55	30.60	12.90	38.6				上面及び刃部破損。粗い打面調整を施した後、上端部と下部に細かい調整を施す。断面は削薄な四角形。	102°			A41-5-c S
160	59.70	31.15	10.35	14.6				下部破損。主翼剥離面の打点は山形に調整された頂点にある。				A23-1-b N
161	54.30	19.15	5.15	6.7				下端部破損。刃部はやるく外側する。打面調整は丁寧。				A37-1-3342
162	49.35	25.75	7.60	8.6				111° 斜面破損。打面調整は打面全体に施す。背面は底面とネガティブな小剥離痕が残る。刃部はほぼ研削跡を呈する。	111°			A39-3-539
163	53.45	25.10	7.70	10.5				138° 下端部破損。主要剥離面と異状剥片剥離面の打点は残す。刃部はやるく外側し、打面部は粗面を呈する。				A36-2-2271
164	61.00	24.00	8.70	15.0				108° 同端破損。底面は3面よりもなり縮小した後、部分的に細かい調整を行う。				B22-d N
165	65.05	21.25	5.50	11.1				上端は尖る。下端部及び刃部を残して次々。打面調整は打面全体に施す。刃部はやるく外側する。扁平な四角形。	113°			C71-c S
166	70.75	20.55	7.80	11.4				上端は尖る。下端部破損。優元すると8cm位の大形。細身。刃部はやるく外側する。	118°			A27-1-a N
167	60.60	28.45	7.10	11.6				115° 下端部破損。上端部から自然面を残す。底面は3面よりもなり縮小した後、部分的に細かい調整を行う。				A38-1-4711
168	52.65	22.45	7.60	7.7				上端が尖る。下端破損。主要剥離面上面に自然面を残す。背面は底面と異状剥片剥離面を1面ずつ持つ。断面は四角形。				C61-1-12
169	71.75	18.00	5.40	9.7				両端破損。細身。優元すると8cm位の大形。打面調整は打面全体に丁寧に施す。				A37-3-b N
170	60.40	36.60	9.15	17.9				105° 下部破損。上端部に自然面を残す。粗い打面調整を施す。				A36-4-1428
171	51.05	20.00	8.90	10.7				両端及び刃部の一部破損。主要剥離面の上部には加熱痕の違いため剥離面を残す。				A38-3-60
172	40.65	16.20	6.25	4.3				127° 同端破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。背面は2面のネガティブな剥離面よりなる。				A37-2-2067
173	53.95	14.55	7.00	6.5				上端は尖る。下端部破損。上端部から自然面を残す。底面は上端方向からの加熱された平坦な1面となりる。刃部はやや				A17-1-c N
174	47.05	26.60	7.65	8.9				一ぐるく外側する。刃部は半部欠失。下端部破損。刃部は打面全体に細かい調整をする。刃部はやるく外側する。刃部				A39-3-a S
175	71.50	31.25	11.05	28.6				下端部破損。粗い打面調整を施す。刃部はやるく外側する。				A36-1-812
176	67.55	26.45	8.50	17.0				129° 下端部破損。粗い打面調整を施した後、上端と下端に細かい調整を施す。				A61-1-484
177	58.90	34.00	8.85	33.5				123° 下端部破損。背筋打面側下部に主要剥離面からの小剥離痕があり、上部の打面調整は過酷。				A41-3-365
178	72.45	40.80	15.15	47.5				128° 下端部破損。優元すれば8cm位の大形。打面調整は打面全体に細かく施す。主要剥離面は底面よりなる。刃部				A37-2-334
179	71.85	28.60	9.10	23.4				119° 下端部破損。優元すれば8cm位の大形。打面調整は打面全体に丁寧に施す。背面打面下端部に打面からの小剥離痕				A37-2-318
180	54.90	19.40	7.15	12.9				一半部破損。底面は上端方向からの加厚。				A39-3-d N
181	54.20	21.05	7.40	12.1				110° 上端部及び奥様下端部破損。並列刃端でネガティブな剥離痕を2面残す。				A39-4-d S
182	44.85	17.80	5.15	6.3				上端部は山形。				A36-2-2283

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	剝離 角度	断面		出土點
						左	右	
183	34.50	12.35	3.10	1.5 <sup>m</sup>	サスカイト	126°	上端部破損。打面調整は打面全体に丁寧に施す。背面は薄い四角形。	C16-2-a S
184	34.70	13.20	3.35	-	H	-	上端部破損。打面調整は細かい。裏状剥片剥離線の打面側に小剝離痕が見られる。	B1-208
185	43.25	15.85	5.55	6.1	H	-	上端部及び万能部の一帯破損。下端に自然面を残す。上半部の打面調整は細かい。	A39-3-b S
186	51.06	18.80	6.45	7.1	H	-	上端部及び万能部の大半を欠失。背面は細く陥る。裏状剥片剥離線の上端部にネガティブな小剝離痕を残す。	C17-1-b S
187	55.55	19.80	8.30	11.9	H	119°	万能部は連続状。打面側は山形を呈する。断面は四角形。	A4-2-c S
188	58.00	25.75	12.70	11.7	H	-	裏状剥片剥離線の打点部附近を再度加算しネガティブな剝離面を残す。	C16-1-a 1487
189	58.05	25.60	8.25	16.7	H	126°	上端部破損。粗い打面調整を施す。刃部はゆるい外観。	A36-5-65
190	92.00	21.25	9.90	15.4	H	-	上端部破損。下端に自然面を残す。大形、背面に裏状剥片剥離線以外にネガティブな小剝離痕を打面側に持つ。刃部はA41-3-231	
191	57.60	19.40	11.25	13.7	H	-	上端部破損。直線状を呈する。	C14-1-d N
192	43.75	22.85	8.50	10.3	H	-	上端部破損。打面調整は細い。断面は直角状。	A39-2-2072
193	35.30	16.90	7.60	6.4	H	105°	同端部破損。背面の上部と打面側に小剝離痕を複数持す。刃部は2面よりなる。断面はやや丸みた四角形。	A22-2-a S
194	42.90	21.05	6.30	7.8	H	-	同端部破損。打面調整は下半部に施す。上半部は主要剝離面から二次調整を施す。刃部はゆるく外観する。断面は四角形。	C14-2-a S
195	36.70	16.65	3.60	3.8	H	126°	同端部破損。刃部に幾つか剝離痕が見られる。	A27-1-c S
196	50.45	23.60	5.00	7.5	H	112°	同端部破損。背面は底面と裏状剥片の剥離紙の一面がつりとなる。断面は扁平な四角形。	A36-4-508
197	54.15	22.25	6.95	8.8	H	121°	同端部破損。打面調整は下半部に施す。上半部は主要剝離面から二次調整を施す。背面上面にはネガティブな小剝離痕がA33-1-483	
198	54.55	29.15	5.20	15.1	H	144°	同端部破損。打面調整は細い。刃部はゆるく外観する。	A26-1-114
199	58.15	27.20	13.15	20.5	H	-	同端部破損。背面の上端と下端にはネガティブな剝離痕を3面残す。断面は平行四辺形。	A38-1-4637
200	54.80	41.45	7.65	19.7	H	92°	同端部破損。刃部は下部に施さない。刃部は主要剝離面からの小剝離痕を残す。	A38-3-82
201	63.00	27.00	6.80	13.7	H	-	同端部破損。打面調整は細かい。打面部は山形を呈する。	A28-1-a N
202	56.95	26.15	8.45	15.3	H	-	同端部破損及び万能部を欠失。背面の上部には古い裏状剥片剝離痕を上部に持つ。	A39-3-d N
203	33.00	10.40	4.45	1.4	H	-	上端は尖る。下端部破損。背面は裏状剥片剝離紙一面のみ。打面調整は打面全体に丁寧に施す。	A23-2-a S
204	34.55	12.30	6.65	2.8	H	-	下端部破損。打面調整は打面全体に施す。背面は裏状剥片の剥離紙1面のみ。	A38-1-4438
205	41.25	19.55	6.20	3.8	H	-	上端部破損。刃部下半部欠失。底面なし。	B5-493
206	56.65	16.05	6.05	4.1	H	85°	同端が尖る。万能部を僅かに欠失。背面は裏状剥片剝離紙1面のみ。打面調整は打面全体に丁寧に施す。	A51-1-d S
207	51.10	18.20	7.20	6.0	H	111°	下端部破損。底面はない。打面調整は下半部に施す。断面は三角形。	A39-3-930
208	42.00	20.60	6.05	5.2	H	113°	上端部破損。下端部欠失。底面はない。断面は三角形。	A39-2-a S

番号	法 蓋	幅 厚	重 量	石 質	剝 離 角 度	解	出土地点
209	37.45 <sup>5</sup> 15.75 <sup>5</sup>	5.8 <sup>5</sup>	4.1 <sup>5</sup>	サヌカイト	86° 下端部破損。刃部は螺状剥離している。	A38-2-3836	
210	54.70 15.70	3.25	3.2	石	- 完形。上端が尖る。打面調整は下端まで施さない。背面には底面ではなく、翼状片の剝離痕と刃部附近に小剝離痕を複数持す。	A38-2-3221	
211	48.25 21.85	11.60	9.9	石	- 上端部破損。下端を僅かに欠失。粗い打面調整を施す。背面に底面は残らない。断面は三角形。	B23-b S	
212	60.75 27.80	7.35	12.0	石	112° 下端部欠失。刃部の上部半欠失。打面調整は打面全体に刃部に施す。背面は翼状片の剝離痕 1箇だけ残る。	A15-1-b N	
213	73.50 24.55	1.40	22.7	石	- 上端は尖る。万能刀を僅かに欠失。主要剝離面に上方剝離からの方剝離面を持つ。打面調整は打面全体に刃部に施す。	B21-212	
214	80.50 49.50	7.15	30.9	石	116° 開口部が尖る。打面の一部破損。刃部側は上部に自然面を残す。刃部に複数の微小な剝離痕が見られる。	A38-4-390	
215	35.45 18.55	6.90	3.5	石	120° 下端部破損。底面は上端に自然面を残す。主要剝離面の打点が山形に調整された頂点にある。	B22-157	
216	50.80 21.55	6.05	6.3	石	- 完形。打面調整は上端を餘りなく施す。背面下端部に下端方向からの加刷された小剝離痕が見られる。	A37-1-3142	
217	75.60 28.00	9.80	28.3	石	- 完形。打面調整は打面全体に刃部側から剝離痕の打面側上部に剝離面からの方剝離痕が見られる。	A38-1-4921	
218	50.65 22.30	8.65	12.4	石	91° 完形。上端に自然面を残す。底面上端部に主要剝離面からの方剝離痕が残る。	A39-4-32	
219	49.80 17.40	5.20	5.8	石	112° 完形。上端は尖る。打面調整は打面全体に刃部に施す。	A34-2-610	
220	52.90 14.25	6.10	4.4	石	114° 上端は尖る。下端部破損。打面調整は打面全体に刃部に施す。	B8-1044	
221	56.30 20.95	10.30	7.2	石	123° 完形。打面調整は打面全体に細かく施す。	C15-2-289	
222	49.15 22.25	8.00	8.3	石	- 完形。刃部をよく外切する。打面部は山形。	B18-624	
223	50.60 21.00	6.30	5.3	石	115° 底面は加刷方向の異なる 2 面からなり、中央部には刃部から的小剝離痕 2 箇残る。	B15-e S	
224	68.05 22.20	6.50	8.0	石	95° 上端は尖る。下端部破損。打面調整は打面全体に刃部に施す。主要剝離面の打点は山形に調整された頂点にある。	A38-1-3862	
225	48.10 21.40	8.85	9.3	石	108° 完形。両端が尖る。刃部の下端部に主要剝離面から剝離痕を残す。ナイフ形石皿か。	B3-251	
226	71.20 20.45	8.05	12.2	石	110° 完形。打面全体に打面調整を刃部に施す。刃部の下端部に主要剝離面から剝離痕を残す。ナイフ形石皿か。	C6-1-475	
227	51.55 18.70	6.70	7.6	石	126° 刃部の下端部欠損。打面調整は打面全体に施すが、上端部が特に細かい。背面下端部に下端方向から剝離痕を残す。	A38-2-3973	
228	56.15 25.35	9.15	12.8	石	- 下端部破損。刃部側に主要剝離面から剝離痕を残す。	A40-4-347	
229	49.25 15.20	5.05	4.1	石	- 下端部破損。刃部の一部破損。打面調整は打面全体に細かく施す。刃部は山形を呈する。	A39-4-220	
230	69.05 28.90	9.00	17.4	石	122° 上端は尖る。刃部の一部欠失。打面調整は打面全体に刃部に施す。刃部下半部に小剝離痕を持つ。	C12-2-a S	
231	70.00 25.40	8.65	23.3	石	109° 刃部の下端部を削り下端方向に自然面を残す。背面下端部に上端方向から加刷したネジタイプの剝離痕を残す。背面には多数の小剝離痕が見られる。	B19-d N	
232	58.75 18.05	4.00	3.8	石	110° 下端部破損。底面は底面と翼状片剝離痕の 1 箇です。打面調整は打面全体に刃部に施す。断面は扇子型四角形。	A2-2-27	
233	51.60 15.85	4.55	5.2	石	- 上端は尖る。下端部破損。上端に自然面を残す。刃部はほぼ直線状。打面は山形を呈する。	A38-4-206	
234	40.85 17.45	6.60	4.7	石	127° 下端部破損。上端に自然面を残す。刃部はほぼ直線状。打面は山形を呈する。	A37-4-361	

番号	法 量	幅 幅	厚さ	重量	石 質	射程 角度	範 囲	出土地点
235	50.00	23.70	7.30	10.2	サスカイト	133° 129° 133°	両端破壊。背面には2面のネガティブな射程面を持つ。 下端部破壊。打面調整を用いて落した後、上部面に細かい調整を行う。主要射程面の刃部面上部に側面が見 られる。	A35-4-801 A39-2-984
236	50.75	24.95	8.10	13.0	II	II	下端部破壊。打面調整を行った後、上部面に細かい調整を行う。背面下端に主要射程面からの小射程底が残る。断面は扁平な四角形。	A39-2-984
237	53.55	17.80	4.60	6.6	II	II	下端部破壊。打面調整は刃部全体に丁寧に施す。背面下端に主要射程面からの小射程底が残る。断面は扁平な四角形。	A34-1-不明
238	40.75	22.80	6.90	8.1	II	-	下端部破壊。打面調整は細かい。断面は山形を呈する。	B20-841
239	36.80	23.30	6.20	4.8	II	II	下端部破壊。打面調整は細かい。断面は扁平な平行四辺形。	B15-a S
240	46.70	-	5.00	6.1	II	-	下端部破壊。上端に自然面を残す。背面には、底面と対照射程底を1面ずつ持つ。刃部上半部は内彎。下半部は外彎。	B14-204
241	45.75	16.65	8.90	5.7	II	II	下端部破壊。打面調整は細かい。背面はネガティブな射程面を2面持つ。	A25-1-a N
242	54.95	24.45	24.00	6.3	II	II	下端部破壊。打面全体には上端方向から加減したネガティブな射程面を持つ。刃部上半部には下端方向から加減したネガティブな射程面を持つ。刃部は外彎。	A37-2-769
243	58.35	28.35	7.85	14.1	II	-	下端部破壊。打面調整は刃部全体に丁寧に施す。背面には古い対照射程底を残す。刃部は丸く外彎する。	C10-1-54
244	36.30	21.05	7.55	6.1	II	-	下端部破壊。刃部は尖る。主要射程面の打点は刃部からの加減によって除されれる。断面は平行四辺形。ナイフ形石版。	A35-5-75
245	69.65	40.85	9.00	30.7	II	-	下端部破壊。幅広。打面調整を刃部全体に丁寧に施す。主要射程面の刃部上面と下端に背面からの射程底を持つ。	A42-4-253
246	61.25	33.00	12.05	25.6	II	II	下端部破壊。刃部の一端欠失。背面は対照射程底の上に自然面を持つ。打面調整は細かい。	A24-2-a N
247	69.95	25.90	6.15	12.4	II	-	両端破壊。底面は対照射程底の面のみ。打面調整は刃部全体に丁寧に施す。	A35-2-465
248	55.60	20.30	8.20	7.6	II	-	両端破壊。底面なし。打面には非常に細かい調整が見られる。	A20-1-b S
249	46.75	14.95	5.55	3.8	II	II	下端部破壊。底面なし。打面調整は細かく丁寧。	A38-4-997
250	32.70	13.90	4.50	1.8	II	II	完形。上端は鋭く尖る。背面は対照射程底の刃面のみ。底面は残らない。断面は三角形。	A7-1-128
251	59.10	17.30	5.25	5.2	II	II	96°。背面は尖らぐ。外彎。打面は山形。刃部は上部に細かく矢先状に施される。上半部の調整は特に細かく丁寧である。刃部の上半部は刃部を落すに欠け、底面なし。主要射程面の打点は山形に調整された点である。刃部の上半部の調整は特に細かい。断面は三角形。	A37-2-2380
252	63.15	29.75	11.85	13.7	II	II	97°。刃部は尖らぐ。外彎。打面は山形。刃部を落すに欠け、底面なし。主要射程面の打点は山形に調整された点である。刃部の上半部の調整は特に細かい。断面は三角形。	B12-380
253	35.55	13.60	6.40	3.3	II	-	下端部破壊。細かい打面調整を施す。背面下端にはネガティブな射程底が3面残る。断面は三外彎。	A21-1-c S
254	45.00	14.30	5.60	3.3	II	II	下端部破壊。打面調整は刃部全体に丁寧に施す。底面は残らない。	A36-4-1180
255	53.25	14.00	6.70	5.2	II	-	上端に僅かに自然面を残す。下端部破壊。刃部に細かい射程底あり。	A38-3-665
256	46.20	19.05	6.75	5.7	II	II	両端破壊。底面なし。打面調整は丁寧に行う。	B21-637
257	41.95	17.80	5.55	3.0	II	II	完形。両端が尖る。粗い打面調整を施す。底面は上端部に小さく残る。	A30-1-d S
258	59.65	16.20	9.70	11.8	II	II	刃部を僅かに欠く。上端が尖る。打面調整は粗い。刃部は外彎。打面部は山形。	A36-2-2619
259	48.00	14.40	5.50	3.8	II	II	完形。両端が尖る。打面調整は大きく2面で構成される。背面にはネガティブな射程底を2面残す。	A36-2-11
260	37.05	13.25	5.15	2.6	II	II	完形。両端がやや尖る。主要射程面の打点は2面の刃部調整からなる山形の頂点にある。断面は四角形。	A38-2-3243

番号	法 量	量	石 質	厚さ	角 度	制 限	規 則	出土地点
261	73.45	23.06	8.60	17.4	サスカイト	103°	上端破損。主要制限面弓部間に小制限面が現れる。	A40+588
262	70.75	18.85	8.75	8.4	#	-	上端破損。上半部の打面調整は挖い込み、下半部の大半は自然面が残る。底面は2面となりる。	C15+1-613
263	41.06	2.75	6.45	-	#	122°	下端破損。弓部原形の下半部は自然面。背面には複数のネガティブな制限面を持つ。2面の打面調整のなす山形の頂点に打点あり。	A39+2+ S
264	53.85	22.15	7.00	8.3	#	110°	上端は尖る。下端破損。狙い打面調整を施す。弓部は外壁。打面調整は山形を呈する。	A38+4+ D N
265	51.45	19.35	5.10	5.4	#	-	完形。下半部の打面調整は大きい。背面に弓部タイプの小制限面が現れる。弓部はほぼ直線状。打面は山形を呈す。	A38+2-347
266	57.00	19.25	8.20	10.3	#	-	完形。下端に僅かに自然面を残す。背面に上部に弓部タイプの小制限面を持つ。	A40+2-721
267	40.05	25.55	5.75	4.9	#	137°	下端破損。打面の上半部は自然面。主要制限面の弓部側に小制限面が現められる。断面は四角形。	A36+2-684
268	44.35	19.05	7.05	5.0	#	113°	下端破損。背面にはネガティブな制限面を2面持つ。弓部は直線状。打面部は山形。	A35+3-482
269	58.10	19.45	6.80	9.7	#	-	完形。打面調整は無い。背面の規則状制限面の打点附近に複数の小制限面が現められる。	B8+1291
270	62.85	21.85	9.15	21.3	#	-	上端破損。打面の上端及び下端に自然面を残す。背面には算状制片の制限面を2面残す。	A40+2+ S
271	54.95	18.35	5.25	6.7	#	-	完形。両端が尖る。上端部は薄くなっている。背面にはネガティブな制限面を3面残す。	A37+2-3046
272	55.95	25.35	7.05	12.1	#	124°	完形。上端は尖る。打面調整は大きく3面。背面にはネガティブな制限面を3面持つ。	A36+3-2163
273	67.45	20.60	11.70	17.3	#	107°	完形。上端が尖る。主要制限面の上端に自然面を残す。打面調整は大きく無い。翼状別打面調節の打点近くに小刺がある。打面調整は粗く大きい。背面は加圧方向の変化を2面よりする。弓部はやるく外壁する。断面は扁平な四角形。	C13+1-229
274	51.05	24.80	9.75	17.1	#	-	完形。打面調整は粗く大きい。背面は上端部に下端部からの制限面を持つ。底面・上端部に弓部原形からの制限面が残る。	A39+1-275
275	51.20	22.00	4.75	6.6	#	125°	完形。打面調整は大きく2回。底面は加圧方向の変化を2面よりする。弓部はやるく外壁する。断面は扁平な四角形。	C8+1-141
276	43.10	24.85	6.25	8.7	#	130°	完形。下端に自然面を残す。相打面調整の上端に深い溝を施す。弓部上半部には主要制限面から弓部の周辺部が見られ	A39+2-343
277	42.70	30.35	8.75	18.00	#	115°	上端及び弓部を僅かに欠次。幅広で内厚。背面は弓部に下端方向からの制限面を残す。	B8+656
278	44.85	23.35	10.95	10.9	#	108°	完形。下端に僅かに自然面を残す。背面には2面の算状制片の制限面が残る。	A24+2+ C N
279	47.15	21.30	10.55	9.5	#	147°	上端を僅かに欠次。上部は薄く下部は分厚い。打面には中央部に細かい凹凸が見られる。弓部はやるく外壁する。	A35+4-557
280	56.35	18.85	10.75	13.2	#	-	弓部の上端部欠失。下端部破損。背面には大きな削除が施される。背面にはネガティブな制限面を2面持つ。	A11+1+ C S
281	63.65	23.30	8.20	16.2	#	113°	完形。底面は上端付近で削減。背面には複数のネガティブな制限面を持つ。	B7+526
282	75.95	27.80	4.55	14.8	#	146°	完形。上端は尖る。打面調整は大きい。打面は2面からなる。	A38+2-4692
283	76.10	22.00	5.20	12.1	#	131°	完形。上端は尖る。打面調整は細い。算状制片の制限面の打点近くに小制限面が見られる。弓部は外壁。	A35+1-1889
284	72.15	29.70	7.85	16.2	#	115°	完形。下端に自然面を残す。打面調整は粗く大きい。背面にはネガティブな制限面を2面持つ。底面は複数面よりなる。	A39+5-46
285	62.25	21.00	7.25	10.4	#	-	完形。底面は上端近くで削減。打面調整は粗く互ざる。	A35+3-948
286	38.85	25.60	5.20	7.2	#	-	上端破損。細広。底面は下半部に細かく残る。組打面調整を施す。背面下端部に下端方向からの制限面があり。	A38+1-3656

番号	法 量	幅	厚さ	重 量	石 質	角 度	断 面		出土地点
							左端	右端	
287	57.85	18.90	6.65	8.8	サスカイト	136°	先形。上端が尖る。打面調整は細かい下端部に施される。刃部はゆるく外端する。断面は四角形。	B15-371	
288	53.35	23.35	6.60	9.8	II	-	先形。背面には複数のネガティブな剝離面あり。断面は四角形。	B18-c S	
289	63.00	16.90	8.40	12.6	II	132°	刃部の裏打削片。打面調整は粗く大きな3面がある。背面の下端部に小さい自然面を残す。背面に複数の剝離面がある。背面の下半部には複数のネガティブな剝離面あり。	C16-1-949	A19-1-a N
290	81.55	24.65	7.10	13.2	II	132°	先形。背面には複数の剝離面がある。背面の下部に刃部で作成されたものと見られる。打面となる面は主に剝離面から剥離する。刃部は外彎。打面部は山形を呈する。	A36-5-232	
291	73.65	26.25	18.90	24.1	II	-	先形。底面は、ネガティブな剝離面。背面の下半部には自然面を残す。打面調整は粗く大きい。刃部は外彎。打面部は山形を呈する。	A29-2-a S	
292	64.45	23.90	17.90	27.2	II	113°	先形。上端が尖る。肉厚。背面の上半部には自然面を残す。打面調整は粗く大きい。刃部は外彎。打面部は山形を呈する。	A38-3-2157	
293	65.60	30.85	9.65	22.8	II	116°	先形。底面は複数の剝離面から成る。刃部は複数の剝離面を2面残す。打面調整は大きく2面からなる。	B18-1076	A18-4-b S
294	43.40	19.00	6.65	3.3	II	98°	先形。打面調整は粗く3面残す。底面は上半部に残る。	A38-2-3541	
295	38.25	13.70	8.40	4.6	II	110°	先形。底面は上部が複数の剝離面から成る。刃部は複数の剝離面の可能性あり。	A39-2-718	
296	42.50	19.60	5.55	5.8	II	115°	先形。上端が尖る。背面の下端部に剝離痕を3面持つ。打面調整は粗い。	A37-1-2522	
297	45.50	20.15	5.80	4.7	II	108°	上端突起。背面には複数のネガティブな剝離面と底面よりなる。打面調整は粗い。刃部にはほぼ直線状を呈する。	A33-2-303	
298	45.75	18.75	7.00	7.2	II	155°	先形。底面は2面りとなる。打面下部には細かい調整を持つ。	A9-2-a N	
299	52.80	13.75	7.15	5.9	II	117°	両端底張。背面には複数のネガティブな剝離面がある。打面調整は粗い。	A35-3-155	
300	46.60	14.60	8.75	8.9	II	123°	下部底張。上端に自然面を残す。背面には3面のネガティブな剝離面と複数の小剝離痕を持つ。打面調整は粗い。	A42-3-d S	
301	46.15	14.20	5.00	3.9	II	110°	先形。上端が尖る。背面に直線状の剝離痕を持つ。打面調整は山形。	A39-2-b S	
302	47.45	15.35	4.75	3.8	II	127°	下端欠失。上端には自然面を残す。背面の翼状剝離痕の下端が2面持つ。刃部に微小さな剝離痕が見られる。	A36-1-1010	
303	41.40	18.35	6.40	6.7	II	126°	下端底張。背面には加藤方面の異なるネガティブな剝離面を2面持つ。刃部は直線状を呈する。	A39-5-135	
304	50.75	23.00	10.75	11.4	II	-	下端底張。打面調整は粗く大きい。底面下端部に小剝離痕あり。刃部は直線状を呈する。	A42-3-d S	
305	54.90	16.80	7.15	10.6	II	125°	下端底張。背面には複数のネガティブな剝離面あり。刃部打面調整が施される。	A39-4-797	
306	82.00	20.60	7.60	14.8	II	-	先形。刃部には複数の剝離面が認められる。刃部打面調整にはボジティブな剝離面を2面持つ。打面調整は粗く大きい。	C18-1-a N	
307	51.90	22.85	7.00	10.5	II	108°	両端底張。底面は複数の剝離面から成る。刃部は直線状を呈する。	A37-2-1109	
308	54.90	22.15	8.50	7.6	II	88°	先形。底面は下端部で削減する。打面調整は粗い。	A36-1-251	
309	63.35	24.55	10.00	8.9	II	-	上端欠失。打面調整は粗いが、中央部に細かい調整を施す。刃部半周に主要剝離面からの調整が施される。ナイフ形石	B122-397	
310	71.85	29.90	11.40	26.8	II	115°	上端底張。背面には複数の剝離面を2面持つ。打面調整は粗く大きい。	A35-3-1149	
311	40.70	16.55	4.40	3.4	II	106°	上端底張。背面には複数の剝離面と底面を1面持つ。主要剝離面は山形に調整された頂点にある。	A37-2-1109	
312	42.00	20.45	5.35	5.8	II	-	先形。背面には複数の剝離面を複数持つ。上端部の刃部剝離面には小剝離痕が見られる。	A36-1-251	

番号	法 量	幅 幅	高 度	石 質	剝離 角度	剝離 面	出土地点
313	51.95	16.35	5.40	5.0	138°	上端部剥離。下端部は下端部に施さない。背面はネガタイプな剝離面を3面持つ。	C18-1-714
314	54.55	23.10	6.45	10.9	II	一下端部剥離。背面はネガタイプな剝離面の打点と主要剝離面の打点の位置が逆である。剝離剥片か。	B13-273
315	52.50	18.45	6.00	7.7	II	- 完形。上端部が消失する。表面に気泡が多く見られる。打面剥離面は相似。	A24-2-b N
316	66.35	19.95	8.60	10.6	II	- 万能部の一部欠失。背面には複数のネガタイプな剝離面を持つ。底面上端部に僅かに自然面を残す。打面剥離面は粗く大きい。	C6-1-93
317	58.15	20.20	8.30	9.7	II	- 完形。剝離面は上端部で極くなる。下半部の打面剥離面は大きい。前面は四角形。	A40-5-d S
318	56.85	16.90	4.75	6.4	II	127° 完形。頭部が尖る。背面には小面剥離面が見られる。	A36-3-1090
319	32.70	17.60	5.40	4.1	II	110° 完形。下端部は半端に残る。打面剥離面は大きさ。万能部に小面剥離面があり。前面は四角形。	A22-2-a S
320	53.70	17.10	11.60	11.3	II	- 完形。上端部は既に尖る。背面は上端部で消滅。打面剥離面は既く残す。前面は四角形。	A40-4-530
321	53.45	15.80	6.55	6.5	II	124° 上端部。背面の万能部の中央部に自然面を残す。底面なし。主要剝離面の打点は2面の打面剥離面の頂点にあらざる。	A35-4-789
322	39.45	20.35	4.00	6.4	II	一下端部剥離。背面にはネガタイプな剝離面を2面持ち、上端部には小面剥離面が残る。	A38-3-228
323	38.00	16.15	5.75	4.2	II	102° 下端部剥離。背面には1面の底面と複数のネガタイプな剝離面を持つ。	A37-1-2108
324	49.80	17.90	3.80	4.1	II	115° 上端部は尖る。底面は上端部で消滅。點打面剥離面を施す。	A24-1-d S
325	51.05	16.30	5.10	4.5	II	108° 下端部剥離。底面は上端部に極く残る。前面は三角形状を呈する。	C4-1-c S
326	58.05	18.70	4.80	6.9	II	- 上端部は尖る。下端部剥離。背面は上端部に打面からの細かい凹溝が施される。万能部に微かな剝離面が残る。	A38-5-c S
327	51.90	17.15	11.45	13.8	II	135° 下端部剥離。背面には底面と萬能部の剥離面を1面ずつ持つ。主要剝離面の万能部に底面から的小剝離面が残る。	A27-2-b N
328	64.65	21.20	6.35	10.1	II	107° 下端部剥離。打面剥離面は粗い。万能部は直線状。打面剥離面は山形を呈する。	A37-1-2937
329	62.90	24.35	6.75	13.7	II	- 上端及び万能部を僅かに尖る。下端部剥離。背面の萬能部の下端部に小剝離面が見られる。刃部上端部ごく小剝離面	A23-1-a S
330	66.45	20.15	7.15	11.5	II	120° 下端部剥離。上端部に僅かに自然面を残す。主要剝離面の万能部に背側から多くの剝離面が残る。	A36-5-245
331	51.65	17.90	5.15	6.5	II	130° 上端部は尖る。下端部剥離。底面は2面よりなる。万能部はやるく外斜。打面剥離面は山形を呈する。	A35-3-c S
332	49.90	18.25	5.00	5.2	II	- 両端部剥離。打面の上端部に自然面を残す。前面は扁平な四角形。	A38-3-b N
333	45.45	16.00	6.90	4.9	II	- 下端部剥離。底面上端部ごく小剝離面が認められる。	A37-3-b N
334	46.10	21.30	8.40	15.2	II	122° 下端部剥離。上端部に自然面を残す。粗い打面剥離面を施す。前面は四角形。	A38-1-1294
335	47.55	18.65	5.25	5.8	II	110° 下端部剥離。底面は上端部に残らない。	A39-4-811
336	47.55	28.35	7.45	18.4	II	118° 下端部剥離。底面には1面の底面と2面のネガタイプな剝離面を持つ。底面に主要剝離面から小剝離面がある。	C15-2-4
337	59.30	23.00	9.85	22.8	II	- 万能部剥離。背面には1面の底面と2面のネガタイプな剝離面あり。底面は上端部から小剝離面がある。	B2-570
338	65.75	19.95	6.35	8.1	II	120° 下端部剥離。背面には複数のネガタイプな剝離面あり。底面は底面と残る。打面剥離面は粗い。	A41-2-d S

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	半 纏 角度	繩	底
339	56.60	26.50	7.75	13.5	サヌカイト	115° 下端部破損。背面にはネガティブな刺繡面と色面を2面ずつ持つ。刃部には多數の小刺繡痕が認められる。	A27-2-d S	出土点
340	57.85	29.35	9.35	14.0	H	141° 下端部破損。底面は上端付近で消滅。背面にはネガティブな刺繡面を2面持つ。	A2-2-404	
341	65.95	29.75	9.85	23.0	H	一 四端部破損。背面には露状剥片の刺繡痕と底面を1面ずつ持つ。主要刺繡面の刃部側に背面から的小刺繡痕が認められる。	A38-3-930	
342	81.80	25.55	5.90	21.2	H	一 下端部破損。大形。背面はネガティブな刺繡面2面と一面の底面を持つ。刃部は大きく内翻する。背面は四角形。	A37-1-420	
343	43.60	21.15	7.80	8.9	H	135° 刺繡部破損。背面の露状剥片刺繡痕の端辺に打面側から小刺繡痕を多数持す。	A40-4-724	
344	39.50	22.20	5.55	5.5	H	一 開脚部破損。背面の露状剥片刺繡痕の端辺に、打面側からのおもな刺繡痕が複数見られる。刃部にも主要刺繡面から的小刺繡痕がある。	A10-2-a S	
345	41.00	18.65	5.05	5.2	H	118° 刺繡部破損。底面は2面よりなる。刃部は直線状。打面部は山形を呈する。	A36-2-254	
346	38.60	22.20	6.50	5.7	H	115° 刺繡部破損。底面は細い。打面には打面痕が残る。背面は四角形。	B19-d S	
347	40.00	11.70	6.90	7.3	H	一 上端部破損。背面には1面の底面と複数のネガティブな刺繡面を持つ。刃部は直線状を呈する。	A21-1-247	
348	45.10	19.90	5.75	7.4	H	一 両端部破損。打面側は粗い。刃部は直線状を持つ。	A38-2-883	
349	48.15	20.10	7.60	7.4	H	120° 下端部破損。下端部は尖る。主要刺繡面の刃部側に打面側からのおもな刺繡痕がある。	A39-466	
350	71.80	29.00	7.00	17.3	H	110° 刺繡部破損。重量すれず8 cmの大方形。底面は下端部に小さく張る。寶珠斜片剥離痕の打面側縁辺に打面側からのおもな刺繡痕 A33-2-202		
351	56.65	12.35	4.85	5.0	H	140° 上端部破損。下端部破損。背面には1面の底面と2面のネガティブな刺繡面を持つ。刃部はあるく外側する。	A39-2-1470	
352	57.05	21.00	8.60	12.7	H	127° 刺繡部破損。打面側は尖る。また上方の刺繡痕は大きな複数のネガティブな刺繡面を持つ。主要刺繡面下端部に下端方向からのおもな刺繡痕がある。	B19-764	
353	45.50	15.15	7.45	6.1	H	118° 尖らるる上端部破損。背面は外側する。	A23-1-a S	
354	41.40	20.05	8.25	6.8	H	109° 先形。上端部破損。打面側は2面からなり、上方の刺繡面大きい。背面は1面の底面と複数のネガティブな刺繡面を持つ。刃部 A34-2-a S		
355	45.60	18.30	5.00	4.2	H	一部に上端部破損。刃部側は用く、下方の刺繡面は大きい。背面は1面の底面と2面のネガティブな刺繡面を持つ。刃部 B17-2-a N		
356	49.70	19.45	7.20	8.9	H	125° 尖らるる上端部破損。打面側は2面からなる。背面は2面のネガティブな刺繡面と1面の底面を持つ。刃部は尖る。	B10-524	
357	60.10	17.40	10.65	15.9	H	一 刀部の上部欠く。下端部は尖る。打面側は大きく、2面よりなる。下方の刺繡面には打点が残る。	A25-1-d S	
358	75.65	34.85	14.30	36.3	H	一 横長形。上部に自然面を残す。底面の下端部は下端方向からのおもな刺繡面あり。打面は2面からなり上方の刺繡面は大きい。 A34-2-2692		
359	53.80	20.80	9.75	15.0	H	118° 刺繡部破損。背面は上端部に石様の刺繡痕がある。打面側の上方の刺繡面が残る。刃部は外側する。背面は外側する。 A37-2-1902		
360	61.35	33.85	17.65	58.0	H	一 矩形。刃部側は尖る。背面には1面の底面と複数のネガティブな刺繡面を持つ。打面は3面よりなり、上方の刺繡面は大きい。鏡 A17-1-a N		
361	46.40	22.50	5.45	6.9	H	一 下端部及び刃部の下半部欠失。底面は刃部方向からの刺繡。打面側は上方の刺繡面は大きく、打点を持つ。	A38-2-1822	
362	43.55	17.15	5.80	6.5	H	112° 下端部破損。上端に確かに自然面を残す。打面側の上方の刺繡面は大きく打点を持つ。刃部は外側する。背面は平行四边形 A36-1-2156		
363	38.40	16.15	4.80	3.9	H	一 上端部破損。打面は2面よりなる。下方の刺繡面は大きく打点がある。刃部は平行四辺形。	A37-3-230	
364	44.10	20.25	5.20	5.0	H	130° 刺繡部破損。背面は直線と複数の斜片の刺繡痕を1面ずつ持つ。刃部は直線状を呈する。背面は斜平な四角形。	A41-5-a N	

番号	法 量	幅 長さ	厚さ	重量	石 質	剥離 角度	剥離 面	観 察	出土地点
365	44.85	16.80	7.70	7.1	サメカイト	115°	両端剥離。背面には1面の底面と複数のネガティブな剥離面を持つ。粗い打面剥離を施す。	A39-2-1625	
366	45.55	19.45	6.40	8.0	H	-	両端剥離。打面剥離は粗い。	A41-3-476	
367	58.70	24.55	7.50	7.4	H	-	下端剥離。万能の一端欠失。上端に僅かに自然面を残す。背面には1面の底面と2面のネガティブな剥離面を持つ。	B16-707	
368	70.00	26.20	8.30	24.5	H	127°	下端剥離。復元すると8cm位の大形。背面上面に上端万能から1面の剥離面あり。1面の底面と複数のネガティブな剥離面を持つ。	A38-1-2729	
369	58.20	15.45	3.00	3.1	H	-	両端剥離は粗い。打面剥離は打面全体に施す。背面は純粹片の剥離面1面だけ持つ。万能は外端。打面部は山形。	A38-1-4600	
370	50.05	17.85	7.35	6.6	H	118°	完形。上端剥離面大きい。底面は下端面に小さく残る。背面は1面の底面と複数の剥離面を持つ。打面剥離は粗く2面持す。上	C11-2-134	
371	47.45	16.55	6.30	6.4	H	108°	下端剥離。万能を僅かに欠す。背面に底面ではなく裏剥片の剥離面1面のみ。	A37-4-1 N	
372	53.75	17.00	6.25	5.9	H	-	上端剥離。背面は裏剥片の剥離面1面のみ。粗い打面剥離の上端かい剥離を施す。	A39-1-c D S	
373	49.95	20.60	8.70	8.8	H	116°	完形。上端に少しおよどみ。下端に自然面を残す。底面はネガティブな剥離面で作業面が形成したと考えられる。打面剥離は下端	A38-2-4751	
374	61.50	20.70	11.65	15.8	H	135°	完形。背面には複数のネガティブな剥離面を持つ。打面剥離は粗く大きい。万能側には微小な剥離あり。	A37-1-3037	
375	59.60	40.20	8.55	35.0	H	-	上端剥離。底面は中央部に細く残る。背面には複数のネガティブな剥離面を持つ。機長剥片の可能性あり。	A40-3-601	
376	50.25	22.40	7.80	9.7	H	-	万能を僅かに欠す。打面剥離の大部分は自然面を利用。打面剥離は下端面に小さく施す。	C18-1-336	
377	55.40	18.35	9.10	12.1	H	-	下端剥離。ファーストフレイクか。背面の大半は自然面で、上端部には打面剥離からの剥離面が複数見られる。	A19-1-c S	
378	44.25	25.50	8.00	10.5	H	124°	完形。背面剥離の下端部に自然面を残す。背面にはネガティブな剥離面はない。機長剥片か。	A40-564	
379	41.05	11.60	6.15	5.4	H	110°	両端剥離。背面には複数のネガティブな剥離面がある。打面剥離は施される。	A38-3-c D S	
380	67.90	26.35	7.00	18.7	H	120°	上端剥離。底面は上半部に小さく残る。背面にはネガティブな剥離面あり。打面剥離は粗い。	C14-1-297	
381	46.20	23.80	8.75	9.3	H	137°	完形。背面には1面の底面とネガティブな剥離面を持つ。機長剥片か。打面に細かい剥離が見られる。万能に微かな	A34-1-1380	
382	50.75	27.35	9.00	15.3	H	117°	完形。背面剥離の下端部に自然面を残す。背面は1面の底面とネガティブな剥離面を持つ。背面のネガティブな剥離面と主要剥離面の割合は均等である。	C17-124	
383	69.55	27.15	11.60	23.3	H	127°	完形。機長剥片か。面ともゴジタイプな剥離面。	A6-1-222	
384	41.95	13.60	4.45	3.2	H	115°	完形。背面には1面の底面とネガティブな2面の剥離面を持つ。打面剥離は上端部に1面だけ施す。下半部は自然面。	A39-2-1349	
385	37.00	12.60	7.65	2.8	H	-	完形。小形。打面剥離の下端部には主要剥離面から2面の剥離面があり。ナイフ形石器と考えられる。	A39-2-1903	
386	34.60	28.70	8.40	9.1	H	-	完形。端部。背面は1面の底面と加熱方向の異なる3面のネガティブな剥離面を持つ。機長剥片か。	A31-1-89	
387	58.00	13.90	6.80	6.9	H	-	完形。阿良が安ら。背面には1面の底面と複数のネガティブな剥離面を持つ。打面の下部には主要剥離面から二次剥離	B18-c N	
388	37.75	12.50	5.35	3.9	H	-	背面には底面とネガティブな剥離面から二次剥離を施す。ナイフ形石器と考えられる。	A36-1-2386	

第59表 橫長剝片計測表

番号	法 式	量	厚さ	重さ	質	剥離角度	出土地点	番号	長さ	幅	厚さ	重量	石	質	剥離角度	出土地点
長さ	幅	厚さ	長さ	幅	厚さ	長さ	幅	番号	長さ	幅	厚さ	重量	石	質	剥離角度	出土地点
1	19.40	31.40 <sup>a</sup>	8.30 <sup>b</sup>	7.1 <sup>c</sup>	サスカイ卜	-	A37-1-2883	27	21.50 <sup>d</sup>	43.10 <sup>e</sup>	6.65 <sup>f</sup>	7.6 <sup>g</sup>	サスカイ卜	-	125°	A38-1-4171
2	18.80	36.40	8.60	5.2	<i>n</i>	118°	A36-3-381	28	18.70	31.65	4.85	3.5	<i>n</i>	-	109°	B7-1166
3	16.90	38.40	10.50	5.9	<i>n</i>	130°	A36-1-351	29	17.20	32.40	4.35	2.3	<i>n</i>	-	101°	B7-847
4	13.30	50.30	6.00	5.2	<i>n</i>	137°	A36-4-1447	30	25.80	30.20	5.00	3.1	<i>n</i>	-	160°	A39-4-a N
5	33.70	43.20	8.65	13.9	<i>n</i>	130°	A40-3-d N	31	15.80	40.40	5.00	2.7	<i>n</i>	-	123°	A23-1-d N
6	31.70	43.20	9.85	12.7	<i>n</i>	146°	A36-2-2733	32	15.10	38.25	5.50	3.1	<i>n</i>	-	127°	A31-4-1550
7	43.00	84.00	16.20	52.8	<i>n</i>	129°	A41-3-d N	33	16.00	35.40	4.75	2.4	<i>n</i>	-	159°	A38-2-356
8	21.30	51.00	4.90	7.0	<i>n</i>	131°	A40-4-327	34	16.60	41.05	4.90	2.2	<i>n</i>	-	129°	A36-2-29
9	14.70	22.20	7.15	2.3	<i>n</i>	140°	B18-126	35	20.10	34.70	6.60	4.9	<i>n</i>	-	125°	B18-618
10	24.00	39.80	12.80	10.0	<i>n</i>	130°	A40-3-c N	36	24.80	59.30	7.20	9.4	<i>n</i>	-	111°	A9-1-284
11	24.15	38.25	6.05	5.7	<i>n</i>	102°	B17-a N	37	26.65	56.20	10.05	14.5	<i>n</i>	-	120°	A42-4-345
12	18.70	32.50	2.25	1.5	<i>n</i>	-	B3-10-361	38	25.40	71.55	11.50	22.9	<i>n</i>	-	110°	B2-444
13	17.50	34.96	6.10	3.4	<i>n</i>	93°	A40-2-c N	39	28.95	45.15	6.65	8.2	<i>n</i>	-	120°	A2-1-b N
14	21.00	34.80	5.70	4.0	<i>n</i>	100°	C15-1-a N	40	33.50	49.55	7.85	8.2	<i>n</i>	-	114°	B3-496
15	17.55	37.65	6.50	5.0	<i>n</i>	138°	A36-5-440	41	22.85	40.00	6.75	4.9	<i>n</i>	-	125°	B3-451
16	24.35	33.40	6.25	6.0	<i>n</i>	138°	B3-404	42	26.45	29.30	10.50	14.6	<i>n</i>	-	136°	B25-87
17	25.10	40.00	5.50	5.9	<i>n</i>	91°	B17-a S	43	25.65	46.10	9.70	9.9	<i>n</i>	-	131°	B21-210
18	28.25	46.35	8.10	10.0	<i>n</i>	122°	B3-222	44	26.10	58.05	9.30	12.2	<i>n</i>	-	125°	B7-1113
19	24.85	49.00	17.60	11.1	<i>n</i>	126°	A35-4-568	45	28.20	43.80	8.80	10.5	<i>n</i>	-	-	A38-2-403
20	28.00	55.85	9.00	14.8	<i>n</i>	130°	A36-5-369	46	29.80	54.05	8.05	8.4	<i>n</i>	-	121°	A44-2-148
21	24.20	66.85	15.00	25.5	<i>n</i>	85°	C14-1-685	47	19.35	43.40	7.15	7.0	<i>n</i>	-	127°	A2-2-554
22	29.45	37.65	8.65	9.5	<i>n</i>	136°	B1-1-596	48	28.45	56.45	8.10	10.0	<i>n</i>	-	80°	A37-1-766
23	29.50	49.10	7.75	9.3	<i>n</i>	114°	A40-2-b S	49	20.90	48.85	7.60	7.0	<i>n</i>	-	119°	A37-2-2949
24	24.55	45.20	7.35	8.2	<i>n</i>	103°	C5-1-60	50	27.10	48.05	11.10	17.8	<i>n</i>	-	104°	A37-3-961
25	17.95	43.50	4.80	4.6	<i>n</i>	122°	B3-630	51	16.00	34.90	8.30	4.9	<i>n</i>	-	A39-5-c S	-
26	29.50	37.60	7.60	6.9	<i>n</i>	122°	B3-288	52	22.40	35.00	4.45	2.2	<i>n</i>	-	B10-276	-

番号	法 量			石 質			射撃角度			出土地点			番号			法 量			石 質			射撃角度			出土地点		
	長さ	幅	厚さ	重量	石	質	長さ	幅	厚さ	重量	石	質	長さ	幅	厚さ	重量	石	質	長さ	幅	厚さ	重量	石	質	長さ	幅	厚さ
53	17.90	33.35	5.15	3.4	サスカイト		152' B8+306	79	18.60	41.65	6.25	4.6	サスカイト		118'	A36-3-815											
54	14.45	33.20	5.25	2.1	H		119' A40+3-d S	80	29.85	35.75	8.10	6.8	H		125'	B8+361											
55	18.90	39.20	5.10	4.5	H		128' A35+1-191	81	22.00	26.90	4.30	2.3	H		126'	B7+390											
56	13.65	37.45	4.95	2.1	H		133' A35+2-28	82	20.10	33.20	5.75	2.1	H		-	B7+379											
57	22.35	36.05	4.75	3.3	H		120' B8+123	83	24.25	28.40	6.35	4.5	H		134'	B9+497											
58	23.45	44.15	11.75	10.4	H		123' B9+397	84	18.85	39.25	17.45	5.1	H		122'	A36-1-122											
59	19.50	57.20	8.70	8.0	H		117' B7+644	85	26.70	40.95	6.75	7.4	H		-	B9+116											
60	23.10	41.60	9.00	8.1	H		136' A40+5-c N	86	28.70	34.50	6.65	4.8	H		112'	B7+436											
61	36.65	59.65	14.30	29.4	H		106' B8+446	87	21.20	42.00	7.90	7.7	H		113'	A40+4-739											
62	37.65	80.00	8.65	37.9	H		142' A4+179	88	19.80	33.10	7.05	4.9	H		140'	B9+755											
63	31.15	67.95	11.00	20.7	H		124' A36+2-1863	89	17.70	43.20	6.95	6.3	H		118'	A23-1-d N											
64	12.35	20.85	5.15	1.4	H		119' C14+1-a N	90	24.65	41.75	6.60	8.0	H		137'	B8+592											
65	12.90	29.00	7.00	3.0	H		123' A10+1-b N	91	19.70	45.00	5.90	5.5	H		126'	A36-3-479											
66	10.15	33.30	4.50	1.4	H		120' B9+579	92	44.85	54.95	9.45	25.9	H		-	A37-1-3447											
67	20.20	32.55	5.55	2.9	H		110' B13+260	93	21.80	43.70	10.90	17.2	H		127'	A38-2-4497											
68	16.35	37.10	7.20	4.1	H		- B8+113	94	25.80	43.55	5.05	7.1	H		128'	A40+4-416											
69	23.85	35.25	6.25	4.8	H		129' A38+1-4261	95	28.60	38.25	7.65	7.9	H		110'	B2+1839											
70	13.35	19.60	4.85	1.2	H		128' B8+894	96	35.40	39.80	6.75	7.3	H		124'	B13+830											
71	20.20	29.40	6.00	3.3	H		129' B5+351	97	35.75	48.75	9.90	9.8	H		116'	A40+4-178											
72	16.35	27.65	5.75	2.4	H		124' B7+770	98	28.20	54.05	9.50	16.4	H		-	A36+3-943											
73	20.90	28.65	2.65	1.6	H		123' B2+963	99	29.45	55.85	17.65	9.6	H		122'	A33+1-793											
74	17.90	28.80	5.50	3.1	H		119' B7+597	100	28.70	49.30	9.35	14.7	H		124'	A25-2-b N											
75	25.10	31.40	6.55	4.2	H		130' B12+345	101	32.50	47.65	8.85	14.6	H		121'	B8+578											
76	23.00	36.25	6.25	4.4	H		112' C9+2-a N	102	28.00	52.20	9.5	15.3	H		119'	A36+2-682											
77	22.40	31.75	11.50	7.9	H		- A28+2-c S	103	51.00	38.85	13.65	15.7	H		122'	A31+1-96											
78	20.40	33.70	6.2	4.7	H		121' C14+1-a N	104	34.05	33.90	7.70	7.4	H		117'	A35+4-596											

番号	法 量	長さ 幅	重さ	石 質	測量角度	出土地 点	番号	法 量	長さ 幅	重さ	石 質	測量角度	出土地 点		
105	32.40	48.20	12.00	15.1	"	サヌカイ卜	129'	C13-2-243	131	24.00	47.95	7.1	サヌカイ卜	132° B13-a S	
106	35.35	49.50	8.50	11.1	"		120'	A38-1-4329	132	30.25	49.05	9.85	14.2	"	- A10-2-18
107	36.70	43.35	9.30	12.3	"		131'	A36-4-1242	133	28.35	45.00	8.80	10.6	"	115° A42-5-c S
108	32.90	45.30	7.45	13.4	"		129'	B15-705	134	24.65	33.30	6.40	6.7	"	115° B5-231
109	44.30	56.90	13.80	33.9	"		119'	A23-1-b N	135	32.55	30.90	7.65	10.1	"	126° B7-3000
110	23.75	44.30	6.50	5.0	"		-	B7-245	136	34.45	39.30	10.00	11.7	"	128° A35-3-d S
111	20.85	52.00	5.50	6.4	"		116'	A35-2-a S カツラ	137	34.65	66.85	11.70	28.9	"	106° B6-271
112	35.25	69.20	10.20	23.4	"		-	A40-3-48	138	48.70	53.55	11.95	26.1	"	129° C13-1-349
113	33.60	56.50	9.70	18.3	"		122'	A39-1-272	139	23.65	30.15	4.55	2.5	"	117° B14-95
114	9.80	26.80	3.85	1.3	"		114'	A33-2-416	140	21.20	42.40	6.75	7.0	"	111° C13-518
115	14.70	31.10	5.25	3.7	"		-	B18-d S	141	17.65	43.35	7.00	4.8	"	156° B2-46
116	19.40	36.55	17.10	5.4	"		131'	C15-1-d S	142	23.35	32.65	7.10	5.4	"	134° C12-1-26
117	12.55	30.60	7.15	3.9	"		126'	A39-3-c S	143	22.40	43.45	9.75	9.8	"	126° B13-711
118	22.35	38.85	6.00	5.2	"		-	B10-10-89	144	23.65	49.85	8.40	9.4	"	117° B23-250
119	17.45	40.55	7.4	5.2	"		134'	B4-338	145	27.80	55.75	8.10	13.4	"	126° A40-4-417
120	25.10	35.65	6.95	3.8	"		147'	A37-4-d S	146	26.80	51.80	13.05	21.0	"	114° C13-2-227
121	26.00	30.25	5.75	3.9	"		-	A9-1-b S	147	32.05	73.35	7.05	14.1	"	124° B5-211
122	28.15	27.90	5.25	4.7	"		-	A26-2-47	148	41.95	60.00	13.10	31.5	"	134° A22-23-1
123	29.20	31.75	5.50	4.4	"		97'	B14-286	149	18.55	37.20	4.05	4.0	"	120° B8-345
124	32.40	39.50	9.35	15.1	"		123'	A36-4-1075	150	28.75	32.60	42.5	3.9	"	132° A8-1-b S
125	27.75	45.65	7.60	13.6	"		140'	A3-1-150	151	32.65	31.75	6.60	6.4	"	142° B2-25
126	29.10	39.35	7.60	11.1	"		128'	B4-34	152	24.10	36.65	8.50	6.7	"	150° B8-411
127	30.50	37.35	6.15	4.8	"		-	B7-840	153	31.00	38.75	12.60	17.2	"	126° A34-1-1429
128	28.00	35.40	4.80	5.0	"		101'	B13-888	154	48.50	21.60	12.85	16.0	"	118° A36-2-2935
129	25.35	49.40	8.75	12.1	"		-	B11-659	155	39.80	45.55	7.65	14.5	"	- B13-692
130	19.80	49.60	8.00	8.5	"		126'	C12-1-297	156	29.55	60.75	9.15	21.7	"	127° A2-2-28

番号	法 縦		法 横		重量	石 質	剖面角度	出土地点	番号	法 縦		重量	石 質	剖面角度	出土地点
	長さ	幅	長さ	幅						厚さ	幅				
157	31.20	71.85	9.95	24.6	サヌカイ卜	-	A39-2-b S	183	23.05	37.00	5.5	サヌカイ卜	114°	B2-1178	
158	38.30	55.05	11.15	23.5	n	137°	A24-1-d N	184	16.05	52.00	5.3	n	-	A37-1-3388	
159	25.65	39.45	9.15	8.9	n	-	B9-917	185	19.15	37.00	7.9	n	127°	B7-781	
160	15.65	44.85	5.20	3.3	n	122°	A41-3-d N	186	24.85	41.60	7.5	n	115°	B26-b S	
161	22.00	30.80	5.00	3.0	n	-	B8-182	187	32.80	41.40	9.30	13.1	n	127°	A42-3-d S
162	33.65	59.90	8.25	7.8	n	125°	B7-1137	188	41.55	41.65	11.25	22.5	n	116°	c7-2-95
163	24.65	31.45	4.95	3.1	n	110°	B7-739	189	59.90	78.25	10.75	29.2	n	139°	A36-2-1941
164	30.50	51.10	7.55	10.2	n	-	B3-123	190	31.15	58.15	10.95	16.6	n	113°	A36-5-532
165	38.35	57.75	6.55	15.7	n	113°	B7-37	191	33.60	37.00	9.05	9.7	n	106°	B7-114
166	19.70	33.55	5.15	4.1	n	90°	B10-301	192	17.60	29.55	5.50	2.2	n	132°	B21-1983
167	25.85	52.25	7.25	11.6	n	133°	A40-5-b S	193	22.30	39.40	7.85	7.1	n	130°	A42-4-c N
168	35.45	49.30	13.75	25.2	n	104°	A37-2-1923	194	27.40	71.15	7.90	14.2	n	-	B9-933
169	52.65	47.40	13.10	32.7	n	-	A38-1-2704	195	23.10	57.75	11.70	22.1	n	113°	C11-1-310
170	24.00	51.80	5.90	7.8	n	104°	B18-815	196	39.80	54.90	14.65	26.9	n	114°	A9-1-285
171	25.10	40.25	6.95	3.8	n	93°	B23-a N	197	43.45	48.50	13.00	28.1	n	-	A37-1-722
172	30.85	38.60	8.40	8.9	n	124°	A38-1-4297	198	43.05	50.00	8.95	17.4	n	121°	B20-1099
173	24.30	31.30	5.50	4.6	n	-	B9-285	199	34.55	54.30	12.30	20.9	n	124°	B7-530
174	17.75	38.60	6.70	5.9	n	122°	A24-1-d N	200	15.90	33.80	4.75	3.0	n	-	B5-486
175	23.80	33.15	9.35	3.9	n	118°	B17-d N	201	28.20	29.05	4.80	4.3	n	-	A5-2-148
176	23.70	54.85	11.15	12.8	n	117°	A37-2-2391	202	18.00	32.50	6.45	3.3	n	132°	A37-4-d N
177	48.65	42.15	8.40	15.8	n	-	B2-100	203	28.40	38.45	8.20	9.6	n	-	A37-4-506
178	38.15	60.75	15.00	30.0	n	134°	A20-1-92	204	19.60	39.55	3.70	5.8	n	-	C17-1-a S
179	51.45	63.45	9.60	31.4	n	160°	B8-816	205	24.30	40.60	8.25	8.4	n	128°	B8-1186
180	28.55	32.10	7.25	5.7	n	-	B15-354	206	29.15	37.10	8.85	10.2	n	125°	B10-116
181	17.15	34.80	5.95	3.0	n	-	B7-290	207	18.10	29.75	6.70	4.5	n	-	B3-282
182	17.00	20.85	6.25	2.4	n	125°	B17-c N	208	35.45	38.10	7.65	7.5	n	127°	A36-1-259

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石	質	鉛錠角度	出土地點	番号	長さ	幅	厚さ	重量	石	質	鉛錠角度	出土地點
209	29.30	50.50	8.55	12.3	サスカイト	109°	A37°1-3135	235	48.60	48.55	8.00	18.5	サスカイト	114°	C15°1-302	
210	26.15	42.95	11.00	14.2	n	135°	A39°2-c N	236	31.95	62.75	9.45	12.9	n	140°	B18°d S	
211	24.30	42.00	6.05	5.7	n	123°	B3°454	237	16.35	36.00	6.40	12.4	n	136°	B22°a N	
212	32.35	41.10	8.55	8.6	n	122°	A37°1-3128	238	22.75	48.45	10.75	12.8	n	124°	A35°3-1097	
213	22.45	36.70	8.50	6.2	n	142°	A35°2-457	239	23.80	41.90	7.25	6.1	n	112°	A39°2-a S	
214	27.05	35.85	7.25	7.0	n	125°	C15°1-b N	240	14.55	33.80	6.25	3.8	n	-	A41°5-a S	
215	33.60	45.40	9.85	12.1	n	122°	C13°1-d S	241	34.20	44.20	7.15	9.0	n	124°	A36°1-467	
216	33.45	35.15	4.45	5.2	n	-	A5°1-d S	242	19.60	37.00	6.25	5.8	n	145°	C16°1-1765	
217	28.35	42.35	8.80	13.2	n	130°	B12°1057	243	20.50	41.85	7.85	7.7	n	140°	B14°1-180	
218	22.60	56.30	7.90	10.4	n	165°	A35°4-a S	244	26.30	44.10	7.35	6.7	n	-	A5°1-a N	
219	23.90	45.00	10.00	11.9	n	123°	B10°-398	245	28.85	44.75	10.65	11.6	n	145°	A42°5-c S	
220	49.85	52.10	14.35	18.1	n	-	C18°1-424	246	17.20	32.40	4.35	2.3	n	163°	B7°847	
221	24.60	50.80	10.15	13.2	n	-	A6°3-107	247	17.20	45.20	8.60	9.9	n	125°	A38°3-b S	
222	17.85	42.45	8.05	6.4	n	-	B2°143	248	29.40	57.45	7.75	13.4	n	121°	B10°-467	
223	23.05	51.55	10.90	13.5	n	-	B3°-27	249	29.75	49.55	11.65	12.8	n	-	B5°604	
224	18.75	35.45	7.35	4.7	n	103°	A36°3-1620	250	28.90	51.35	9.65	11.9	n	115°	C14°1-b S	
225	24.55	45.85	7.95	8.3	n	140°	A42°5-c S	251	33.45	48.45	6.65	10.0	n	115°	B14°1-142	
226	33.25	54.15	10.25	16.5	n	-	A38°2-3822	252	21.35	32.90	6.65	4.9	n	115°	B22°419	
227	28.65	52.65	9.40	12.8	n	121°	A12°1-138	253	29.40	52.40	8.30	14.9	n	117°	B11°-441	
228	29.50	48.80	8.00	10.2	n	-	B18°e N	254	21.40	56.30	11.05	16.5	n	139°	A35°1-1836	
229	27.00	49.35	7.25	9.6	n	109°	B13°2	255	19.70	38.25	8.75	5.7	n	89°	B21°1308	
230	17.60	29.10	4.45	2.5	n	128°	B2°-335	256	34.55	37.10	8.60	10.4	n	116°	A35°3-1067	
231	23.55	33.80	6.40	5.6	n	116°	B8°-582	257	21.45	48.85	7.35	9.5	n	112°	A9°1-85	
232	36.45	74.80	9.85	21.7	n	124°	A34°1-1268	258	16.05	29.10	7.45	3.2	n	-	B10°-436	
233	31.05	82.60	18.05	52.5	n	123°	A27°2-c N	259	34.80	46.45	12.25	9.3	n	70°	A38°1-2585	
234	38.00	52.55	14.15	28.4	n	145°	A35°2-74	260	21.90	35.70	9.15	7.4	n	122°	B9°1036	

番号	法 延 長 さ	幅 厚 さ	重量	石 質	形態角度	出土地点	番号	法 延 長 さ	幅 厚 さ	重量	石 質	形態角度	出土地点	
261	24.05	38.60	8.35	9.6	サスカイト	140°	A38-4-75	287	16.55	20.30	6.00	1.8	玻璃質安山岩	108° A2-2-364
262	23.55	51.00	9.75	9.3	"	102	A36-3-806	288	21.10	20.90	6.35	2.0	"	115° B2-454
263	32.30	50.55	8.50	11.1	"	90°	B18-c S	289	19.30	30.75	6.20	2.5	"	142° A12-1-a N
264	17.65	41.65	5.75	5.8	"	135°	A39-5-d N	290	17.25	35.20	5.30	3.3	"	142° B18-320
265	24.00	44.05	11.40	13.0	"	127°	A36-2-995	291	13.50	18.75	2.95	0.7	"	115° A36-4-27
266	34.40	59.75	12.55	31.2	"	125°	A38-3-a S	292	20.90	29.10	7.00	3.7	"	140° A36-1-348
267	47.10	58.60	13.20	25.8	"	132°	A37-1-1942	293	18.10	22.55	4.15	1.7	"	- A35-3-c N
268	24.55	39.45	8.70	11.8	"	140°	A13-1-c N	294	22.30	31.45	8.40	5.1	"	124° C17-1-89
269	36.40	39.90	10.65	11.2	"	120°	C16-1-749	295	42.00	42.35	11.50	18.4	"	- C16-1-1071
270	20.10	44.10	5.90	4.8	"	119°	B26-245	296	29.05	35.30	5.45	4.6	"	110° A4-1-b S
271	30.30	50.35	10.05	19.0	"	153°	B12-575	297	30.30	35.80	8.80	7.5	"	- C17-1-301
272	33.60	37.55	15.15	19.3	"	101°	B14-45	298	16.50	29.50	6.75	3.8	"	119° C5-1-255
273	31.45	36.40	11.35	13.0	"	135°	B19-304	299	13.55	30.70	10.75	4.3	"	- A42-3-156
274	36.65	67.75	16.15	35.4	"	-	B5-241	300	44.30	47.70	8.40	16.5	"	- C10-1-a N
275	26.20	63.85	10.50	19.8	"	137°	A40-4-a S	301	28.00	39.20	10.35	11.6	"	144° B1-20
276	22.80	59.00	13.00	19.3	"	125°	A11-1-350	302	25.40	25.20	4.80	3.1	"	99° A12-1-c N
277	21.95	33.35	5.40	4.1	"	121°	B4-924	303	11.15	15.10	3.10	0.4	黒 石	- C4-1-d N
278	13.85	22.75	3.10	0.9	玻璃質安山岩	116°	B25-15	304	8.00	7.60	5.8	0.8	"	- A3-2-38
279	11.45	26.35	4.65	1.3	"	-	不明	305	13.35	16.80	5.80	1.3	"	- A52-29
280	11.90	22.40	2.65	0.7	"	125°	C18-1-298	306	12.90	18.95	1.70	0.5	"	- A19-1-110
281	16.75	19.60	4.50	1.6	"	125°	B18-732	307	10.40	10.95	4.25	0.7	"	- A2-1-562
282	15.25	20.00	5.85	1.4	"	-	A39-2-c S	308	16.00	16.35	4.95	1.1	"	- A2-1-171
283	17.35	21.40	4.50	1.4	"	-	B2-1-49	309	19.55	27.70	6.15	4.4	"	- A2-1-550
284	17.20	26.20	2.50	1.3	"	-	B2-71	310	21.15	26.90	8.65	4.5	鐵 岩	- B1-475
285	12.35	23.20	4.35	1.2	"	115°	A11-1-992	311	21.00	41.10	9.60	8.6	"	85° A34-1-223
286	21.55	30.90	4.05	2.8	"	136°	A11-1-99	312	32.80	26.90	6.80	4.4	"	131° B2-505

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石	質	剥離角度	出土地点	備号	長さ	幅	厚さ	重量	石	質	剥離角度	出土地点
313	32.20	52.10	17.55	29.1	鐵	板	-	A11-1-163	339	38.20	23.35	8.60	7.7	サスカイ	ト	-	A36-3-2334
314	35.05	38.10	8.20	9.5	#			B12-359	340	43.55	20.40	8.20	6.4	#		-	B21-1625
315	21.55	36.25	8.60	7.5	#			115 A24-1-b S	341	30.50	15.20	5.90	2.3	#		-	B8-1088
316	37.85	27.20	10.85	9.5	#			- A36-4-664	342	41.55	21.00	8.40	6.0	#		-	A36-4-1560
317	24.90	30.85	8.55	8.3	#			135' A35-5-243	343	49.50	30.25	12.00	15.5	#		-	A38-2-2741
318	31.10	46.85	13.80	14.1	#			- A35-2-439	344	66.65	35.25	11.15	22.8	#		-	B9-578
319	39.15	51.20	11.90	28.5	#			129 B24-11	345	66.10	17.70	13.00	11.0	#		-	A35-3-726
320	26.15	61.40	14.65	26.3	#			116' C14-2-250	346	59.35	27.70	16.65	20.9	#		-	C14-1-b N
321	51.60	30.40	11.70	18.3	サスカイ	ト	-	C15-1-c N	347	42.55	20.80	8.20	5.0	#		-	C14-1-637
322	43.70	18.65	7.80	4.8	#			- A22-2-a N	348	42.30	19.15	5.80	4.0	#		-	A35-3-519
323	45.65	16.85	9.65	4.6	#			- A24-2-a S	349	39.25	16.50	10.45	4.9	#		-	A36-2-2617
324	44.40	20.80	8.20	6.4	#			- A23-1-b N	350	36.10	14.45	4.25	2.0	#		-	B17-4 N
325	41.00	22.65	9.10	7.3	#			- A36-4-1020	351	44.20	23.15	10.00	6.6	#		-	A23-1-b N
326	50.60	26.05	8.60	9.9	#			- A38-3-1231	352	37.35	19.55	7.60	3.6	#		-	A37-2-2459
327	72.60	22.45	11.85	18.2	#			- C16-1-202	353	45.75	26.45	10.00	12.0	#		-	A39-2-1251
328	30.70	13.65	3.70	1.8	#			- A40-1-28	354	50.60	17.45	8.20	6.1	#		-	B24-131
329	40.00	23.40	6.45	4.8	#			- A9-2-a S	355	57.25	31.50	14.55	20.2	#		-	B11-558
330	59.95	16.60	13.15	8.3	#			- B11-195	356	51.45	30.35	9.55	13.7	#		-	A40-4-260
331	45.30	36.95	8.90	11.0	#			- A38-1-3038	357	34.35	15.80	6.80	2.6	#		-	A20-1-a N
332	36.95	13.95	9.00	4.2	#			- B12-3802	358	66.35	20.50	9.80	11.2	#		-	A36-3-1246
333	37.35	22.80	8.95	8.2	#			- A26-1-109	359	56.20	30.20	10.35	17.0	玻璃質安山岩		-	A35-4-a N
334	45.85	17.40	7.10	4.1	#			- A9-1-b S	360	31.10	15.85	7.80	3.7	#		-	B3-626
335	52.20	22.70	10.95	9.4	#			- A39-2-1000	361	29.20	16.45	5.25	2.1	#		-	B13-11
336	44.25	24.95	15.00	9.5	#			- B13-b S	362	16.90	38.70	6.60	4.2	#		-	A23-1-b N
337	34.00	18.70	9.35	5.7	#			- A4-2-c S	363	14.60	41.30	7.65	5.1	#		-	A37-4-b N
338	30.45	15.10	4.60	2.0	#			- B12-692	364	34.85	56.00	8.45	14.4	#		-	A39-3-480

番号	法 長さ	幅 mm	厚さ mm	重量 g	石 質	刻磨角度	出土地点
365	19.10	33.35	5.50	4.9	サヌカイト	—	B24-a N
366	15.65	40.65	5.55	2.0	"	—	A34-2-d N
367	28.70	44.55	12.90	18.6	"	—	A9-1-5
368	18.35	31.95	5.80	4.4	"	—	A36-3-1765
369	24.15	37.85	9.20	9.4	"	—	A38-3-529
370	25.35	45.15	17.15	25.4	"	—	A13-1-a N
371	23.15	41.65	6.85	7.2	"	—	A35-1-1701
372	24.55	48.60	10.35	13.3	"	—	A42-5-c S
373	32.85	52.25	11.70	16.1	"	—	A36-2-2628
374	22.00	52.00	8.20	7.2	"	—	A39-5-130

第60表 大形剣片計測表

番号	法 長さ	幅 mm	厚さ mm	重量 g	石 質	出土地点
1	102.95	93.80	19.15	157.0	サヌカイト	B21-2524
2	150.95	106.90	29.45	527.0	"	C8-1-64

第61表 線長刺片石柱調査表

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石 質	解	出土地点
1	40.60	16.15	26.80	25.3	流 紋 岩	不定形の石材を用い、3面から線長刺片を剥離する。1面が作業面の内2面は打面を共有するが、さらにその内1面の作業面の端 部を剥離する。片面を剥離する。片面には複数の凹部を有する。打面は必ずシザイブ面で剥離する。後面は複数の凹部を有する。 A37-3-976	
2	25.35	30.30	45.45	32.7	サヌカイト 不透明な重質石材を用いる。打面は必ずシザイブ面で剥離する。片面は自然面である。一面面から上方加熱で線長刺片を剥離する。打面は石材を剥離した際に主要剥離面を用い、打面 A38-1-691		
3	26.35	49.95	42.70	35.9	ル 三面剥離られない。	三面剥離しない。片面を剥離する。片面は必ずシザイブ面で剥離する。打面は石材を用いる。一面面から上方加熱で線長刺片を剥離する。打面は石材を剥離した際に主要剥離面を用い、打面 A23-1-a N	
4	38.10	12.40	23.10	14.3	ル が剥離されない。剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面は自然面である。一面面から上方加熱で線長刺片を剥離する。打面は1面で打面調整は行われない。片面面に A35-3-695	剥離工具を用いる。一面面から上方加熱で線長刺片を剥離する。打面は1面で打面調整は行われない。片面面に B11-367	
5	29.95	24.10	18.25	12.7	ル が剥離されない。剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面は自然面である。一面面から上方加熱で線長刺片を剥離する。打面は1面で打面調整は行われない。片面面に A36-3-696	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面は自然面である。一面面から上方加熱で線長刺片を剥離する。打面は1面で打面調整は行われない。片面面に B23-1323	
6	37.10	11.55	20.40	14.3	ル が剥離されない。剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面は自然面である。一面面から上方加熱で線長刺片を剥離する。打面は1面で打面調整は行われない。片面面に B13-a N	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面は自然面である。一面面から上方加熱で線長刺片を剥離する。打面は1面で打面調整は行われない。片面面に B13-a N	
7	96.85	19.45	35.50	72.0	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には石様調査と思われる剥離面を残す。打面には小さく打面 A38-1-529	
8	51.00	33.75	30.90	31.6	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 AA0-5-b S	
9	43.50	20.80	49.95	34.7	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 C16-1-1231	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 A11-4-b N	
10	58.65	17.25	27.85	31.7	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 C18-1-840	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 C12-2-72	
11	24.35	16.15	13.40	9.8	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 A20-1-a N	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B8-572	
12	29.55	23.70	20.75	10.2	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 C11-1-132	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 C11-1-793	
13	30.30	12.15	20.80	7.1	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 A4-2-368	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B18-461	
14	34.95	16.20	20.55	13.8	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B12-336	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 C7-2-a N	
15	64.80	20.50	22.45	42.4	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 A6-2-101	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 A14-1-a S	
16	61.10	19.40	16.20	31.5	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B26	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B27	
17	56.80	14.15	34.25	35.5	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B28	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B29	
18	49.80	18.85	43.85	40.5	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B30	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B31	
19	39.80	22.00	23.65	24.2	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B32	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B33	
20	55.55	14.90	44.55	53.1	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B34	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B35	
21	65.35	18.25	32.05	30.4	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B36	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B37	
22	40.95	9.90	46.40	19.8	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B38	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B39	
23	59.30	13.90	36.60	38.9	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B40	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B41	
24	37.45	11.95	36.45	17.0	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B42	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B43	
25	49.25	17.90	33.10	37.1	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B44	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B45	
26	57.15	15.65	17.40	19.5	ル 剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B46	剥離工具を用いる。一面面が剥離される。片面面には常に横幅が剥離工具と並んであることから露状剥片石灰の正反面と思われる。正面面の2面の剥離 B47	

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	概		出土地点
					横	縦	
27	43.10	23.10	49.35	46.5	サスカイト	三面角の底辺には斜面を有する。一面面が残る。三面角の底辺には斜面を有する。一面面が残る。三面角の底辺には斜面を有する。下方から加熱後長剣片を剥離する。打面は上面の折れ面（？）を共有する。打面側面は下顎のかつての作用面を利用。打面側面は下顎のかつての作用面を利用。	B13-b S
28	44.75	15.75	41.05	33.0	石	二面角を呈する。一側面（右側）で斜長剣片を剥離する。打面は上面の折れ面（？）を共有する。打面側面は下顎のかつての作用面を利用。打面側面は下顎のかつての作用面を利用。	B12-35
29	53.35	25.30	28.85	36.6	石	二面角を呈する。一側面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面は上面の折れ面（？）を共有する。打面側面は下顎のかつての作用面を利用。打面側面は下顎のかつての作用面を利用。	C13-1-177
30	32.00	13.00	37.70	13.5	石	二面角を呈する。正面（左側）は、後面の折れ面を正面として上方から斜長剣片を剥離する。後面は下面を打面として剝離する。後面は自然面を残す。侧面（左側）も上方からの加熱を行なう。	C16-2-83
31	63.65	19.90	44.0	59.1	石	板状剥離材を用いる。正面で3面の打面を共有する斜長剣片を剥離する。正面（左側）と後面は自然面を残す。侧面（左側）も上方からの加熱を行なう。	C18-1-c S
32	33.10	14.40	21.20	10.8	石	三面角を呈する。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面は1面で打面側面は施さない。	A21-1-697
33	41.70	10.00	40.70	21.6	石	板状剥離材を用いる。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。上面は正面を、下面は後面を打面として打面側面を施される。正面で板状剥離材を用いる。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面は上面を共有して打面側面が施される。側面は平面部では見られない。	C18-1-849
34	46.65	14.0	30.60	21.5	石	三面角を呈する。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面は上面を共有して打面側面が施される。側面は平面部では見られない。	A4-2-243
35	32.95	23.0	24.15	22.0	石	板状剥離材を用いる。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面側面は施されない。側面には上・下から石様側面の絆	A31-1-423
36	64.15	17.05	25.00	38.5	石	板状剥離材の剥離板を持つ。上方からの剥離は比べて下方からの剥離は小ささい。側面は平面部。	A4-2-933
37	68.60	14.15	23.35	32.5	石	板状剥離材で上方から剥離板が残る。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面は平面部で剥離は施されない。下方からの剥離板も斜長剣片の剥離	C13-2-a N
38	32.80	15.20	13.60	9.0	石	板状剥離材で上方から剥離板が残る。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面は平面部で剥離は施されない。下方からの剥離板も斜長剣片の剥離	C12-1-210
39	25.10	18.75	37.15	23.0	石	板状剥離材で上方から剥離板が残る。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面は側面剥離材で打面側面は見られない。石衣の他の側面	A1-b S
40	40.10	20.20	27.75	25.9	石	板状剥離材で上方から剥離板が残る。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。正面（左側）で斜長剣片で打面側面は施さない。	A10-1-c N
41	43.80	11.95	28.95	21.0	石	板状剥離材で上方から剥離板が残る。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面側面は施さない。	A13-2-c N
42	55.95	16.30	50.90	52.9	石	板状剥離材で上方から剥離板が残る。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面は側面剥離材で打面側面の可能性あり。片側面には大きさの自然面を	A11-1-d S
43	40.35	33.00	27.25	26.0	石	不正確な斜面を持つ。下方から剥離板を残す。打面には側方向からの大きな剥離板が見られる。	C14-1-d S
44	60.90	19.00	32.60	54.0	石	板状剥離材を用いる。正面の剥離板をさみき両面で上方から斜長剣片を剥離する。打面には側面剥離板が施さない。	B3-160
45	32.15	10.70	24.15	13.5	石	板状剥離材で上方から剥離板が残る。打面側面は斜長剣片を剥離する。後面も斜長剣片を剥離する。打面には側面剥離板が施さない。	B17-c N
46	30.00	29.55	23.15	20.5	石	板状剥離材で上方から剥離板が残る。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面側面は施さない。	C14-1-610
47	41.15	16.20	26.20	21.3	石	板状剥離材で上方から剥離板が残る。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面は共有して打面側面を施さない。	A18-1-b N
48	54.15	16.10	34.55	39.5	石	板状剥離材で上方から剥離板が残る。打面側面は斜長剣片を剥離する。打面側面は施さない。	B13-364
49	61.30	16.10	27.40	34.0	石	板状剥離材で上方から剥離板が残る。正面（左側）で斜長剣片を剥離する。打面側面は施さない。	A12-1-47
50	42.20	18.65	27.50	26.5	石	三面角を呈する。三方の側面から斜長剣片を剥離する。打面側面が行われる。正面では上・下方から加熱する。	B19-513
51	42.80	15.25	54.8	44	石	板状剥離材を用いる。上面・後面（右側）、正面（中央左側）、と斜長剣片の作用面を複数持す。正面では上・下方から加熱する。	A38-1-666
52	39.00	18.35	37.15	31.0	石	前面の縁辺に斜方から斜長剣片を剥離する。正面は打面を共有し、正面側には打面側面を施す。	C14-2-a N

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	鏡		出产地
					長さ	締 幅	
53	46.15	12.55	31.50	34.2	サスカイト	三の原に打鑿長剣片を用く1面づつ施す。正面(中央左図)と後面(右図)で鏡長剣片を刻離する。2面共打面を有する。上面(打面) C13-1-220	
54	55.60	22.35	43.30	58.1	ル	二つの鏡面を有する。本端部を欠く。正面(中央左図)と後面(右図)で鏡長剣片を刻離する。正面は上面のネガダイ C11-1-359	
55	41.00	15.85	27.15	25.3	ル	本端部を欠く。正面(中央左図)と後面(右図)で鏡長剣片を断ち離す。打面には打面調整を極めに施す。片面面(右面)は複数の刻離面より C12-1-360	
56	36.15	13.10	30.25	19.0	ル	正面(中央左図)と後面(右図)で鏡長剣片を移して、上面と正面(中央右図)で鏡長剣片を刻離する。下面は折れ面か。鏡片の側面は平坦 B11-3	
57	32.85	13.60	29.15	17.5	ル	正面(中央左図)と後面(右図)で鏡長剣片を用む。正面(中央右図)と後面(左図)には上・下方からまたは下方から鏡長剣片 B10-723	
58	50.90	15.15	43.35	41.0	ル	他の鏡片を用いる。鏡長剣片は正面(右図)で刻離する。打面(上面)には打面調整を大きく3面施す。 C10-1-101	
59	41.00	20.50	29.25	29.5	ル	正面で鏡長剣片を刻離する。正面(打面)はかつての作業面片の刻離面か。側面面には平坦な刻離面を持つ。 A9-1-245	
60	49.15	18.95	38.65	58.1	ル	四面に透状素材を用いる。正面(中央右図)と後面(右図)で上方から鏡長剣片を刻離する。打面は共用して側面には打面調整 C12-1-c S	
61	55.70	16.50	30.40	34.0	ル	透状素材を用いる。正面(中央右図)と後面(左図)で鏡長剣片を刻離する。正面は平坦な打面(上面)で上方から刻離する。 C15-1-280	
62	30.85	14.95	36.20	23.5	ル	側面はネガダイ。正面(右図)で鏡長剣片を刻離する。3面共打面を共有する。打面調整は施されない。 B20-d N	
63	35.25	13.90	30.50	17.0	ル	三角柱状を用いる。正面(中央左図)で上方から鏡長剣片を刻離する。打面には打面調整を1面施す。 B19-d S	
64	66.90	31.80	27.40	63.5	ル	丸状に近い分厚い透状素材を用いる。正面(中央右図)と後面(左図)で上方から鏡長剣片を刻離する。両面は打面を共有する。 B17-466	
65	62.80	20.15	32.45	41.5	ル	三枚状に削る。正面(中央左図)と上面で鏡長剣片を打面とする。正面は上面に石質調整の刻離面を C17-2-71	
66	60.75	24.60	28.45	46.0	ル	斜面に削る。正面(中央左図)と上面で鏡長剣片を打面とする。正面は上面に石質調整の刻離面を C17-2-71	
67	32.25	18.45	34.05	26.6	ル	斜面に削る。正面(中央左図)と上面で鏡長剣片を打面とする。正面は上面に石質調整の刻離面を C13-1-121	
68	47.75	17.00	41.75	52.0	ル	斜面に削る。正面(中央左図)と上面で鏡長剣片を打面とする。正面は上面に石質調整の刻離面を C13-1-121	
69	41.95	10.20	40.40	17.9	ル	透状素材を用いる。正面(中央左図)で上方から鏡長剣片を刻離する。正面は側面に斜面を削り離して鏡長剣片を刻離する。側面は平坦な1面 C13-2-a N	
70	48.65	17.30	44.30	44.3	ル	透状素材を用いる。作業面が広めに、3面で鏡長剣片を刻離する。正面(中央左図)は上面を打面とし、下面の鏡長剣片の刻離面は B11-190	
71	70.10	31.60	33.40	27.5	ル	正面(中央左図)と上面で鏡長剣片を刻離する。正面は側面に斜面を削り離す。側面は下方か A13-384	
72	45.50	17.45	52.40	33.0	ル	透状素材を用いる。正面(中央左図)と上面で鏡長剣片を刻離する。正面は側面に斜面を削り離す。側面は下方か A13-384	
73	46.45	28.70	57.00	105.0	ル	透状素材を用いる。正面(右図)と上面・正面で鏡長剣片を刻離する。正面(中央左図)は折れ面か。 C12-1-99	
74	42.30	12.55	43.90	35.0	ル	透状素材を用いる。正面(中央左図)と上面で鏡長剣片を刻離する。3面に鏡長剣片の刻離面が進んだためかすべての側面に鏡長剣片の刻離面を持つ。 A40-5-a S	
75	39.40	35.45	31.05	61.5	ル	多角形である。鏡長剣片の刻離面が進んだためかすべての側面に鏡長剣片の刻離面を持つ。 A13-1-N	
76	31.65	28.90	28.75	36.5	ル	柱状を呈する。2個面(中央左図・右図)から、鏡長剣片を刻離する。打面は下面のネガダイで平面を形成する。 C14-2-b N	
77	79.80	106.65	20.20	-	透物 不透明	透状素材を用いる。鏡長剣片のランクか。正面(左側面)と右側面一部に自然面が見られる。石材は白色に風化する。 A37-3-a N	
78	45.85	16.60	70.65	72.90	サスカイト	透物の青色。下部に両面から刻離を施すが剥離面はつぶれている。右図右下部に擦刷ぎの剥離面が見られるが剥離したも A12-1-95	

第62表 横長剣片計測表

番号	法 量	長さ 幅	厚さ 重量	石 質	出土地点 番号	法 量	長さ 幅	厚さ 重量	石 質	出土地点 番号	法 量	長さ 幅	厚さ 重量	石 質	出土地点 番号		
1	17.80	12.20	3.55	0.9	サスカイト	A36-3-317	27	37.90	26.55	8.60	12.9	サスカイト	A36-2-2665	53	30.70	16.50	7.30
2	17.70	14.00	4.15	0.9	サスカイト	A37-2-3077	28	46.45	34.00	11.60	18.3	サスカイト	C15-1-c N	54	37.00	12.65	5.85
3	21.65	19.00	4.60	2.4	サスカイト	B18-259	29	36.45	18.85	7.75	5.0	サスカイト	A24-1-b S	55	38.65	16.25	8.75
4	27.45	20.60	6.55	3.6	サスカイト	A39-2-c N	30	34.05	21.20	5.30	3.8	サスカイト	A38-1-4605	56	33.45	19.00	4.0
5	33.60	25.50	5.95	4.8	サスカイト	B10-484	31	32.25	24.05	5.15	3.2	サスカイト	B20-1-1352	57	29.75	20.25	4.4
6	29.50	21.00	7.55	5.2	サスカイト	A35-4-767	32	33.80	26.95	8.45	6.9	サスカイト	C13-1-b S	58	39.90	14.80	7.45
7	31.00	27.15	9.15	5.9	サスカイト	C11-1-391	33	30.05	20.75	5.55	4.5	サスカイト	B22-289	59	42.45	10.00	4.30
8	33.90	14.05	4.25	1.7	サスカイト	A38-2-2495	34	19.25	12.90	3.60	0.8	サスカイト	B7-669	60	89.80	17.15	12.85
9	32.60	13.75	7.90	3.2	サスカイト	C6-2-199	35	32.90	28.80	7.35	6.3	サスカイト	B4+530	61	37.20	26.70	8.65
10	43.40	19.90	9.15	8.2	サスカイト	C14-2-314	36	22.75	19.35	3.80	1.8	サスカイト	A26-2-478	62	36.05	29.45	10.30
11	29.35	27.55	7.40	3.8	サスカイト	A36-1-84	37	28.35	19.00	4.55	1.9	サスカイト	B10-724	63	38.80	22.90	12.65
12	47.50	15.75	3.60	3.5	サスカイト	C17-1-a S	38	32.95	18.90	5.20	2.7	サスカイト	A26-1-198	64	39.85	38.35	11.65
13	27.20	16.90	2.95	1.1	サスカイト	A42-5-177	39	59.05	46.35	7.85	23.0	サスカイト	A35-4-527	65	47.20	27.45	10.5
14	27.65	22.90	6.70	3.1	サスカイト	B20-1146	40	34.85	21.30	9.00	4.9	サスカイト	B19-778	66	36.10	30.15	7.80
15	35.25	28.70	6.45	5.6	サスカイト	A38-2-3894	41	39.30	18.10	7.70	5.7	サスカイト	B4+586	67	42.20	38.00	9.80
16	33.60	32.40	7.00	5.6	サスカイト	A38-1-2226	42	50.10	25.40	6.85	8.1	サスカイト	B6-729	68	45.65	31.60	8.45
17	44.75	35.60	7.45	9.2	サスカイト	A38-1-766	43	42.65	31.10	8.60	9.9	サスカイト	A17-1-52	69	40.20	27.55	8.5
18	52.15	25.0	7.90	11.2	サスカイト	C4-1-221	44	47.70	43.40	14.80	30.5	サスカイト	A39-5-151	70	31.65	16.25	7.45
19	36.00	29.60	7.80	9.1	サスカイト	A3-2-222	45	30.50	20.35	5.90	2.4	サスカイト	A14-1-b N	71	31.55	24.55	6.10
20	26.35	22.00	6.95	4.4	サスカイト	B16-43	46	45.15	40.35	13.50	18.4	サスカイト	B13-190	72	35.00	22.55	2.90
21	29.50	23.20	7.70	6.2	サスカイト	C15-2-230	47	60.20	51.00	10.50	32.4	サスカイト	A21-1-489	73	26.55	17.40	6.95
22	40.65	38.15	9.00	11.1	サスカイト	A38-1-3038	48	28.15	16.95	5.90	2.7	サスカイト	A39-2-35	74	37.90	23.50	7.00
23	26.20	19.90	6.45	1.5	サスカイト	A14-1-20	49	29.15	21.80	6.30	4.1	サスカイト	A39-1-23	75	38.95	22.45	5.75
24	39.80	35.25	8.95	12.5	サスカイト	A35-3-1074	50	26.25	19.00	6.45	2.5	サスカイト	A35-3-920	76	76.30	49.90	6.70
25	26.80	21.00	6.45	2.7	サスカイト	C14-2-52	51	33.15	30.45	7.65	5.9	サスカイト	B16-369	77	57.75	54.00	11.20
26	29.70	32.05	6.90	5.4	サスカイト	B22-166	52	37.05	13.15	5.25	2.1	サスカイト	B5-108	78	17.00	12.05	2.65

番号	法 量	幅 厚さ	石 質	出土地点	番号	法 量	幅 厚さ	石 質	出土地点	番号	法 量	幅 厚さ	石 質	出土地点						
79	23.90	14.60	4.65	1.4 サテカイト	B4+43	105	29.80	18.95	6.25	4.2 サテカイト	C19+1-イト	131	38.70	22.80	4.60	5.4 サテカイト C13+1-755				
80	34.90	14.55	3.95	1.5	H	A2+2-9	106	45.45	24.75	5.60	4.8	H	B13-816	132	27.60	13.40	5.85	2.1	H	C15+2-8
81	29.90	18.40	6.45	4.4	H	B21+977	107	35.95	29.65	8.00	9.8	H	A36+3-1907	133	34.30	12.00	4.10	1.6	H	C13+2-219
82	32.90	23.10	4.35	1.9	H	C7+2-122	108	31.50	28.70	7.95	7.0	H	A38+1-5063	134	41.00	17.60	6.80	4.6	H	A40+3-c S
83	26.15	19.45	5.90	1.5	H	A35+1-1072	109	50.15	38.50	10.40	22.1	H	C18+1-528	135	47.85	16.80	6.90	4.7	H	C13+1-740
84	29.35	27.75	7.85	5.1	H	A38+5-d S	110	39.80	28.60	8.00	8.6	H	B20+762	136	36.20	22.60	11.50	8.7	H	C7+2-104
85	37.70	30.35	5.45	5.4	H	C4+2-22	111	40.35	31.75	8.35	—	H	A31+1-1080	137	47.00	11.20	5.5	H	C5+1-d S	
86	32.90	28.65	7.25	7.3	H	A36+5-a-1067	112	41.30	19.55	4.85	3.2	H	A36+3-1955	138	47.45	20.40	13.90	14.3	H	C14+1-897
87	42.00	32.30	6.85	8.1	H	A41+5-d N	113	50.80	17.65	4.20	2.7	H	B20+1-1303	139	53.55	12.75	12.80	9.9	H	C12+1-151
88	34.00	30.60	7.85	8.1	H	C8+2-59	114	15.40	48.45	25.60	—	H	A37+4-578	140	53.70	12.90	5.90	3.4	H	B15+ c S
89	73.50	22.90	9.25	5.0	H	B10+657	115	45.85	17.90	8.70	6.8	H	B1+156	141	49.00	24.30	12.90	16.5	H	C17+1-4N
90	49.10	43.20	3.55	6.1	H	A39+3-219	116	42.95	23.60	7.50	5.5	H	B15+54	142	67.15	28.80	5.90	16.1	H	C11+845
91	48.95	38.90	10.25	15.7	H	B3+155	117	92.15	21.70	18.45	36.8	H	A37+4-578	143	53.85	14.85	10.70	6.0	H	B12+554
92	55.40	34.15	8.20	20.3	H	B11+787	118	102.00	33.60	27.40	96.9	H	A37+4-580	144	74.25	19.70	11.70	13.6	H	B14+ c N
93	44.75	37.85	11.90	14.6	H	A39+5-88	119	32.75	11.60	6.60	1.7	H	A11+3-570	145	62.80	17.90	18.45	20.7	H	B14+ a S
94	45.50	21.65	11.30	5.1	H	B7+56	120	41.55	14.90	4.80	2.7	H	A35+1-2035	146	95.15	19.75	12.90	26.7	H	C5+1-136
95	58.10	32.75	12.85	22.7	H	B6+371	121	73.20	40.75	23.35	61.4	H	A36+5-229	147	39.70	8.50	5.00	1.3	H	A2+1-645
96	32.00	12.90	4.05	1.4	H	A1+1-133	122	22.00	11.95	4.55	1.7	H	C11+2-86	148	40.75	27.95	10.90	4.9	H	C13+1-222
97	29.40	13.85	6.75	—	H	B6+521	123	41.65	24.45	11.20	8.7	H	A38+3-1031	149	41.45	14.50	5.40	3.2	H	B20+ c N
98	23.15	18.65	4.95	2.1	H	B4+713	124	52.60	16.05	8.60	4.2	H	A28+2-d S	150	36.80	12.30	12.90	3.3	H	C16+1-1109
99	32.15	14.45	3.55	1.4	H	B7+825	125	44.75	25.60	9.00	8.0	H	C15+1-381	151	39.95	12.35	12.20	4.9	H	A4+2-89
100	26.90	14.35	3.90	1.8	H	A40+4-28	126	47.15	24.80	8.70	8.2	H	C13+2-b S	152	56.60	28.10	17.05	27.5	H	C13+2-a N
101	31.60	8.00	6.70	1.6	H	C18+1-c N	127	37.55	20.75	8.35	5.7	H	B12+b N	153	75.15	19.30	16.55	21.3	H	A2+1-680
102	33.90	19.95	7.25	4.2	H	A39+2-794	128	27.20	28.45	9.30	6.3	H	B14+b N	154	92.35	36.60	23.00	35.2	H	A4+2-250
103	34.90	15.20	4.15	1.6	H	A37+2-1361	129	43.45	20.90	7.45	5.9	H	C8+1-81	155	67.80	14.60	14.95	18.2	H	A2+1-678
104	37.10	17.35	4.85	2.6	H	B13+613	130	56.30	31.65	9.00	13.7	H	B8+457	156	73.45	36.70	13.00	27.4	H	A14+1-b N

番号	法 量		石 質	出土地点	番号	法 量		石 質	出土地点	番号	法 量		石 質	出土地点	番号					
	長さ	幅				重さ	厚さ				長さ	幅								
157	72.55	23.80	14.90	24.5	A11-a S	183	63.05	27.00	15.50	29.6	サヌカイト	C14-1-d S	209	48.50	25.40	12.05	18.2	サヌカイト	B11	
158	23.70	9.65	5.50	1.1	H	B18-c S	184	59.80	17.40	6.85	7.6	H	C14-2-6S	210	62.00	19.40	11.15	12.2	H	C15-2-b N
159	38.40	12.20	5.85	2.5	H	A15-1-a N	185	40.50	14.20	7.50	4.8	H	C12-1-c N	211	74.40	13.35	12.65	13.7	H	C5-1-d N
160	39.50	20.40	9.25	5.0	H	C4-1-c S	186	33.45	17.40	6.40	4.3	H	C15-1-c N	212	52.05	12.25	12.85	9.00	H	C13-1-755
161	32.40	16.90	6.80	4.2	H	A2-4-a S	187	26.40	17.00	9.70	3.6	H	C12-1-a S	213	45.00	22.40	9.35	9.1	H	C17-2-a N
162	32.30	11.95	7.90	3.0	H	C15-1-a S	188	25.95	15.35	4.25	1.9	H	A1-1-a S	214	34.2	9.25	4.5	1.7	H	C18-1-630
163	44.90	13.50	5.60	3.2	H	A19-1-c S	189	24.00	11.15	4.40	0.8	H	B15-120	215	41.20	17.75	6.20	5.6	H	A1-2-b N
164	52.85	10.15	8.80	4.2	H	A29-1-c N	190	42.35	17.80	8.85	5.1	H	C14-1-b N	216	38.80	12.20	4.30	3.2	H	C7-1-21
165	51.30	15.00	8.90	8.2	H	A13-1-c N	191	42.25	22.90	7.80	6.6	H	C4-1-b N	217	49.30	23.30	10.35	15.2	H	C12-1-c S
166	41.80	16.85	7.45	5.4	H	A19-1-b S	192	38.35	25.00	7.45	7.2	H	C13-2-a S	218	57.40	13.85	10.75	9.5	H	A13-1-60
167	43.65	28.20	13.85	11.6	H	A37-5-c S	193	52.80	11.95	9.45	8.5	H	A39-4-c S	219	51.75	23.60	7.70	11.8	H	C13-1-d N
168	69.15	18.35	10.00	11.0	H	A13-1-a S	194	45.90	17.85	9.10	6.1	H	B18-a N	220	38.40	24.00	7.95	7.7	H	B17-3-S
169	78.85	24.25	15.65	23.3	H	A4-2-d N	195	39.70	18.85	8.35	6.1	H	A38-3-c N	221	33.40	18.70	6.45	4.0	H	B20-3-N
170	57.65	33.15	8.95	19.1	H	C13-1-c S	196	54.00	13.95	10.45	8.1	H	A13-1-a N	222	51.30	15.80	21.45	35.8	H	C14-2-a S
171	35.85	7.70	5.75	1.8	H	A26-1-217	197	66.20	12.15	10.95	10.2	H	C13-1-c N	223	37.65	23.10	8.15	10.2	H	A4-3-14
172	33.35	12.95	5.85	2.7	H	B15-1-217	198	56.40	16.35	10.90	9.6	H	C12-1-106	224	34.80	17.80	7.95	4.7	H	C17-1-d N
173	53.85	23.00	11.45	15.7	H	C12-1-190	199	56.60	12.20	5.85	5.8	H	B17-787	225	33.85	22.00	14.05	14.3	H	A2-1-d S
174	68.95	16.40	13.20	13.1	H	B13-636	200	45.20	22.00	10.80	11.9	H	B15-1-217	226	21.80	15.55	6.10	2.4	H	A40-5-b S
175	50.00	15.10	5.25	5.7	H	A11-1-c N	201	41.20	22.90	13.4	10.7	H	C12-2-17	227	27.15	5.60	4.30	1.0	H	B1-43
176	50.90	12.00	7.40	6.9	H	B13-817	202	39.00	30.40	5.60	5.0	H	A14-1-a S	228	23.95	14.40	15.30	1.8	H	C14-1-b N
177	39.85	9.70	4.60	1.7	H	B1-527	203	38.60	25.50	9.35	8.6	H	B18-a S	229	26.80	14.50	5.30	2.5	H	C14-1-c N
178	36.35	15.25	4.50	3.0	H	C16-2-306	204	47.65	24.55	8.05	10.5	H	C12-1-c N	230	37.00	9.55	4.60	1.8	H	A18-1-N
179	46.15	13.40	8.90	9.2	H	C12-2-b N	205	52.10	25.15	9.80	11.7	H	B20-b S	231	25.10	13.15	5.20	1.7	H	C15-1-b S
180	44.30	24.55	10.00	11.8	H	C13-2-a S	206	54.40	14.10	11.00	—	H	A39-3-b N	232	30.00	17.40	6.20	3.0	H	C12-2-b S
181	50.85	15.25	11.05	8.7	H	A39-3-b N	207	42.60	14.75	9.65	7.5	H	C14-1-d N	233	30.95	19.05	4.00	4.8	H	C14-2-239
182	67.45	31.20	20.95	47.8	H	C17-1-d S	208	47.00	20.45	8.20	9.00	H	C14-1-652	234	32.20	19.15	11.40	10.7	H	C12-1-303

番号	法 量	長さ 幅	厚さ	石 質	出土地点	番号	法 量	長さ 幅	厚さ	石 質	出土地点	
235	52.50	9.80	5.10	4.3	サヌカイト	B18-e S	261	37.80	40.00	10.75	B1.洗	岩 A39-2-b N
236	45.00	14.95	4.85	4.2	"	C12-2-47	262	38.00	28.75	4.50	"	B2-56
237	52.15	13.05	7.30	5.0	"	A39-2-c S	263	14.00	12.65	2.30	0.5 灰	B3-618
138	42.30	22.20	10.60	6.9	"	C8-1-c N	264	14.45	9.70	7.05	"	A4-2-143
239	33.50	23.25	11.70	12.7	"	B6-322	265	27.10	13.00	7.75	"	A31-2-96
240	52.95	25.65	10.25	13.1	"	C17-2-a N	266	28.50	15.80	8.70	3.4	"
241	44.65	26.35	12.40	16.0	"	A14-1-c S	267	25.50	7.15	5.55	1.8	"
242	45.35	26.35	9.35	6.4	"	C16-2-514	268	21.25	20.95	4.05	1.3	"
243	50.50	24.05	15.40	11.2	"	C4-1-b N	269	29.30	8.35	8.40	1.8	"
244	61.15	20.45	14.75	14.1	"	A39-1-c S	270	32.10	24.85	6.20	4.1	"
245	61.05	17.00	12.20	11.8	"	B15-ビット						
246	60.45	27.35	8.85	14.7	"	C6-2-365						
247	21.40	13.35	5.60	1.3	玻璃質安山岩	C15-2-43						
248	24.40	12.50	5.55	1.5	"	A2-2-d S						
249	21.00	11.50	3.75	0.7	"	C15-1-c N						
250	21.60	19.05	6.55	2.0	"	C16-1-1716						
251	22.80	18.00	2.90	-	"	C17-1-18						
252	28.25	19.05	3.45	2.0	"	B18-305						
253	27.05	18.25	4.65	1.9	"	A25-2-b N						
254	38.05	18.35	7.80	5.1	"	A9-1-a S						
255	36.45	27.00	10.85	10.4	"	C16-1724						
256	39.10	30.25	15.15	15.6	"	A34-1-1345						
257	33.35	13.45	7.90	2.1	"	C16-2-108						
258	23.60	18.20	5.55	2.4	流紋岩	A42-4-180						
259	41.65	17.70	14.25	9.0	"	A39-1-621						
260	49.60	25.55	7.00	6.8	"	A23-2-a S						

第63表 細石核観察表

番号	法 量	量 幅	厚さ	重量	石 質	断 面		出土地点
						長さ	幅	
1	17.30 <sup>15.60</sup>	32.60 <sup>11.5</sup>	11.5	3.65	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面から細石刃を削り、一方の側面の作業面には、打削から側面が削かれている。打削から細石刃を削り、一方の側面方向から側面を削り加えている。両側面にはA11-1・A N	13.50 <sup>3.65</sup>	
2	23.25	14.15	27.85	6.5	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面から細石刃を削り、一方の側面方向から側面を削り加えている。両側面にはB1-1-406	13.45 <sup>6.60</sup>	
3	19.95	8.85	33.55	9.8	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	18.20 <sup>3.40</sup>	
4	19.80	16.20	14.25	6.9	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。側面に自然面を残す。打削と一方の側面は両面をほどこす。	9.00 <sup>6.20</sup>	
5	13.55	14.10	28.00	7.9	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面は打削側から丁寧な調整を施すが、他方の側面にはB8-261	13.35 <sup>4.20</sup>	
6	18.60	6.45	9.30	2.5	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面は自然面を残す。	19.40 <sup>3.90</sup>	
7	19.90	13.10	31.45	10.0	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。側面に自然面を残す。	12.60 <sup>5.20</sup>	
8	13.70	16.55	24.05	6.0	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。側面に自然面を残す。	14.10 <sup>2.90</sup>	
9	21.10	14.40	17.45	5.2	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	20.00 <sup>5.60</sup>	
10	23.00	10.95	18.80	6.9	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	13.30 <sup>2.70</sup>	
11	9.75	8.65	8.00	8.5	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	9.90 <sup>4.10</sup>	
12	26.45	10.25	24.30	14.9	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	8.6 <sup>6.10</sup>	
13	31.40	9.70	31.95	12.5	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	29.10 <sup>5.40</sup>	
14	27.65	13.35	31.20	16.7	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	22.10 <sup>4.30</sup>	
15	25.35	7.45	23.65	8.7	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	25.60 <sup>4.80</sup>	
16	32.25	13.55	19.45	12.1	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	19.60 <sup>4.35</sup>	
17	28.05	7.85	34.90	13.2	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	22.00 <sup>5.25</sup>	
18	28.10	10.40	21.90	10.0	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	19.70 <sup>1.80</sup>	
19	32.70	9.0	17.65	9.8	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	24.60 <sup>4.80</sup>	
20	23.95	10.90	18.65	5.5	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	9.85 <sup>2.3</sup>	
21	26.75	20.00	27.75	10.9	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	20.25 <sup>4.35</sup>	
22	27.50	12.60	30.05	8.9	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	15.1 <sup>4.6</sup>	
23	10.30	24.95	30.95	11.5	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	21.7 <sup>5.25</sup>	
24	27.85	8.25	22.05	6.4	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	11.2 <sup>3.15</sup>	
25	27.95	10.25	38.20	16.8	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	17.5 <sup>5.2</sup>	
26	21.50	8.35	22.35	7.5	角柱(集)	核の外側の小小口部から細石刃を削る。打削は大きな側面を用い、一方の側面に自然面を残す。	11.4 <sup>3.2</sup>	
27	17.80							A9-2-78

番号	法 量	刷 面 質			刷 面 質			出土点
		長さ	幅	厚さ	重量	石	質	
27	27.65	13.75	15.15	6.5	6.1	砂岩	柱状の体節の1枚側面から磨石刃を剥離するが、これは剥離面からなる。一方の側面は自然面で、一方の側面の下部にも、もとは板状をしていたと考えられる。	A-38-5-c N
28	20.89	7.95	23.00	3.9	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を持つ。打面には作業面側からわざかに剥離が施されている。	B-8-d N	
29	22.55	4.70	25.70	5.1	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を持つ。「下面」に自然面を残し、剥離面の後側面に剥離を施している。	A-38-2-248	
30	19.95	8.15	27.10	5.3	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を持つ。下面には自然面を残す。	C-16-1-1122	
31	20.70	10.20	21.00	4.4	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を呈す。打面には一方の側面から細かな調整を施す。	A-14-1-c S	
32	34.80	9.35	28.60	15.1	7	板状を呈し、一方の側面には大きな1面の剥離面を呈つが、他の方の側面は2面の大きな剥離面からなる。打面にはA-13-1-50	A-39-3-d N	
33	16.55	9.90	20.40	3.7	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を呈つ。打面には大きな剥離面を用い、下面には自然面が残る。	A-20-1-13	
34	29.05	5.10	17.85	5.2	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面がわざかに認められる。	B-19-665	
35	21.20	13.80	17.70	6.2	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を呈つ。打面には剥離面から下方を削離する。打面剥離は剥離面に施される。	C-19-1-c N	
36	15.25	5.15	19.40	2.0	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を呈つ。打面には大きな剥離面を用いる。両側面には調整を施していない。	B-21-767	
37	16.90	8.85	19.65	3.2	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を呈する。打面には作業面側からむちむちな剥離面が施している。	C-4-1-c S	
38	8.975	5.16	16.15	0.9	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を呈する。打面には剥離面が施していない。打面には作業面側からむちむちな剥離面が施している。	A-2-2-d N	
39	21.25	8.55	8.20	1.9	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を呈する。打面には自然面が残る。側面にはほとんど剥離を施していない。打面終	B-2-464	
40	14.00	6.35	7.90	0.9	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を呈する。打面には作業面側からむちむちな剥離面を施している。	A-19-1-a S	
41	21.80	10.25	21.80	6.7	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を呈する。打面には自然面から磨石刃を剥離する。打面は全面に剥離面を消している。	A-1-1-295	
42	17.80	13.35	19.30	5.9	7	板状を呈し、一方の側面は自然面からなる。打面は一面の大いな剥離面である。	A-39-4-c S	
43	15.00	10.80	11.95	2.9	7	板状を呈し、一方の側面は複数の剥離面からなる。打面は剥離面を呈している。小形の鉄石核である。	A-40-2-c S	
44	21.90	17.95	14.35	5.0	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を呈つ。鉄石刃の剥離度は上・下方から加算して	A-2-1-c S	
45	16.35	11.70	25.20	4.1	7	板状を呈し、小口部分から磨石刃を剥離する。一方の側面は自然面で、打面は大きな剥離面を用い、作業面	A-19-327	
46	8.15	9.15	16.55	1.8	7	板状を呈し、一方の側面は自然面から剥離する。打面は一面の大いな剥離面である。	B-12-567	
47	19.65	11.75	22.80	4.4	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を持つ。打面は平坦な面をなさない。	B-2-513	
48	21.95	11.15	20.55	4.6	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を持つ。石板の下端から剥離が施され、下方から加算して	A-1-1-439	
49	24.70	14.35	12.90	6.5	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を持つ。打面には作業面と側面から剥離が行われて	A-1-1-44	
50	10.75	6.80	5.95	1.1	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を持つ。打面は斜めの鉄石核である。	B-19-327	
51	12.00	3.50	8.30	0.6	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を持つ。打面は斜めの鉄石核である。	B-12-567	
52	18.30	7.25	13.40	2.4	7	板状を呈し、一方の側面には大きな剥離面を持つ。鉄石刃の剥離は両端から行ない、両端とも上・下方から加算して	A-1-1-44	

番号	法 量	幅	厚さ	重量	石質	鉋 頭 復 元 長さ	幅	銛		出土地点
								板状	板状	
53	11.90 <sup>9</sup>	7.35 <sup>9</sup>	12.90 <sup>9</sup>	1.6	深溝質安山岩	13.80 <sup>9</sup>	2.85 <sup>9</sup>	板状を呈し、一方の側面は調整が施されないが、作業面から調整が施されている。	板状を呈する。	B+2-246
54	22.60	15.40	13.15	3.6	石	10.50	3.00	板状を呈する。	一方の側面は打刃側から調整が施され、他方の側面は3面の剥離面からなる。打刃は大きな剥離面	A+9-3-564
55	16.00	9.80	15.35	2.9	石	8.00	2.70	板状を呈する。側面は複数の剥離面からなる。打刃と作業面が転移している。	2面の側面には2面の極長削片剥離面を持ち、上方	A+1-2-N
56	30.0	13.25	27.15	12.5	石	20.80	7.00	板状の細石核。側面は多孔質である。	側面は2面の側面より新しいとの想われる。	B+5-329
57	27.25	9.65	10.10	4.2	黒曜石	13.65	7.00	角柱(錐)形状を呈し、2つの側面から細石刃を削離し、それが他の加工作方向は逆向きである。	加工面の方向は逆向きである。	A+9-641
58	29.45	15.25	15.30	7.3	石	11.90	8.50	角柱(錐)形状を呈し、上部の側面から細石刃を削離する。	上部の側面は複数の側面から細石刃を削離される。	A+9-75
59	20.95	10.75	33.40	14.8	チヌカイト	21.00	11.00	角柱(錐)形状を呈し、側面から細石刃を削離する。	側面は2面の側面を残す。2ヶ所から	C+8-1-533
60	14.30	12.25	37.20	7.3	石	18.00	4.00	角柱(錐)形状を呈し、側面から細石刃を削離している。体部に自然面は残さない。	側面とも細かな剥離は施されていない。	B+5-76
61	24.80	6.85	24.75	5.7	石	24.50	6.40	板状の細石核。両側面に素材を分割した際の大きな側面を持ち、小口部分から細石刃を削離している。	側面は複数の側面を持つ。	B+8-887
62	20.20	7.05	24.25	3.9	石	19.45	4.00	板状の細石核。側面調整や打刃調整は施されていない。細石刃の削離は上・下方向から加工作している。	側面は複数の側面を持つ。	B+6-22
63	24.80	9.45	23.0	4.2	石	23.40	6.90	板状の細石核。側面に大きな剥離面を持ち、小口部分から細石刃を削離している。	側面・側面とも側面は施され	B+5-38
64	23.90	8.95	48.10	13.6	石	25.70	5.75	板状の細石核。側面を分割した際の大きな側面を持ち、一方の側面から細石刃を削離している。打刃には	側面には大きな剥離面を持ち、小口部分から細石刃を削離している。	C+5-2-220
65	29.90	6.35	40.05	7.5	石	16.70	4.65	板状の細石核。側面調整や打刃調整は行われていない。小口部分から細石刃を削離する。	側面は複数の側面を持つ。	A+1-1-391
66	19.90	7.90	15.50	2.7	石	21.50	5.20	小形板状の細石核。打刃調整や側面調整を行われず、小口部分から細石刃を削離する。	側面は複数の側面を持つ。	A+7-3-b-N
67	25.85	5.90	20.55	3.8	石	23.50	3.80	板状の細石核。側面に大きな剥離面を持ち、小口部分から細石刃を削離しているが、細石刃の削離はほとんど行	われていない。	A+8-2-3268
68	17.25	4.00	19.25	2.9	石	17.40	3.90	板状の細石核。側面を分割した際の大きな側面を持ち、一方の側面から細石刃を削離する。	側面は複数の側面を持つ。	A+6-1-64
69	27.00	4.05	7.65	2.8	石	27.35	3.90	板状の細石核。側面を分割した際の大きな側面を持ち、側面は施されていない。小口部分から	1枚ずつ細石刃を削離して	A+6-3-299
70	30.45	6.80	14.60	5.1	石	22.55	4.60	板状の細石核。石焼下様に調整を施す。小口部分に2面の細石刃剥離面を持つ。	側面は複数の側面を持つ。	B+6-281
71	22.85	8.15	10.0	2.9	石	19.15	4.60	板状の細石核。細石刃の剥離部は2面で上方から加工作している。石材は風化が進む。	側面は複数の側面を持つ。	A+1-1-72
72	17.50	8.00	7.80	1.9	石	16.05	5.10	板状の細石核。側面は複数の側面を持つ。	側面は風化が進む。	A+5-2-10
73	24.35	11.85	6.10	2.0	石	21.85	4.70	板状の細石核。側面ととても大きな剥離面を持つ。小口部分の上から加工作して細石刃を削離している。	側面は複数の側面を持つ。	B+6-732
74	22.70	11.50	26.25	16.1	石	23.25	2.85	板状の細石核。側面の調整は施していないが、打面上には作業面側からわざわざ側面が施されている。	側面は複数の側面を持つ。	A+1-351
75	49.35	41.65	30.05	82.2	深溝質安山岩	—	—	原石である。やや扁平である。	側面は複数の側面を持つ。	B+1-221
76	59.05	39.20	32.70	89.5	石	—	—	原石である。	側面は複数の側面を持つ。	C+8-1-c-N
77	51.15	43.75	19.95	50.8	石	—	—	原石である。やや扁平である。	側面は複数の側面を持つ。	A+1-489
78	38.60	28.80	31.20	46.6	石	—	—	原石である。やや扁平である。	側面は複数の側面を持つ。	C+7-1-232

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	鉄 錠 底 長さ	幅 幅	銘 銘	出土地點
79	30.75 21.93	22.0 11.15	7.9	漆瀬賀安山岩	—	—	—	B21-2409
80	16.10	11.65	43.55	8.9	II	—	—	B12-532
81	17.35	—	—	—	—	—	—	C16-1973
82	20.95	16.45	34.29	17.2	II	—	—	C14-1-37
83	18.85	—	—	—	—	—	—	C16-1-1695
84	20.15	16.70	38.50	15.9	II	—	—	A-0-1-108
85	16.35	—	—	—	—	—	—	A-0-2-a N
86	27.00	9.65	26.40	16.2	II	—	—	—
87	26.35	—	—	—	—	—	—	—
88	25.50	17.20	34.75	11.1	II	—	—	—
89	16.45	—	—	—	—	—	—	—
90	22.65	10.95	11.45	8.7	II	—	—	—
91	27.80	—	—	—	—	—	—	—
92	10.3	16.10	31.35	14.7	II	—	—	—
93	17.95	—	—	—	—	—	—	—

背面を自然面とする分厚い錐形鉋片で小さく、平坦な打面を持つ。  
背面を自然面とする分厚い錐形鉋片で中央を刃部として横に切断し、一方の小  
口部分を切削する。  
一方の小口面に自然面がある。他方の小口面には非常に低い錐状削がるもので、刃端の  
角性(錐)状を呈する。  
一方の小口面に自然面からなり、3面の側面のうち1面は自然面からなる。右側上  
角性(錐)状を呈する。一方の小口面は1面の錐形面からなり、—面の側面にははるか  
に自然面からなる。  
—面の側面から自然面が削かれている。  
—面の側面から自然面が削かれている。  
—面の側面から自然面が削かれている。  
—面の側面から自然面が削かれている。  
—面の側面から自然面が削かれている。  
—面の側面から自然面が削かれている。  
—面の側面から自然面が削かれている。  
—面の側面から自然面が削かれている。  
—面の側面から自然面が削かれている。  
—面の側面から自然面が削かれている。

第64表 細石刃計測表

番号	法 量		石 質	出土地点	番号	法 量		石 質	出土地点	番号	法 量		石 質	出土地点						
	長さ	幅				厚さ	重量				幅	厚さ	重量							
1	24.85	13.45	3.35	1.4	サスカイト	27	11.00	10.45	4.20	0.4	サスカイト	B4-588	53	18.40	7.65	1.50	0.2	サスカイト	A12-1-226	
2	26.15	11.30	4.40	1.1	〃	A2-2-c N	28	12.45	10.00	2.90	0.2	〃	B21-708	54	15.30	6.30	1.55	0.1	〃	A36-4-74
3	28.35	8.95	3.0	0.8	〃	B8-533	29	15.20	9.40	2.00	0.7	〃	B21-1224	55	11.20	9.30	2.14	0.2	〃	A4-1-1
4	28.95	11.90	4.50	1.2	〃	A37-5-d S	30	17.40	11.45	3.40	0.7	〃	B2-1086	56	8.85	6.35	0.90	0.1	〃	A7-2-41
5	13.10	13.95	4.35	1.0	〃	A38-3-a N	31	16.65	8.60	2.55	0.4	〃	B12-674	57	21.65	6.90	2.90	0.4	〃	A17-1-57
6	24.65	12.55	3.30	1.0	〃	C10-1-b S	32	17.80	9.00	2.65	0.4	〃	A7-1-d N	58	20.55	7.80	3.75	0.6	〃	A36-1-208
7	13.20	11.90	3.50	0.8	〃	A25-1-c N	33	20.90	7.95	2.85	0.4	〃	C15-1-c N	59	19.05	9.40	1.80	0.4	〃	C17-1-c N
8	19.50	10.80	2.65	0.5	〃	A39-2-c N	34	17.95	8.20	2.15	0.3	〃	A26-2-143	60	17.65	9.50	1.80	0.3	〃	A37-1-3664
9	23.60	8.40	2.25	0.6	〃	C14-1-a N	35	21.70	6.70	2.10	0.3	〃	B15-302	61	21.20	16.45	3.85	0.5	〃	C18-1-b N
10	21.50	10.45	2.75	0.9	〃	B21-1169	36	20.65	8.60	3.50	0.5	〃	A38-3-1235	62	16.60	3.85	1.65	0.1	〃	C15-1-c S
11	21.45	11.30	3.65	1.0	〃	A39-2-a S	37	21.05	9.00	2.65	0.5	〃	B2-2-b S	63	19.85	4.00	2.85	0.2	〃	A36-1-012
12	26.20	13.55	3.35	1.2	〃	B22-b N	38	27.50	11.00	2.35	—	〃	A33-1-834	64	15.40	6.65	1.95	0.2	〃	B4-410
13	26.10	7.25	2.80	0.8	〃	C10-1-a N	39	24.35	9.45	3.20	0.6	〃	B18-c S	65	15.90	5.30	2.20	0.2	〃	A39-4-d S
14	9.45	5.40	1.55	0.1	〃	C7-1-187	40	25.60	8.40	4.35	0.7	〃	A16-1-a N	66	16.60	5.65	2.40	0.2	〃	A38-2-3902
15	13.75	6.00	1.60	0.2	〃	B12-748	41	18.50	7.35	2.65	0.3	〃	A27-2-201	67	19.20	7.10	3.55	0.4	〃	C14-1-262
16	10.00	6.90	1.70	0.2	〃	C14-1-953	42	10.15	10.35	1.80	0.2	〃	B5-83	68	16.27	5.35	2.40	0.2	〃	A9-1-286
17	14.00	7.45	2.90	0.3	〃	A35-1-775	43	10.80	6.75	2.25	0.1	〃	B9-351	69	16.15	6.25	2.85	0.3	〃	B18-c N
18	10.70	7.40	1.50	0.2	〃	A27-2-37	44	12.90	10.25	2.30	0.4	〃	A38-4-863	70	13.35	7.10	2.50	0.2	〃	A36-4-617
19	10.20	8.25	1.60	0.2	〃	A21-1-7	45	13.45	10.05	2.15	0.4	〃	A40-4-a N	71	16.00	7.30	2.25	0.2	〃	A35-4-d S
20	13.00	7.65	2.10	0.3	〃	B21-2463	46	12.55	11.85	3.85	0.6	〃	A11-1-421	72	15.10	7.30	2.90	0.3	〃	A22-2-a N
21	15.75	8.40	1.60	0.2	〃	B18-c N	47	15.15	6.05	1.25	0.2	〃	B16-594	73	20.85	8.60	5.10	0.9	〃	A26-1-162
22	12.55	5.35	1.47	0.1	〃	A38-2-559	48	15.00	8.25	2.75	0.3	〃	B24-226	74	18.25	8.75	2.85	0.5	〃	A36-1-240
23	17.30	6.45	3.50	0.3	〃	A21-1-120	49	17.15	5.35	3.15	0.2	〃	A38-1-481	75	13.55	6.50	2.05	0.2	〃	C13-1-d N
24	17.45	6.25	4.15	0.3	〃	B4-631	50	16.60	6.00	2.75	0.3	〃	A11-1-a N	76	17.00	5.40	3.20	0.3	〃	A38-5-288
25	15.25	6.70	2.40	0.2	〃	B8-827	51	16.05	8.50	1.75	0.4	〃	A33-1-680	77	15.60	7.40	2.15	0.2	〃	A37-1-1400
26	18.65	5.60	2.95	0.3	〃	B18-576	52	18.80	6.40	3.55	0.4	〃	A2-1-143	78	10.40	8.40	1.55	0.1	〃	C29-1-329

番号	法 量	量	石 質	出土地点	番号	法 量	幅	厚 さ	重 量	石 質	出土地点
79	15.05	6.50	1.25	0.2	サスカライト	A21・1・36	105	21.30 <sup>a</sup>	8.20 <sup>b</sup>	0.4	玻璃質安山岩
80	20.40	9.85	3.60	0.4	/	B27・211	106	12.20	5.10	2.40	0.1
81	24.80	5.40	2.85	0.3	/	A40・4・a N	107	11.50	4.55	2.30	0.1
82	25.30	5.75	5.35	0.6	/	B15・226	108	7.50	4.70	1.80	0.1
83	21.20	6.20	2.95	0.4	/	A37・2・1413	109	10.90	7.40	1.30	0.1
84	26.90	5.75	2.40	0.4	/	A39・3・1002	110	13.60	5.00	1.60	0.1
85	33.95	10.40	5.65	1.5	玻璃質安山岩	B9・405	111	18.20	6.90	1.40	0.2
86	24.30	9.35	3.75	0.8	/	A1・1・167	112	10.00	6.10	1.00	0.1
87	22.15	5.70	1.45	0.2	/	C15・1・232	113	10.00	7.00	2.20	0.2
88	9.40	4.50	1.90	0.1	/	B2・206	114	7.20	4.50	1.20	0.1
89	11.10	5.10	2.20	0.1	/	C16・1・63	115	8.85	6.10	1.20	0.1
90	14.60	4.80	2.20	0.2	/	B3・1007	116	10.40	7.70	2.00	0.2
91	14.25	10.50	3.65	0.5	/	B3・239	117	10.10	8.00	3.20	0.3
92	13.90	7.40	2.40	0.3	/	C14・2・b N	118	15.50	8.80	2.10	0.3
93	12.00	10.50	2.0	0.3	/	B18・186	119	13.45	8.10	2.40	0.3
94	15.80	4.80	1.85	0.2	/	B21・2108	120	8.65	9.40	1.55	0.2
95	13.20	7.40	1.75	0.1	/	C16・2・590	121	17.25	7.05	1.70	0.2
96	9.95	5.55	1.20	0.1	/	B4・415	122	22.75	8.35	2.90	0.4
97	7.60	8.60	1.80	0.1	/	C16・1・1360	123	15.60	13.25	3.30	0.9
98	13.15	5.05	2.20	0.1	/	C16・1・75	124	26.50	10.60	3.20	0.3
99	16.00	4.55	2.35	0.2	/	A3・2・a N					
100	13.0	6.65	1.45	0.2	/	B16・333					
101	16.60	6.40	2.40	0.3	/	A36・4・442					
102	9.30	4.55	12.0	0.1	/	B2・256					
103	15.80	6.00	2.50	0.3	/	C5・1・b S					
104	20.00	5.25	2.20	0.2	/	A21・1・216					

第65表 叩き石観察表

番号	法 量	幅 厚さ	重 量	石 質	観 察	出土地点
1	28.2	19.4	13.7	10.1 不 明	「墨をぐるぐるする」感。 中空部の一部が空洞。先端部に使用痕と思われる剝離痕が見られる。	A39-2-b N
2	41.5	24.5	15.8	22.9 砂	岩塊部の一部が空洞。先端部に使用痕と思われる剝離痕が見られる。	A40-2-b S
3	52.7	32.4	43.8	II	凹面部を欠失する。形状を呈し、断面は不整な横円形。	B2-264
4	52.4	21.2	15.1	21.2 安 山	先端部で、断面は四角形を呈する。下端部に小剝離があり、使用痕と思われる。	B7-322
5	115.20	68.05	34.30	242.0 砂	先端部で、断面は四角形を呈する。下端部に敲打痕がある。赤変している。	A39-4-610
6	61.3	21.7	19.3	29.0 II	先端部で、断面は三角形に近い。側面には打撃による大きな凹みがある。	C19-1-a S
7	58.4	33.5	21.2	56.3 II	先端部を欠ける。短かく、断面は不整な横円形。下端の周縁に打撃痕が認められる。上端は次失するもの、側面近くで擦損。	A38-3-a S
8	123.9	51.4	42.3	342.0 II	上端部を欠ける。大形で断面は四角形を呈する。下端部と側面には打撃による小さな凹みが見られる。	A22-1-b N
9	59.4	24.3	16.3	35.4 不 明	先端部で、断面は横円形を呈する。下端部に使用痕と思われる小さな剝離痕が見られる。表面は平滑である。	A39-1-d N
10	41.7	50.2	36.0	78.9 II	上部を欠ける。形状を呈し断面は三角形に近い。	B1-47
11	69.6	25.9	22.7	51.7 安 山	先端部を欠ける。細い斜状で断面は三角形を呈する。	A1-1-c S
12	69.4	55.8	36.2	152.2 砂	上部を欠ける。形状で断面は横円形に近い。側面の先端部から中央部にかけて小さな凹みが見られる。	C6-2-404
13	102.8	32.5	26.4	96.3 II	先端部を欠ける。形状で断面は四角形に近い。側面は横円形に近い。側面の先端部から中央部にかけて小さな凹みが見られる。	B1-518
14	103.0	47.5	24.5	154.5 II	先端部を欠ける。形状で断面は横円形。両面には大きな凹みが見られる。	A3-1-b N
15	41.9	24.6	10.5	13.6 文 岩	上部を欠ける。細く、下端部には使用痕と思われる剝離痕が見られる。色調は淡黄灰色を呈する。	B23-a S
16	29.4	20.7	16.8	16.1 砂	岩塊部。下端部には使用痕と思われる剝離痕が見られる。表面は赤い。色調は淡黄褐色を呈する。	A32-1-489
17	31.0	26.1	12.3	16.1 馬 鹿 母 花 岩	上部を欠ける。断面はほぼ四角形を呈する。中央部に小さな剝離痕が見られる。色調は淡黄褐色で共通性は強い。	A40-5-b S
18	69.5	44.3	35.6	164.0 砂	下部を欠ける。形状で断面はほぼ四角形を呈する。上端部に小さな剝離痕が見られる。側面のところごろに凹みが見られる。	B2-18
19	82.00	53.20	35.80	166.0 砂	上部を欠ける。細く、断面はほぼ三角形を呈する。中央部に小さな剝離痕が見られる。	C1-1-d S
20	106.6	37.6	22.3	131.0 地 縫 岩	上部を欠ける。形状で断面はほぼ四角形を呈する。下端部には使用痕と思われる剝離痕が見られる。	C19-1-a S
21	86.20	66.20	33.50	324.0 砂	下部を欠ける。形状で断面はほぼ四角形を呈する。表面に凹みがある。	C3-1-77
22	46.8	23.0	8.1	18.6 砂	上部を欠ける。細く、断面はほぼ三角形を呈する。下端部には使用痕と思われる剝離痕が見られる。色調は淡黄白色を呈する。	A11-4-b N
23	42.8	23.7	18.1	25.3 砂	上部を欠ける。細く、断面は不整な横円形を呈する。下端部には複数の使用痕と思われる剝離痕が見られる。	A35-3-c N
24	66.4	40.0	39.9	137.1 砂	上部を欠ける。大きい傾斜で断面は四角形を呈する。下端部には使用痕と思われる剝離痕が見られる。	B13-b N
25	49.8	25.4	25.0	22.9 不 明	上部を欠ける。細く、断面は不整な横円形を呈する。下端には小さな使用痕が見られる。	A38-3-979
26	58.0	20.5	18.9	23.3 安 山	小形で、断面は不整な横円形を呈する。下端には小さな使用痕が見られる。赤変している。	A40-2-d N

番号	法 長さ	幅	厚さ	重量	石 岩	質	観 察	出土地点
27	61.5	34.6	27.0	73.5	安 岐	岩 質 山	上部を欠失する。極狭では不整な四角形を呈する。下端部には使用感と思われる剝離感が見られる。色調は少し赤變成している。	A12-1-c N
28	75.75	24.40	13.25	-	遺 物	不明 光 影	極狭では三角形を呈する。上下両端に使用感と思われる剝離感を持つ。	B9-434
29	95.55	23.10	21.20	62.5	砂 岩	完 形	細長い形状で断面は不整な三角形を呈する。下端部には小さな凹みと思われる剝離感が見られる。	B1+355
30	39.0	30.7	19.6	24.2	安 岐	岩 質 山	上部を欠失する。断面は不整な楕円形を呈する。下端部には小さな凹みと思われる剝離感が見られる。	B16-233
31	30.9	23.7	16.4	15.0	不 明	明 顯	細長い形状で断面は不整な楕円形を呈する。上端部には小さな凹みと思われる剝離感が見られる。	C5-1-d S
32	50.9	26.9	19.7	31.2	不 明	明 顯	上部を欠失する。極狭では不整な楕円形を呈する。下端部には使用感と思われる剝離感が見られる。	A38-4-c N
33	45.6	25.3	20.4	23.9	砂 岩	岩 質 山	上部を欠失する。細く、断面はほぼ三角形を呈する。	A35-2-c N
34	58.2	22.4	18.6	27.8	安 岐 岩 片 岩 (チャ ー) 入り	完 形	断面はほぼ四角形を呈する。赤変している。下端の周辺に小剝離があり使用感と思われる。	A5-2-28
35	46.7	28.2	15.4	22.6	黑 雲 母 花 崗 岩	完 形	下部を欠失する。断面は不整な楕円形を呈する。上端部から側面にかけて使用感と思われる剝離感が見られる。	A40-5-c b S
36	52.1	24.0	20.1	29.4	玢 玢	岩 質 山	上部を欠失する。細く、断面はほぼ三角形を呈する。下端部の周辺に使用感と思われる剝離感が見られる。	B22-b N
37	16.3	49.7	38.9	167.5	砂 岩	岩 質 山	下部を欠失する。大形で、断面はほぼ三角形を呈する。側面に小さな凹みが見られる。	A39-1-c N
38	110.0	44.0	28.0	203.4	綠 岩	岩 質 山	上部を欠失する。細く、断面はほぼ三角形を呈する。表面はなめらかである。	B13-909
39	77.1	66.5	54.5	376	石 英 黑 玢 玢	完 形	細かく、断面は不整な楕円形。下端部に使用感と思われる小さな剝離感が見られる。	A40-4-a S
40	53.0	30.4	23.7	55.5	石 英 黑 玢 玢	完 形	上下両端及び側面の一部を欠失する小破片。	B3-867
41	40.0	12.1	13.4	12.8	結 晶 片 岩	岩 質 山	上部を欠失する。細く、断面は不整な楕円形。上端部に小剝離があり、使用感と思われる。	A11-3-249
42	44.4	12.0	8.3	11.8	安 岐	岩 質 山	上部を欠失する。周縁部に使用感と思われる剝離が見られる。	A36-2-2167
43	70.70	21.45	16.40	47.6	砂 岩	完 形	極狭である。周縁部に使用感と思われる剝離が見られる。	B12-178
44	55.4	42.6	22.3	71.0	绿 色 片 岩	岩 質 山	上部を欠失する。極狭では楕円形を呈する。下端部の周囲に小さな剝離があり、使用感と思われる。	A39-2-c S
45	52.9	20.7	14.4	30.5	绿 色 片 岩	岩 質 山	上部を欠失する。極狭では三角形を呈する。下端部には使用感と思われる剝離が見られる。上端部は大きく、はがれれている。	B19-543
46	93.4	29.3	19.4	65.6	结 晶 片 岩	岩 質 山	上部を欠失する。大形で断面は四角形を呈する。下端部には小さな剝離や衝打痕があり使用感と思われる。赤変している。	A10-1-b N
47	98.1	39.4	28.6	180.2	黑 云 母 片 岩	完 形	極狭で断面は四角形に近い。	B18-c S
48	67.4	23.8	15.2	33.8	不 明 完 形 小 品 品	岩 質 山	下端部には使用感が認められる。断面はほぼ椭円形を呈する。少し赤變成している。	A28-2-c S
49	47.8	33.9	20.8	35.2	安 岐	岩 質 山	上部を欠失する。極狭では断面はほぼ三角形を呈する。下端部には、小さな凹みと思われる剝離感が見られる。	A17-1-a N
50	114.9	36.2	32.3	261.0	H	安 影 岩 質 山	半形、細長い、断面は四角形を呈する。側面に複数の小さな凹みがあり、直端部に打撃の痕跡がある。	B7-1333
51	77.3	33.2	23.6	83.3	安 岐	岩 質 山	上部を欠失する。断面は四角形を呈する。中央部には打撃による小さな凹みが見られる。少し赤變成している。	A1-1-d S
52	74.0	33.5	34.4	102.0	安 岐	岩 質 山	半形で断面は四角形を呈する。極狭で断面は四角形を呈する。表面のところどころに凹みが見られる。	B1-151

番号	法 長	幅	厚	重量	石 質	觀			出土地点
						長	幅	厚	
53	169.50	41.20	18.50	114	石	完全。大形で、断面は四角形を呈する。兩端部に使用痕と思われる剝離痕が見られる。	A3-2-60		
54	51.0	2.0	16.9	21.8	石	下端部を欠失する。細く、断面はほぼ四角形を呈する。上端部は薄くて下端部は分厚い。	B2-220		
55	45.3	18.1	12.7	13.1	石	缺損。下部を欠失する。細く、断面は四角形を呈する。色調は淡青白色。上端部に使用痕と思われる剝離痕が見られる。	A40-4-b S		
56	60.6	30.2	16.3	40.8	不 明	缺損。下部を欠失する。棒状である。上端部に使用痕と思われる剝離痕が見られる。	B8-694		
57	59.1	21.6	14.3	23.4	不 明	先端。小形品で断面は橢円形を呈する。側縁の上方と下方に切跡の痕跡を持つ。	A39-c S		
58	61.7	22.3	15.6	37.2	珪質頁岩	先端。小形品で断面は四角形を呈する。色調は灰黑色。上端部は小さな剝離痕があり、使用痕と思われる。	A34-1-a S		
59	28.3	28.2	28.9	21.7	變成岩 山	缺損。上部を欠失する。断面は橢円形を呈する。下端部には、使用痕と思われる剝離痕が見られる。	B7-740		
60	105.2	27.9	15.7	62.8	珪質頁岩	断面は橢円形を呈する。兩端部の大さな剝離痕は使用痕と思われる。	A37-1-2541		
61	86.2	29.2	21.6	74.6	變成岩 山	断面は橢円形を呈する。下端部に使用痕と思われる小剝離。絞打痕をもつ。	A40-3-c S		

66表 C 10—1 南東ビット出土遺物計測表

番号	名	形	法 長	幅	厚	重量	石 質	出土地点	觀			石 質	出土地点		
									長	幅	厚				
1	錐 器	錐	36.55	35.95	12.80	20.2	サヌカイト	C10-1-421	1	石 器	33.80	35.65	6.50	8.4 サヌカイト	B16-779
2	削 器	削	41.55	29.45	5.60	14.2	石		2	石 器	35.60	37.40	5.40	8.8 A5-1-88	
3	石 蠍	石蠍	10.68	9.50	2.65	—	石	C10-1-203	3	石 器	34.75	44.35	5.10	11.4 A39-d N	
4	削 器	削	54.80	28.30	6.20	12.5	石	C10-1-599	4	石 器	45.10	44.70	4.95	8.2 A22-2-a N	
5	刀	刀	26.35	33.35	6.70	7.3	石	C10-1-471	5	石 器	40.60	42.95	5.90	11.2 A39-565	
6	叩 き 石	石	21.30	17.00	16.65	5.8	砂 岩	C10-1-984	6	矢内研磨器	52.15	34.30	10.65	30.6 A39-e-a S	
7	削 器	削	28.95	19.65	4.70	3.3	サヌカイト	C10-1-575	7	石 器	46.45	35.70	8.20	45.3 A38-4-552	
8	投 彈	投彈	36.30	29.45	24.3	1.6	岩	C10-1-541	8	石 器	66.90	52.15	11.00	42.3 B10-284	
9	石 斧	石斧	—	—	—	—	石		9	石 斧	64.00	56.35	14.40	— A25-2-d N	
10	投 彈	投彈	45.30	39.45	24.3	1.6	岩		10	石 斧	188.65	33.30	13.90	— C10-1-35	
11	矢内研磨器	—	—	—	—	—	石		11	石 器	45.30	25.50	11.70	— サヌカイト	

第68表 石鎚計測表

番号	法 量	幅 厚さ	重量	石 質	出土地点	番号	長さ 幅 厚さ	法 長さ 幅 厚さ	石 質	出土地点	番号	長さ 幅 厚さ	法 長さ 幅 厚さ	石 質	出土地点	番号				
1	12.9	13.2	2.8	0.4	サヌカイト		15.0	14.4	3.1	0.5	サヌカイト	A36-2-2140	53	18.0 <sup>m</sup>	16.8 <sup>m</sup>	3.7 <sup>m</sup>	0.9 <sup>m</sup>	サヌカイト	A36-3-93	
2	12.2	12.5	2.4	0.4		A40-4-b N	28	14.0	15.0	0.5		A40-3-493	54	14.1	12.8	2.9	0.3		A38-1-279	
3	14.7	13.0	2.9	0.5		A38-1440	29	15.2	15.6	3.5	0.6	A21-1-330	55	15.0	12.9	2.8	0.4		B7-399	
4	14.8	14.6	2.4	0.5		A41-4-a N	30	15.7	14.0	3.1	0.6		A42-3-d S	56	16.0	13.1	2.4	0.4		A39-2-b S
5	14.4	15.4	2.5	0.5		A34-2-c S	31	16.1	14.9	2.9	0.7		A37-1-746	57	14.8	13.1	3.7	0.6		A2-1-337
6	14.4	15.8	2.3	0.5		A42-5-d S	32	17.1	16.7	3.2	0.6		A37-2-2992	58	12.8	14.2	3.5	0.4		A27-1-d N
7	14.5	12.2	2.1	0.4		A34-2-c N	33	15.9	14.5	2.9	0.5		A38-1-1026	59	13.3	12.9	2.8	0.3		A6-3-58
8	14.6	14.5	3.4	0.5		A39-4-85	34	15.9	14.6	3.3	0.5		A38-2-2197	60	15.4	13.8	3.5	0.6		A39-3-d N
9	15.3	14.0	3.2	0.6		A37-1-3313	35	16.6	15.0	2.4	0.5		A32-2-b S	61	12.8	16.2	3.4	0.5		A27-1-d S
10	14.3	13.7	3.0	0.4		A38-2-4077	36	17.5	14.7	4.7	0.8		B18-140	62	14.7	13.1	3.2	0.4		C12-1-141
11	13.4	12.5	3.4	0.4		A33-1-183	37	11.3	14.7	2.4	0.6		A36-2-1820	63	13.7	11.4	2.8	0.3		C13-1-119
12	13.1	11.5	2.3	0.3		A1-1-d S	38	15.9	14.7	3.3	0.6		A33-2-196	64	16.5	13.0	2.9	0.4		A38-2-1005
13	12.8	13.0	3.2	0.4		C15-2-32	39	19.4	16.8	3.2	0.7		A38-1-1877	65	14.6	14.5	3.0	0.5		A39-2-c N
14	11.7	11.5	2.4	0.3		A37-2-1665	40	12.7	11.5	3.4	0.6		A6-2-319	66	16.2	14.4	3.0	0.5		A39-3-270
15	12.5	12.9	2.5	0.3		A34-2-d N	41	17.4	16.0	3.4	0.7		A39-2-a N	67	17.9	11.0	2.8	0.6		A35-1-140
16	13.8	13.1	2.7	0.4		C14-1-c S	42	17.8	17.8	4.6	1.2		A37-1-2509	68	17.7	16.5	3.0	0.6		A42-3-b S
17	14.1	13.8	3.0	0.5		A38-1-1078	43	28.0	21.5	4.0	1.8		A35-4-280	69	14.1	14.5	3.4	0.4		A7-2-156
18	14.7	15.2	3.0	0.5		A39-2-a S	44	22.0	17.7	5.1	1.5		A40-4-b S	70	16.0	15.1	3.3	0.5		A13-1-111
19	15.3	13.0	2.2	0.4		A33-1-724	45	18.9	16.7	2.9	0.6		A35-3-153	71	13.8	13.2	2.6	0.3		A8-2-a N
20	15.1	13.4	2.6	0.4		A41-4-a S	46	13.0	15.9	3.4	0.8		C11-1-781	72	20.6	17.6	3.2	0.9		A39-2-834
21	14.2	14.2	3.0	0.2		A37-544	47	14.9	13.9	3.7	0.4		A37-1-1607	73	17.7	16.1	2.9	0.6		B21-305
22	15.0	15.5	2.7	0.5		A36-2-1548	48	19.7	18.0	3.4	0.9		A41-4-a N	74	18.8	15.4	3.1	0.6		B26-130
23	14.0	15.5	2.7	0.5		A40-3-b S	49	16.7	15.2	3.1	0.6		A37-2-1630	75	12.3	12.5	2.6	0.6		A3-2-a N
24	14.1	14.1	2.5	0.4		A32-b N	50	14.5	16.2	2.7	0.5		A34-1-1070	76	19.0	15.4	3.2	0.6		A1-2-a N
25	15.0	13.2	3.0	0.5		A34-2-d N	51	15.6	14.8	2.7	0.5		A12-1-119	77	21.2	22.7	3.4	1.3		B18-5-b S
26	15.2	12.9	2.7	0.4		A35-1-653	52	17.9	15.4	2.8	0.6		A26-2-423	78	26.8	24.8	3.6	1.2		C38-1-637

番号	法量		重量	石質	出土地点	番号	法量		重量	石質	出土地点	番号	法量		重量	石質	出土地点		
	長さ	幅					厚さ	幅					厚さ	幅	厚さ				
79	22.1	18.0	2.4	0.9	サヌカイト	C11-1-846	105	15.1	13.7	2.4	0.5	サヌカイト	A38-2-3360	131	16.8	17.0	4.6	1.1 サヌカイト A11-d N	
80	14.4	14.0	2.6	0.5	—	A32-1-187	106	14.6	12.7	2.9	0.4	—	A38-2-4822	132	28.6	21.7	6.3	3.5	A35-2-63
81	16.4	13.7	2.6	0.4	—	C8-2-85	107	15.7	13.4	3.0	0.5	—	A38-4-c N	133	24.0	12.0	4.7	1.2	A39-3-b N
82	13.9	10.8	2.0	0.3	—	A8-2-31	108	15.2	15.0	3.5	0.7	—	A41-5-c N	134	18.0	12.9	2.5	0.5	A37-2-589
83	15.0	16.6	3.6	0.5	—	A5-1-b S	109	16.8	13.9	2.7	0.6	—	A38-2-3497	135	17.9	14.8	2.5	0.5	A38-2-330
84	18.6	16.0	4.0	0.7	—	A4-2-b S	110	13.8	13.9	2.7	0.4	—	A41-4-b N	136	33.6	24.6	4.7	3.0	A37-3-b N
85	17.40	16.20	2.80	0.5	—	A8-2-a S	111	16.1	16.2	2.9	0.6	—	A35-1-1296	137	18.0	14.1	2.5	0.6	A38-1-1032
86	12.8	13.4	3.0	0.3	—	B14-c N	112	14.2	11.7	2.6	0.4	—	A21-1-135	138	15.7	13.6	2.8	0.5	A33-1-664
87	17.7	14.5	2.7	0.4	—	B13-b N	113	15.8	14.4	3.1	0.6	—	A38-1-2666	139	14.8	13.8	2.8	0.5	A38-2-2563
88	17.8	15.0	3.2	—	—	B13-b N	114	21.9	19.0	3.4	1.1	—	A40-2-d S	140	15.5	12.8	2.4	0.5	A35-1-1163
89	19.00	15.00	2.55	0.6	黒曜石	A6-2-268	115	13.4	13.3	4.0	0.5	—	C9-2-b S	141	12.0	13.3	2.4	0.4	A34-2-123
90	18.9	16.3	2.5	0.6	サヌカイト	C14-1-b S	116	17.0	14.7	3.6	0.8	—	A36-1-414	142	15.3	14.2	3.0	0.6	A37-1-278
91	20.2	19.0	2.9	0.6	—	C5-1-c N	117	18.0	15.6	3.1	0.6	—	A32-2-c N	143	17.3	13.6	3.7	0.5	A36-2-700
92	17.3	15.4	3.8	0.9	—	A36-1-402	118	20.3	17.3	4.7	1.1	—	A3-316	144	17.5	14.3	3.0	0.6	A37-3-c N
93	12.9	13.2	3.3	0.5	—	A2-1-387	119	21.7	17.7	3.9	1.2	—	A35-2-c N	145	16.7	13.5	2.3	0.4	C16-1-771
94	14.2	12.7	3.0	0.5	—	A24-1-c S	120	19.3	15.7	3.5	0.8	—	A38-1-1478	146	18.6	15.5	2.3	0.6	A40-2-361
95	20.8	19.4	2.6	—	—	不規	121	12.4	12.6	3.6	0.4	—	A9-1-d N	147	18.4	13.6	3.0	0.7	A12-1-259
96	16.9	20.4	3.1	1.0	—	A39-2-894	122	15.6	13.6	3.3	0.5	—	A3-2-b S	148	18.4	13.9	2.6	0.5	A25-1-a S
97	23.1	20.3	4.2	1.5	—	A2-2-a S	123	14.4	11.8	2.8	0.3	—	B19-638	149	19.0	11.2	3.8	1.0 流紋岩	A11-1-a N
98	16.7	14.1	3.6	0.8	—	A39-3-b S	124	16.4	14.0	2.4	0.4	—	A7-2-b S	150	23.6	16.2	3.1	— サヌカイト	C18-1-c S
99	15.0	15.8	3.0	0.6	—	A37-1-1948	125	16.4	14.8	2.7	0.4	—	A38-4-391	151	20.8	17.0	4.6	1.3	A37-1-3601
100	18.6	17.4	3.6	0.9	—	A35-1-1884	126	16.2	15.9	2.8	0.7	—	B4-587	152	27.2	18.7	4.1	1.6	B12-b N
101	26.7	22.6	5.6	2.7	—	A21-1-422	127	14.2	13.0	3.1	0.5	—	A7-2-d N	153	28.2	18.1	3.7	1.5	A31-1-361
102	25.1	20.6	4.6	2.2	—	A39-2-d N	128	11.3	11.7	2.8	0.3	—	B19-c N	154	14.6	11.4	2.6	0.3	C3-1-a N
103	26.5	25.7	4.8	3.3	—	A42-3-c S	129	12.8	13.7	2.6	0.4	—	A19-1-c S	155	17.6	13.8	3.1	0.6	C11-1-799
104	14.0	13.7	3.4	0.5	—	A13-1-d S	130	15.5	15.7	3.0	0.7	—	A38-1-1007	156	11.6	13.8	2.7	0.6	A38-1-309

番号	法 量	量	石 質	重さ	出土地点	番号	法 長さ	幅	厚さ	石 質	重さ	出土地点	番号	法 長さ	幅	厚さ	石 質	重さ	出土地点	
157	19.5	12.3	3.6	0.7	サヌカイト	A10-2-b S	183	22.7	14.1	2.9	0.7	サヌカイト	A37-2-769	209	20.5	14.3	4.2	0.8	サヌカイト	A35-1-55
158	18.1	14.2	1.9	0.4	η	A26-2-189	184	25.4	14.4	2.7	1.0	η	B11-1057	210	24.7	14.0	4.4	0.9	η	C17-1-c S
159	18.3	14.6	3.8	1.1	η	A38-1-2640	185	22.7	17.9	2.8	0.8	η	A38-4-174	211	27.6	11.3	3.2	0.8	η	A16-1-a S
160	19.5	15.6	2.3	0.6	η	C1-2-9	186	23.1	15.1	3.3	0.8	η	A35-1-154	212	28.5	17.0	4.4	1.3	η	A35-2-b S
161	21.7	15.7	3.6	1.0	η	A19-1-b S	187	22.1	14.1	5.6	1.5	η	A21-1-742	213	26.0	17.8	5.3	2.9	η	A33-1-706
162	21.3	14.0	4.2	0.8	η	B20-709	188	22.4	12.6	2.9	0.5	η	B18-789	214	16.5	10.2	2.2	0.3	η	B9-903
163	22.7	15.4	5.7	1.5	η	A19-1-c S	189	24.5	15.3	3.7	0.9	η	A29-2-b N	215	17.8	12.4	2.7	0.4	η	A38-3-a S
164	25.2	19.7	3.1	1.1	η	B18-a S	190	24.0	13.2	2.6	0.9	η	B10-155	216	19.4	11.7	3.6	0.7	η	A40-2-d N
165	20.4	15.3	3.3	0.8	η	A21-1-297	191	24.4	13.9	3.8	0.8	η	A32-2-b N	217	20.1	15.2	2.5	0.7	η	A3-2-476
166	15.6	11.4	2.3	0.3	η	A39-2-928	192	23.4	15.1	3.2	0.7	η	A22-1-b N	218	22.0	14.4	3.2	0.7	η	A22-2-a S
167	19.5	13.4	2.4	0.4	η	B12-614	193	21.2	12.6	3.7	0.6	η	A39-3-b N	219	19.6	10.4	2.6	0.3	η	A38-1-239
168	19.7	14.3	3.9	0.7	η	A38-4-646	194	24.9	19.3	5.2	0.4	η	A22-2-31	220	19.4	12.5	3.0	0.6	η	A32-2-34
169	18.4	11.6	2.9	0.5	η	A7-2-55	195	23.8	18.1	4.0	1.1	η	A31-2-33	221	22.2	13.3	4.7	0.9	η	A25-1-d N
170	17.7	13.7	3.8	0.6	η	A21-1-625	196	19.8	12.9	2.1	0.4	η	C16-1-1683	222	22.6	16.3	3.7	0.7	η	A2-1-177
171	17.9	13.6	3.1	0.6	η	C4-1-d N	197	32.6	20.7	4.3	1.4	η	B22-b N	223	28.9	16.2	4.5	0.7	η	A37-1-710
172	16.0	13.5	2.7	0.4	η	C17-1-d S	198	21.2	16.6	3.3	—	η	A33-2-a S	224	27.0	15.0	4.0	1.0	η	B24-b S
173	18.4	13.9	2.6	0.5	η	A25-1-a S	199	18.0	12.9	2.2	0.4	η	B12-239	225	21.3	16.4	4.4	0.9	η	A23-1-c S
174	19.2	15.1	2.8	0.6	η	A36-2-610	200	20.5	12.3	3.2	0.6	η	B24-1-c N	226	23.0	16.1	3.8	—	η	A2-1-177
175	19.4	16.0	2.9	0.7	η	C13-1-270	201	17.6	13.6	2.8	0.4	η	A19-1-c S	227	21.3	15.3	4.4	1.4	η	B1-195
176	19.9	12.5	3.0	0.6	η	A38-2-1869	202	17.4	13.7	3.2	0.7	η	B21-2578	228	29.4	21.7	4.4	1.5	η	A3-2-b N
177	19.4	15.1	3.4	0.6	η	A19-1-b N	203	20.3	16.7	4.6	0.8	η	C5-1-d S	229	24.4	18.3	3.5	0.9	η	A36-1-686
178	13.1	14.9	3.4	0.6	η	A3-1-d S	204	21.2	16.3	2.9	0.8	η	C17-2-a N	230	26.7	20.7	3.9	1.3	η	C4-1-c S
179	18.7	12.3	2.6	0.4	η	A6-1-70	205	21.4	13.3	4.1	0.6	η	A22-2-a N	231	20.6	13.9	2.9	0.6	η	C15-1-c S
180	19.4	12.3	2.4	0.5	η	A36-2-226	206	21.2	14.2	4.1	1.0	η	A30-2-a N	232	16.8	12.8	2.7	0.4	η	C14-2-a S
181	20.6	14.0	4.1	0.8	η	A38-1-234	207	21.7	12.3	3.1	0.5	η	A7-2-c N	233	34.3	23.8	3.35	1.4	η	C15-2-63
182	17.0	13.0	2.6	0.4	η	B10-850	208	27.2	13.9	4.1	0.9	η	A23-2-a N	234	25.4	17.5	2.9	1.0	η	A41-3-b S

番号	法 長さ 幅 厚さ	重量 石 質 車名	出土地点	呼 番号	法 長さ 幅 厚さ	重量 石 質 車名																				
235	25.4	21.6	4.3	サヌカイト																						
236	25.3	22.2	6.0	3.7	H	A38-2-1329	262	22.0	15.0	2.9	0.7	サヌカイト	H	B20-e S	287	40.2	14.6	3.1	2.1	サヌカイト	H	B5-203				
237	20.3	12.2	3.0	0.9	H	A9-2-a S	263	21.3	13.1	2.5	0.6	H	C13-2-58		288	30.3	14.4	3.6	1.5	H	A39-4-c S					
238	21.6	17.3	2.9	1.0	H	A1-2-234	264	22.8	14.6	3.6	1.0	H	C16-1-1226		289	28.4	14.3	4.0	1.4	H	A40-3-c S					
239	20.2	12.6	3.0	0.9	H	A34-2-d N	265	21.2	16.0	2.6	—	H	B20-e S		291	43.1	10.2	4.9	1.8	H	A37-2-1343					
240	25.8	13.7	4.7	1.1	H	A21-1-262	266	21.9	15.7	4.7	1.2	H	C15-1-267		292	35.2	16.9	4.3	2.4	H	A37-4-a S					
241	25.1	19.7	5.0	2.4	H	B21-2236	267	23.2	14.6	3.4	1.0	H	A36-2-1483		293	27.0	16.4	5.9	1.4	H	A40-3-c N					
242	15.8	13.7	3.6	1.3	H	B22-a S	268	21.9	13.7	3.5	0.7	H	A10-1-a N		294	28.2	23.0	3.0	1.9	H	A31-1-332					
243	25.9	17.1	3.6	1.1	H	A3-2-56	269	27.5	17.3	3.7	1.3	H	A33-1-933		295	17.3	15.4	2.8	0.8	H	A26-1-175					
244	20.0	15.9	4.1	0.8	H	A7-2-54	270	24.3	12.4	6.5	2.0	H	A21-1-680		296	36.0	14.3	5.6	2.2	H	A5-1-c N					
245	15.6	16.2	3.0	0.4	H	B21-1284	271	23.2	11.5	3.4	1.1	H	B20-d N		297	37.5	12.8	6.9	3.4	H	A41-1-b S					
246	16.0	10.8	3.4	0.4	H	A37-3-a N	272	24.5	15.7	4.1	1.1	H	B21-2359		298	12.6	11.5	2.2	0.4	H	A7-2-d N					
247	14.4	11.1	2.5	0.4	H	A3-2-56	273	15.1	13.0	2.4	0.3	H	A10-1-b S		299	28.7	9.8	3.0	0.7	H	A5-2-c S					
248	11.9	11.4	2.6	0.3	H	A36-3-396	274	27.5	16.7	3.6	1.5	H	C5-2-a N													
249	12.0	12.9	3.3	0.5	H	C8-1-a S	275	18.0	12.4	3.0	0.6	H	C17-1-a N													
250	15.8	11.3	4.4	0.5	H	B2-1172	276	15.7	13.6	3.0	0.5	H	B22-498													
251	18.8	15.4	2.8	—	H	C13-1-270	277	23.5	13.3	4.1	0.9	H	A39-1-233													
252	17.7	14.6	2.3	0.6	H	A22-1-b S	278	24.4	17.7	3.6	1.0	H	C13-1-b N													
253	18.6	12.4	3.9	0.7	H	A22-1-a S	279	25.6	18.4	2.8	0.9	H	C7-2-a S													
254	18.2	13.6	3.4	0.5	H	A5-2-c S	280	28.2	21.8	3.7	1.6	H	A33-1-317													
255	18.2	12.9	2.6	0.4	H	C5-1-c N	281	20.9	14.0	2.8	0.5	H	A9-1-c N													
256	28.1	15.2	3.1	1.1	H	A37-1-923	282	22.1	12.5	2.7	0.6	H	A10-1-c S													
257	17.7	14.4	3.4	0.8	H	C10-1-83	283	29.4	11.4	3.0	0.8	H	B23-b S													
258	18.3	14.7	3.1	0.6	H	C9-1-b S	284	22.1	16.0	3.1	1.3	H	C15-1-320													
259	21.1	14.2	2.9	0.6	H	B12-1124	285	34.54	17.5	5.2	1.7	石 機	A26-2-387													
260	21.2	14.5	4.2	1.1	H	A40-3-c S	286	35.7	15.1	3.9	1.1	サヌカイト	A39-3-a S													

瀬戸大橋建設に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告 I

羽佐島遺跡(I)

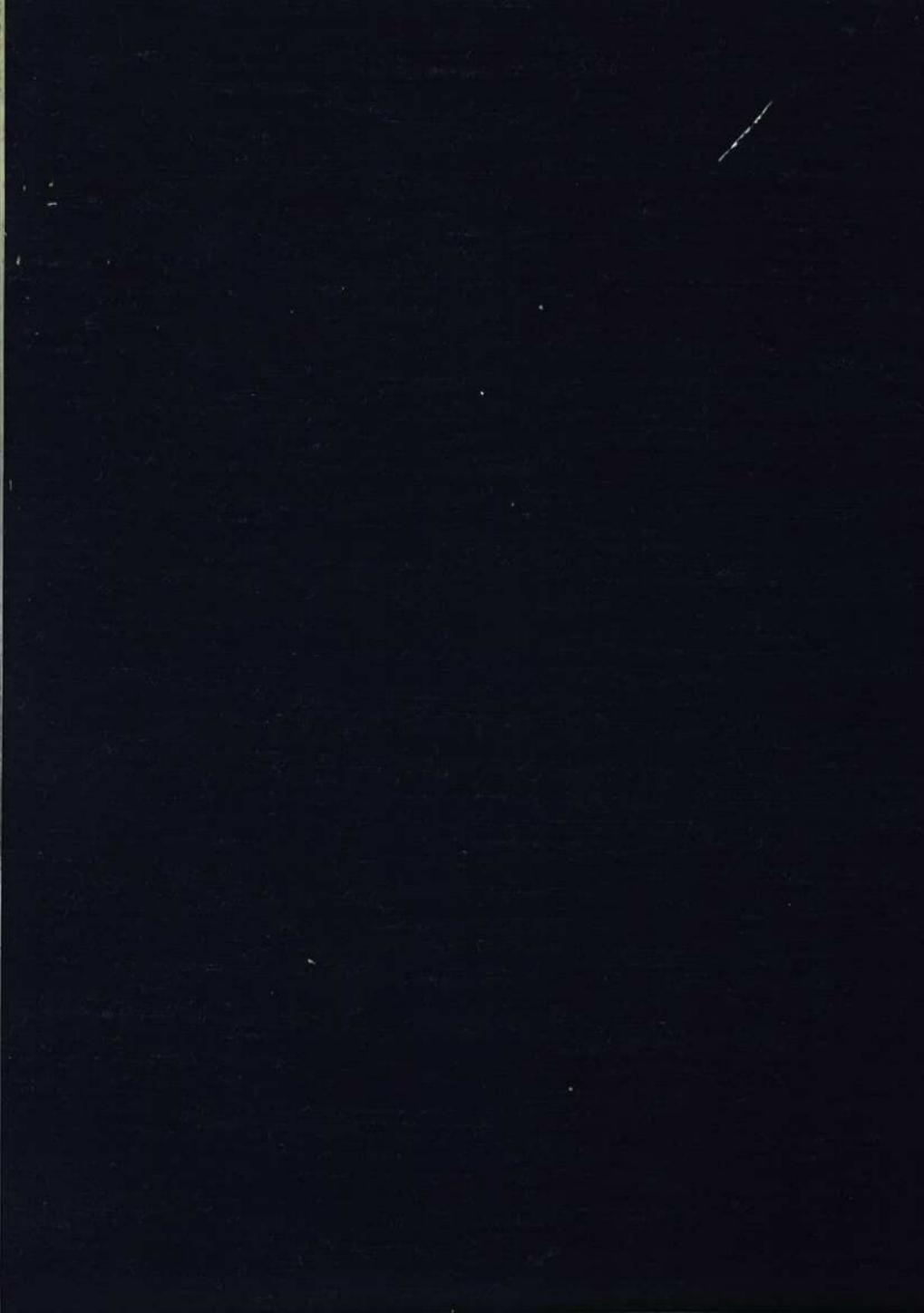
-本文編-

昭和59年1月31日

編集 香川県教育委員会

発行 布成光社

印刷 布成光社



瀬戸大橋建設に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告 I

羽佐島遺跡(1)

図版編

1984. 1

香川県教育委員会  
本州四国連絡橋公園

# 瀬戸大橋建設に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告 I

羽佐島遺跡(I)

- 図版編 -

1984・1

香川県教育委員会  
本州四国連絡橋公団

## 図版目次

- |       |  |       |  |
|-------|--|-------|--|
| 図版 1  | (1) 羽佐島遠景<br>(2) 羽佐島近景                                       | 図版 18 | (1) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第2面)<br>(2) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第4面)   |
| 図版 2  | (1) 予備調査風景(対岸は与島)<br>(2) 予備調査風景                              | 図版 19 | (1) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第5面)<br>(2) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第6面)   |
| 図版 3  | (1) 予備調査Cトレンチ<br>(2) 予備調査Cトレンチ                               | 図版 20 | (1) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第7面)<br>(2) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第8面)   |
| 図版 4  | (1) 予備調査Cトレンチ<br>(2) 予備調査Cトレンチ土層                             | 図版 21 | (1) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第9面)<br>(2) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第10面)  |
| 図版 5  | (1) 本調査地区南部(伐採前)<br>(2) 本調査地区北部(伐採前)                         | 図版 22 | (1) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第11面)<br>(2) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第13面) |
| 図版 6  | (1) 伐開(本調査地区南部)<br>(2) 伐開(本調査地区中央部)                          | 図版 23 | (1) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第14面)<br>(2) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第15面) |
| 図版 7  | (1) 杭打ち(本調査地区南部)<br>(2) トレンチ設定(本調査地区南部)                      | 図版 24 | (1) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第15面)<br>(2) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第16面) |
| 図版 8  | (1) 調査風景(B1, B6, B11)<br>(2) 調査風景(B6, B11, B16, B21)         | 図版 25 | (1) 遺物出土状態 (B6第1面)<br>(2) 遺物出土状態 (B6第1面)                               |
| 図版 9  | (1) 調査風景(B13~B21)<br>(2) 調査風景(B19~B26, A36-1~A36-5)          | 図版 26 | (1) 遺物出土状態 (B6第2面)<br>(2) 遺物出土状態 (B6第3面)                               |
| 図版 10 | (1) 調査風景(A34-1~A38-2)<br>(2) 調査風景(A38-1から調査地区南部<br>を眺む)      | 図版 27 | (1) 遺物出土状態 (B7~B10第1面)<br>(2) 遺物出土状態 (B7~B10第2面)                       |
| 図版 11 | (1) 調査風景(C16-1・2からC地区南<br>部を眺む)<br>(2) 羽佐島遠景(発掘調査中)          | 図版 28 | (1) 遺物出土状態 (B7~B10第3面)<br>(2) 遺物出土状態 (B7~B10第4面)                       |
| 図版 12 | (1) 調査風景(A6-1)<br>(2) 調査風景(遺物出土状態図の作成A<br>32-1~A35-1)        | 図版 29 | (1) 遺物出土状態 (B7~B10第5面)<br>(2) 遺物出土状態 (B17~B20第1層・第<br>2層上部除去後第1面)      |
| 図版 13 | (1) 調査風景(遺物の取上げ)<br>(2) 調査風景(土層実測)                           |       |  |
| 図版 14 | (1) 遺物出土状態 (A2-1・2第1・2<br>層除去後第1面)<br>(2) 遺物出土状態 (A2-1・2第2面) |       |  |
| 図版 15 | (1) 遺物出土状態 (A2-1・2第3面)<br>(2) 遺物出土状態 (A2-1・2第4面)             |       |  |
| 図版 16 | (1) 遺物出土状態 (A36-3第7面)<br>(2) 遺物出土状態 (A36-3第10面)              |       |  |
| 図版 17 | (1) 遺物出土状態 (A36-3第14面)<br>(2) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1<br>第1面)   |       |  |

- 図版 30 (1) 遺物出土状態(B17~B20第3面)  
          (2) 遺物出土状態(B17~B20第7面)
- 図版 31 (1) 遺物出土状態(B21第1面)  
          (2) 遺物出土状態(B21第2面)
- 図版 32 (1) 遺物出土状態(B21第3面)  
          (2) 遺物出土状態(B21第4面)
- 図版 33 (1) 遺物出土状態(B21第5面)  
          (2) 遺物出土状態(B21第6面)
- 図版 34 (1) 遺物出土状態(B21第7面)  
          (2) 遺物出土状態(B21第8面)
- 図版 35 (1) 遺物出土状態(C 7~C10第1・2層  
          除去後第1面)  
          (2) 遺物出土状態(C 7~C10第2面)
- 図版 36 (1) 遺物出土状態(C 7~C10第3面)  
          (2) 遺物出土状態(C 7~C10第4面)
- 図版 37 (1) 遺物出土状態(C 7~C10第5面)  
          (2) 調査風景(B 7~B10)
- 図版 38 (1) 遺物出土状態(C16-1・2第6面)  
          (2) 遺物出土状態(B20東壁第4層)
- 図版 39 (1) 遺物出土状態(A37-2第18面)  
          (2) 遺物出土状態(A39-4第1・2層除  
          去後第1面)
- 図版 40 (1) 遺物出土状態(C10-1石槍出土状態  
          1)  
          (2) 遺物出土状態(C10-1石槍出土状態  
          2)
- 図版 41 (1) B 2 ナイフ形石器  
          (2) B11 ナイフ形石器  
          (3) A36-3 ナイフ形石器  
          (4) B 9 ナイフ形石器  
          (5) B 3 ナイフ形石器  
          (6) B 9 ナイフ形石器
- 図版 42 (1) B 6 ナイフ形石器  
          (2) A36-1 ナイフ形石器  
          (3) B20 尖頭器  
          (4) B20 尖頭器  
          (5) A36-3 尖頭器  
          (6) A1-2 尖頭器
- 図版 43 (1) B 8 削器  
          (2) A36-1 搗器  
          (3) A26-1 横長剥片石核
- (4) B21 翼状剥片石核  
          (5) A26-1 翼状剥片  
          (6) A36-1 翼状剥片
- 図版 44 (1) B 4 二次調整ある剥片  
          (2) B13 縦長剥片  
          (3) B21 細石核  
          (4) B 2 細石刃  
          (5) B10 石礫  
          (6) B 2 石礫
- 図版 45 (1) B 9 叩き石  
          (2) B23 叩き石  
          (3) B 8 叩き石  
          (4) B 1 叩き石  
          (5) B21 寛永通宝  
          (6) B 8 土鍬
- 図版 46 (1) C10-1・2第4面(南東ピット覆土)  
          (2) C10-1・2第5面(南東ピット覆土)
- 図版 47 (1) C10-1 南東ピット(I)  
          (2) C10-1 南東ピット(II)
- 図版 48 (1) C10-1 南東ピット(III)  
          (2) C10-1 南東ピット(IV)
- 図版 49 (1) C10-1 南東ピット(埋土南北断面)  
          (2) C10-1 南東ピット(埋土東西断面)
- 図版 50 (1) B 1 西壁  
          (2) B 1 西壁
- 図版 51 (1) B 6 西壁  
          (2) B 6 西壁  
          (3) B 6 西壁
- 図版 52 (1) C 7-1 西壁  
          (2) C 8-1 西壁  
          (3) C 9-1 西壁  
          (4) C10-1 西壁
- 図版 53 (1) C12-1 西壁  
          (2) C13-1 西壁  
          (3) C14-1 西壁  
          (4) C15-1 西壁
- 図版 54 (1) B16 西壁  
          (2) B21 西壁
- 図版 55 (1) A34-1, A35-1 東壁  
          (2) A36-1 東壁
- 図版 56 (1) A37-1 東壁

- (2) A38-1 東壁
- 図版 57 (1) A 6-1 南壁  
          (2) A 6-2 南壁  
          (3) A 6-3 南壁
- 図版 58 (1) B 6 南壁  
          (2) B 6 南壁
- 図版 60 (1) B 6 南壁  
          (2) B 6 南壁
- 図版 61 (1) C 7-1・2 南壁 a b c  
          (2) C 7-1・2 南壁 c d  
          (3) C 7-1・2' 南壁 c d
- 図版 62 (1) B21 南壁  
          (2) B21 南壁
- 図版 63 (1) B21 南壁  
          (2) B21 南壁
- 図版 64 (1) A36-1 南壁 c d  
          (2) A36-2 南壁 a b  
          (3) A36-2 南壁 c d
- 図版 65 (1) A36-3 南壁 a b  
          (2) A36-3 南壁 c d
- 図版 66 (1) A36-4 南壁 a b  
          (2) A36-4 南壁 c d
- 図版 67 (1) A36-5 南壁 a b  
          (2) A36-5 南壁 c d
- 図版 68 (1) ナイフ形石器  
          (2) ナイフ形石器(裏面)
- 図版 151 (1) ナイフ形石器  
          (2) ナイフ形石器(裏面)
- 図版 152 (1) 舟底形石器  
          (2) 舟底形石器(裏面)
- 図版 155 (1) 舟底形石器  
          (2) 舟底形石器(裏面)
- 図版 156 (1) 尖頭器  
          (2) 尖頭器(裏面)
- 図版 166 (1) 尖頭器  
          (2) 尖頭器(裏面)
- 図版 167 (1) 彫 器  
          (2) 彫 器(裏面)  
          (3) 彫 器(彫刀面)
- 図版 168 (1) スポール  
          (2) スポール(裏面)
- 図版 169 (1) スポール  
          (2) スポール(側面)
- 図版 170 (1) 石 锥  
          (2) 石 锥(裏面)
- 図版 171 (1) 石 锥  
          (2) 石 锥(裏面)
- 図版 172 (1) 刨器・搔器  
          (2) 刨器・搔器(裏面)
- 図版 184 (1) 刨器・搔器  
          (2) 刨器・搔器(裏面)
- 図版 185 (1) 横状石器  
          (2) 横状石器(裏面)
- 図版 188 (1) 横状石器  
          (2) 横状石器(裏面)
- 図版 189 (1) 二次調整ある剥片  
          (2) 二次調整ある剥片(裏面)
- 図版 192 (1) 二次調整ある剥片  
          (2) 二次調整ある剥片(裏面)
- 図版 193 (1) 横長剥片石核  
          (2) 横長剥片石核(裏面)
- 図版 250 (1) 横長剥片石核  
          (2) 横長剥片石核(裏面)
- 図版 251 (1) 翼状剥片  
          (2) 翼状剥片(裏面)
- 図版 284 (1) 翼状剥片  
          (2) 翼状剥片(裏面)
- 図版 285 (1) 横長剥片  
          (2) 横長剥片(裏面)
- 図版 317 (1) 横長剥片  
          (2) 横長剥片(裏面)
- 図版 318 (1) 大形剥片  
          (2) 大形剥片(裏面)
- 図版 319 (1) 大形剥片  
          (2) 大形剥片(裏面)
- 図版 320 (1) 縦長剥片石核  
          (2) 縦長剥片石核(裏面)
- 図版 334 (1) 縦長剥片石核  
          (2) 縦長剥片石核(側面)
- 図版 335 (1) 縦長剥片  
          (2) 縦長剥片(裏面)
- 図版 353 (1) 縦長剥片

- (2) 縦長剥片(裏面)
- 図版 354 (1) 細石核(側面)  
  (2) 細石核(裏面)
- 図版 377 (1) 細石核  
(2) 細石核(裏面)
- 図版 378 (1) 細石  
  (2) 細石刃(裏面)
- 図版 381 (1) 細石刃  
(2) 細石刃(裏面)
- 図版 382 (1) 叩き石  
  (2) 叩き石(裏面)
- 図版 389 (1) 叩き石  
(2) 叩き石(裏面)
- 図版 390 (1) C10—I 南東ピット出土石器  
(2) C10—I 南東ピット出土石器(裏面)
- 図版 391 (1) 繩文時代の石器  
(2) 繩文時代の石器(裏面)
- 図版 392 (1) 繩文時代の石器  
(2) 繩文時代の石器(裏面)
- 図版 393 (1) 石 鐵  
  (2) 石 鐵(裏面)
- 図版 400 (1) 石 鐵  
  (2) 石 鐵(裏面)
- 図版 401 (1) 土 錘  
  (2) 土 錘(側面)
- 図版 402 (1) 繩文土器  
  (2) 繩文土器(裏面)
- 図版 403 (1) 弥生土器  
  (2) 弥生土器(裏面)
- 図版 404 (1) 土師質土器  
  (2) 土師質土器(裏面)
- 図版 405 (1) 灰釉土器・綠釉土器  
  (2) 灰釉土器・綠釉土器(裏面)
- 図版 406 (1) 白 鐵  
  (2) 白 鐵(裏面)
- 図版 407 (1) 青 鐵  
  (2) 青 鐵(裏面)
- 図版 408 (1) 古 錢  
  (2) 古 錢(裏面)



(1) 羽佐島遠景



(2) 羽佐島近景（鞍部）



(1) 予備調査風景（対岸は与島）



(2) 予備調査風景



(1) 予備調査 C トレンチ



(2) 予備調査 C トレンチ



(1) 予備調査 C トレンチ



(2) 予備調査 C トレンチ土層



(1) 本調査地区南部（伐採前）



(2) 本調査地区北部（伐採前）



(1) 伐開（本調査地区南部）



(2) 伐開（本調査地区中央部）



(1) 杭打ち（本調査地区南部）



(2) トレンチ設定（本調査地区南部）



(1) 調査風景 (B 1, B 6, B 11)



(2) 調査風景 (B 6, B 11, B 16, B 21)



(1) 調査風景 (B13~B21)



(2) 調査風景 (B19~B26, A36-1~A36-5)



(1) 調査風景 (A34-1 ~ A38-2)



(2) 調査風景 (A38-1 から調査地区南部を眺む)



(1) 調査風景 (C16-1・2からC地区南部を眺む)



(2) 羽佐島遠景 (発掘調査中)



(1) 調査風景 (A 6-1)



(2) 調査風景 (遺物出土状態図の作成 A 32-1 ~ A 35-1)



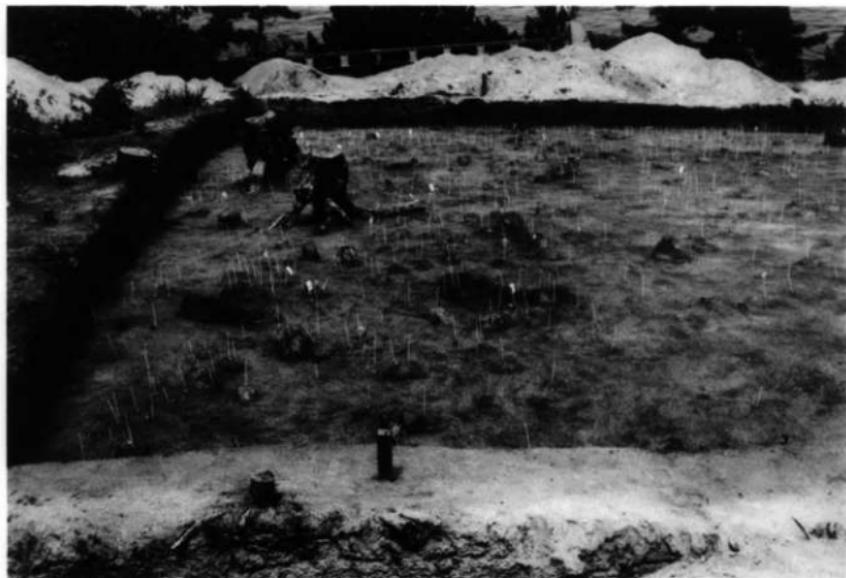
(1) 調査風景（遺物の取上げ）



(2) 調査風景（土層実測）



(1) 遺物出土状態 (A 2 - 1 + 2 第 1 + 2 層除去後第 1 面)



(2) 遺物出土状態 (A 2 - 1 + 2 第 2 面)



(1) 遺物出土状態 (A 2 - 1 + 2 第3面)



(2) 遺物出土状態 (A 2 - 1 + 2 第4面)



(1) 遺物出土状態 (A 36-3 第7面)



(2) 遺物出土状態 (A 36-3 第10面)



(1) 遺物出土状態 (A36-3 第14面)



(2) 遺物出土状態 (A37-1, A38-1 第1面)